トヨタ純正

SDナビゲーション
「NSCN-W60」
取扱書　詳細版

■この取扱書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全のために」（i～ivページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、
安全にご使用ください。
そのあと大切に保管し、わからないとき再読してください。

トヨタ自動車株式会社

トヨタ純正　SDナビゲーション　取扱書　詳細版

トヨタ自動車株式会社

AH09Y054

TOYOTA SDナビゲーション

このたびは**トヨタ純正**SDナビゲーションをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
ご使用前に必ずこの取扱書をお読みいただき、記載された内容にしたがって正しくお使いください。
本書は紛失しないよう車の中に保管してください。なお、本品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書も合わせてお渡しください。

本機は、あくまで走行の参考として地図と音声で案内するものですが、精度により、まれに不適切な案内をする場合があります。案内ルートを走行するときは、必ず実際の交通規制（一方通行など）にしたがうとともに道路状況に即した運転を心がけてください。規制標識の変更などにより目的地案内で表示されるルートは、車両進入禁止などのルートを案内する場合があります。

この取扱書では安全にご使用いただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

警告	記載事項を守らないと生命にかかわるような重大な傷害、事故につながるおそれがあること。
注意	注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷するなどのおそれがあります。
アドバイス	より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

安全のために

警告

●本機はＤＣ12Ｖ ⊖アース車専用です。
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24Ｖ車で使用しないでください。
火災の原因になります。

●本機の取り付け、取り外し、配線の変更はしないでください。
不適切な取り付けや配線の場合、故障や車両火災などの事故につながるおそれがあり危険です。
本機の取り付け、取り外しは安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

●SDメモリーカードは、乳幼児の手の届かないところに保管してください。
誤って飲み込むと、窒息するおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

注 意

●実際の交通規制を守ってください。
本機の表示するデジタル地図は、道路の変更、通行止めなどは表示されません。
また、ルート案内で表示されるルートは推奨ルートであり、災害、工事などでも道路状況が変わります。実際の交通規制を必ず守って運転してください。

注 意

●走行中の操作は危険ですので、停車して安全を確認の上、操作してください。
安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。
なお、本機は安全のため、走行中一部の機能が使えなくなります。
走行中は一部の細街路を消去します。

●モニター収納動作中、手などをはさまないように注意してください。
手などをはさんでケガをしたり、ディスプレイの故障の原因になります。

●車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。
車外の音が聞こえにくいと、交通事故の原因になります。

●画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。
事故、火災、感電の原因になるおそれがあります。また、煙や異音がでたり、異臭がする場合には、すぐにオーディオ機能の電源をOFFにしてお買い上げの販売店にご相談ください。

●本機を分解したり、調整することは、絶対にさけてください。
本機内部は、精密な構造になっているので、万一不具合が生じた場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。故障の原因になります。

●バッテリーあがりにはご注意ください。
エンジンを停止させたまま、本機を長時間作動することは避けてください。
バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。

●車内温度は上げすぎたり、下げすぎたりしないでください。
夏期は車内の温度が高くなることがありますので、車内の温度を下げてからお使いください。
冬期は車内の温度が低くなることがありますので、車内の温度を上げてからお使いください。
そのまま使用すると故障の原因になります。

●ラジオアンテナにモーターアンテナをご使用のときはアンテナを折らないように注意してください。
本機ではFM多重放送の***VICS***情報を常時受信するため、オーディオの電源をOFFにしてもモーターアンテナは下がりません。モーターアンテナをご使用のときは、ナビゲーションの車両情報設定にてモーターアンテナ車に設定してください（P.4-16参照）。
モーターアンテナ車に設定するとオーディオ機能の電源をOFFにしたときにアンテナが下がります。駐車場など天井の低い場所にはいる前は、必ずオーディオ機能の電源をOFFにしてアンテナが収納されたことを確認してください。
アンテナを下げずに天井の低い場所にはいると、アンテナが折れるなどの故障の原因になります。

注 意

●A/T車の場合

・ディスクを取り出す際、Pレンジで干渉する場合はNレンジに切り替えてから操作してください。（コラムA/Tの場合はPまたはNレンジで操作してください。）

・チルト位置を設定する際、PまたはR、Nレンジで手などが干渉しないように設定しご使用ください。（走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。）

●M/T車の場合

・ディスクを取り出す際、1・3・5（R）ポジションで干渉する場合はニュートラルに切り替えてから操作してください。

・チルト位置を設定する際、1・3・5（R）ポジションで手などが干渉しないように設定しご使用ください。

●プログラム読込みが終了するまで電源を切らないでください。

バッテリーとの接続が断たれた場合や、電圧が下がった場合には本機にダウンロードされているプログラムが消去されてしまいます。この場合には次回起動時の初期画面（オープニング画面）表示中に、再度プログラムのダウンロードが行われます。プログラム読込みが終了するまでしばらくそのままお待ちください。

プログラムの読込み中に電源が断たれますと、ナビが起動しなくなるなど思わぬ故障の原因になります。

●ディスプレイ部の上にコップや缶など異物を置いたり、強い力を加えないでください。

故障の原因になります。

アドバイス

●現在地の表示について

本機をお買い上げ後、初めてご使用になる時や、長時間バッテリーをはずしておいた場合などには、自車の現在地を正しく表示しないことがありますが、しばらくするとGPSの測位によって表示位置を修正します。

●結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、本機内部のレンズが結露して正常に作動しないことがあります。このようなときは1時間ほどそのままの状態で放置しておけば結露が取り除かれ正常に作動するようになります。何時間たっても正常に戻らない場合は販売店にご相談ください。

●画面のムラについて

寒冷時にエンジンスイッチをONにしたあと、バックライトの特性上、光ムラが発生したり輝度が低下して画面が暗くなる場合があります。しばらくすると自然にもとの輝度に戻ります。

●タッチパネルについて

本機の画面に市販の液晶保護フィルムを貼り付けると、タッチスイッチが反応しなくなる場合がありますので使用しないでください。

アドバイス

●本機は精密機器であり、静電気、電気的なノイズ、振動などにより、ご購入後、お客様が記録された情報内容が消失する場合があります。お客様が本機に記録された情報内容につきましては、別にメモをとるなどして保管してください。

●なお、以下のような場合、保証はいたしかねますので、予めご了承ください。

①本機の故障、誤作動、または不具合などにより、あるいは本機が電気的なノイズの影響などを受けたことにより、お客様が本機に記録された情報内容などが変化・消失した場合。

②お客様または第三者が本機の使用を誤ったことにより、お客様が本機に記録された情報内容などが変化・消失した場合。

③本機の故障・修理に際し、お客様が本機に記録された情報内容などが変化・消失した場合。

※なお、本機を装着もしくはご使用されたときは、上記の内容を承認されたものとみなさせていただきます。

●本書に掲載されている画面は実際の画面と異なる場合があります。また、製品の仕様などの変更により本書の内容と製品が一致しない場合がありますのでご了承ください。

●取扱書で使用されている画面と実際の画面は、データベースの作成時期・種類によって異なることがあります。

●地図データを使用したことにより発生したお客様本人および第三者のいかなる損害にも、弊社はその責任を負いかねます。

●地図データの誤字・脱字・位置ずれなど表記または内容に関する誤りに対して、取り替え・代金の返却はいたしかねます。

●地図データに含まれる機能がお客様の特定目的に適合することを、弊社は保証するものではありません。

もくじ

1.はじめに			目的別早見表 ……1-1 主な特長 ……1-7 お使いになる前に ……1-8 電源を入れるには ……1-11 各部の名称とはたらき ……1-12 ディスク・SDメモリーカードの出し入れ ……1-14 ディスプレイの角度を調整するには ……1-21 ナビゲーション・オーディオの切り替え ……1-22 画面の調整 ……1-24 画面の設定 ……1-27 セキュリティ機能の設定 ……1-29
ナビゲーション	2.基本編	初期設定	簡単初期設定ガイドについて ……2-1
		メニュー	ナビメニューについて ……2-8
		共通の操作	リスト画面の切り替え方 ……2-10 スイッチの意味がわからないときには ……2-12
		地図の表示	現在地を表示するには ……2-13 地図スクロールするには ……2-14 地図の縮尺をかえるには ……2-15 地図の向きをかえるには ……2-18 ３D表示にするには ……2-19 ２画面表示にするには ……2-21 地図・文字を拡大表示するには ……2-23 高速略図画面を表示するには ……2-24
		ルート案内	ルート案内について ……2-26
		ルートを設定する	目的地を設定しルートを探索するには ……2-28 ５ルートを確認・選択するには ……2-32
		ルート案内の種類	案内画面について ……2-34 案内をもう一度聞きたいときは ……2-41
	3.応用編	ルート設定の詳細操作	目的地を追加・並び替え・消去するには ……3-1 通過道路を指定・修正・解除するには ……3-8 乗降ＩＣを指定するには ……3-13 ルートの再探索 ……3-15 区間ごとの探索条件を設定するには ……3-17
		ルートを確認する	ルートの詳細情報を確認するには ……3-18 デモでルートを確認するには ……3-19 オンルートスクロールを使うには ……3-20 走行軌跡について ……3-23
		ルート案内の詳細操作	ルート案内を中止・再開するには ……3-24 案内の音量を調節するには ……3-25
		情報検索	５０音で地図を表示するには ……3-26 施設で地図を表示するには ……3-30 電話番号で地図を表示するには ……3-32 郵便番号で地図を表示するには ……3-34 住所で地図を表示するには ……3-35 メモリ地点で地図を表示するには ……3-37 履歴で地図を表示するには ……3-38 マップコードで地図を表示するには ……3-39 周辺施設で地図を表示するには ……3-40 目的と場所から地図を表示するには ……3-42 施設ランドマークを地図に表示するには ……3-45 近くの施設を検索するには ……3-48
	4.設定編	各種設定	ナビ設定を行うには ……4-1

ナビゲーション	4.設定編	ナビゲーションのカスタマイズ	ナビメニュー「新しく探す」をカスタマイズするには ……4-18 ショートカットスイッチを設定するには ……4-19
		メモリ地点	メモリ地点を登録・修正・消去するには ……4-20 迂回メモリ地点を登録・修正・消去するには ……4-33 メモリ地点を読み込む ……4-39
		VICS	VICSを使うには ……4-41
		その他の機能	補正機能 ……4-54 地図SDメモリーカードについて ……4-56
5.情報機能			情報画面について ……5-1 メンテナンスを使うには ……5-2 操作説明デモを行うには ……5-12 電話帳を見るには ……5-13 カレンダーを見るには ……5-14
6.オプション			ETCシステムの操作 ……6-1 バックガイドモニターの映像を見るには ……6-4 バックモニターの映像を見るには ……6-42
オーディオ	7.オーディオ	共通の操作	電源の入れ方・音量調整のしかた ……7-1 テレビ・オーディオの切り替え ……7-3 音の調整 ……7-7
	8.テレビ	ワンセグ	ワンセグをお使いになる前に ……8-1 ワンセグを見るには ……8-3 番組表を見るには ……8-10 ワンセグの設定を行うには ……8-12 緊急警報放送（EWS）を見るには ……8-14
	9.ラジオ･交通情報	FM/AM	ラジオを聞くには ……9-1
		交通情報	交通情報を聞くには ……9-4
	10.CD･MP3/WMA	CD	ＣＤプレーヤーでＣＤを聞くには ……10-1
		MP3/WMA	MP3/WMAプレーヤーで音楽を聞くには ……10-4
	11.外部機器	AUX	ポータブルオーディオ機器を接続して使う(AUX) ……11-1
		ステアリングスイッチ	ステアリングスイッチ ……11-4
12.知っておいてください			自車位置精度について ……12-1 ルート探索について ……12-3 ルート案内について ……12-5 情報の保持について ……12-7 こんなメッセージが表示されたとき ……12-8 故障とお考えになる前に ……12-10 地図データベースについて ……12-14 アンテナのお手入れについて ……12-15 商標について ……12-15 アフターサービスについて ……12-16 仕様 ……12-17 用語さくいん ……12-18 凡例 ……12-20

はじめに

目的別早見表

初めてお使いになるときは	ナビの基本的な設定をしたい	簡単初期設定ガイド	2-1ページ
地図の表示について	地図画面の見方を知りたい	現在地を表示する	2-13ページ
	現在地を知りたい	現在地を表示する	2-13ページ
	地図の記号について知りたい	凡例	12-20ページ
	現在地付近の地図を見たい	地図スクロールする	2-14ページ
	地図の大きさをかえたい	地図の縮尺をかえる	2-15ページ
	地図の表示方法をかえたい	地図の向きをかえる	2-18ページ
		3D表示・2画面表示にする	2-19ページ〜2-22ページ
		高速略図画面を表示する	2-24ページ
	地図に情報を表示させたい	施設ランドマークを表示する	3-45ページ
		立体ランドマークを表示する	4-9ページ
		VICS 情報を表示する	4-42ページ

地図の呼び出しについて	施設や住所の名称の一部から呼び出したい	50音で地図を表示する	3-26ページ
	施設を検索して呼び出したい	施設で地図を表示する	3-30ページ
	目的と場所から呼び出したい	目的と場所から地図を表示する	3-42ページ
	電話番号を入力して呼び出したい	電話番号で地図を表示する	3-32ページ
	郵便番号を入力して呼び出したい	郵便番号で地図を表示する	3-34ページ
	住所を検索して呼び出したい	住所で地図を表示する	3-35ページ
	登録した地点から呼び出したい	メモリ地点で地図を表示する	3-37ページ
	過去の目的地から呼び出したい	履歴で地図を表示する	3-38ページ
	マップコードを入力して呼び出したい	マップコードで地図を表示する	3-39ページ
	現在地や目的地周辺の施設を検索して呼び出したい	周辺施設で地図を表示する	3-40ページ
画面の色について	明るさやコントラストを変えたい	画面を調整する	1-24ページ

1 はじめに
目的別早見表

はじめに

1 はじめに
目的別早見表

目的地案内について

- **目的地を決めたい**
  - ワンタッチで設定する → 2-28ページ
  - 検索して設定する → 2-30ページ
  - 自宅に帰る → 2-31ページ
- **希望通りのルートにしたい**
  - 目的地を追加する → 3-1ページ
  - 通りたい道路を指定する → 3-8ページ
  - 乗降ＩＣを指定する → 3-13ページ
  - 条件を変更して再探索する → 3-15ページ～3-17ページ
- **ルートを確認したい**
  - ルートの全体を表示する → 2-32ページ, 2-35ページ
  - デモでルートを確認する → 3-19ページ
  - オンルートスクロールでルートを確認する → 3-20ページ
- **案内を止めたい**
  - 目的地を消去する → 3-6ページ
  - 案内を中止する → 3-24ページ

- **案内の音量を調節したい**
  - 案内の音量を調節する → 3-25ページ
- **地図に目印をつけたい**
  - **覚えておきたい場所に目印をつけたい**
    - メモリ地点を登録する → 4-20ページ
    - メモリ地点を特別メモリ地点に変更する → 4-30ページ
  - **自宅の目印をつけたい**
    - メモリ地点を自宅に変更する → 4-30ページ
  - **ルート案内で迂回するエリアを指定したい**
    - 迂回メモリを登録する → 4-33ページ
  - **走行軌跡を表示させたい** → 3-23ページ
- **ナビゲーションを自分仕様にしたい**
  - **目的地設定画面を使いやすくしたい**
    - 「新しく探す」をカスタマイズする → 4-18ページ
  - **呼び出したい画面をすぐに表示したい**
    - ショートカットスイッチを設定する → 4-19ページ
  - **案内ルートの色や自車マークを変更したい**
    - 地図カスタマイズ → 4-7ページ
- **盗難に備えて**
  - セキュリティの設定をする → 1-29ページ

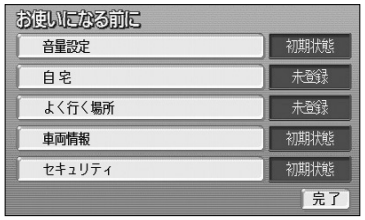
- **VICS を使いたい**
  - **VICS** 情報を地図に表示させたい → 4-46ページ
  - **VICS** 放送を受信したい → 4-50ページ
  - **VICS** マークについて知りたい → 4-45ページ
- **情報を見る**
  - デモを見る → 5-12ページ
  - 車両のメンテナンス時期を設定する → 5-2ページ
  - 施設の電話番号を表示する → 5-13ページ
  - カレンダーを見る → 5-14ページ
- **周辺の映像を表示したい**
  - **車両後方の映像を表示したい**
    - バックガイドモニターを使う → 6-4ページ
    - バックモニターを使う → 6-42ページ

- **オーディオを使いたい**
  - 音を調整する → 7-2ページ, 7-7ページ
  - テレビを見る → 8-1ページ
  - ラジオを聞く → 9-1ページ
  - 交通情報を聞く → 9-4ページ
  - CDを聞く → 10-1ページ
  - MP3/WMAを聞く → 10-4ページ
  - ポータブルオーディオ機器を接続して使う → 11-1ページ
- **わからなくてお困りのとき**
  - **地図SDメモリーカードを取り出したい** → SDメモリーカードの出し入れを行う → 1-18ページ
  - **操作手順が知りたい** → 操作説明デモを行う → 5-12ページ
  - **タッチスイッチの機能を知りたい** → スイッチの説明を表示する → 2-12ページ
  - **画面のメッセージがわからない** → こんなメッセージが表示されたとき → 12-8ページ
  - **故障かどうか知りたい** → 故障とお考えになる前に → 12-10ページ

主な特長

簡単初期設定ガイド

初めて本機を起動したときに表示されます。案内音量・自宅・よく行く場所・車両情報・セキュリティの設定ができます。
(P.2-1参照)



お出掛け目的地設定

お出掛けの目的は？行きたい場所は？
質問に答える感覚で目的と場所を選択するだけで、目的地を絞り込むことができます。
(P.3-42参照)



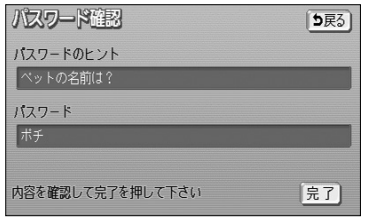
地図カスタマイズ

お好みにあった自車マークのデザイン、目的地までのルートの色などを設定することができます。(P.4-7参照)



セキュリティ

インジケータの点滅により盗難を抑止します。また万が一の盗難に備えパスワードロックにより個人情報を保護します。(P.1-29参照)



音質調整機能

クラブや映画館などの臨場感を再現するDSP。原音を崩さず低音、高音域を強調するSSCなどお好みにあわせて音響を演出できます（P.7-7参照）。



ワンセグチューナー内蔵

携帯電話などの移動体端末向けサービスのワンセグを視聴することができます。
(P.8-3参照)



お使いになる前に

●悪路走行時について

悪路走行中などで振動が激しい場合、地図データを読み取れなくなり正常に作動しないことがあります。振動が静まり、しばらくすると正常に戻ります。

●精密機器のため取り扱いに注意

極端な高温や低温の中でのご使用は誤作動や故障の原因になりますので周囲の温度には注意してください。
また本機内部に金属物や水が入ったり、強い衝撃が加わると故障の原因になりますのでご注意ください。

●ディスクの取り扱いに注意

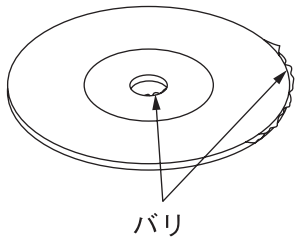
・ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、そりなどが、音とびなどの誤動作の原因になる場合があります。特にケースからの出し入れにご注意ください。
・ラベル面に紙などをはったりしないでください。デッキ内部でラベルがはがれて故障の原因になります。
・ディスクは曲げたり、キズをつけないでください。

●ディスクの保管上の注意

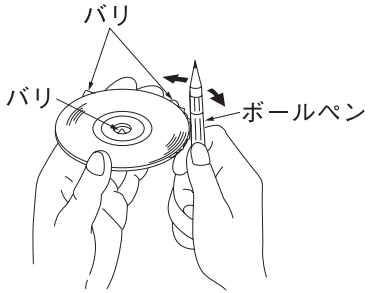
・長時間使用しないときは、汚れ、ゴミ、キズ、そりなどを避けるため、ディスクは必ずケースに入れて保管してください。
・ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあるため、次のような場所に置くことは避けてください。
1. 長時間直射日光のあたる場所。
2. 湿気やゴミ、ほこりの多い場所。
3. 暖房器具の熱が直接あたる場所。
4. 車のシート、ダッシュボードの上。

●新しいディスクの使用上の注意

新しいディスクには、ときによりディスクのセンターホールや外周にバリが残っていることがあります。このようなディスクをご使用になるとディスクが正しくセットされず、動作しないことがあります。
このような場合には、あらかじめディスクのセンターホール内側や、外周のバリを細い棒状のもの（例えばボールペンなど）で取り除いてからお使いください。



バリについて

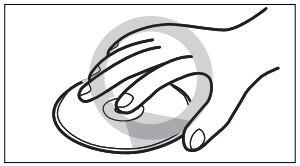


バリの取り除きかた

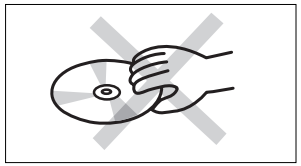
はじめに

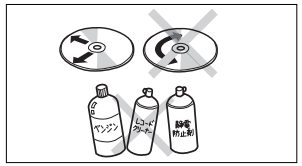
●ディスクのクリーニングについて

・ディスクに汚れやゴミがついたときは、水を含ませたやわらかい布でふいたあと、乾いた布でふいてください。
・ディスクをふきとる際には、ディスクの内側中心から外側方向へ軽くふきとってください。
・ベンジン、アナログ式レコード盤クリーナー、静電防止剤を使いますと、ディスクを傷めるので使用しないでください。



ディスクの持ち方





ディスクのクリーニング

●SDメモリーカードの取り扱いに注意

・濡れたり汚れたりした手で、SDメモリーカードに触れないでください。
故障の原因になります。
・SDスロットにはSDメモリーカード以外のものを入れないでください。
故障の原因になります。
・SDメモリーカードは次の場所で使用・保管をしないでください。
故障の原因になったり、本機に悪影響をおよぼすことがあります。
静電気が発生するところ
電気的ノイズが発生するところ
高温・多湿のところ
結露するところ
腐食性があるところ
・SDメモリーカードは精密電子機器です。次の事項を必ず守ってください。
故障の原因になります。
折り曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
ホコリ・ゴミが付着している状態で、SDスロットに挿入しないでください。
SDスロットに挿入するときは、正しい向きで、奥までしっかりと差し込んでください。
・保管するときや持ち運ぶときは、市販のケースに入れてください。
SDメモリーカードに大きな力が加わると、壊れるおそれがあります。

1
はじめに
お使いになる前に

●FM多重放送の受信について

・本機ではFM多重放送のVICS情報を常時受信するため、オーディオの電源をOFFにしてもモーターアンテナは下がりません。モーターアンテナをご使用のときは、ナビゲーションの車両情報設定にてモーターアンテナ車に設定してください。モーターアンテナ車に設定するとオーディオ機能の電源をOFFにしたときにアンテナが下がります。駐車場など天井の低い場所にはいる前は、必ずオーディオ機能の電源をOFFにしてアンテナが収納されたことを確認してください。アンテナを下げずに天井の低い場所にはいると、アンテナが折れるなどの故障の原因になります。

●お手入れの仕方

＜本機の清掃＞

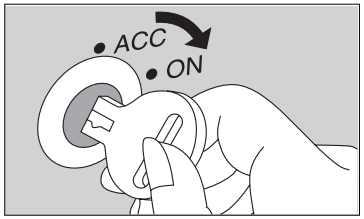
・ベンジン、シンナー類を使いますと、ケースや塗装が変質しますので、使用しないでください。
・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

＜ディスプレイ部の清掃＞

・画面の汚れは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。
手で押したり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。また、液晶画面はコーティング処理してあります。ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。

電源を入れるには

本機は車のエンジンをかけると自動的にナビゲーションの電源が入ります。
エンジンを切ると電源も切れます。

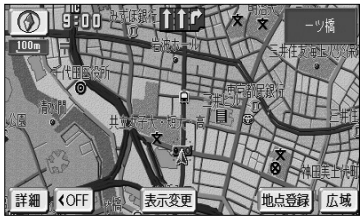


（1） 車のエンジンスイッチをONまたはACCにします。

● ナビゲーションの電源が入ります。



●初期画面（オープニング画面）が表示されます。



● ナビゲーション画面が表示されます。
● 初めて本機を起動したときは、簡単初期設定ガイド画面が表示されます。(P.2-1参照)

アドバイス

●ナビゲーションの画面が表示されないときは、現在地を押してください。
●バッテリー交換や本機を別の車に付け替えるなど、バッテリー電源を遮断すると本機に保存されているプログラムが消去されます。この場合、次回本機の電源を入れて初期画面（オープニング画面）を表示中にプログラムの読み込みが行われます。プログラム読込みが終了するまで、そのままお待ちください。
●セキュリティ機能が設定されている時にバッテリー電源を遮断すると、次回電源をいれたときにプログラムの読み込みが終了後、パスワード確認画面が表示されます。

注 意

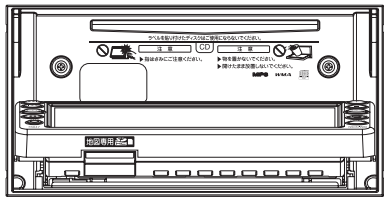
●プログラム読込みが終了するまで電源を切らないでください。
プログラムの読込み中に電源が断たれますと、ナビが起動しなくなるなど思わぬ故障の原因になります。

各部の名称とはたらき

本機はパネルに配置しているボタンを押したり、画面に表示されるタッチスイッチを直接タッチして操作します。



ディスプレイを閉じている状態



ディスプレイを開いている状態

●操作ボタンについて

① TUNE・TRACKボタン
テレビ・ラジオの放送局の選局、またはディスクの選曲を行うときに押します。

② オーディオ・PWRボタン
オーディオ操作画面を表示するときに押します。また、オーディオ機能の電源をONしたり、OFFしたいときは押し続けます。

③ インジケータランプ
セキュリティ機能を設定すると、お車を離れた際にランプが点滅して盗難を抑止します。

④ ミニプラグコード端子
市販のミニプラグコードで、市販のポータブルオーディオなどを接続できます。

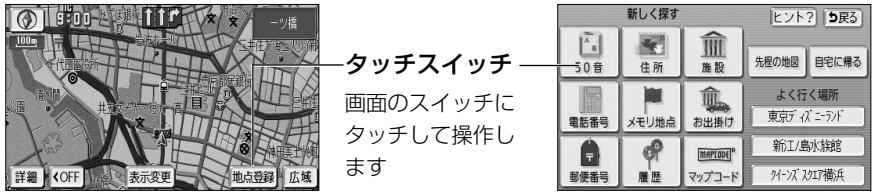
⑤ VOLボタン
テレビ、オーディオ機能の音量を調整するときに押します。

⑥ 現在地ボタン
ナビゲーションを呼び出し、現在地画面を表示するときに押します。現在地を表示しているときは、現在地の地名を表示します。またルート案内中であれば再び音声案内を聞いたり、交差点拡大図を見ることができます。

⑦ メニュー・画質ボタン
ナビメニューを表示するときに押します。また、画面の明るさを調整したり画面の表示を消したいときは押し続けます。

⑧ OPENボタン
ディスクの差し込みや取り出し、ディスプレイの角度を調節する画面を表示するときに押します。ディスプレイが開いているときに押すとディスプレイが閉じます。

●タッチスイッチについて



・ナビゲーションの画面では、タッチスイッチは“ピッ”という音が鳴るまでタッチしてください。
・画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
・スイッチの反応がないときは、一度画面から手をはなしてから再度タッチしてください。
・操作できないタッチスイッチは色が反転します。
・スイッチの機能が働いているときは、タッチスイッチが強調表示されるものもあります。
・１つ前の画面に戻すときは 戻る にタッチします。

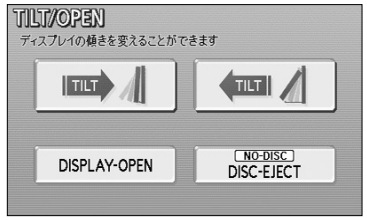
<本書でのスイッチ表示>
・タッチスイッチにタッチするときは、 ○○○ でスイッチ名称を表示しています。

ディスク・SDメモリーカードの出し入れ

音楽をお聞きになるときは音楽CD、ＳＤメモリーカードからメモリ地点を登録するときはＳＤメモリーカードを、各差し込み口に入れてください。
ナビゲーションをお使いになるときは、ディスプレイ部の差し込み口に地図ＳＤメモリーカードを入れてください。

1 CDの出し入れを行うには

CDの出し入れは、ディスクの出し入れを行う画面を表示させてから行います。



（1） OPEN を押します。

● ディスクの出し入れを行う画面が表示されます。

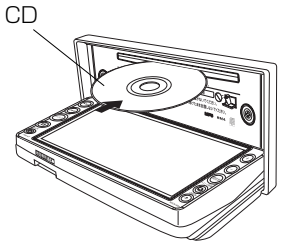
（2） DISPLAY-OPEN にタッチします。

アドバイス

ディスクが差し込まれていない場合は、スイッチに「NO－DISC」と表示されます。

● ディスプレイ部が開き、ディスクの差し込み口があらわれます。

CDを差し込む



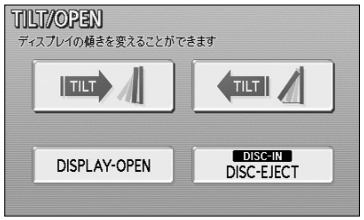
（3） 差し込み口にCDを差し込みます。

● CDはラベル面を上にして差し込み口に差し込みます。

● ディスクが完全に差し込まれるとディスプレイ部は自動的に閉まり、差し込まれたCDの再生が開始されます。

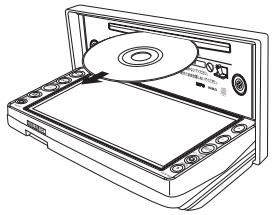
・CDの操作については、P.10-1を参照。

はじめに



（4）CDを取り出す場合は、**1**の（2）の画面で DISC-EJECT にタッチします。

CDを取り出す



- ディスプレイ部が開き、ディスクが自動的に押し出されます。
- ディスプレイ部が開いている状態でも、DISC-EJECT にタッチするとディスクを取り出すことができます。

（5）OPEN を押すとディスプレイ部が閉じます。

アドバイス

エンジンスイッチがOFF の場合でも、OPEN を押すと一度だけディスプレイを閉じることができます。

注 意

- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などにディスプレイ部に体が当たるなどして思わぬケガをするおそれがあります。
- ディスクを取り出すとき、ディスクが押し出された状態のままディスプレイ部を閉じないでください。ディスクを傷つけるおそれがあります。
- ディスプレイ部を手で閉めないでください。また、ディスプレイ部の開閉時に指がはさまれるおそれがあります。ご注意ください。



- 既にCDが挿入されている差し込み口にさらにCDを挿入しないでください。故障の原因になります。
- 本機の金属部分は高温になるため、手を触れないでください。ディスプレイ部の裏側など高温のため、やけどをするおそれがあります。

アドバイス

- **CD差し込み口にはCD以外は入れないでください。**
  本機内部は精密な構造になっていますので、CD以外は絶対に入れないでください。故障の原因になります。
- **ディスクレーベル面に［CDロゴ］（下記のマーク）の入ったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。CD規格外ディスクを使用された場合には再生の保証は致しかねます。また、再生できた場合であっても音質の保証は致しかねます。**
- **再生できるCDについて**
  下記のマークのついた音楽用CDやCD-R（CD-Recordable）/CD-RW（CD-ReWritable）がご使用できます。
  8cmCDもご使用いただけます。

COMPACT disc DIGITAL AUDIO
COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT
COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable
COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable
COMPACT disc Recordable

- **記憶部分に透明または半透明部分があるCD、C-thru Discは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますのでご使用にならないでください。**
- **CCCD（Copy Control CD）は正式なCD規格に準拠していないため再生できない場合があります。**
  ご使用になる前に必ずディスクに付属されている説明書などをお読みください。

COPY CONTROL CD　コピーコントロール CD

- **本機では、スーパーオーディオCD（SACD）には対応しておりません。右のロゴ表示のあるスーパーオーディオCD（SACD）は、通常のCDと構造が異なるため、再生できない場合があります。**

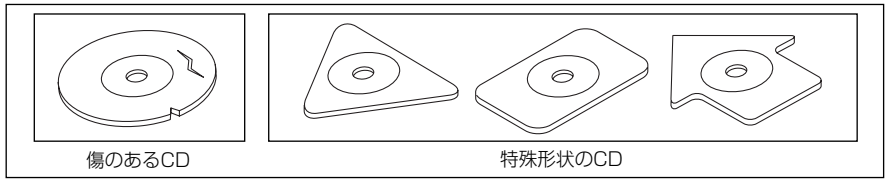
SUPER AUDIO CD

- **本機では、DTS-CDには対応しておりません。再生の保証は致しかねます。**
- **CD-R/RWディスクのご使用について**
  - 市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたディスクはご使用にならないでください。
  - CDレコーダー（CD-R/RWドライブ）で記録したCD-R/RWは、その特性・汚れ・指紋・傷などにより、再生できない場合があります。
  - CD-R/RWは、通常の音楽CDに比べて高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
  - ディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意書きをよくお読みください。
  - ビデオCDは、再生できません。

はじめに

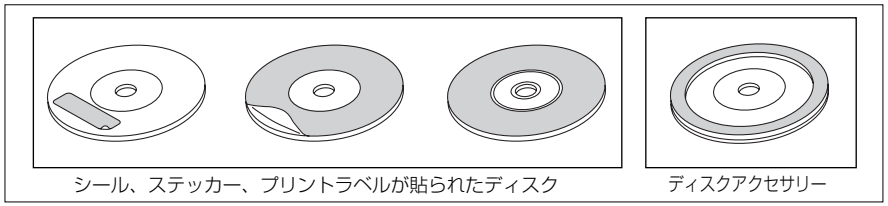
アドバイス

●市販されているピックアップレンズクリーナーはご使用にならないでください。
本機に使用しますと故障の原因になります。
●市販されているプロテクトフィルムやスタビライザーはご使用にならないでください。
本機に使用しますと故障の原因になります。
●画面保護のため、ディスプレイ部は必ずお閉めください。
●特殊形状のディスクはご使用にならないでください。
三角形や四角形、矢印型など特殊形状のディスクや傷のついたディスクは再生できません。本機に使用しますと故障の原因になります。



傷のあるCD　　特殊形状のCD

●ディスクのアクセサリーについて
音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリー（ディスクリング、保護シール）はご使用にならないでください。また、プリントラベル類や紙、ステッカーなどが貼られたディスクはご使用にならないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わったり、内部でステッカーなどがはずれたり、ディスクがそり、取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

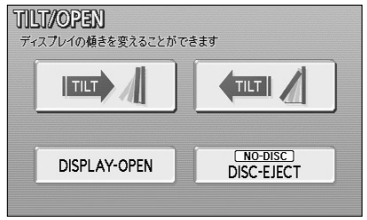


シール、ステッカー、プリントラベルが貼られたディスク　　ディスクアクセサリー

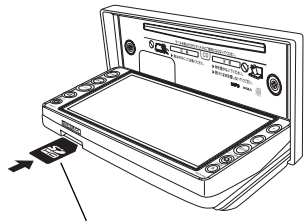
●ご使用前にディスクをご確認ください
ディスクを差し込む前に、表面のほこりやゴミ、指紋などを取り除いてください。また、異物が付着していないかご確認ください。

2 SDメモリーカードの出し入れを行うには

ＳＤメモリーカードの出し入れは、ディスクの出し入れを行う画面を表示させてから行います。



SDメモリーカードを差し込む



SDメモリーカード

（1） OPEN を押します。

● ディスクの出し入れを行う画面が表示されます。

（2） DISPLAY-OPEN にタッチします。

● ディスプレイ部が開き、SDメモリーカードの差し込み口があらわれます。

（3） 差し込み口にSDメモリーカードを差し込みます。

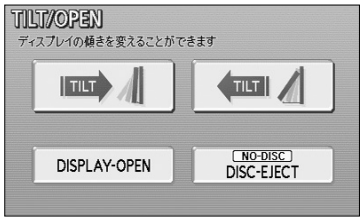
● ＳＤメモリーカードはラベル面を上にして差し込み口に差し込みます。

● ＳＤメモリーカードは差し込み口に奥まで差し込みます。

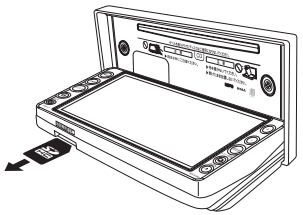
● OPEN を押すとディスプレイ部が閉じます。

1 はじめに
ディスク・SDメモリーカードの出し入れ

はじめに



SDメモリーカードを取り出す



(4) ＳＤメモリーカードを取り出す場合は、**2**の（2）の画面で DISPLAY-OPEN にタッチします。

● ディスプレイ部が開き、SDメモリーカードの差し込み口が あらわれます。

(5) ＳＤメモリーカードを押すと、ＳＤメモリーカードが押し出されます。

● OPEN を押すとディスプレイ部が閉じます。

アドバイス

エンジンスイッチがＯＦＦの場合でも OPEN を押すと一度だけディスプレイを閉じることができます。

注 意

●ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などにディスプレイ部に体が当たるなどして思わぬケガをするおそれがあります。

●SDメモリーカードを取り出すとき、SDメモリーカードが押し出された状態のままディスプレイ部を閉じないでください。SDメモリーカードを傷つけるおそれがあります。

●ディスプレイ部を手で閉めないでください。また、ディスプレイ部の開閉時に指がはさまれるおそれがあります。ご注意ください。



●本機の金属部分は高温になるため、手を触れないでください。ディスプレイ部の裏側など高温のため、やけどをするおそれがあります。

アドバイス

●SDスロットにはSDメモリーカード以外は入れないでください。
本機内部は精密な構造になっていますので、SDメモリーカード以外は絶対に入れないでください。故障の原因になります。

●SDメモリーカードには、プリントラベル類や紙、ステッカーなどを貼らないでください。
SDメモリーカードの厚さや外形寸法が変わったり、内部ではずれて取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

●画面保護のため、ディスプレイ部は必ずお閉めください。

●SDメモリーカードについて
本機には地図ＳＤメモリーカード（P.4-56参照）が付属しています。
また、本機は市販のＳＤメモリーカードおよびＳＤＨＣメモリーカードを使用して、メモリ地点移行（P.4-39参照）を行うことができます。
本機で使用できる市販のSDメモリーカードおよびＳＤＨＣメモリーカードは、次の条件を満たしているものに限ります。この条件から外れた場合は、本機で正しく動作する保証はできません。なお、本機では専用アダプターを用いた場合のみminiSDカード/microSDカード/miniSDHCカード/microSDHCカードをご使用になれますが、マルチメディアカード（MMC）はご使用になれませんのでご注意ください。

■対応SDメモリーカード
8MB/16MB/32MB/64MB/128MB/256MB/512MB/1GB/2GB

■対応SDHCメモリーカード
4GB/6GB/8GB/12GB/16GB/32GB
・本機は、2GBを超えるSDメモリーカード、32GBを超えるSDHCメモリーカードには対応しておりません。
・カード寿命や不良品によりSDメモリーカードが正常に動作しない場合には、再度抜き差ししてください。

■推奨フォーマットソフトウェア
・Panasonic SDメモリーカードフォーマットソフトウェア V2.0以降
上記以外のソフトでフォーマットされたSDメモリーカードで、SD規格に準拠していない場合は本機で使用できないことがあります。また、使用できた場合でも、動作は保証できません。

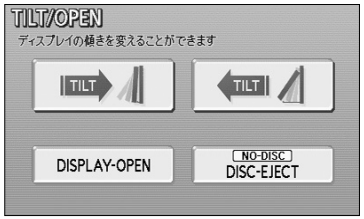
●本機では、SD AUDIOやデジタルカメラなどの音楽・動画再生機能には対応しておりません。

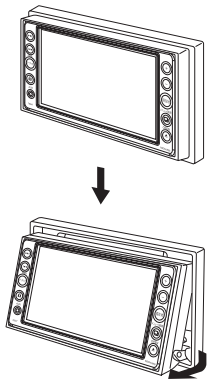
ディスプレイの角度を調整するには

画面が見えにくいときにディスプレイの角度を3段階で調整することができます。

（1） OPEN を押します。

● ディスプレイの角度を調整する画面が表示されます。





（2） TILT または TILT にタッチします。

● ディスプレイが斜め上方に1段階（7°）傾きます。

● TILT または TILT にタッチするごとに1段階ずつ傾きます。
傾きが3段階目のときは TILT が反転し、傾きが0段階目のときは TILT が反転します。

● OPEN を押すと、もとの画面に戻ります。

アドバイス

●ディスプレイが傾いている状態でも、OPEN を押してから TILT または TILT にタッチするとディスプレイは傾きます。

●ディスプレイを傾けた状態でエンジンスイッチをOFFにすると、自動的に傾いていない状態になります。次にエンジンスイッチをACCまたはONにしたときは、傾いた状態に戻ります。

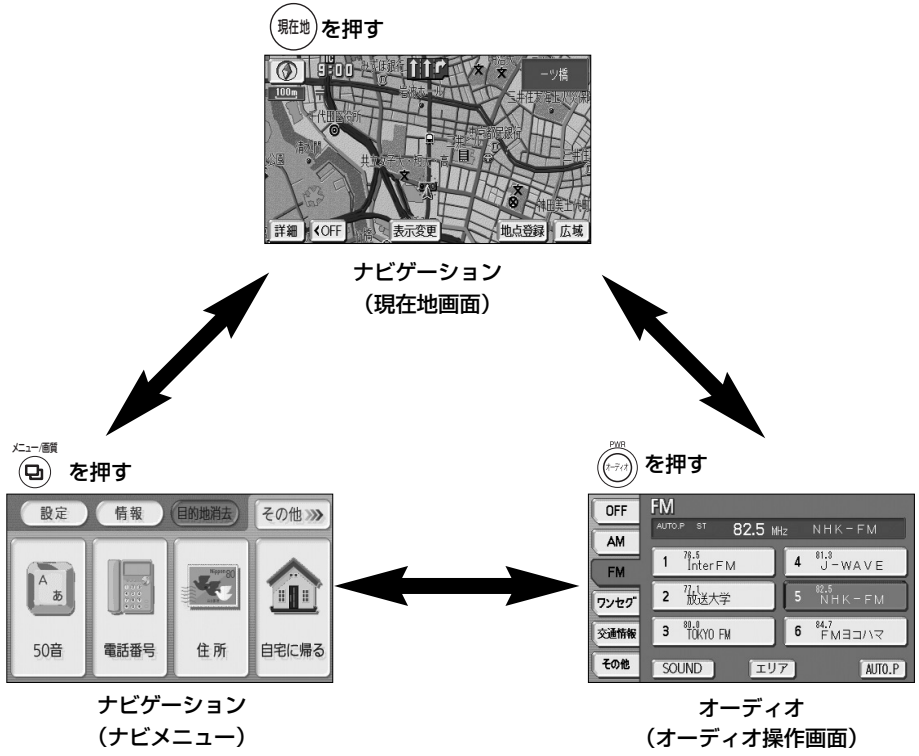
注 意

●ディスプレイの角度調整をするときは、手などをはさまないように注意してください。けがの原因や、故障の原因になります。

●ディスプレイが傾いている状態では、ディスクやSDメモリーカードの差し込み口が見えることがありますがディスクやSDメモリーカードなどを絶対に差し込まないでください。故障の原因になります。

ナビゲーション・オーディオの切り替え

ナビゲーション・オーディオの画面や音声は、下記のとおり切り替えられます。
（ナビゲーションの画面に切り替えたときは、それまでに聞いていた音声が継続して聞けます。）



画面	主な機能
ナビゲーション（現在地画面）	・現在地の表示 ・目的地への案内
ナビゲーション（ナビメニュー）	・目的地の設定 ・メモリ地点の登録、編集
オーディオ（オーディオ操作画面）	・オーディオ（ラジオ、CDやテレビ）の切り替え ・オーディオの操作（チャンネルの切り替えなど）

本機の機能はエンジンスイッチの位置など次の条件により操作できる場合とできない場合があります。

エンジンスイッチ	ナビゲーション・現在地画面	テレビ	オーディオ
OFF	×	×	×
ACC	○	○ パーキングブレーキがかかっている場合のみ	○
ON 停車中	○	○ パーキングブレーキがかかっている場合のみ	○
ON 走行中	安全上の配慮から操作できなくなる機能があります	安全上の配慮から音声だけになります	安全上の配慮から操作できなくなる機能があります

○：操作できます
×：操作できません

注 意

エンジンスイッチがACCのときはバッテリーあがりにご注意ください。
エンジンを停止させたまま、本機を長時間作動させることは避けてください。
バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。

アドバイス

走行中、操作できないタッチスイッチは色が反転し、タッチしても操作できません。

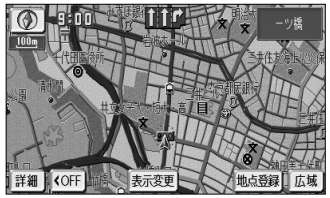
画面の調整

画面の明るさや色の調整、またテレビのワイド画面サイズの切り替えなどができます。

アドバイス

画面を見やすくするため、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の点灯・消灯により<昼画表示>と<夜画表示>に切り替わります。

昼画表示



ライト点灯 →
← ライト消灯

夜画表示



1 ライト点灯時に昼画表示にするには



（1） 夜画を表示しているときに メニュー/画質 をピッと音が鳴るまで押し続けます。

（2） 昼画面 にタッチします。

- 昼画表示のときは、作動表示灯が点灯します。
- 昼画面 にタッチするごとに昼画面と夜画面が切り替わります。
- 画面を消したいときは 画面消 にタッチします。
  現在地 を押すと再び画面が表示されます。

（3） 調整完了 にタッチします。

はじめに

2 コントラスト（鮮明度）／明るさを調整するには



（1） メニュー/画質 をピッと音が鳴るまで押し続けます。

■ **コントラスト（鮮明度）を調整する**
強くするときは 強 、弱くするときは 弱 にタッチします。

■ **明るさを調整する**
明るくするときは 明 、暗くするときは 暗 にタッチします。

● 調整が終了したら 調整完了 にタッチします。

アドバイス

コントラスト／明るさ調整は、昼画面・夜画面でそれぞれ独立して調整することができます。

3 色合い／色の濃さを調整するには



（1） テレビをご覧になっているときに メニュー/画質 をピッと音が鳴るまで押し続けます。

■ **色合いを調整する**
緑色を強くするときは 緑 、赤色を強くするときは 赤 にタッチします。

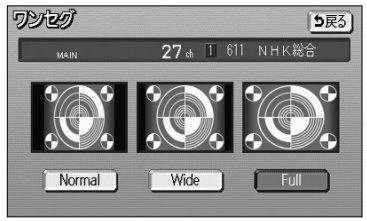
■ **色の濃さを調整する**
色を濃くするときは 濃 、色を淡くするときは 淡 にタッチします。

● 調整が終了したら 調整完了 にタッチします。

アドバイス

色合い／色の濃さは、テレビ/カメラ（バックガイドモニター／バックモニター）の映像画面が表示されているときのみ調整できます。

4 テレビのワイド画面モードを切り替えるには



（1） テレビの放送局リスト画面（P.8-6参照）で WIDE MODE にタッチします。

（2） 表示させたい画面モードにタッチします。



● Normal にタッチすると、たて3：よこ4の割合の画面で両端が黒く表示されます。
たて3：よこ4の割合の映像は、オリジナルと同じ比率で表示されます。
たて9：よこ16の割合の映像は、左右方向に圧縮されます。



● Wide にタッチすると、たて9：よこ16の割合の画面が表示されます。
たて3：よこ4の割合の映像は、左右方向に均等に引き伸ばして表示されます。
たて9：よこ16の割合の映像は、オリジナルと同じ比率で表示されます。



● Full にタッチすると、画面を全て使用した映像が表示されます。
たて3：よこ4の割合の映像は、左右方向に均等に引き伸ばして表示されます。
たて9：よこ16の割合の映像も、左右方向に均等に引き伸ばして表示されます。

注 意

テレビ番組や映画などの映像比率と異なるモードを選択されますとオリジナル映像と見え方に差が出ることをご留意ください。また、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の（分割表示や）圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

はじめに

画面の設定

アニメーションの設定、オーディオ操作画面（P.7-3参照）の設定を行うことができます。

1 画面に動きを持たせるには

スイッチにタッチしたときに、アニメーションによって画面に動きを持たせることができます。



（1） ナビメニュー（P.2-8参照）から、 情報 にタッチします。

● 情報のメニュー画面が表示されます。

（2） 設定 にタッチします。



● 設定画面が表示されます。

（3） 画面切り替え時の動画表現の する にタッチします。

● 設定したタッチスイッチは強調表示されます。

（4） 完了 にタッチします。

＜動画表現の例＞

●画面切り替え時の動画表現を「する」に設定すると、操作時に画面が以下のように切り替わります。

＜アニメーション＞

特定のスイッチにタッチしたときに行われます。



2 画面の表示設定をするには

オーディオ操作画面を表示させてから一定時間後に表示を解除して元の画面に戻るか、表示をそのまま継続するかの設定ができます。



（1） 1 の（3）の画面で、オーディオ操作画面の表示を一定時間後に自動的に解除したいときはオーディオ操作画面継続表示の しない にタッチします。

● 継続して表示させたままにしたいときは する にタッチします。

● 設定したタッチスイッチは強調表示されます。

（2） 完了 にタッチします。

アドバイス

●ディスクの出し入れを行う画面（P.1-14参照）などを表示中にオーディオ操作画面を表示して自動解除が行われた場合は、ディスクの出し入れを行う画面を表示する前に表示していた画面を表示します。

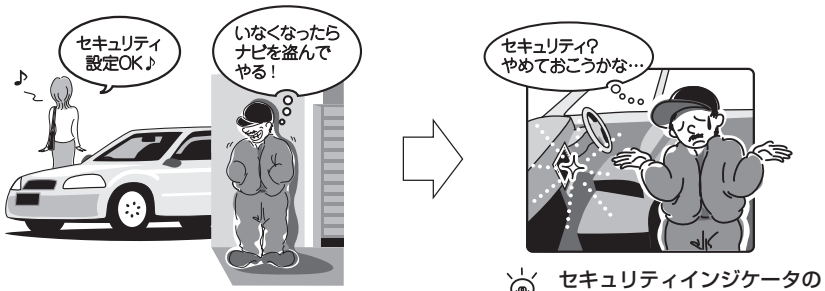
●オーディオ操作画面継続表示を「しない」に設定しているときは、操作画面を表示させてからおよそ20秒以上（テレビの操作画面は6秒以上）何も操作しなかったときに、自動的に解除され、もとの画面に戻ります。

はじめに

セキュリティ機能の設定

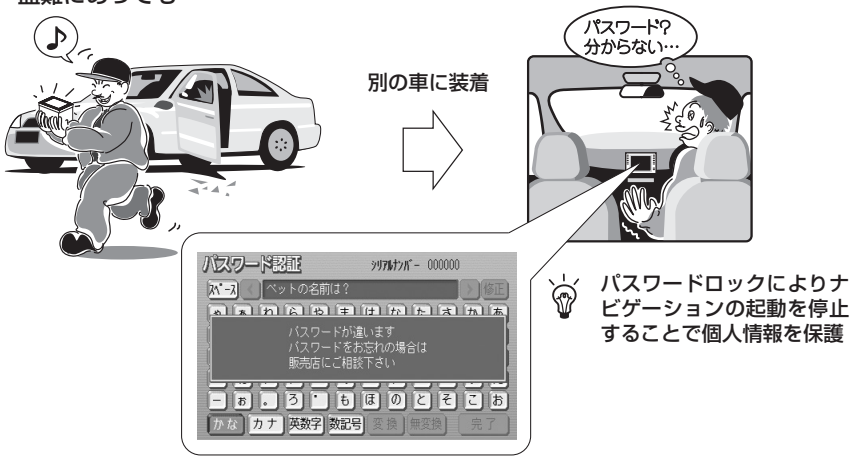
セキュリティ機能を設定すると、バッテリーターミナルをはずし、再度接続した場合に、ナビゲーションやオーディオなどの機能をロック（使用不可）することができます。エンジンスイッチがOFFのときはインジケータランプを点滅させることができます。また、表示されるシリアルナンバーを控えておくと、盗難などにあったとき、本機と所有者の確認をすることができます。

●お車を離れる際に



セキュリティインジケータの点滅により盗難を抑止!!

●万一盗難にあっても



パスワードロックによりナビゲーションの起動を停止することで個人情報を保護

アドバイス

- ●設定したパスワードは忘れないように控えておいてください。
- ●万一パスワードを忘れた場合は、販売店へご相談ください。
- ●すでにパスワードが設定されている場合は、パスワードの変更ができます。

1 起動パスワードを設定・解除するには

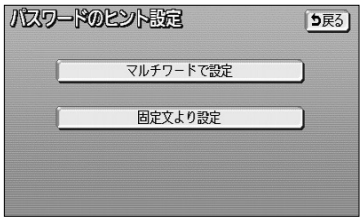
●起動パスワードを設定する

（1） P.1-27の 1 の（3）の画面で、セキュリティの 設定する にタッチします。



（2） セキュリティ機能の 設定 にタッチします。

- ● 初期状態では、セキュリティ設定はされておりません。
- ● すでに設定されている場合は、 設定 にタッチすると、パスワード入力画面が表示されますので、パスワードを入力してください。
- ● シリアルナンバーが表示されます。盗難などにあったとき、本機と所有者の確認をすることができます。



（3） マルチワードで設定 または 固定文より設定 にタッチします。

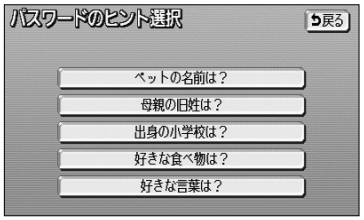
●マルチワードで設定



（4） マルチワードで設定の場合は、設定したいヒントを1文字ずつタッチして入力します。
固定文より設定の場合は、設定したいヒント文にタッチします。

- ● パスワード入力画面に表示するヒント文に設定されます。
- ● 文字の入力方法は、P.4-27～P.4-28を参照してください。
- ● 入力できる文字数は、最大12文字（半角24文字）です。

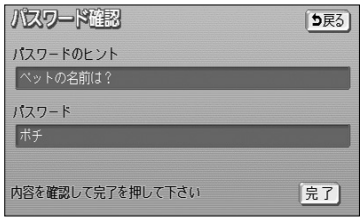
●固定文より設定



はじめに



(5) パスワードを1文字ずつタッチして入力します。



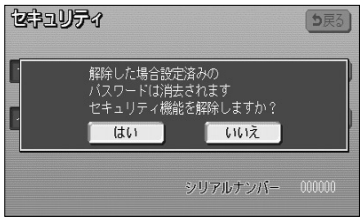
(6) パスワードのヒントとパスワードを確認して、 完了 にタッチします。

● ヒント、パスワードが設定されます。

●起動パスワードを解除する



(1) セキュリティ機能の 解除 にタッチします。



(2) はい にタッチします。

● いいえ にタッチすると（1）の画面に戻ります。



(3) 設定したパスワードを1文字ずつタッチして入力します。

● パスワードが一致すると、セキュリティ機能が解除されます。

2 インジケータランプの点滅を設定・解除するには

●インジケータランプの点滅を設定する



(1) P.1-30の 1 の（2）の画面で、インジケータの ON にタッチします。

● エンジンスイッチをOFFにするとインジケータランプが点滅するようになります。

アドバイス

●セキュリティ設定がされていない場合は、 OFF に設定されており、インジケータの設定は行えません。
●セキュリティ機能を設定すると、自動的にインジケータの設定が ON に設定されます。
●セキュリティ機能の設定内容を変更しても、インジケータの設定は現在のまま変更されません。

●インジケータランプの点滅を解除する



(1) P.1-30の 1 の（2）の画面で、インジケータの OFF にタッチします。

● エンジンスイッチをOFFにしてもインジケータランプが点滅しないようになります。

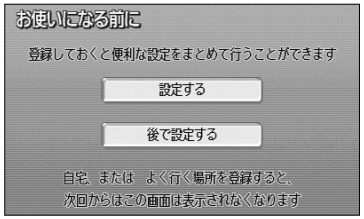
アドバイス

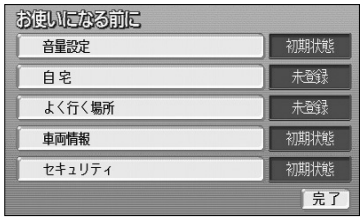
セキュリティ機能を解除すると、自動的にインジケータの設定が OFF に設定されます。

ナビゲーション

簡単初期設定ガイドについて

初めて本機を起動したときは、簡単初期設定ガイド画面が表示されます。
案内音量・自宅・よく行く場所・車両情報・セキュリティ機能の設定ができます。





簡単初期設定ガイド画面

（1） 設定する にタッチします。

- 簡単初期設定ガイド画面が表示されます。
- 後で設定する にタッチすると、簡単初期設定ガイドを終了します。

アドバイス

自宅またはよく行く場所のいずれかが登録されていない場合は、起動するたびに簡単初期設定ガイド画面が表示されます。

1 案内の音量を調節するには



（1） 簡単初期設定ガイド画面で 音量設定 にタッチします。

（2） 小、・、・、中、・、・、大 のいずれかにタッチすることにより、案内音量の設定を変更することができます。

- 設定された音量で「この音量でご案内します」の音声が発声されます。
- タッチしたタッチスイッチが強調表示になります。
- 消音 にタッチすると、案内音量OFFになります。

（3） 完了 にタッチします。

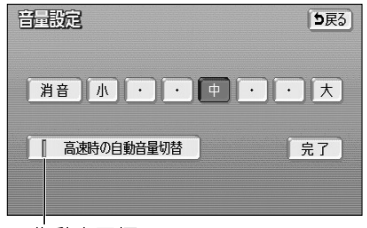
- 簡単初期設定ガイド画面に戻ります。

アドバイス

案内音量を 消音 にタッチすると「この音量でご案内します」の音声は発声されません。

2 自動音量切り替え機能を使うには

自車が80km以上で走行時に、案内音声を自動的に1段階上の音量で発声させることができます。



作動表示灯

（1） 簡単初期設定ガイド画面で 音量設定 にタッチします。

（2） 高速時の自動音量切替 にタッチすると、自動音量切替を「設定する」または「設定しない」に切り替えることができます。

- 「設定する」にしたときは、作動表示灯が点灯します。

（3） 完了 にタッチします。

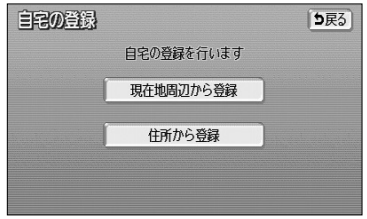
- 簡単初期設定ガイド画面に戻ります。

アドバイス

- 案内音量の設定値は変更されません。
- 案内音量が 消音 のとき、または案内音量が 大 に設定されているときは音量は切り替わりません。

3 自宅を登録するには

自宅を登録すると、簡単に自宅の地図を呼び出すことができます。(P.2-31参照)



（1） 簡単初期設定ガイド画面で 自宅 にタッチします。

- 自宅設定画面が表示されます。

（2） 地図の呼び出し方を選択します。

- 現在地周辺から登録 にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- 住所から登録 にタッチすると、住所を入力して地図の場所を検索できます。(P.3-35参照)



（3） にタッチすると、地図が移動して の位置を変更することができます。

（4） スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で セット にタッチします。

- 簡単初期設定ガイド画面に戻ります。

2 基本編
簡単初期設定ガイドについて

ナビゲーション

アドバイス

自宅が登録されていない状態でナビメニュー（P.2-8参照）の 自宅に帰る にタッチしても自宅を登録できます。

(1) ナビメニュー（P.2-8参照）の 自宅に帰る にタッチします。

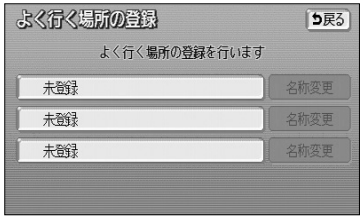
(2) はい にタッチします。
- いいえ にタッチするとナビメニューに戻ります。

(3) 音声ガイダンスをする場合は はい 、しない場合は いいえ にタッチします。
- 3 の(2)の画面が表示されます。



4 よく行く場所を登録するには

よく行く場所を登録すると、簡単にその地点の地図を呼び出すことができます。(P.2-31参照)



(1) 簡単初期設定ガイド画面（P.2-1参照）で よく行く場所 にタッチします。
- よく行く場所設定画面が表示されます。

(2) 未登録 にタッチします。



(3) 地図の呼び出し方を選択します。

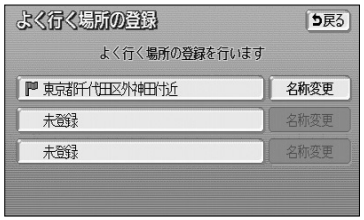
- 50音 P.3-26
- 住所 P.3-35
- 施設 P.3-30
- 電話番号 P.3-32
- メモリ地点 P.3-37
- 周辺施設 P.3-40
- 郵便番号 P.3-34
- 履歴 P.3-38
- マップコード P.3-39

※それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。

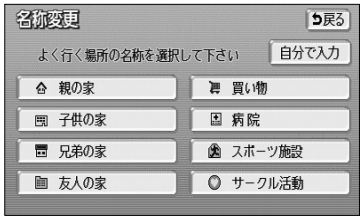
- 先程の地図 にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。
- 現在地周辺 にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- 登録済みのよく行く場所にタッチすると、よく行く場所周辺の地図が表示されます。

(4) にタッチすると、地図が移動して の位置を変更することができます。

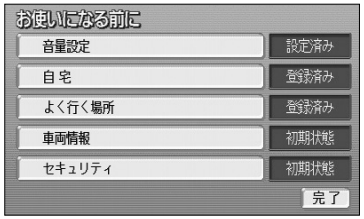
(5) スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で セット にタッチします。
- よく行く場所が登録されます。
- 手順（2）で、すでに地点が登録されているリストを選んだ場合は、新しく選んだ地点が上書きされます。



(6) よく行く場所設定画面（P.2-3参照）で、名称を変更したい地点の右の 名称変更 にタッチします。



(7) 名称リストから変更したいスイッチをタッチします。
- タッチされたリストの名称とマークに変更されます。
- 自分で名称を変更するには、 自分で入力 にタッチすると、お好みの名称を入力できます。名称の入力方法は、P.4-27を参照してください。



(8) 登録が完了したら、 戻る （ナビメニューから登録した場合は 完了 ）にタッチします。
- 簡単初期設定ガイド画面に戻ります。

5 車両情報を設定するには

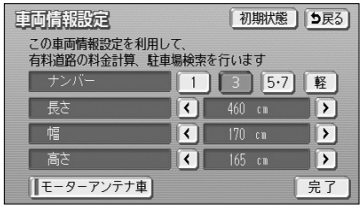
入庫可能な駐車場を検索するときの条件、および有料道路の料金を計算するときの基準となる車両情報を設定します。**目的地が設定されているときは、車両情報を設定することはできません。**



(1) 簡単初期設定ガイド画面（P.2-1参照）で 車両情報 にタッチします。

(2) 1 、 3 、 5・7 、 軽 にタッチして、お使いの車両のナンバーを設定します。
- 初期設定は、 5・7 に設定されています。

(3) ◀ 、 ▶ にタッチして、車両の長さ、幅、高さを設定します。
- 初期状態 にタッチすると、車両情報設定が初期状態に戻ります。



(4) お使いのお車がモーターアンテナ車の場合は、 モーターアンテナ車 にタッチして、モーターアンテナ車の設定を「ON」にします。
- 初期設定は、「OFF」に設定されています。
- モーターアンテナ車設定が「ON」のときは、作動表示灯が点灯します。
- モーターアンテナ車 にタッチするごとにモーターアンテナ車設定の「ON」と「OFF」が切り替わります。

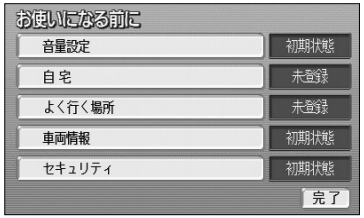
(5) 完了 にタッチします。
- 簡単初期設定ガイド画面に戻ります。

アドバイス

- ●車両情報の設定は、次の機能が行われるときの基準となります。
  - ・入庫可能な駐車場の検索（P.3-27参照）
  - ・均一区間の料金表示（P.2-13参照）
  - ・現在地画面の料金案内（P.4-11参照）
  - ・ルート情報画面の料金表示（P.3-18参照）
  - ・全ルート表示画面の合計料金表示（P.2-32の 1 の画面、P.2-33の 2 の（4）の画面）
- ●モーターアンテナ車の設定が「ON」の場合、オーディオをOFFにするとアンテナが下がり、VICS情報が受信できなくなります。
- ●モーターアンテナ車の設定が「OFF」の場合、オーディオをOFFにしてもVICS受信のためにアンテナがのびたままになりますのでご注意ください。

6 セキュリティ機能を設定するには

セキュリティ機能の設定やセキュリティインジケータの点滅の設定をすることができます。

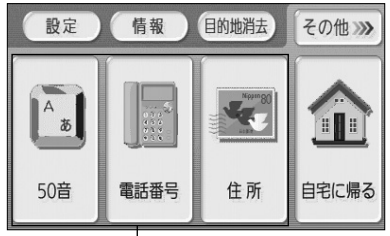


(1) 簡単初期設定ガイド画面（P.2-1参照）で セキュリティ にタッチして設定します。

● 詳細は、P.1-29～P.1-32を参照してください。

ナビメニューについて

1 ナビメニューについて



新しく探す（目的地設定）

(1) メニュー/画質 を押すと、ナビメニューが表示されます。

● ナビメニューから以下の操作を行うことができます。

項目（タッチスイッチ）	機　能	ページ
設定	設定画面の表示	2-9
情報	情報画面の表示	5-1
目的地消去※1	目的地の消去	3-6
新しく探す（目的地設定）※2	目的地を設定する	3-26～3-44
自宅に帰る	自宅を登録する（未登録時）	2-2
	自宅を目的地に設定（登録済み時）	2-31
その他	地図索引機能を使って目的地を設定する	2-30

※1　目的地が設定されていないときは、色が反転して、タッチしても操作できません。
※2　新しく探すスイッチはカスタマイズすることができます。(P.4-18参照)

2 設定画面について



（1） 1 の（1）の画面で 設定 にタッチします。

● 設定画面が表示されます。
設定画面から、以下の操作を行うことができます。

項目（タッチスイッチ）	機　能	ページ
案内中止／案内再開※	ルート案内の中止・再開	3-24
音量設定	音量設定	3-25
メモリ地点	メモリ地点の登録・修正・消去	4-21～4-32
	迂回メモリの登録・修正・消去	4-33～4-38
VICS	VICS文字情報・図形情報の表示	4-48～4-49
	割り込み情報の表示	4-49～4-50
	VICS提供放送局の選択	4-50～4-51
ナビ設定	ナビゲーションの各種設定	4-1～4-17
新しく探すカスタマイズ	ナビメニューの新しく探すスイッチの選択	4-18
ショートカット設定	ショートカットスイッチの選択	4-19

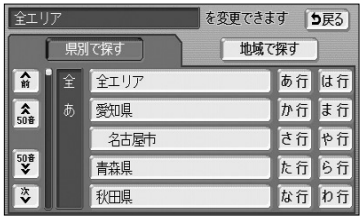
※　目的地が設定されていないときは、色が反転し、タッチしても操作できません。

リスト画面の切り替え方



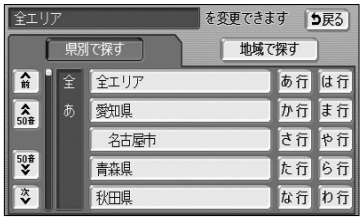
▲・▼の切り替え表示

▲、▼にタッチすると、１項目ずつリストが動きます。



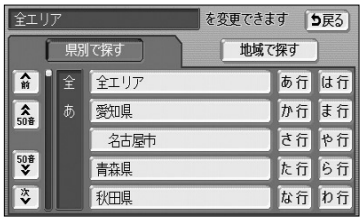
前・次の切り替え表示

▲前、▼次にタッチすると、１項目ずつリストが動きます。



50音順の切り替え表示

▲50音、▼50音にタッチすると、「あ→い」というように次の音に飛ばしてリストが動きます。



行の切り替え表示

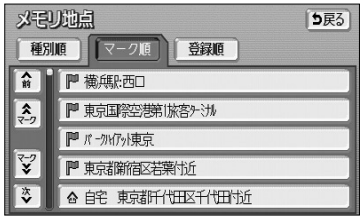
あ行、か行、さ行、た行、な行、は行、ま行、や行、ら行、わ行にタッチすると、「あ行→か行」というようにタッチした行に飛ばしてリストが動きます。

● リストがない行のタッチスイッチは色が反転し、タッチしても操作できません。



ページの切り替え表示

ページ 、 ページ にタッチすると、１ページずつリストが動きます。



マークの切り替え表示

マーク 、 マーク （ 種類 、 種類 ）にタッチすると、次のマークに飛ばしてリストが動きます。



地域の切り替え表示

北海道 、 東北 、 関東 、 中部 、 近畿 、 中四国 、 九州 にタッチすると、タッチした地域に飛ばしてリストが動きます。



施設項目切り替え表示

食事 、 店 、 車 、 宿泊 、 遊び 、 公共 、 交通 、 文化 、 他 にタッチすると、タッチした施設項目に飛ばしてリストが動きます。

- リストがない施設項目のタッチスイッチは色が反転し、タッチしても操作できません。
- ○○全て にタッチすると、その項目のすべての施設が選択されます。
- 全ジャンル にタッチすると、すべての施設が選択されます。

スイッチの意味がわからないときには

画面に表示されているスイッチの機能について、使い方や機能などのヒント（説明）を表示することができます。

(音量設定の場合の例)







（1） ヒント? が表示されている画面で、 ヒント? にタッチするとヒントモードになります。

アドバイス

画面によっては ヒント? が表示されないものもあります。

- ヒントが表示されるスイッチが黄色の枠で囲まれます。
- 黄色の枠で囲まれるスイッチのみヒントを表示することができます。

（2） 音量設定 にタッチします。

- 音量設定 のヒントが表示されます。
- ヒント表示中のスイッチは強調表示されます。
- ヒントが表示されるスイッチが反転している場合もヒントは表示されます。

（3） 解除? にタッチします。

- ヒントモードが解除され、（1）の画面に戻ります。
- 解除? はヒントモード中のみ表示されます。

アドバイス

- ヒントモード中に他の画面を表示した場合、ヒントモードは解除されます。
- ヒント表示中に走行を開始するとヒントは消去されます。

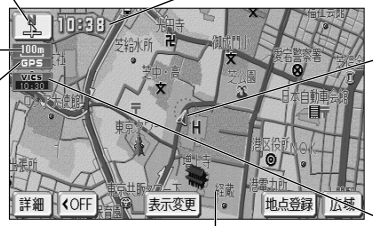
現在地を表示するには

現在地（自車位置）周辺の地図を表示します。
現在地を押すと、現在地画面が表示されます。

①方位マーク
表示している地図の向きを表示します。

②スケール表示
表示している地図の縮尺を表示します。

③ＧＰＳマーク
ＧＰＳ衛星からの電波を受信し、測位可能な場合に表示します。



④地図
現在地周辺の地図を表示します。

⑤VICSタイムスタンプ
VICS情報が提供された時刻を表示します。

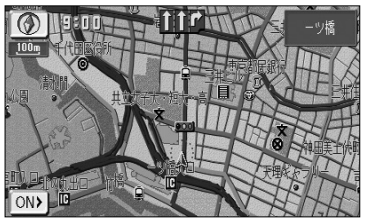
⑥自車マーク
自分の車の位置を表示します。

⑦時計表示
現在の時刻を表示します。

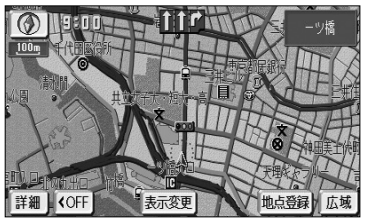
アドバイス

- 納車時および長時間バッテリーをはずしておいた場合、現在地が異なった場所を表示することがあります。この場合、手動で現在地の修正を行う（P.4-54参照）か、ＧＰＳが受信され自動で位置の修正（10分程度かかる場合があります）が行われるまでお待ちください。
- 現在地画面で 現在地 を押すと現在地付近の地名や道路名称、道路番号が表示されます。
- 50m から 1.6k までの地図縮尺で均一区間の有料道路（都市高速を除く）の料金（¥250）が表示されます。
- 地図を表示させているときに、画面のタッチスイッチを表示させないようにすることができます。
  - ・ OFF にタッチすると、タッチスイッチのない表示になります。
  - ・ ON にタッチすると、タッチスイッチが再び表示されます。

OFF にタッチしたときの表示

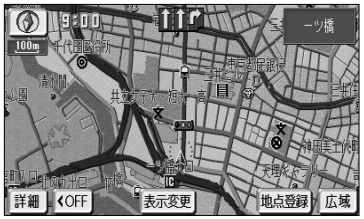


ON にタッチしたときの表示



地図スクロールするには

現在地画面または地図画面から地図をスクロール（地図移動）させ、見たい場所の地図を探します。



（１）現在地画面で地図にタッチします。



- タッチした地点が画面の中心となり、地図が移動します。移動後は地図画面となります。
- ナビ設定で「地図スクロール時の地名表示」を「する」に設定（P.4-1参照）しているときは、地図の移動後に画面中心付近の地名や道路名称、道路番号が表示されます。

アドバイス

スクロール時に表示される地名は、 50m から 6k までの地図縮尺で表示されます。



（２） 地図にタッチしてそのまま押しつづけると、画面中央のマーク の色が黄色に切り替わり、タッチした地点の方向に地図が移動します（連続スクロール）。

- 地図の中央付近にタッチしてそのまま押し続けた場合は、地図が低速で移動します。
- 地図の端にタッチしてそのまま押し続けた場合は、地図が高速で移動します。

アドバイス

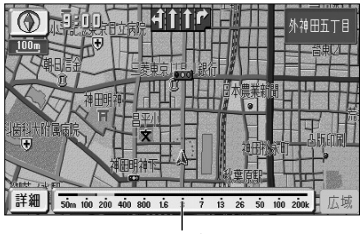
- 画面上のタッチスイッチがある場所にタッチしても地図は移動しません。
- 地図スクロール後は地図が固定され、車が移動しても地図は移動しません。 現在地 を押してください。
- 地図画面とは地図を表示している画面で、画面中央に マークが表示されます。
- 走行中は安全のため、連続スクロールはできません。
- 走行中は道路の表示量が制限されます。

ナビゲーション

地図の縮尺をかえるには

現在地画面（P.2-13参照）または地図画面（P.2-14参照）において、地図を1/5000から1/2048万までの希望の縮尺に切り替えることができます。

1 地図の縮尺をかえるには



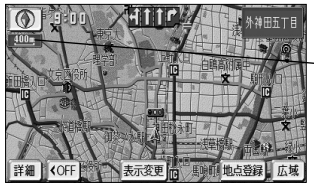
縮尺バー

（1） 地図が表示されている画面で 広域 または 詳細 にタッチして希望する縮尺を選択します。

- 広域の地図に切り替えるには 広域 にタッチします。
- 詳細の地図に切り替えるには 詳細 にタッチします。
- 縮尺バーが表示され、選択された縮尺が━（黄色）で表示されます。

アドバイス

●スケール表示と地図縮尺について
現在地画面、または地図画面の左上に表示される 400m の ── の長さが約400mであり、表示されている地図縮尺が１／４万図縮尺であることを示しています。
mはメートル、ｋはキロメートルのことを示します。



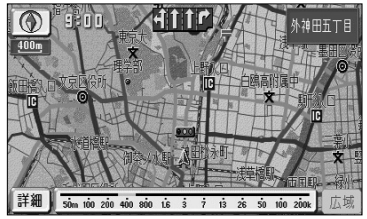
スケール表示



●地図を３D表示（P.2-19参照）にしているときに ── は表示されません。

2 フリーズーム機能を使うには

表示されているスケール表示以外の地図縮尺で地図を表示することができます。



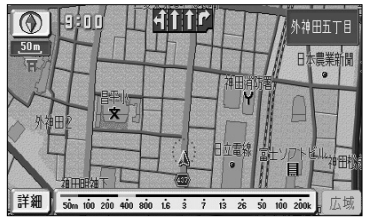
（1） 広域 または 詳細 をタッチし続けます。

- 広域 をタッチし続けると広域な地図に、詳細 をタッチし続けると詳細な地図に縮尺をかえていきます。
- タッチするのをやめると、そのときの地図縮尺が選択されます。

アドバイス

走行中は安全のため、フリーズーム機能は動作しません。

3 ダイレクト縮尺切り替え機能を使うには



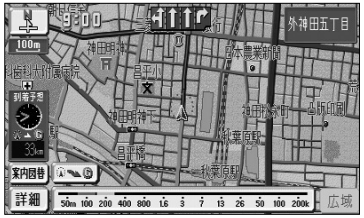
（1） 広域 または 詳細 にタッチしたあと、縮尺バーの目盛りにタッチすると、タッチした目盛りの縮尺の地図に切り替わります。

アドバイス

走行中は安全のため、ダイレクト縮尺切り替え機能は動作しません。

4 目的地表示縮尺切り替え機能を使うには

目的地を設定しているときに現在地から目的地までの地図を適切な地図縮尺で表示することができます。



（1） 広域 または 詳細 にタッチしたあと、縮尺バーの左上に表示される Ⓐ→Ⓖ にタッチします。

アドバイス

目的地を設定（P.2-28）しているときのみ Ⓐ→Ⓖ が表示されます。



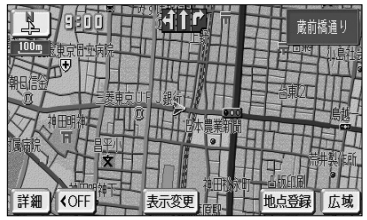
● 現在地から目的地までの地図が表示されます。

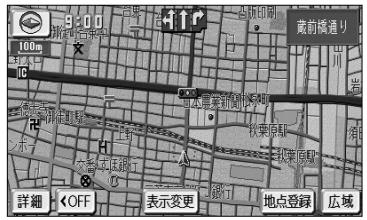
アドバイス

●3Dの地図（P.2-19参照）を表示しているときは、目的地表示縮尺切り替え機能は動作しません。
●走行中は安全のため、目的地表示縮尺切り替え機能は動作しません。
●2画面表示のときは左画面のみ目的地表示縮尺切り替えを行います。

地図の向きをかえるには

現在地画面（P.2-13参照）や地図画面（P.2-14参照）の地図の向きをかえることができます。





（1） N（または ）が表示されているときに、N（または ）にタッチすると、ヘディングアップ表示（またはノースアップ表示）に切り替えることができます。

● ノースアップ表示は画面の上方向を北に固定して地図を表示します。

● ヘディングアップ表示は、画面の上方向が自車の進行方向になるように地図を自動的に回転して表示します。

アドバイス

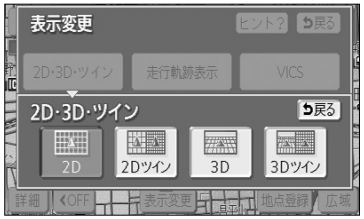
●方位マークは次のように表示されます。
ノースアップ表示 N
ヘディングアップ表示 赤色が北向き、白色が南を示します。
●地図画面ではヘディングアップ表示の時のみノースアップ表示に切り替えることができます。
●以下のような場合、地図画面でヘディングアップ表示になります。
・ヘディングアップの現在地画面で地図スクロールした場合。
・ヘディングアップの現在地画面や地図画面を表示しているとき、新しく探す画面（P.2-30参照）などから 先程の地図 にタッチした場合。

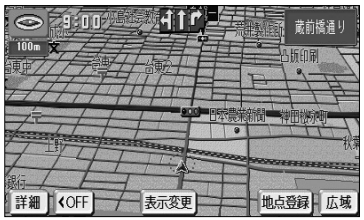
ナビゲーション

3D表示にするには

地図に遠近感をもたせて表示することができます。また、地図を見る視点をある範囲内でかえることもできます。

1 3D表示にするには





(1) 地図を表示させているときに 表示変更 にタッチします。

(2) 2D・3D・ツイン にタッチします。

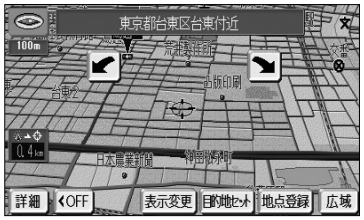
- 強調表示されているタッチスイッチが現在の画面状態です。

(3) 3D にタッチすると3D表示に切り替わります。
また、3Dツイン にタッチすると2画面表示(P.2-21参照)に切り替わり、左画面が3D表示となります。

アドバイス

- 代表的な地点（交差点、IC）の名称が吹き出しで表示されます。地図の縮尺によって表示される代表地点は異なります。
- 3D表示は、ヘディングアップ・フロントワイド表示になります。

2 オールラウンドスクロールを使うには



(1) 3D表示時に、地図にタッチします。

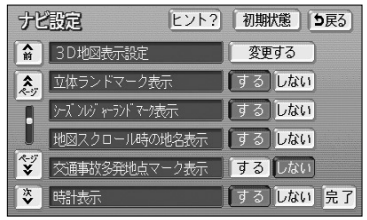
(2) または により、地図を回転させることができます。

- にタッチすると、地図が時計まわりに回転します。
- にタッチすると、地図が反時計まわりに回転します。
- (現在地)を押して現在地画面にすると、回転前の状態に戻ります。

アドバイス

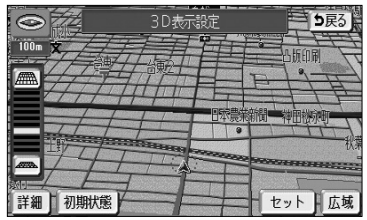
走行中は安全のため、オールラウンドスクロールを行うことはできません。

3 3D表示の視点角度を変更するには



(1) 設定画面（P.2-9参照）で ナビ設定 にタッチします。

(2) 3D地図表示設定の 変更する にタッチします。



(3) または により視点角度を変更できます。

- にタッチすると、視点の角度を上げることができます。
- にタッチすると、視点の角度を下げることができます。
- 視点角度は10段階に調整できます。
- 初期状態 にタッチすると、角度が初期設定の状態（下から4つ目の設定）に戻ります。

(4) セット にタッチします。

- 設定した視点角度で表示されます。

4 3D表示を解除するには



(1) 地図を表示させているときに 表示変更 にタッチします。

(2) 2D・3D・ツイン にタッチします。

(3) 2D にタッチすると2D表示に切り替わります。
また 2Dツイン にタッチすると2画面表示(P.2-21参照)に切り替わり、左画面が2D表示となります。

ナビゲーション

2画面表示にするには

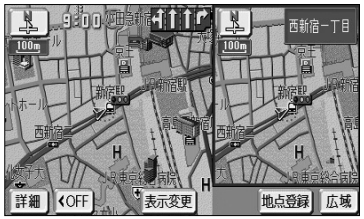
現在地画面（P.2-13参照）のときに異なる縮尺の地図を同時に表示させるなど、画面を左右に2分割して地図を表示させることができます。

1 2画面表示にするには



（1） 地図を表示させているときに 表示変更 にタッチします。

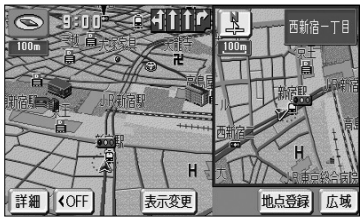
（2） 2D・3D・ツイン にタッチします。



2Dツイン

（3） 2Dツイン または 3Dツイン にタッチすると2画面表示に切り替わります。

- 左画面は1画面の時と同じ方法で操作できます。
- 1画面表示に戻すには（2）の画面で 2D （2D表示）または 3D （3D表示）にタッチします。

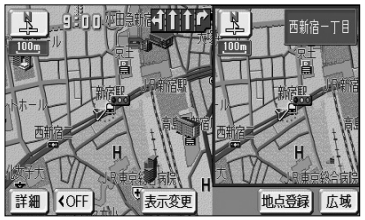


3Dツイン

アドバイス

再度2画面表示にしたときは、前回2画面表示にしていたときの縮尺で地図が表示されます。

2 右画面の操作



（1） 右画面内の地図にタッチします。



作動表示灯

（2） 次に表示された画面で、以下のことができます。

- 広域 または 詳細 にタッチすると、右画面の縮尺を切り替えることができます（P.2-15参照）。
- N または にタッチすると、右画面の地図向きを切り替えることができます（P.2-18参照）。
- 3D表示 にタッチするごとに、右画面を3D表示、または2D表示に切り替えることができます。（P.2-19参照）
  右画面が3D表示のときは、作動表示灯が点灯します。
- 周辺施設表示 にタッチするごとに、右画面の施設ランドマークを表示、または消去することができます（P.3-45参照）。
  右画面の施設ランドマークが表示状態のときは、作動表示灯が点灯します。
- VICS表示 にタッチするごとに、右画面のＶＩＣＳ情報を表示、または消去することができます（P.4-46参照）。
  右画面のＶＩＣＳ情報が表示状態のときは、作動表示灯が点灯します。

アドバイス

- 2画面表示のときは、左画面のみ地図スクロールすることができます。
- 右画面の 周辺施設表示 および VICS表示 は、左画面の施設表示、およびＶＩＣＳ表示が表示状態となっているときに操作することができます。

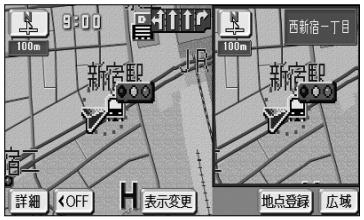
2 基本編
2画面表示にするには

地図・文字を拡大表示するには

地図や文字、施設マークを拡大して表示することができます。



（1） 地図画面を表示させているときに 表示変更 にタッチします。



（2） 拡大表示 にタッチすると地図・文字が拡大表示されます。

- 拡大表示しているときは、スケール表示と地図の大きさは異なります。
- 2画面表示しているときに拡大表示を行うと左右の画面の地図・文字がともに拡大して表示されます。

アドバイス

- ●拡大表示したときは、地図・文字が通常表示のおよそ2倍に拡大して表示されます。
- ●全ルート表示画面（P.2-35）、乗降IC指定画面（P.3-13）など、画面によって拡大表示が行われない画面もあります。



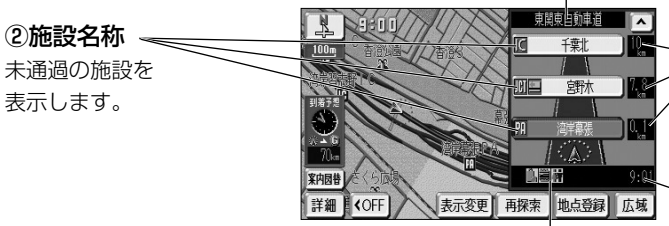


（3） （1）の画面で、 拡大解除 にタッチすると地図・文字の拡大表示が解除されます。

高速略図画面を表示するには

自車が高速道路や有料道路に進入すると、自動的に高速略図画面が表示されます。

1 高速略図画面について



①道路名称
選択した施設の存在する道路名称を表示します。

②施設名称
未通過の施設を表示します。

③設備マーク
選択した施設（ＳＡ・ＰＡのみ）に設置されている設備をマークで表示します。

④通過予想時刻
選択した施設への到着予想時刻を表示します。

⑤施設までの距離
現在地からの距離を表示します。

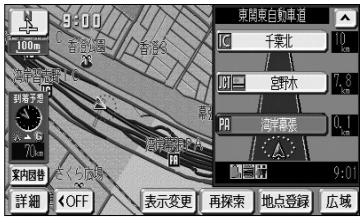
表示される設備マーク		
レストラン	ドラッグストア	仮眠施設
お風呂	キャッシュコーナー	ハイウェイ情報ターミナル
郵便局・ポスト	ＦＡＸ	ショッピングコーナー
休憩所	スナックコーナー	トイレ
ガソリンスタンド（企業マークを表示）		

アドバイス

高速略図画面の表示は常に2画面表示になります。（高速略図画面解除後は表示前の画面状態に戻ります）

2 高速略図画面の表示と解除

自車が高速道路や有料道路の本線上にあるときは、高速略図画面の解除と表示が行えます。



（1） 自車が高速道路の本線上にあるとき、 案内図替 にタッチします。

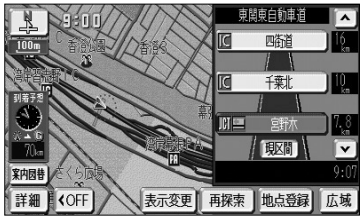
- 高速略図画面が解除されます。
- 高速略図画面を表示するには 案内図替 にタッチします。

アドバイス

- 案内図替 の詳細については、P.2-39を参照してください。
- 自車が出口ICに到達すると高速略図画面は自動的に解除されます。
- ルート案内中でないときは、都市高速道路（首都高速や名古屋高速など）や有料道路では高速略図画面を表示することはできません。

3 高速略図画面を使いこなす

未通過の施設の情報を確認することができます。



（1） 施設名称、または ▲ や ▼ にタッチすると、選択される施設が切り替わります。

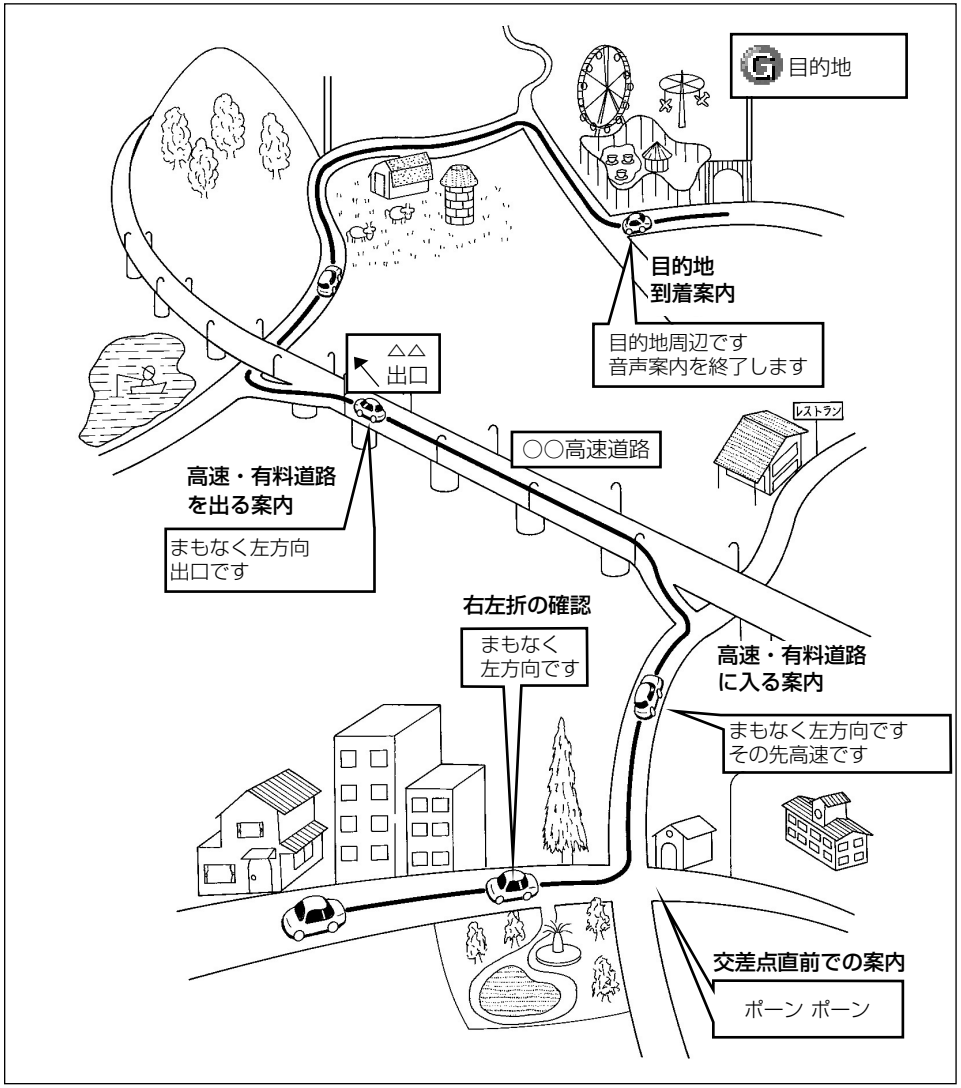
- 選択された施設が強調表示されます。
- 施設を選択したときに 現区間 にタッチすると現在地から最寄りの施設が選択されます。

アドバイス

- 自車が都市間高速道路（東名高速や名神高速など）の本線上にあるときは、ルート案内中でなくても、未通過の施設を最大10施設まで表示します。
- ルート案内中は出口ＩＣまでの施設を表示します。

ルート案内について

- 目的地を設定することによって、自動的に推奨ルートを表示します。
- ルートに沿って走行し、分岐点に接近すると音声と案内拡大図（交差点拡大図、3D高速分岐案内など）によりルート案内を行います。
  音声案内は聞きたいときに聞くこともできます。



ルート案内は次の手順で案内され、目的地付近に到着すると終了します。

●以下に示す手順は基本的な流れです。

1. 目的地を設定する（P.2-28　目的地を設定しルートを探索するには）

●行きたい場所の地図上に目的地を設定します。

地図画面



新しく探す画面



ルートが探索されます。

2. ルートを選択する（P.2-32　5ルートを確認・選択するには）

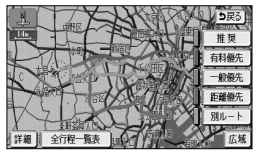
●探索されたルートを確認します。

●5本あるルートから案内ルートを選びます。

全ルート表示画面



5ルート選択画面

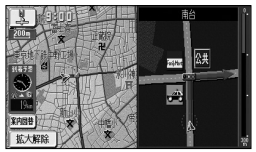


ルート上を走行すると案内が開始されます。

3. ルートを案内する（P.2-34　案内画面について）

●様々な画面と音声による案内で目的地まで誘導します。

交差点拡大図



レーンリスト図画面



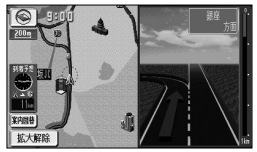
都市高マップ



ハイウェイ入口案内



3D高速分岐案内



目的地まで案内にしたがって走行します。

目的地に到着すると案内が終了します。

目的地を設定しルートを探索するには

目的地を設定するとルートを探索することができます。

1 目的地を任意地点にワンタッチで設定する



（1） 地図スクロール、 詳細 または 広域 操作により目的地を設定したい位置に ⊕ を合わせ、スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で 目的地セット にタッチします。



（2） ⇧ にタッチすると、地図が移動して ⊕ の位置を変更することができます。

（3） 目的地セット にタッチすると ⊕ の位置に目的地が設定されルート探索を開始します。



（4） すでに目的地が設定されている場合は、 新規目的地 にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され、新たな目的地として設定されます。

● 追加目的地 にタッチすると、現在設定されている目的地に追加して設定されます。P.3-3を参照してください。

アドバイス

●目的地設定ができるのは、自車から5000km以内の 800m および 800m より詳細な地図のときです。

● 800m より広域な地図で設定動作を行った場合は、自動的に 800m の地図に切り替わります。



(5) 高速道路や橋、トンネルが目的地付近に存在する場合は、 設定する または 他の道路 にタッチして、目的地を設定する場所を選択します。

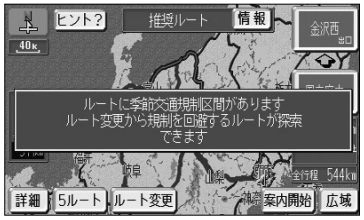


(6) 案内開始 にタッチすると、音声と画面で案内します。

- 青色で表示されているのが案内対象ルートです。ルートの種類は画面上部に表示されます。
- 案内開始 にタッチしなくても、走行を開始してから約3秒後に自動的にルート案内を始めます。

アドバイス

ルートの種類は最大で5種類表示されます。それぞれのルートの特徴については、P.2-33を参照してください。
ルートの表示色は変更することができます（P.4-7参照）。



(7) ルート上に季節規制区間が存在するときは、規制区間の道路が橙色で表示されます。規制を回避したい場合は、 ルート変更 にタッチします。

- メッセージはナビ設定（P.4-1参照）で「季節規制メッセージ表示」が「する」に設定されているときのみ表示されます。



(8) 季節規制回避 にタッチすると、季節規制を回避する探索を行います。

- 季節規制回避後は、 季節規制通過 になります。
- 季節規制区間を再度通るルートを探索する場合は、 季節規制通過 にタッチします。

アドバイス

規制区間を含む道路以外に推奨できる道路がないときは、規制を回避できないことがあります。
規制区間の道路表示色は、地図カスタマイズ（P.4-7参照）で設定しているルート色により異なります。

2 地図索引機能を使って目的地を設定する





(1) ナビメニュー（P.2-8参照）で その他 にタッチして新しく探す画面を表示します。

(2) 地図の呼び出し方を選び、目的地周辺の地図を表示させます。

- 50音 P.3-26
- 住所 P.3-35
- 施設 P.3-30
- 電話番号 P.3-32
- メモリ地点 P.3-37
- お出掛け P.3-42
- 郵便番号 P.3-34
- 履歴 P.3-38
- マップコード P.3-39

※ それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。

- 先程の地図 にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。
- 自宅に帰る にタッチすると、自宅を目的地に設定してルート探索を開始します。（P.2-31参照）
- 登録済みのよく行く場所にタッチすると、よく行く場所を目的地に設定してルート探索を開始します。（P.2-31参照）

アドバイス

ナビメニューの「新しく探す（目的地設定）」（P.2-8参照）に表示されているスイッチに、使用頻度の高いスイッチを表示して使いやすくすることができます（P.4-18参照）。



(3) にタッチすると、地図が移動して の位置を変更することができます。

(4) 目的地セット にタッチします。



(5) すでに目的地が設定されている場合は、新規目的地にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され、新たな目的地として設定されます。P.2-29の1の(6)の操作を行ってください。

- 追加目的地にタッチすると、現在設定されている目的地に追加して設定されます。
  P.3-4を参照してください。

(6) ⊕の位置に目的地が設定されルート探索を開始します。

3 自宅に帰る



(1) ナビメニュー（P.2-8参照）、または新しく探す画面（P.2-30参照）で 自宅に帰る にタッチします。

- そのまま自宅を目的地に設定してルート探索を開始します。
- すでに目的地が設定されている場合は、2の(5)の操作を行ってください。

アドバイス

自宅が登録（P.4-30参照）されていない場合、ナビメニューの 自宅に帰る をタッチすると自宅を登録する画面が表示されます。(P.2-2参照)

4 よく行く場所に設定する



(1) 新しく探す画面（P.2-30参照）で、登録済みのよく行く場所のいずれかにタッチします。

- そのままよく行く場所を目的地に設定してルート探索を開始します。
- すでに目的地が設定されている場合は、2の(5)の操作を行ってください。

アドバイス

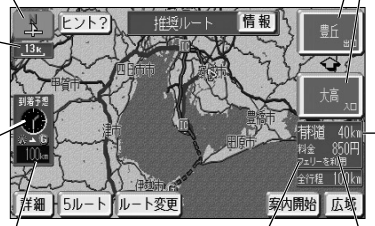
ナビメニュー（P.2-8参照）をカスタマイズして、よく行く場所のスイッチを表示することができます。(P.4-18参照)
よく行く場所が登録（P.4-30参照）されていない場合、ナビメニューでよく行く場所の 未登録 をタッチするとよく行く場所を登録する画面が表示されます。(P.2-3参照)

5ルートを確認・選択するには

案内を開始する前に、複数のルートから案内するルートを確認し選択することができます。

1 全ルート表示画面の表示

ルート探索が終了すると、自動的に全ルート表示画面が表示されます。



① 地図向き
ノースアップで表示されます。

② 地図縮尺
現在地と目的地の両方が表示される縮尺で表示します。

③ 到着予想時刻
目的地に到着する予想時刻を表示します。

④ 目的地までの距離表示
自車から目的地までの距離を表示します。

⑤ フェリー利用
目的地までのルートでフェリー航路を利用する場合に表示します。

⑥ 合計料金表示
最終目的地までにかかる有料道路の料金の合計額を表示します。

⑦ 主要利用道路情報
ルートにおいて主に利用する道路種別とその利用距離を表示します。

⑧ 乗降ＩＣ
最初に利用する入口ＩＣと最後に利用する出口ＩＣ名称を表示します。
入口ＩＣと出口ＩＣは変更することができます
(P.3-13参照)

アドバイス

- 5ルート は案内開始前のみ表示され、案内を開始すると表示されません。
  また、目的地が2つ以上設定されている場合、通過道路（P.3-8参照）や乗降ＩＣ（P.3-13参照）が指定されている場合も表示されません。
- 高速道路、有料道路を利用しない場合は、乗降ＩＣは表示されません。
- 目的地が2つ設定されているときは、目的地までの距離表示に、タッチされるごとに設定されている目的地までの距離に切り替わります。3つ以上設定されているときは、目的地までの距離表示にタッチして表示したい目的地を選択すると、選択した目的地までの距離の表示に切り替わります（P.2-36参照）。
- 案内開始後も、全ルート表示画面を表示することができます（P.2-35参照）

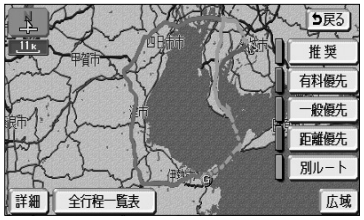
ナビゲーション

2 複数の全ルート表示を確認し案内するルートを選択する



(1) 全ルート表示画面で 5ルート にタッチします。

● 5つのルートを色分けして表示します。
各ルートは約1秒おきに順次一番上に表示が切り替わります。



(2) 案内に利用したいルート名称にタッチすると、タッチしたルートが表示された全ルート表示画面になります。

(3) (2)の画面で 全行程一覧表 にタッチすると、5つのルートの距離、料金、所要時間が表示されます。



(4) 案内に利用したいルート名称にタッチすると、タッチしたルートが表示された全ルート表示画面になります。

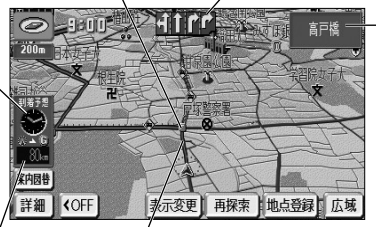
アドバイス

●案内するルートが同じ場合もあります。
●5ルートを表示している画面では、地図のスクロールはできません。
●料金は実際と異なる場合があります。
●5つのルートの特徴
- 推奨　最も推奨できるルート
- 有料優先　できるだけ有料道路を多く利用するルート
- 一般優先　有料道路の利用をかぎりなく少なくするルート
- 距離優先　できるだけ道のり距離が短くなるようにしているルート
- 別ルート　最初に選ばれたルートとは別の道を利用するルート

案内画面について

ルート案内中は状況に応じて様々な案内画面が表示されます。

1 案内中の現在地画面



①案内ポイントマーク
車線案内、通過交差点名称、案内拡大図が表示される地点にマークを表示します。

②到着予想時刻
目的地に到着する予想時刻を表示します。

③目的地までの距離表示
自車位置から目的地までの距離を表示します。

④案内ルート
目的地までの案内ルートを青色で表示します。
(目的地が複数設定されているときは、次の目的地までの案内ルートを青色で表示し、それ以降の案内ルートは白色の線が入った青色で表示します。)

⑤道路名称、通過交差点名称表示
現在走行中の道路名称、またはルート上で次に通過する交差点の名称を表示します。

⑥車線案内
交差点における各車線の分岐方向を矢印で表示します。車線情報のある一部の交差点で表示されます。

アドバイス

●案内ポイントマークは、案内されるポイントの種類によって異なるマークを表示します。
- 通過交差点名称、または車線案内が表示されている交差点
- (灰色) 通過交差点名称、または車線案内が表示されていて、信号機がない交差点
- (赤色) 案内拡大図が表示される交差点

●車線案内は案内ルートの方向によって色分けして表示します。
ルート案内上、走行を推奨する車線は、青色で表示します。それ以外の車線は、灰色で表示します。
●車線案内、および料金案内は実際と異なる場合があります。
●細街路(道幅が3m以上5.5m未満の細い道路)における案内ルートは水色で表示します。細街路ルート走行中は音声分岐案内および案内拡大図表示は行いません。
●案内ルート(細街路を含む)の表示色は変更することができます(P.4-7参照)。

ナビゲーション

2 全ルート表示画面

案内開始後に目的地までの全行程ルートを表示することができます。



(1) 地図を表示させているときに 表示変更 にタッチします。

(2) 全ルート にタッチします。

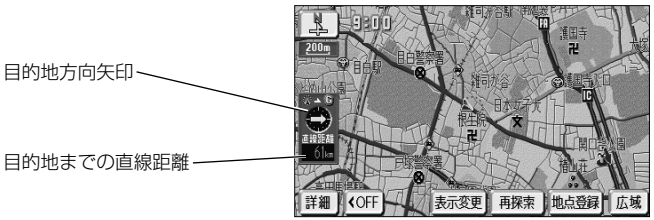


● 全ルート表示画面が表示されます。
全ルート表示画面の詳細については、P.2-32を参照してください。

アドバイス

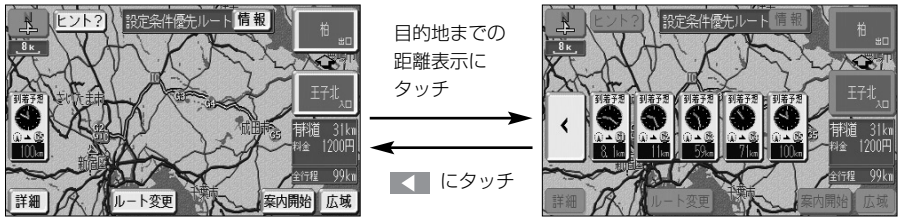
●案内開始後は 案内開始 、 5ルート は表示されません。
●表示変更画面から呼び出した全ルート表示画面は、案内開始前の全ルート表示画面（P.2-32参照）と違い、走行を開始してから3秒を経過しても表示は解除されません。
●到着予想時刻と目的地までの距離表示は、自車がルート上に存在しないときは表示されません。
この場合は目的地の方向を示す矢印と、目的地までの直線距離を表示します。

自車がルート上にないときの地図



アドバイス

目的地が3つ以上設定されているときは、目的地までの距離表示（自車がルート上に存在しないときは目的地までの直線距離）にタッチすると、それぞれの目的地までの到着予想時刻と距離が一覧表示されます。表示したい目的地を選択すると、選択した目的地までの到着予想時刻と距離の表示に切り替わります。 ◀ にタッチすると一覧表示は解除されます。



3 案内拡大図表示

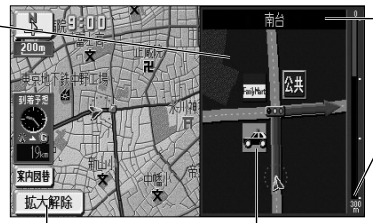
分岐点に接近すると自動的に案内分岐点の拡大図が表示されます。また、解除したあとも再表示することができます。

●交差点拡大図

一般道路（高速道路、有料道路以外）で案内を必要とする交差点におよそ300mまで接近すると、交差点周辺の地図を拡大表示します。

①交差点の拡大図
交差点付近の地図を拡大表示します。
拡大図は3Dまたは2Dに切り替えることができます（P.4-1参照）。
また、一部の交差点では立体描画した立体交差点拡大図を表示します。

②拡大解除スイッチ
拡大解除 にタッチすると、交差点拡大図の表示を解除します。
再表示するには 現在地 を押します。



⑤交差点名称
案内する交差点に名称を表示します。

④分岐点までの距離
自車から分岐点までの残距離を表示します。

③施設マーク
分岐点周辺に存在する施設のマークを表示します。

アドバイス

●交差点拡大図の自動表示は、ナビ設定で「する」または「しない」の設定を行うことができます（P.4-1参照）。
●拡大図の再表示は、分岐点を通過する前に行うことができます。
●名称のない交差点では、交差点名称は表示されません。

●立体交差点拡大図

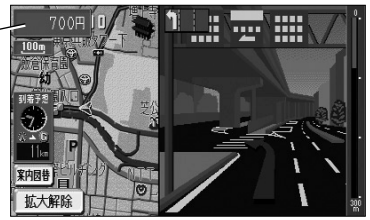
ルート案内中、立体交差点情報のある交差点では、立体交差点拡大図を表示します。



●ハイウェイ入口案内画面

ルート案内中、都市高速道路の入口付近に接近するとハイウェイ入口案内画面を表示します。

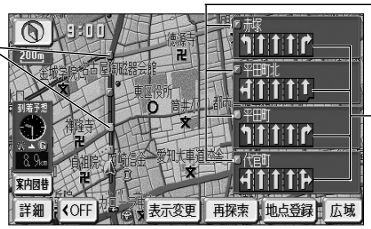
料金案内
料金所（入口、出口、本線上）に接近すると通行料金を表示します。



●レーンリスト図画面

ルート案内中、一般道路（高速道路、有料道路以外）で案内を必要とする交差点におよそ700mまで接近すると、案内分岐点までに存在する交差点の車線情報をリスト形式で表示します。

①案内ポイントマーク
車線情報を表示している交差点にマークを表示します。



②通過交差点名称
車線情報を表示している交差点の名称を表示します。

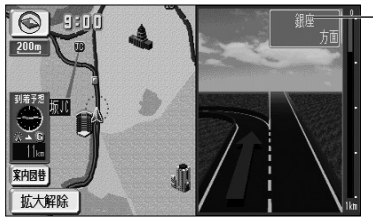
③車線案内
ルート上で、案内分岐点までに通過する交差点の車線情報を表示します。

アドバイス

- ●料金案内の表示は、ナビ設定で「する」または「しない」の設定を行うことができます（P.4-1参照）。別売のナビ対応のETCユニットを接続しているときは、料金案内の表示はされません。
- ●レーンリスト図画面の自動表示は、ナビ設定で「する」または「しない」の設定を行うことができます（P.4-1参照）。
- ●案内分岐点に300mまで接近したあとに（現在地）を押した場合は、交差点拡大図が再表示されます。
- ●案内ポイントマークは、車線情報を表示する交差点ごとに色分けして表示されます。
  - ・■（赤色）　案内拡大図が表示される交差点
  - ・■（橙色／桃色／緑色）　車線案内される交差点

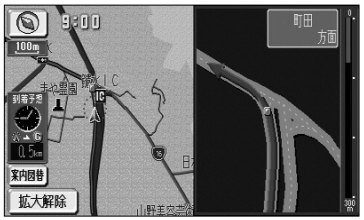
●3D高速分岐案内画面

ルート案内中、高速道路のジャンクション、本線出口、ランプウェイ内の分岐点に接近すると3Dの案内拡大図を表示し、走行する車線を案内します。



方面名称案内
ＩＣの出口名称やＪＣＴでの進行方向、進行方向の路線番号を表示します。
ＳＡ・ＰＡに接近した場合は施設の名称を表示します。

有料道路、および高速道路の一部のジャンクション、本線出口、ランプウェイ内の分岐点で簡易的な拡大図が表示されます。



アドバイス

- ●方面名称案内は、高速道路上の看板の表示とは必ずしも一致しない場合があります。
- ●3D高速分岐案内画面は、ナビ設定の「高速分岐模式図自動表示」で「する」または「しない」の設定を行うことができます（P.4-1参照）。

●料金所レーン拡大図

ルート案内中、料金所の手前で、3Dの案内拡大図を表示し、料金所のレーンを案内します。ETCレーンがある場合は、一般レーンとETCレーンの区別も表示します。



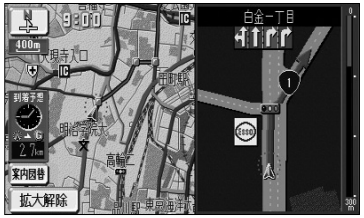
アドバイス

- ●料金所レーン拡大図の自動表示は、ナビ設定の「料金所レーン案内」で「する」または「しない」の設定を行うことができます（P.4-1参照）。
- ●画面に表示されているレーン表示は、実際の状態と異なる場合があります。
- ●レーンの種類によって表示されるマークは異なります。
  - ・E ETC専用レーン　・混 ETC/一般混在レーン
  - ・般 一般レーン　・? 種類が不明なレーン
  - ・…… 同じ種類のレーンが4つ以上続くため、省略して表示することを表します。
  - ・■ 表示されているレーンの他に、続きのレーンがあることを表します。

ナビゲーション

●案内図の切り替え

ルート案内中、一般道路を走行中に交差点拡大図とレーンリスト図の表示の切り替えや、高速道路を走行中に高速分岐案内画面と高速略図画面（P.2-24参照）の表示の切り替えを行うことができます。また、料金所の手前で料金所レーン拡大図を表示できます。



（1） 案内図が表示されているときに 案内図替 にタッチします。

● 案内図を切り替える画面が表示されます。

アドバイス

案内図が表示されないときは、 案内図替 は表示されません。また、表示される案内図が1つのみの場合は、 案内図替 にタッチするごとに案内図の表示・解除を行うことができます。



（2） 表示したい案内図のスイッチにタッチします。

■一般道路を走行しているとき

● 拡大図 にタッチすると交差点拡大図を表示します。

● レーンリスト にタッチするとレーンリスト図を表示します。

● 料金所レーン図 をタッチすると料金所レーン拡大図が表示されます。

■高速道路を走行しているとき

● 分岐図 にタッチすると高速分岐案内画面を表示します。

● 高速略図 にタッチすると高速略図画面を表示します。

● 料金所レーン図 をタッチすると料金所レーン拡大図が表示されます。

案内図を解除して、地図を表示する場合は、 地図 にタッチします。

アドバイス

表示することが可能な場合にのみ、（2）の画面に案内図のスイッチが表示されます。

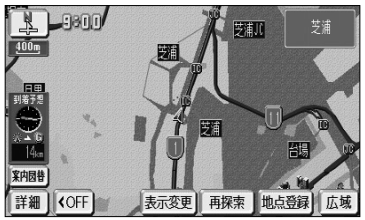
4 都市高マップ

ルート案内中、自車が都市高速道路（首都高速や名古屋高速など）の本線上を走行すると都市高マップを表示することができます。一般道路を表示しないため、複雑な都市高速道路をわかりやすく表示します。



（1） 地図を表示させているときに 表示変更 にタッチします。

（2） 都市高マップ表示 にタッチします。



● ナビ設定で都市高マップ自動表示を「する」に設定（P.4-1参照）している場合、自車が都市高速道路に進入すると自動で都市高マップが表示されます。（ 200m から 1.6k の地図表示時）
ただし、案内ルート上を走行していない場合は表示されません。

● 都市高マップ解除 にタッチすると、都市高マップが解除されます。

アドバイス

●都市高マップが表示されるのは、地図縮尺が 200m から 1.6k までの間のみです。
それ以外の地図縮尺を表示している場合や、縮尺切り替えにより 200m および 200m より詳細な縮尺、または 1.6k より広域な縮尺に切り替えた場合は通常の地図が表示されます。

●一般道路、都市間高速道路、有料道路に進入した場合、都市高マップは自動的に解除され、通常の地図を表示します。

●ジャンクション、出入口ランプ全ての名称が表示されるわけではありません。

●都市高マップの表示設定は、次回のルート案内でも前回と同じ設定になります。

●都市高マップが自動で解除されても、設定は変更されません。

案内をもう一度聞きたいときは

ルート案内中に案内がよく聞きとれなかった場合や、次の分岐点までの情報を聞きたい場合、再び音声案内を聞くことができます。
また、交差点拡大図などの案内拡大図を解除したあとに再び案内拡大図を見たい場合、再表示することができます。



（1） 現在地画面（P.2-13参照）から 現在地 を押します。

- 現在の自車位置に相当した距離で音声案内を行います。
- 案内分岐点の手前約300m以内で 現在地 を押すと音声案内とともに案内拡大図（P.2-36参照）が表示されます。

アドバイス

- ルート上を走行していないときは、音声・案内拡大図は表示されません。
- 案内音量が 消音 では 現在地 を押しても音声は発声されません。
  「案内の音量を調節するには」（P.3-25参照）を参考に、聞きやすい音量に調節してください。
- 案内拡大図は、案内分岐点を通過すると再表示できません。

メモ

ナビゲーション

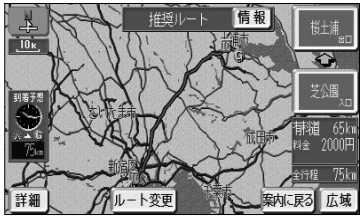
目的地を追加・並び替え・消去するには

目的地を設定したあとに、さらに目的地を追加することができます。また、目的地の順序を並び替えたり、消去することができます。

1 目的地を追加するには



(1) 現在地画面で 再探索 にタッチしたあとの画面、または全ルート表示画面で ルート変更 にタッチします。





(2) 目的地・通過目的地の 追加 にタッチします。



(3) 地図の呼び出し方を選び、目的地周辺の地図を表示させます。

- 50音 P.3-26
- 住所 P.3-35
- 施設 P.3-30
- 電話番号 P.3-32
- メモリ地点 P.3-37
- お出掛け P.3-42
- 郵便番号 P.3-34
- 履歴 P.3-38
- マップコード P.3-39

※それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。

- 先程の地図 にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。
- 自宅に帰る にタッチすると、自宅周辺の地図が表示されます。
- 登録済みのよく行く場所にタッチすると、よく行く場所周辺の地図が表示されます。



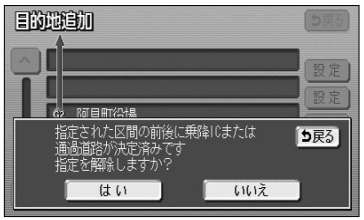
(4) にタッチすると、地図が移動して の位置を変更することができます。

(5) 目的地セット にタッチすると の位置に目的地が設定されます。

- 目的地は最大5ヵ所まで設定することができます。
- すでに目的地が5ヵ所設定されている場合は、設定されている目的地を消去してから設定しなおしてください（P.3-6参照）。



(6) 追加する区間の 設定 にタッチすると、ルート探索が開始されます。



(7) 乗降ＩＣ（P.3-13参照）または通過道路（P.3-8参照）が指定されている場合は、乗降ＩＣまたは通過道路を解除するかを選択する画面が表示されることがあります。

- はい にタッチすると、指定されているＩＣまたは通過道路を解除して目的地の追加を行います。
- いいえ にタッチすると、指定されているＩＣまたは通過道路は解除しないで目的地の追加を行います（適正なルートが探索できない場合があります）。

3 応用編
目的地を追加・並び替え・消去するには

ナビゲーション



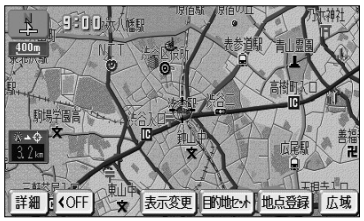
(8) 探索開始 にタッチすると全ルート表示画面が表示されます。目的地をさらに追加する場合はP.3-1の(2)の操作を行ってください。

- 設定した目的地が G1 ～ G5 の記号で表示されます。

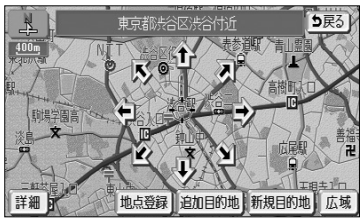
アドバイス

複数の目的地を設定した場合の全ルート表示画面に 5ルート は表示されません。

2 目的地を任意地点にワンタッチで追加する



(1) 目的地が設定されているときに、地図スクロール、広域 または 詳細 操作により目的地を設定したい位置に ⊕ を合わせ、スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で 目的地セット にタッチします。



(2) ⇧ にタッチすると、地図が移動して ⊕ の位置を変更することができます。

(3) 追加目的地 にタッチすると ⊕ の位置に目的地が設定されルート探索を開始します。

- 探索終了後、全ルート表示画面が表示されます。
- 新規目的地 にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され、新たな目的地として設定されます。P.2-28を参照してください。

アドバイス

- ワンタッチで追加した目的地は、G1 として（一番手前の目的地）設定されます。
  目的地の順番を変更したい場合は、P.3-5の**「目的地の順序を並び替えるには」**を参照してください。
- 乗降ＩＣが指定されているときは（P.3-13参照）、適正なルートを探索するため、指定されているＩＣが自動的に解除される場合があります。

3 地図索引機能を使って目的地を追加する



(1) ナビメニュー（P.2-8参照）で その他 にタッチして新しく探す画面を表示します。

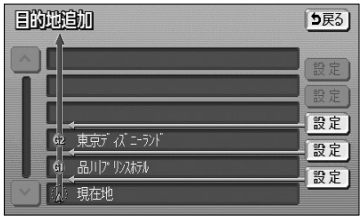


(2) P.3-1の 1 の（3）～（4）の操作を行います。

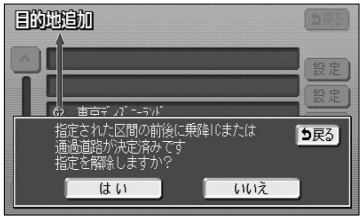


(3) 追加目的地 にタッチすると ⊕ の位置に目的地が設定されルート探索を開始します。

- 新規目的地 にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され、新たな目的地として設定されます。P.2-31を参照してください。



(4) 追加する区間の 設定 にタッチすると、ルート探索が開始され、全ルート表示画面が表示されます。

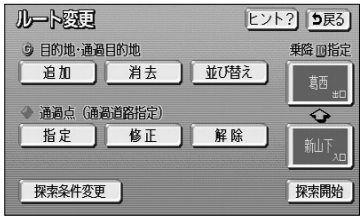


(5) 乗降ＩＣ（P.3-13参照）または通過道路（P.3-8参照）が指定されている場合は、乗降ＩＣまたは通過道路を解除するかを選択する画面が表示されることがあります。

- はい にタッチすると、指定されているＩＣまたは通過道路を解除して目的地の追加を行います。
- いいえ にタッチすると、指定されているＩＣまたは通過道路は解除しないで目的地の追加を行います（適正なルートが探索できない場合があります）。

ナビゲーション

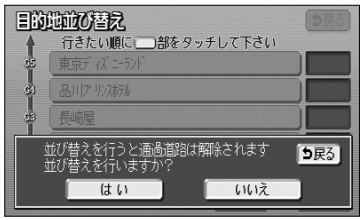
4 目的地の順序を並び替えるには



（1） 目的地を追加後、P.3-1の**1**の（2）の画面で目的地・通過目的地の **並び替え** にタッチします。

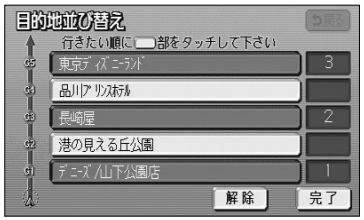
アドバイス

目的地が複数設定されていないと使用できません。



（2） 乗降ＩＣ（P.3-13参照）または通過道路（P.3-8参照）が指定されている場合は、乗降ＩＣまたは通過道路を解除するかを選択する画面が表示されることがあります。

- **はい** にタッチすると、指定されているＩＣまたは通過道路を解除して目的地の並び替えを行います。
- **いいえ** にタッチすると、目的地の並び替えを中止して、前の画面に戻ります。



（3） 目的地の名称を通過したい順にタッチします。

- タッチした目的地の名称が強調表示され、通過順序が番号で表示されます。
- 設定を解除するには、 **解除** にタッチするか、解除したい目的地の名称にタッチします。

（4） 設定が良ければ **完了** にタッチします

アドバイス

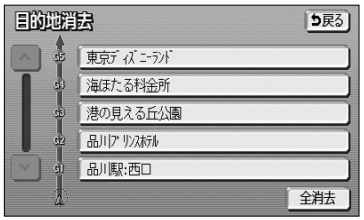
目的地の通過順序が確定してから3秒間無操作状態が続いたときは、自動的にP.3-6の（5）の画面が表示されます。



（5） **探索開始** にタッチすると、全ルート表示画面が表示されます。

5 目的地を指定して消去するには

（1） ナビメニュー（P.2-8参照）で **目的地消去** にタッチします。
あるいは、P.3-1の**1**の（2）の画面で、目的地・通過目的地の **消去** にタッチします。



（2） 消去したい目的地の名称にタッチします。

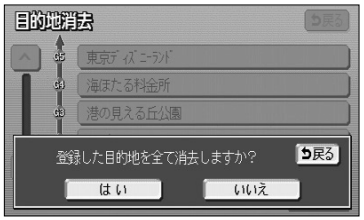
- 全ての目的地を消去するときは **全消去** にタッチします。

アドバイス

目的地が複数設定されていないと、目的地を選択する（2）の画面は表示されません。



（3） **はい** にタッチすると目的地が消去されます。
いいえ にタッチすると目的地の消去を中止して、前の画面に戻ります。





(4) 乗降ＩＣ（P.3-13参照）または通過道路（P.3-8参照）が指定されている場合は、乗降ＩＣまたは通過道路を解除するかを選択する画面が表示されることがあります。

- **はい** にタッチすると、指定されているＩＣまたは通過道路を解除して目的地の消去を行います。
- **いいえ** にタッチすると、目的地の消去を中止して、前の画面に戻ります。

6 次に通過する予定の目的地をワンタッチで消去するには



(1) 現在地画面(P.2-34参照)で **再探索** にタッチします。



(2) **次のＧ消去** にタッチします。

- 探索が開始され、新しいルートが表示されます。

アドバイス

目的地が複数設定されていないときは使用できません。

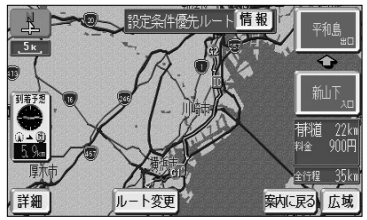
通過道路を指定・修正・解除するには

目的地が設定されているときに、通りたい道路を指定することができます。
また、指定した通過道路の位置を修正したり、解除することができます。

1 通過道路を指定するには



(1) 現在地画面で **再探索** にタッチしたあとの画面、または全ルート表示画面で **ルート変更** にタッチします。





(2) 通過点（通過道路指定）の **指定** にタッチします。

- 通過道路は2ヵ所まで設定することができます。
- すでに通過道路が2ヵ所設定されている場合は、設定されている通過道路を解除してから設定しなおしてください（P.3-11参照）。



(3) 地図スクロール、**広域** または **詳細** 操作により通過道路を設定したい位置に⊕を合わせ、スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で **通過道路セット** にタッチします。

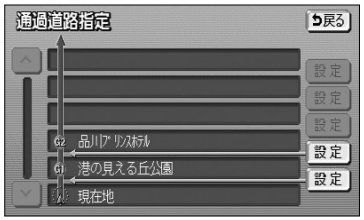
ナビゲーション



(4) 次候補 にタッチして◆マークの位置を切り替え、通過したい道路上に◆マークが移動したら セット にタッチします。

アドバイス

表示されている地図に道路の表示が少ない場合は、 次候補 にタッチしても◆マークの位置が切り替わらないことがあります。



(5) 設定したい区間の 設定 にタッチします。

アドバイス

- 1ヵ所目の通過道路で、複数の目的地および乗降ＩＣが設定されていない場合は、区間を設定する画面は表示されません。
- 乗降ＩＣが指定されているときに（P.3-13参照）、乗降ＩＣの直前または直後の 設定 にタッチすると、適切なルートを探索するため、指定されているＩＣは自動的に解除されます。



(6) 探索開始 にタッチすると全ルート表示画面が表示されます。2ヵ所設定する場合は（1）の操作を行ってください。

- 設定した通過道路が ❶ または ❷ の記号で表示されます。

2 全ルート表示画面から通過道路を指定するには

全ルート表示画面からも通過道路を指定することができます。

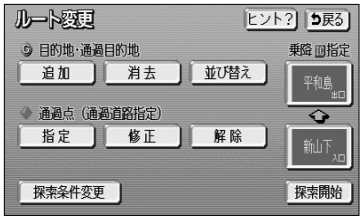


(1) 全ルート表示画面(P.2-32参照)で地図スクロール、 広域 または 詳細 操作により通過道路を設定したい位置に✛を合わせ、スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で 通過道路指定 にタッチします。

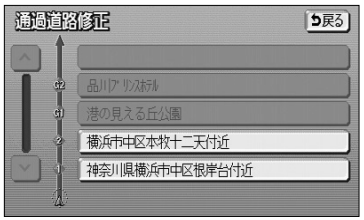
(2) P.3-9の 1 の（4）、（5）の操作を行います。

- 探索終了後、全ルート表示画面が表示されます。2ヵ所設定する場合は（1）の操作を行ってください。

3 通過道路の位置を修正するには



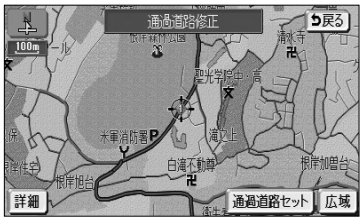
(1) 通過道路指定後、P.3-8の 1 の（2）の画面で、通過点（通過道路指定）の 修正 にタッチします。



(2) 修正したい通過道路の名称にタッチします。

アドバイス

通過道路が2ヵ所設定されていないときは、通過道路を選択する画面は表示されません。



(3) 修正したい位置に✛を合わせ、スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で 通過道路セット にタッチします。

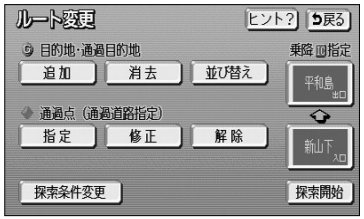
(4) P.3-9の 1 の（4）の操作を行います。

ナビゲーション

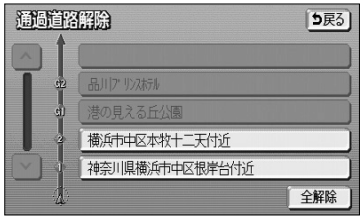


(5) 探索開始 にタッチすると全ルート表示画面が表示されます。

4 通過道路を解除するには



(1) 通過道路指定後、P.3-8の 1 の（2）の画面で、通過点（通過道路指定）の 解除 にタッチします。



(2) 解除したい通過道路の名称にタッチします。

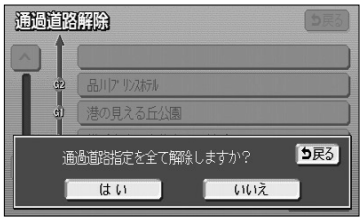
● 全ての通過道路を解除するときは 全解除 にタッチします。

アドバイス

通過道路が2ヵ所設定されていないときは、通過道路を選択する（2）の画面は表示されません。



(3) はい にタッチすると通過道路が解除されます。
いいえ にタッチすると通過道路の解除を中止して、前の画面に戻ります。





(4) 探索開始 にタッチすると全ルート表示画面が表示されます。

5 次に通過する予定の通過道路をワンタッチで解除するには



(1) 現在地画面（P.2-34参照）で 再探索 にタッチします。

(2) 次の ◆ 解除 にタッチします。

● 探索が開始され、新しいルートが表示されます。

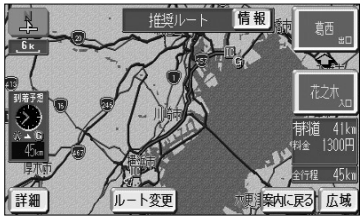
アドバイス

●次に通過するのがP.3-13で設定した乗降ＩＣの場合は IC 指定解除 が表示され、次に通過するＩＣを解除することができます。
●目的地が複数設定されているときは 次の G 消去 が表示され、次の目的地を消去することができます。

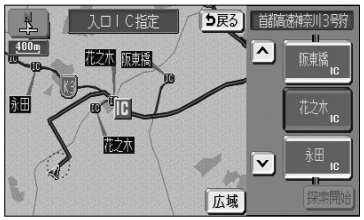
ナビゲーション

乗降ＩＣを指定するには

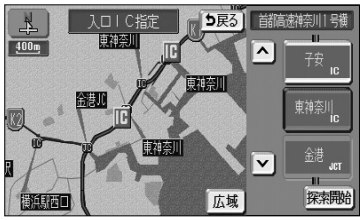
全ルート表示画面に表示されている乗降ＩＣを変更することができます。



（1） 全ルート表示画面(P.2-32参照)またはP.3-1の 1 の（2）画面で、変更する乗降ＩＣ名称にタッチします。



● ＩＣを指定する画面が表示されます。現在指定されているＩＣ付近の地図が左画面に表示され、IC名称のスイッチが右画面に表示されます。



（2） 右画面に表示されているＩＣの路線から指定したいＩＣ名称にタッチします。

● ▲ ・ ▼ 、 次路線 にタッチすると現在設定されているＩＣ付近のＩＣを検索することができます。

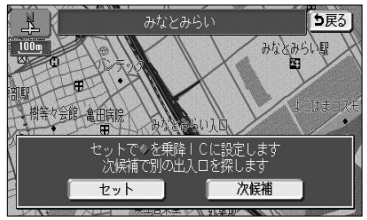
● ＩＣ名称にタッチすると、タッチしたＩＣ名称付近の地図が左画面に表示されます。

● 左画面の地図にタッチして地図を移動すると、地図の中心付近のＩＣ名称が右画面に表示されます。

（3） 探索開始 にタッチします。

● すでに乗降ＩＣを設定している場合は、 入口解除 または 出口解除 にタッチすると設定が解除されます。

●（1）で全ルート表示画面の乗降ＩＣ名称にタッチして設定を行ったときは、探索完了後に全ルート表示画面が表示されます。



（4） 指定したＩＣに複数の出入り口が存在する場合は、出入り口を選択する画面が表示されます。
次候補 にタッチして ◆ マークの位置を切り替え、指定したい出入口に ◆ マークが移動したら セット にタッチします。



（5） ルート変更画面から設定した場合、 探索開始 にタッチすると、全ルート表示画面が表示されます。

● 指定した乗降ＩＣ名称が表示されます。

3 応用編
乗降ＩＣを指定するには

ナビゲーション

ルートの再探索

ルート案内中（ルートからはずれたときも含む）現在地画面を表示させているときに、ルートの再探索を行うことができます。

1 案内ルートの種類を変更するには

現在、案内されているルート種類と違うルート種類に変更して次の地点（目的地、通過道路）まで探索することができます。



（1） 現在地画面(P.2-34参照)で 再探索 にタッチします。



（2） 変更したい探索条件にタッチします。

- 探索が開始され、新しいルートが表示されます。

アドバイス

別ルート は、表示されているルートと異なるルートを、探索条件を変えずに探索したいときにタッチします。

2 迂回するルートを探索するには

自車前方のルートを迂回したルートを探索することができます。



（1） 現在地画面(P.2-34参照)で 再探索 にタッチします。

（2） 周辺迂回 にタッチします。

アドバイス

ルート上を走行しているときのみ利用可能です。迂回しないルートが表示されるときもあります。

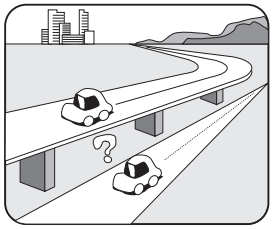
3 案内される道路種別が違ったら

高速道路と一般道路が上下あるいは並行のまましばらく続くような道路を走行中に、高速道路を走行しているのに一般道路の方が案内ルートになっている、またはその逆の場合は次の方法で探索をやり直してください。



（1） 現在地画面(P.2-34参照)で 再探索 にタッチします。

（2） 一般道から探索 にタッチすると、一般道路からルートが探索されます。
有料道から探索 にタッチすると、高速道路からルートが探索されます。



アドバイス

道路形状により、機能しない場合もあります。

区間ごとの探索条件を設定するには

目的地、通過道路、乗降ＩＣ の区間ごとに、探索条件を設定することができます。



（1） P.3-1の 1 の（2）画面で、 探索条件変更 にタッチします。



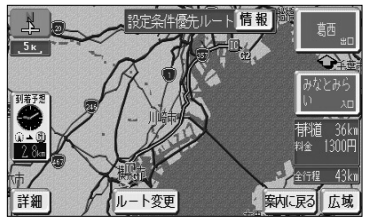
（2） それぞれの区間の探索条件にタッチします。

● 設定された探索条件が強調表示されます。

（3） 探索開始 にタッチすると探索が開始され、全ルート表示画面が表示されます。

ルートの詳細情報を確認するには

目的地までのルートで使用する道路の名称、高速道路のＩＣ、料金所などの一覧を表示させることができます。



（1） 全ルート表示画面(P.2-32参照)で 情報 にタッチします。



（2） ルート情報画面が表示されます。

● 道路種別の変わり目、目的地、料金所などでルートを分割し、それぞれの地点で通過予想時刻、料金などが表示されます。

● 各区間のルートには、道路名称、区間距離が表示されます。

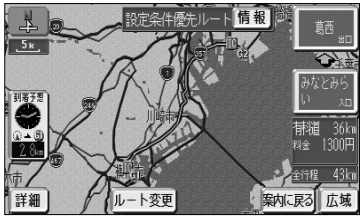
● 地図 にタッチすると、設定したそれぞれの地点の地図が表示されます。

アドバイス

●ルート情報画面のまま走行を開始しても、自車マークの位置は更新されません。
●料金所の種類によって表示されるマークは異なります。
- 料金所
- 検札所
- 発券所

デモでルートを確認するには

目的地に到着するまでのルート案内デモを行うことができます。



（1） 目的地を設定し、ルート探索終了後に表示される全ルート表示画面(P.2-32参照)で 案内開始 をピッと音が鳴るまでタッチし続けます。
目的地に到着するまでのルート案内のデモを行います。



（2） 現在地 を押すとデモを終了します。

アドバイス

- ●表示変更画面から呼び出した全ルート表示画面(P.2-35参照)からはデモは行えません。
- ●ルート案内デモ中に走行を開始した場合、デモは終了しルート案内を開始します。

オンルートスクロールを使うには

ルート案内中に、画面に表示されているルートに沿って目的地や出発地までの連続地図スクロールを行ってルートを確認することができます。また、ルート沿いに存在する施設を検索し情報を見ることができます。

1 目的地または出発地までのオンルートスクロールを行うには



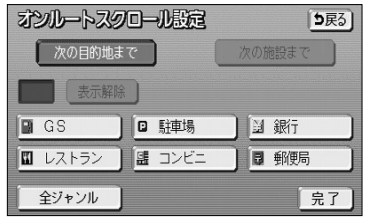
（1） 地図を表示させているときに 表示変更 にタッチします。

（2） オンルートスクロール にタッチします。



- ● オンルートスクロール画面が表示されます。

（3） 設定 にタッチしてオンルートスクロール設定画面を表示します。



（4） 次の目的地まで にタッチし、 完了 にタッチします。

- ● 初期設定は、「次の目的地まで」に設定されています。
- ● 一度設定すると次回設定が変更されるまで保持されます。



(5) ● ▶G にタッチすると、目的地方向へ低速で連続地図スクロールが行われます。

● S◀ にタッチすると、出発地方向へ低速で連続地図スクロールが行われます。

● ▶▶G にタッチすると、目的地方向へ高速で連続地図スクロールが行われます。

● S◀◀ にタッチすると、出発地方向へ高速で連続地図スクロールが行われます。

● ▶|G にタッチすると、次の目的地へスクロールがジャンプします。

● S|◀ にタッチすると、出発地または出発地方向に存在する目的地（目的地を複数設定している場合）へスクロールがジャンプします。

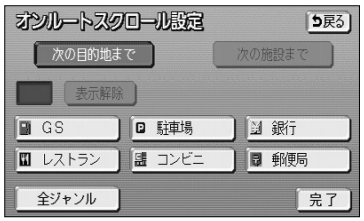


● ❚❚ にタッチすると、連続地図スクロールを停止することができます。

アドバイス

- ●画面内に案内ルートが表示されていない場合は連続地図スクロールできません。
- ●走行中はスクロールジャンプのみ行うことができます。
- ●地図縮尺、地図向きを切り替えた場合は連続地図スクロールが停止します。

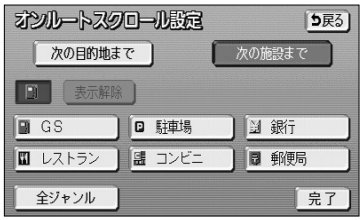
2 次の施設までのルートを確認するには



(1) 1 の (4) の画面で希望の施設にタッチします。

● 全ジャンル にタッチすると施設ジャンルのリスト画面が表示されます。

● 施設にタッチすると 次の施設まで のタッチスイッチが選択できるようになります。







(2) 次の施設まで にタッチし、完了 にタッチします。

● ▶G にタッチすると、進行方向のルート沿いに存在する次の施設まで低速で連続地図スクロールが行われます。

● S◀ にタッチすると、進行方向とは逆のルート沿いに存在する次の施設まで低速で連続地図スクロールが行われます。

● ▶▶G にタッチすると、進行方向のルート沿いに存在する次の施設まで高速で連続地図スクロールが行われます。

● S◀◀ にタッチすると、進行方向とは逆のルート沿いに存在する次の施設まで高速で連続地図スクロールが行われます。

● ▶|G にタッチすると、進行方向のルート沿いに存在する次の施設へスクロールがジャンプします。

● S|◀ にタッチすると、進行方向とは逆のルート沿いに存在する次の施設へスクロールがジャンプします。

● ❚❚ にタッチすると、連続地図スクロールを停止することができます。

● 次の施設までのスクロールが行われ、施設に到着すると施設名称が表示されます。

アドバイス

- ●P.3-20の 1 の (4) の画面に表示される6つの施設ジャンルは変更することができます（P.4-3参照）。
- ●次の施設までのオンルートスクロール、およびジャンプスクロールは、800m および 800m より詳細の地図表示のときに行うことができます。

走行軌跡について

1 走行軌跡の表示

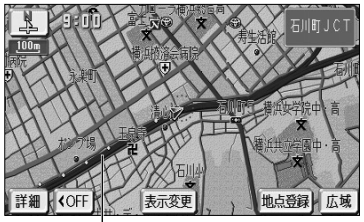
走行した道路を約200 km分保存し、軌跡を表示することができます。



(1) 地図を表示させているときに 表示変更 にタッチします。

(2) 走行軌跡表示 にタッチします。

- 走行軌跡が表示されます。
- 初期設定はOFF(非表示)になっています。



走行軌跡

アドバイス

- 保存できる距離を越えて走行したときは、古い軌跡を消去して、新しい軌跡を保存しなおします。
- 50 m～50 kの縮尺で表示させることができます。
- 走行軌跡を表示していないときは、走行軌跡の情報は保存されません。

2 走行軌跡の消去





(1) 地図を表示させているときに 表示変更 にタッチします。

(2) 走行軌跡解除 にタッチします。

- はい にタッチすると、地図に表示されている走行軌跡と保存されている軌跡の情報が消去されます。
  (消去したものはもとに戻すことはできません。)
- いいえ にタッチすると、地図に表示されている走行軌跡は消去されますが、保存されている軌跡の情報は消去されません。
  保存されている軌跡の情報を再表示するには、「1 走行軌跡の表示」をご覧ください。

ルート案内を中止・再開するには

設定されているルートの案内が不要の場合、ルート案内を一時中断することができます。
再びルート案内を必要とする場合は、案内を再開することができます。



(1) 設定画面（P.2-9参照）を表示します。

- 案内中は 案内中止 が表示され、案内中止状態のときは 案内再開 が表示されます。

(2) 案内中止 にタッチすると案内を中止します。

- 案内を再開するときは 案内再開 にタッチします。

アドバイス

- 案内中止状態のときはルート表示は行われません。
- 設定した目的地や通過道路は消去されないので、裏道を使うときや道に詳しい地域を走行するときに利用すると便利です。
- 音声による案内のみが不要の場合は、ナビ設定（P.4-1参照）の「自動音声案内」を「しない」に設定してください。

案内の音量を調節するには

音声案内の音量を7段階に調節することができます。案内音声を一時的に消すこともできます。

1 案内の音量を調節するには



(1) 設定画面（P.2-9参照）で 音量設定 にタッチします。

(2) 小、・、・、中、・、・、大 のいずれかにタッチすることにより、案内音量の設定を変更することができます。

- 設定された音量で「この音量でご案内します」の音声が発声されます。
- タッチしたタッチスイッチが強調表示されます。
- 消音 にタッチすると、案内音量ＯＦＦになります。

アドバイス

案内音量を 消音 にタッチすると、「この音量でご案内します」の音声は発声されません。

2 自動音量切り替え機能を使うには

自車が80km以上で走行時に、案内音声を自動的に1段階上の音量で発声させることができます。



作動表示灯

(1) 設定画面（P.2-9参照）で 音量設定 にタッチします。

(2) 高速時の自動音量切替 にタッチすると、自動音量切替を「設定する」または「設定しない」に切り替えることができます。

- 「設定する」にしたときは、作動表示灯が点灯し、設定ONになります。

アドバイス

- 案内音量の設定値は変更されません。
- 案内音量が 消音 のとき、または案内音量が 大 に設定されているときは音量は切り替わりません。

50音で地図を表示するには

施設名称の読み仮名を入力して位置を検索し、該当の地図を表示します。
読み仮名入力で検索したあとに、さらにジャンル別、都道府県別、地域別に検索することもできます。

▼ 以下に目的地設定を50音で地図を表示して行う場合について説明します。

1 50音で地図を表示するには



(1) ナビメニュー（P.2-8参照）を表示します。

- または、ナビメニューで その他 にタッチして新しく探す画面を表示します。



(2) 50音 にタッチします。



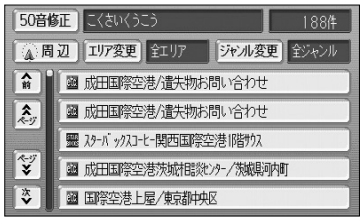
(3) 施設名称を1文字ずつタッチして入力します。

- 修正するときは 修正 にタッチすると1文字ずつ消去されます。
- 検索先の候補がない文字のタッチスイッチは色が反転し、タッチしても入力することができません。
- 1文字ずつタッチするごとに、検索される施設名称の件数が表示されます。

(4) 完了 にタッチすると、その時点で入力した文字から検索された施設名称がリストで表示されます。

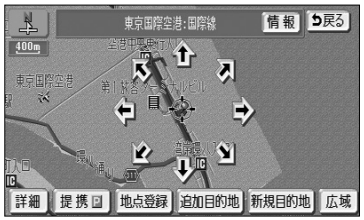
- 完了 にタッチしなくても、検索される施設の件数が5件以下で、10秒間無操作状態が続いたときは自動的に施設名称のリストを表示します。

ナビゲーション



(5) 表示したい施設名称にタッチします。

- 50音修正 にタッチすると、(2) の画面に戻ります。



- 周辺の地図をノースアップで表示します。
- 表示した施設に提携駐車場が存在する場合は 提携P が表示されます。

(6) 施設の提携駐車場を検索し、入庫可能な駐車場を表示するには 提携P にタッチします。

アドバイス

情報 は表示した施設に詳細情報が存在する場合のみ表示されます。 情報 にタッチすると施設の詳細情報を表示することができます。P.3-47を参照してください。



(7) 入庫可能な駐車場が存在すると、駐車場名称がリスト表示されます。

- 施設の専用駐車場には P (青色) で、提携駐車場には P (緑色) の記号で表示します。
- 駐車場名称にタッチすると、駐車場の詳細情報が表示されます。
- 各駐車場の 地図 にタッチすると、駐車場周辺の地図を表示します。

アドバイス

●入庫可能な駐車場の検索は、P.4-16で設定した車両情報に基づいて行われます。
●車両の長さ、幅、高さを設定することで、入庫可能な駐車場を検索することができます。

2 ジャンル別検索をするには



(1) 1 の (5) の画面で ジャンル変更 にタッチします。

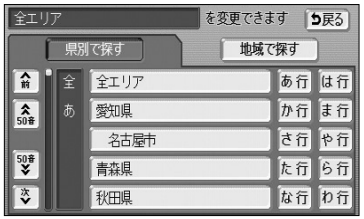
(2) 表示したい施設のジャンルにタッチします。

- 全ジャンル にタッチすると、1 の (5) の画面を表示します。この場合、ジャンルの指定は行われていません。

アドバイス

表示したいジャンルとして 住所 を選択して周辺の地図を表示すると 住所一覧 が表示されます。 住所一覧 にタッチすると周辺の住所から地図を表示することができます。P.3-33を参照してください。

3 エリア別検索をするには



(1) 1 の (5) の画面で エリア変更 にタッチします。

(2) 県別で探す または 地域で探す により、検索する種類を選択できます。

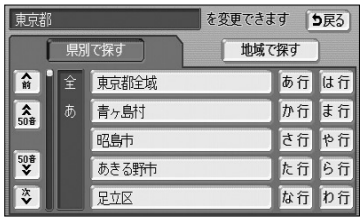
- 選択されている種類のタッチスイッチは強調表示されます。

(3) 都道府県から検索するには 県別で探す にタッチします。

(4) 施設のある都道府県名にタッチします。

- 全エリア にタッチすると、1 の (5) の画面を表示します。この場合、都道府県の指定は行われていません。

ナビゲーション



(5) 施設のある市区町村名にタッチします。

● ○○全域 にタッチすると、P.3-27の**1**の(5)の画面を表示します。この場合、都道府県レベルで検索することができます。

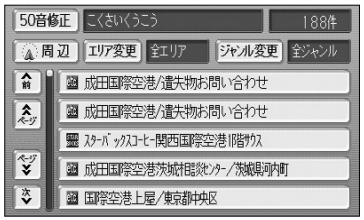
(6) 主な地域から検索するにはP.3-28の**3**の(2)の画面で 地域で探す にタッチします。



(7) 施設のある地域名にタッチします。

● 全エリア にタッチすると、P.3-27の**1**の(5)の画面を表示します。この場合、地域の指定は行われていません。

4 自車周辺の施設に絞り込むには



(1) P.3-27の**1**の(5)の画面で 周辺 にタッチします。

● 自車位置の都道府県のエリアに存在する施設名称がリスト表示されます。

施設で地図を表示するには

ゴルフ場、スキー場、キャンプ場などの施設名称から周辺の地図を表示することができます。

▼ 以下に目的地設定を施設（空港）から地図を表示して行う場合について説明します。



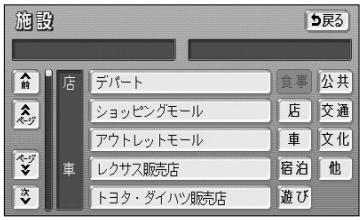
(1) ナビメニュー（P.2-8参照）で その他 にタッチして新しく探す画面を表示させ、 施設 にタッチします。

● ナビメニューの「新しく探す」をカスタマイズして 施設 を表示する設定にした場合は、ナビメニューから直接選択できます。(P.4-18参照)。



(2) 表示したい施設のジャンルにタッチします。
(ここでは 空港 にタッチします)

● 表示されている施設以外のジャンルは その他 にタッチすると表示され、表示したい施設ジャンルを選択することができます。



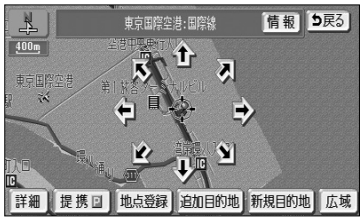


(3) 施設のある都道府県名にタッチします。

● 選択したジャンルによっては、 全国の○○ が表示されます。
全国の○○ にタッチすると全国の施設名称を50音順でリスト表示することができます。



(4) 表示したい施設にタッチします。



● 周辺の地図をノースアップで表示します。

アドバイス

- 情報 は表示した施設に詳細情報が存在する場合のみ表示されます。 情報 にタッチすると施設の詳細情報を表示することができます。P.3-47を参照してください。
- 表示した施設に提携駐車場が存在する場合は 提携P が表示されます。 提携P にタッチすると施設の提携駐車場を検索し、入庫可能な駐車場を表示することができます。P.3-27を参照してください。

電話番号で地図を表示するには

市外局番とそれに続く加入者番号によって該当地点の周辺の地図を表示します。

▼ 以下に目的地設定を電話番号（0561-39-＊＊＊＊）から地図を表示して行う場合について説明します。



(1) ナビメニュー（P.2-8参照）を表示します。

● または、ナビメニューで その他 にタッチして新しく探す画面を表示します。



(2) 電話番号 にタッチします。

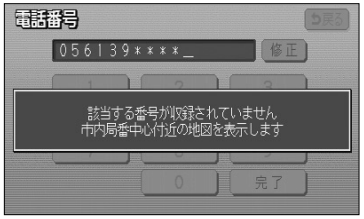


(3) 数字を1番号ずつタッチして入力します。

● 市外局番から入力します。

● 修正するときは 修正 にタッチすると1番号ずつ消去されます。

● 市外局番と市内局番を入力しただけでも周辺の地図を表示できます。



(4) 完了 にタッチすると検索を開始します。

● 検索が成功すると地図を表示します。
入力した番号に該当する施設があるときは、その施設付近の地図が表示されます。
入力した番号に該当する施設がないとき、または入力した番号が個人住宅などのときは、入力した市外・市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。



● 周辺の地図をノースアップで表示します。

アドバイス

- 情報 は表示した施設に詳細情報が存在する場合のみ表示されます。 情報 にタッチすると施設の詳細情報を表示することができます。P.3-47を参照してください。
- 表示した施設に提携駐車場が存在する場合は 提携 P が表示されます。 提携 P にタッチすると施設の提携駐車場を検索し、入庫可能な駐車場を表示することができます。P.3-27を参照してください。

● 該当地点が存在しない場合（市内局番周辺の地図が表示されたとき）は 住所一覧 が表示されます。

(5) 周辺の住所から地図を表示するには 住所一覧 にタッチします。



(6) 表示させたい地名にタッチします。

● ○○主要部 にタッチすると、周辺の地図が表示されます。

● 番地指定 にタッチすると番地を指定することができます（P.3-36参照）。



● 周辺の地図をノースアップで表示します。

郵便番号で地図を表示するには

郵便番号によって該当地点の周辺の地図を表示します。

▼ 以下に目的地設定を郵便番号（460-0000）から地図を表示して行う場合について説明します。



(1) ナビメニュー（P.2-8参照）で その他 にタッチして新しく探す画面を表示させ、 郵便番号 にタッチします。

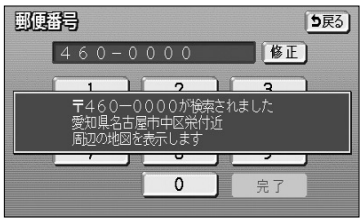
● ナビメニューの「新しく探す」をカスタマイズして 郵便番号 を表示する設定にした場合は、ナビメニューから直接選択できます。(P.4-18参照)



(2) 数字を1番号ずつタッチして入力します。

● 7桁全ての郵便番号を入力します。

● 修正するときは 修正 にタッチすると1番号ずつ消去されます。



(3) 完了 にタッチすると検索を開始します。

● 検索が成功すると周辺の地図を表示します。



● 周辺の地図をノースアップで表示します。

● 周辺の住所から地図を表示するには 住所一覧 にタッチします。P.3-33を参照してください。

アドバイス

超高層ビル、事業所などの個別に割りあてられた郵便番号から地図を表示した場合は、 住所一覧 は表示されません。

ナビゲーション

住所で地図を表示するには

住所から周辺の地図を表示することができます。番地を指定することにより、詳細な住所の検索ができます。

▼ 以下に目的地設定を住所から地図を表示して行う場合について説明します。

1 住所で地図を表示するには



（1） ナビメニュー（P.2-8参照）を表示します。

● または、ナビメニューで **その他** にタッチして新しく探す画面を表示します。



（2） **住所** にタッチします。



（3） 都道府県名、市区町村名、大字名、小字名の順で表示させたい地名をタッチします。

● **○○主要部** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。



● 周辺の地図をノースアップで表示します。

2 番地を指定して地図を表示する



（1） P.3-35の **1** の（3）で、小字名にタッチしたあと、**番地指定** にタッチすると番地を指定することができます。



（2） 数字と−を1つずつタッチして番地を入力します。

● 123番地45号を入力する場合、「123−45」と入力してください。

● 修正するときは **修正** にタッチすると1つずつ消去されます。

（3） **完了** にタッチすると周辺の地図を表示します。



● 周辺の地図をノースアップで表示します。

● 複数の番地が存在する場合は **周辺住所** が表示されます。

（4） **周辺住所** にタッチすると番地の候補がリスト表示されます。



● リスト最上部の番地（矢印で表示）の位置が、右画面の地図上に のマークで表示されます。

● 表示したい番地にタッチすると、周辺の地図を表示します。

メモリ地点で地図を表示するには

すでに登録済みのメモリ地点から、周辺の地図を表示することができます。

▼ 以下に目的地設定をメモリ地点から地図を表示して行う場合について説明します。

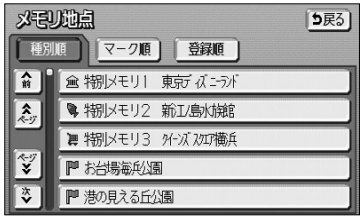


（1） ナビメニュー（P.2-8参照）で **その他** にタッチして新しく探す画面を表示させ、**メモリ地点** にタッチします。

● ナビメニューの「新しく探す」をカスタマイズして **メモリ地点** を表示する設定にした場合は、ナビメニューから直接選択できます。(P.4-18参照)

アドバイス

メモリ地点が登録されていないときは使用できません。



（2） 表示したいメモリ地点にタッチします。

● メモリ地点のリストは、3種類の並べ方をさせることができます。

・ **種別順** にタッチすると、自宅、よく行く場所、メモリ地点の順に並びかわります。

・ **マーク順** にタッチすると記号の種類別に並びかわります。

・ **登録順** にタッチするとメモリ地点の登録順に並びかわります。



● 周辺の地図をノースアップで表示します。

履歴で地図を表示するには

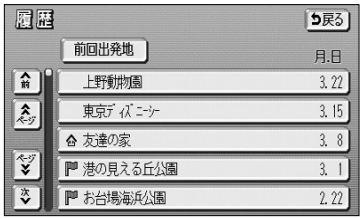
一度設定した目的地は20件分まで自動的に記憶され、その履歴から地図を表示することができます。

▼ 以下に目的地設定を履歴から地図を表示して行う場合について説明します。



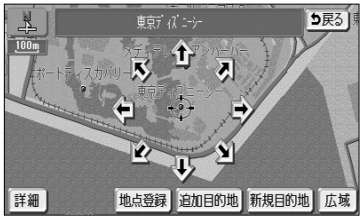
（1） ナビメニュー（P.2-8参照）で **その他** にタッチして新しく探す画面を表示させ、**履歴** にタッチします。

● ナビメニューの「新しく探す」をカスタマイズして **履歴** を表示する設定にした場合は、ナビメニューから直接選択できます。(P.4-18参照)



（2） 過去の目的地から、表示したい目的地の名称をタッチします。

● **前回出発地** にタッチすると、前回出発地の地図が表示されます。



● 周辺の地図をノースアップで表示します。

アドバイス

●履歴は最近設定した目的地を20件まで記憶しています。
20件を超えると古い順に消去されます。必要な地点はメモリ地点に登録（P.4-20参照）してください。

●履歴で地図を表示したあと、同一地点に目的地を設定した場合は、設定した日付のみが更新されます。

●履歴を消去する場合はP.4-17を参照してください。

マップコードで地図を表示するには

最大13桁（＊を含む）のマップコードから地図を表示することができます。

▼ 以下に目的地設定をマップコード（6151454＊＃＃）から地図を表示して行う場合について説明します。



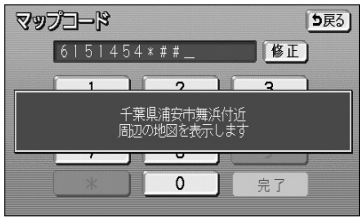
（1） ナビメニュー（P.2-8参照）で **その他** にタッチして新しく探す画面を表示させ、 **マップコード** にタッチします。

● ナビメニューの「新しく探す」をカスタマイズして **マップコード** を表示する設定にした場合は、ナビメニューから直接選択できます。(P.4-18参照)



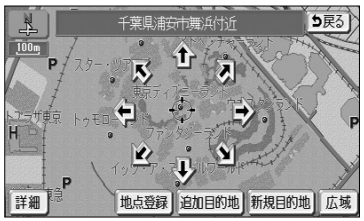
（2） 数字を1番号ずつタッチして入力します。

● 修正するときは **修正** にタッチすると1番号ずつ消去されます。



（3） **完了** にタッチすると検索を開始します。

● 検索が成功すると周辺の地図を表示します。



● 周辺の地図をノースアップで表示します。

アドバイス

●マップコードとは、日本全国のすべての位置を数字としてコード化し、6～10桁の番号（標準マップコードの場合）でその場所を特定することができるものです。従来は、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定しにくいところも特定することができるようになります。

●標準マップコード（6～10桁）のあとに＊を入力し、高分解能マップコード（1～2桁）を入力することで、より詳細な位置を特定することができます。

●マップコードについては、http://www.e-mapcode.comで紹介されています。そちらをご覧ください。

●マップコードは、メモリ地点修正画面（P.4-22参照）の位置名称の下にも表示されます。

●マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

周辺施設で地図を表示するには

現在地や目的地周辺に存在する施設の地図を表示することができます。

●メモリ地点登録（P.4-21参照）、迂回メモリ登録（P.4-33参照）、販売店設定（P.5-9参照）で行うことができます。

▼以下にメモリ地点登録を周辺施設から地図を表示して行う場合について説明します。



（1） メモリ地点登録画面（P.4-21参照）で **周辺施設** にタッチします。

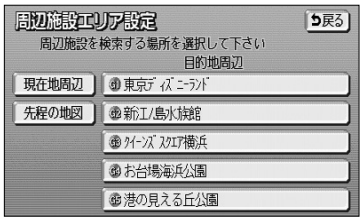


（2） 検索したい施設のジャンルにタッチします。

● 施設のジャンルは5つまで選択することができます。

● 間違えたときは **選択解除** にタッチすると、1ジャンルずつ解除されます。

● 選択したジャンルにタッチすると、選択したジャンルが解除されます。



（3） **エリア** にタッチすると、周辺施設を検索するエリアを選択する画面が表示されます。

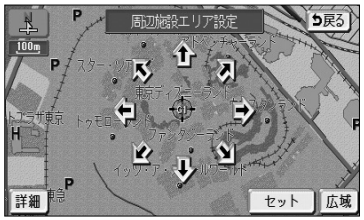
● すでに設定している目的地の周辺施設を検索したい場合は、リストの中から検索したい目的地にタッチします。

● **現在地周辺** にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。

● **先程の地図** にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。

アドバイス

目的地を設定している場合にのみ、目的地のタッチスイッチが表示されます。



(4) にタッチすると、地図が移動して の位置を変更することができます。

(5) セット にタッチします。

● 周辺施設のジャンル選択画面が表示されます。



(6) 完了 にタッチすると、検索された施設がリスト表示され、タッチスイッチに施設の名称、選択したエリアから施設までの方角と直線距離が表示されます。



● 種類順 にタッチするとリストが種類順に表示され、距離順 にタッチすると選択したエリアから近い順に表示されます。

● ルート沿い考慮 にタッチするとルートの進行方向に向かって存在する施設の位置、および現在地からの道なり距離が表示されます（P.3-49参照）。



(7) 表示させたい施設にタッチすると、選択した施設を中心とした地図が表示され、施設の名称が表示されます。



● 情報 にタッチすると施設情報画面が表示されます（P.3-47参照）。

目的と場所から地図を表示するには

お出掛けの目的と場所から施設を絞り込み、該当の地図を表示します。

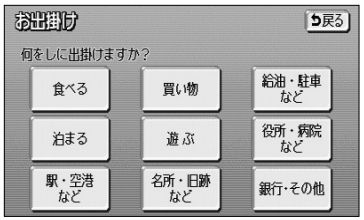
●目的地を設定するときのみ使用できます。

▼以下に目的地設定をお出掛け（東京駅周辺に食事をするため出掛ける）から地図を表示して行う場合について説明します。

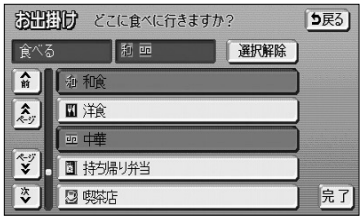


(1) ナビメニュー（P.2-8参照）で その他 にタッチして新しく探す画面を表示させ、 お出掛け にタッチします。

● ナビメニューの「新しく探す」をカスタマイズして お出掛け を表示する設定にした場合は、ナビメニューから直接選択できます。(P.4-18参照)



(2) まず、お出掛けの目的を選択します。
（ここでは 食べる にタッチします）



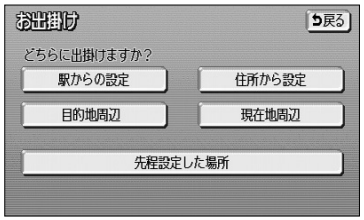
(3) 検索したい施設のジャンルにタッチします。
（ここでは 和食 と 中華 にタッチします）

● 施設のジャンルは 1 つの目的の中から 5 つまで選択することができます。目的を選択しなおすと、選択したジャンルは解除されます。

● 間違えたときは 選択解除 にタッチすると、1 ジャンルずつ解除されます。

● 選択したジャンルにタッチすると、選択したジャンルが解除されます。

(4) 完了 にタッチします。





(5) 次に、お出掛けしたい場所を設定します。

- 住所から設定 にタッチすると、住所から周辺の地図を表示することができます（P.3-35の（3）参照）。
- 現在地周辺 にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- すでに設定している目的地の周辺にお出掛けしたい場合は、 目的地周辺 にタッチすると、設定している目的地のリストが表示されます。
- リストの中からお出掛けしたい目的地にタッチします。
- お出掛けしたい場所を設定した後に目的を選択しなおしたときは、 先程設定した場所 にタッチすると、前回設定した場所に設定されます。
- ここでは、駅から場所を設定する場合について説明します。

  駅からの設定 にタッチします。



(6) 都道府県名にタッチします。
（ここでは 東京都 にタッチします）



(7) 路線名にタッチします。
（ここでは JR全線 にタッチします）



(8) 駅名にタッチします。
（ここでは 東京駅 にタッチします）



(9) にタッチすると、地図が移動して の位置を変更することができます。

(10) セット にタッチします。





(11) 検索された施設がリスト表示され、タッチスイッチに施設の名称、選択したエリアから施設までの方角と直線距離が表示されます。

- 種類順 にタッチするとリストが種類順に表示され、 距離順 にタッチすると選択したエリアから近い順に表示されます。
- ルート沿い考慮 にタッチするとルートの進行方向に向かって存在する施設の位置、および現在地からの道なり距離が表示されます（P.3-49参照）。
- 目的変更 にタッチするとP.3-42の（3）の画面に戻ります。
- 場所変更 にタッチすると（5）の画面に戻ります。

(12) 表示させたい施設にタッチすると、選択した施設を中心とした地図が表示され、施設の名称が表示されます。



(13) 情報 にタッチすると施設情報画面が表示されます（P.3-47参照）。

ナビゲーション

施設ランドマークを地図に表示するには

地図上にGS（ガソリンスタンド）やレストランなどの施設のランドマークを表示することができます。また、表示している施設ランドマークの詳細情報を表示することもできます。

1 施設ランドマークを表示するには

表示させたい施設ランドマークを簡易操作で表示することができます。



（1） 現在地画面(P.2-13参照)、または地図画面(P.2-14参照)から 表示変更 にタッチします。

（2） 周辺施設 にタッチします。

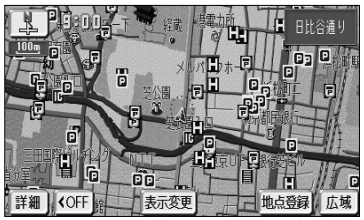
- 6つの施設ジャンルが表示されます。



（3） 表示させたい施設にタッチすると、タッチした施設ランドマークが表示されます。

- 表示されている6つの施設ジャンルは、走行中に選択（解除）・追加することができます。
- 6つの施設ジャンルを変更することができます。変更方法の詳細については、P.4-3を参照してください。
- 6つの施設ジャンル以外の施設ランドマークを表示する場合は、 全ジャンル にタッチして、次に表示された画面で複数ジャンルの施設の表示を設定することができます。
- 5種類まで施設ランドマークを表示させることができます。
- 間違えたときは 選択解除 にタッチすると、1施設ずつ消去されます。
- 選択されている施設にタッチすると、選択されていた施設が消去されます。
- 完了 にタッチすると、選択した施設ランドマークが表示されます。



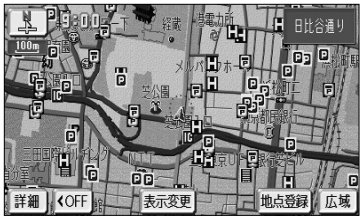


アドバイス

施設ランドマークは、 800m よりも広域な地図には表示されません。

2 施設ランドマークを消去するには

地図上に表示されている施設ランドマークを消去します。



（1） 現在地画面(P.2-13参照)、または地図画面(P.2-14参照)から 表示変更 にタッチします。

（2） 周辺施設 にタッチします。



（3） 現在選択している施設ジャンルにタッチにします。

- 走行中は、 1 の（3）の画面に表示されている6つの施設ジャンルのみ解除（消去）できます。
- 複数ジャンルの施設ランドマークを選択しているときに 表示解除 にタッチすると、すべて解除（消去）されます。

3 施設ランドマークの詳細情報を表示するには

地図上に表示されている施設ランドマークの名称や施設情報を表示します。



（1） 現在地画面(P.2-13参照)、または地図画面(P.2-14参照)で表示されている施設ランドマークにタッチします。

- 枠が点滅している施設ランドマークの施設名称が表示されます。



(2) 情報 にタッチすると、施設情報画面が表示されます。

- 施設の個別情報（名称、住所、電話番号など）が表示されます。



(3) 目的地セット にタッチすると施設に目的地を設定することができます。

- 地点登録 にタッチすると、施設にメモリ地点を登録することができます。
- すでに目的地が設定されている場合は、新規目的地 にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され、新たな目的地として設定することができます。P.2-31を参照してください。
- 追加目的地 にタッチすると、施設を現在設定されている目的地に追加して設定することができます。P.3-3を参照してください。

アドバイス

- ●施設名称の表示は、約6秒間表示されると自動的に消去されます。
- ●同一の建物に複数の施設が存在し、地図上の施設ランドマークが重なることがあります。その場合、施設ランドマークにタッチするごとに順番に施設名称が表示されます。
- ●同一施設の部署・部門が別の施設として、個別にランドマーク表示されることがあります。
- ●メモリ地点設定、販売店設定で表示した地図より（2）の操作を行ったときの施設情報画面には セット が表示されます。 セット にタッチすると、それぞれの地点の設定を行うことができます。
- ●現在地を押して現在地画面を表示した場合、P.3-45の 1 の（3）で選択した施設ジャンルすべての施設ランドマークが地図上に表示されます。

近くの施設を検索するには

選択したジャンルの施設位置を検索し、表示することができます。また、案内中のルート沿いに存在する施設のみを検索し、表示することができます。

1 近くの施設を検索するには



(1) 施設ランドマークが選択されている（P.3-45参照）とき、現在地(P.2-13参照)または地図画面(P.2-14参照)で 表示変更 にタッチします。

(2) 周辺施設 にタッチします。



(3) 施設検索 にタッチします。

- 検索された施設がリスト表示され、タッチスイッチに施設の名称、現在地または⊕マークから施設までの直線距離が表示されます。
- 現在地から表示した場合は、現在の進行方向からみてどの方向にその施設があるかを表示します。
- 種類順 にタッチするとリストが記号別に表示され、 距離順 にタッチすると現在地または⊕マークから近い順に表示されます。



(4) 表示させたい施設にタッチすると、選択した施設を中心とした地図が表示され、施設の名称と現在地からの直線距離が表示されます。

- 情報 にタッチすると施設情報画面が表示されます。（P.3-47参照）

アドバイス

- ●距離表示は、自車位置からの直線距離（現在地画面から近くの施設を検索した場合）または⊕マークからの直線距離（地図画面から近くの施設を検索した場合）です。
- ●検索可能なのは、現在地または⊕マークから半径10km以内に存在する施設で、現在地または⊕マークから近い順に200件までです。
- ●同一名称で複数の電話番号が登録されている場合、それぞれがリスト表示されます。

2 ルート沿いの施設を検索するには



（1） P.3-48の 1 の（2）で 施設検索 にタッチして検索されたリスト画面で、 ルート沿い考慮 にタッチします。

- 検索された施設がリスト表示され、タッチスイッチに施設の名称、ルートの進行方向に向かって存在する施設の位置および現在地からの道なり距離が表示されます。
- 種類順 にタッチするとリストが種類順に表示され、 距離順 にタッチすると現在地から近い順に表示されます。

（2） 表示させたい施設にタッチすると、選択した施設を中心とした地図が表示され、施設の名称と現在地からの道なり距離が表示されます。



- 情報 にタッチすると施設情報画面が表示されます。（P.3-47参照）

アドバイス

●現在地画面、または地図画面上にルートが表示されていないときは、ルート沿いの施設検索は行われません。
●ルート沿いを考慮した施設リストに表示されるマークは、ルートの進行方向に向かった位置を示しています。
・・・ルートの進行方向に向かって右側に施設が位置していることを示しています。
・・・ルートの進行方向に向かって左側に施設が位置していることを示しています。
・・・ルートの進行方向に向かって後ろに施設が位置していることを示しています。

メモ

ナビゲーション

ナビ設定を行うには

利用状況に応じてナビゲーションの各種の設定を変えることができます。
よく使う機能を設定しておくと便利です。

1 ナビ設定を行うには



(1) 設定画面（P.2-9参照）で ナビ設定 にタッチします。

(2) リストの項目を動かして（P.2-10参照）各機能の設定を行います。

- 各項目の設定内容については、2 を参照してください。
- 初期状態 にタッチすると、全ての項目が初期設定値に戻ります（下記2 参照）。

(3) 全ての設定が良ければ 完了 にタッチします。

2 ナビ設定の項目について（＿＿は初期値を示します）

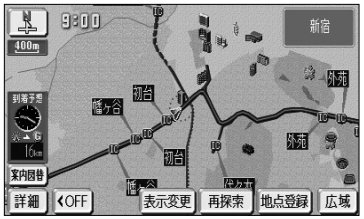
機能名	選択項目	機能名	選択項目
都市高マップ自動表示	する／しない	3D地図表示設定	変更する
レーンリスト自動表示	する／しない	立体ランドマーク表示	する／しない
周辺施設 走行中呼出ジャンル	変更する	シーズンレジャーランドマーク表示	する／しない
到着予想時刻表示	変更する	地図スクロール時の地名表示	する／しない
交差点拡大図自動表示	する／しない	交通事故多発地点マーク表示	する／しない
高速分岐模式図自動表示	する／しない	時計表示	する／しない
3D交差点拡大図	する／しない	料金案内	する／しない
2D 時フロントワイド	する／しない	料金所レーン案内	する／しない
2D 時フロントワイド	する／しない	VICS渋滞・規制音声自動発声	する／しない
右画面の地図で表示	する／しない	自動音声案内	する／しない
3D 時のルート方向アップ	する／しない	県境案内	する／しない
地図カスタマイズ	変更する	踏切警告	する／しない

機能名	選択項目	機能名	選択項目
合流警告	する／しない	自動再探索	する／しない
カーブ警告	する／しない	季節規制メッセージ表示	する／しない
他モード時の案内	する／しない	車両情報設定	変更する
操作説明音声	する／しない	目的地履歴の消去	消去する
ハートフル音声	する／しない	ナビ補正	補正する
居眠り防止案内	する／しない		

●都市高マップ自動表示

ルート案内中、自車が都市高速道路に進入すると自動で都市高マップ（P.2-40参照）を表示することができます。

都市高マップ



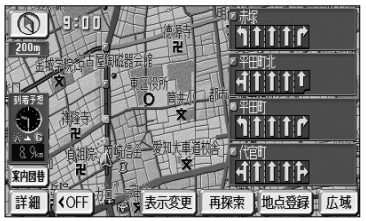
アドバイス

都市高マップは、200m から 1.6k までの地図縮尺で表示されます。

●レーンリスト自動表示

ルート案内中、案内分岐点に接近するとレーンリスト（P.2-37参照）を自動で表示することができます。

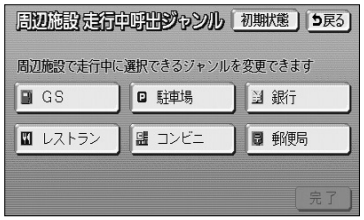
レーンリスト



4 設定編
ナビ設定を行うには

●周辺施設　走行中呼出ジャンル

周辺施設（P.3-40参照）で走行中に選択できるジャンルを変更することができます。



（1） ジャンルを変更する場合は、P.4-1の**1**の（2）の画面で　変更する　にタッチします。

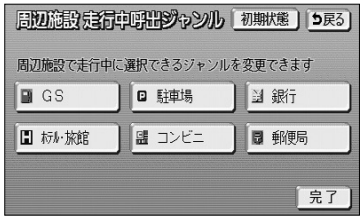
● 現在設定中のジャンルスイッチが表示されます。

（2） 変更したいジャンルのスイッチにタッチします。



● ジャンルリストが表示されます。

● 現在設定中のジャンルスイッチは、強調表示されます。



● 初期状態 にタッチすると走行中に選択できるジャンルの設定が初期状態に戻ります。

（3） 設定が良ければ 完了 にタッチします。

●到着予想時刻表示

ルート上を走行しているときに、目的地への到着予想時刻（P.2-34参照）を表示することができます。この到着予想時刻を計算する基準として、高速道路、有料道路（都市高速含む）、一般道路の各平均車速を設定することができます。



（1） 平均車速を設定するには、P.4-1の**1**の（2）の画面で　変更する　にタッチします。

（2） 設定したい道路種別の ◀ または ▶ にタッチすると平均車速を変更できます。

・ ◀ にタッチすると設定速度が遅くなります。

・ ▶ にタッチすると設定速度が速くなります。

・ 初期状態 にタッチすると、全ての平均車速設定が初期設定値に戻ります。

（3） 設定が良ければ 完了 にタッチします。

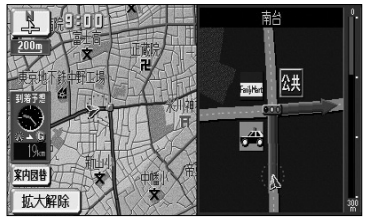
アドバイス

●案内ルート上を走行していないときは、到着予想時刻の表示は行われません。
●到着予想時刻の表示は自車の走行と時間の経過により随時更新されます。

●交差点拡大図自動表示

ルート案内中、分岐点に接近すると案内分岐点の拡大図（P.2-36参照）を自動で表示することができます。

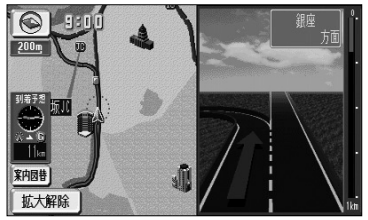
交差点拡大図



●高速分岐模式図自動表示

ルート案内中、高速道路のジャンクション、本線出口、ランプウェイ内の分岐点に接近すると高速分岐案内図（P.2-38参照）を自動で表示することができます。

高速分岐模式図



ナビゲーション

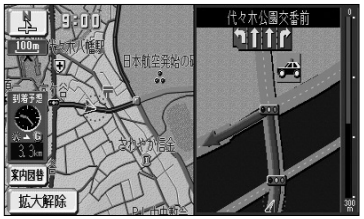
●3D交差点拡大図

交差点拡大図の表示を2Dまたは3Dに切り替えることができます。

3Dの交差点拡大図



2Dの交差点拡大図



アドバイス

立体交差点拡大図、3D高速分岐拡大画面、ハイウェイ入口案内画面は、交差点拡大図の表示設定に関わらず常に3Dで表示されます。

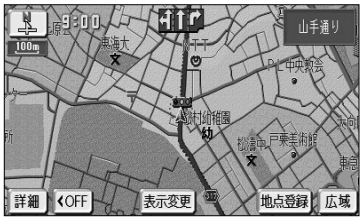
●2D 時フロントワイド

ノースアップ（P.2-18参照）のとき、自車マークをフロントワイド（進行方向の地図を広く）表示するか、しない（画面中央表示）か設定ができます。

する



しない



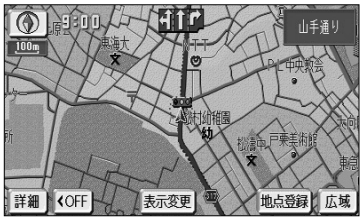
●2D 時フロントワイド

ヘディングアップ（P.2-18参照）のとき、自車マークをフロントワイド表示するか、しない（画面中央表示）か設定ができます。

する



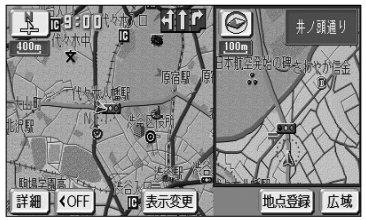
しない



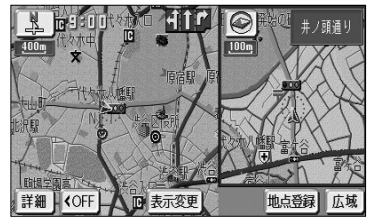
●2D 時フロントワイド　右画面の地図で表示

2画面表示で右画面がヘディングアップ（P.2-22参照）のとき、自車マークをフロントワイド表示するか、しない（画面中央表示）か設定ができます。

する



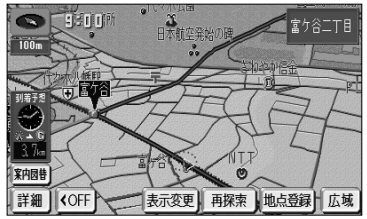
しない



●3D 時のルート方向アップ

3D表示で案内ルート上を走行中に、地図向きをルート方向アップ（ルートの進行方向が画面上方となるような地図）表示に切り替えることができます。

ルート方向アップ表示



ナビゲーション

●地図カスタマイズ

昼画面（P.1-24参照）または夜画面（P.1-24参照）の地図色、案内ルートのルート色、自車マークの種類の変更、ビジュアルシティマップ（道幅を考慮した地図）を表示するか、しないかの設定を行うことができます。

地図カスタマイズ画面



確認画面

（1） P.4-1の**1**の（2）の画面で 変更する にタッチします。

（2） 変更したい地図色、ルート色、自車マークの種類、ビジュアルシティマップの設定スイッチにタッチします。

- 変更した内容に合わせ確認画面が切り替わります。
- 現在設定中のスイッチは強調表示されます。
- 初期状態 にタッチすると、地図カスタマイズの設定が初期状態に戻ります。

（3） 設定がよければ 完了 にタッチします。

ビジュアルシティマップ表示する



ビジュアルシティマップ表示しない



アドバイス

●地図色について
・通常の「ノーマル」と、ルート色が見やすい「クルージング」、渋滞情報が見やすい「トラフィック」、市街情報が分かりやすい「タウン」の4つの表示を選択できます。

●確認画面について
・確認画面は現在地画面（P.2-13参照）とは異なります。地図の縮尺切り替え（P.2-15参照）、地図スクロール（P.2-14参照）、3D表示切り替え（P.2-19参照）などの操作は行えません。
・地図色（昼）または地図色（夜）のいずれかのスイッチにタッチするとライトの点灯・消灯（P.1-24参照）にかかわらず、確認画面が昼画面または夜画面に切り替わります。
・確認画面では常にルートが表示されています。実際に案内ルートを設定していない場合でも変更したルート色を確認することができます。

アドバイス

●ルート色について
・案内ルートの色により、季節規制区間道路（P.2-29参照）のルート色が異なります。
ルート色を青に設定した場合、オレンジ色の線の入った青色でルートを表示します。
ルート色を緑に設定した場合、オレンジ色の線の入った緑色でルートを表示します。
ルート色をオレンジに設定した場合、青色の線の入ったオレンジ色でルートを表示します。
ルート色を赤に設定した場合、オレンジ色の線の入った赤色でルートを表示します。

●自車マークについて
・自車の方位修正画面（P.4-54参照）を表示しているときは、自車マークが で表示されます。

●3D地図表示設定

3D表示（P.2-19参照）の視点角度を変更することができます。



（1） 3D表示の視点角度を変更するには、P.4-1の**1**の（2）の画面で 変更する にタッチします。

（2） または により視点角度を変更できます。

- にタッチすると、視点の角度を上げることができます。
- にタッチすると、視点の角度を下げることができます。
- 視点角度は10段階に調整できます。
- 初期状態 にタッチすると、角度が初期設定の状態（下から4つ目の設定）に戻ります。

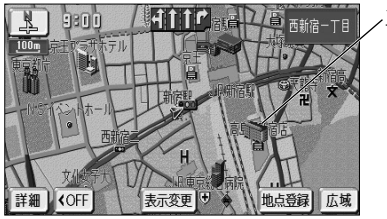
（3） セット にタッチします。

- 設定した視点角度で表示されます。

ナビゲーション

●立体ランドマーク表示

地図上に特定施設の立体ランドマークを表示することができます。

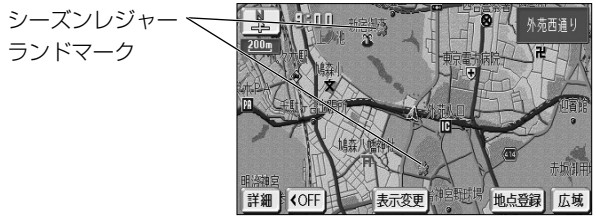




- 800m および 800m より詳細の地図に立体ランドマークを表示します。
- 表示された立体ランドマークにタッチすると、施設が赤枠で強調され施設名称が表示されます。

●シーズンレジャーランドマーク表示

季節的に観光スポットとなる場所をマークで表示することができます。



アドバイス

- ●季節によっては表示されないマークがあります。
- ●地域によって季節に誤差があるため、マークが表示される時期と観光スポットの実際の観光シーズンが異なる場合があります。
- ●地図の縮尺によって表示されない場合があります。

●地図スクロール時の地名表示

地図にタッチして地図を移動（スクロール）したときに、画面の中心付近の地名や道路名称、道路番号を表示することができます。

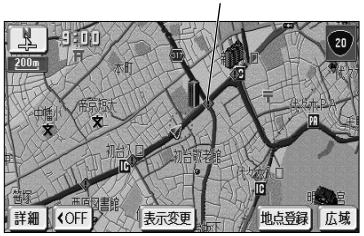


アドバイス

地名表示は、 50m から 6k までの地図縮尺で表示されます。

●交通事故多発地点マーク表示

交通事故が多発する地点を地図上にマークで表示することができます。



アドバイス

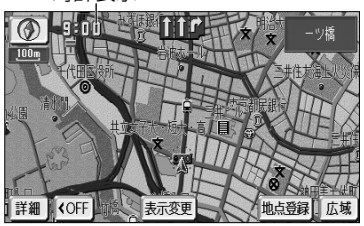
地図の縮尺によって表示されない場合があります。

ナビゲーション

●時計表示

地図を表示している画面に時計を表示することができます。

時計表示



アドバイス

ＧＰＳが受信されるまで表示時間がずれる場合があります。また、時計が表示されるまで時間がかかる場合があります。

●料金案内

ルート案内中、料金所に接近すると料金案内（P.2-37参照）を表示することができます。

料金案内

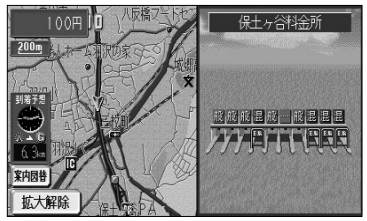


アドバイス

別売のナビ対応のETCユニットを接続しているときは、料金案内の表示はされません。

●料金所レーン案内

ルート案内中、料金所の手前で、3Dの案内拡大図を表示し、料金所のレーンを案内します。
ETCレーンがある場合は、一般レーンとETCレーンの区別も表示します。（P.2-38参照）

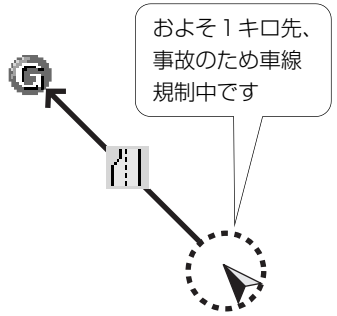


アドバイス

画面に表示されているレーン表示は、実際の状態と異なる場合があります。

● *VICS* 渋滞・規制音声自動発声

案内ルート上に渋滞・規制が発生したときに、発生した ***VICS*** 情報の音声案内を自動で行うことができます。

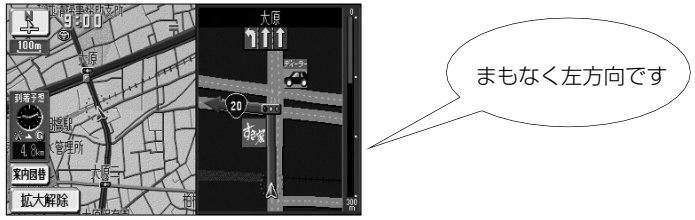


アドバイス

- ***VICS*** 情報の音声案内は、 ***VICS*** 情報が消去されているときは案内されません。
- 案内される情報は、自車前方およそ10ｋｍまでの情報です。
- ***VICS*** の表示設定（P.4-46参照）が高速道のみに設定されていても、一般道の情報も案内されます
（一般道のみに設定されているときも高速道の情報が案内されます）。

●自動音声案内

ルート案内中、分岐点に接近したときなどに音声案内を自動で行うことができます。



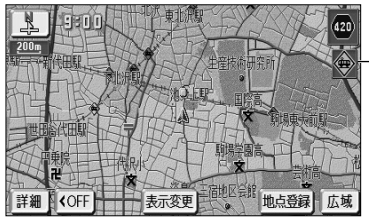
●県境案内

自車が県境にさしかかると、音声とその県をイメージさせた絵でお知らせすることができます。
他の音声と重なる場合は、案内しないことがあります。



●踏切警告

踏み切りにさしかかると、注意を促す警告案内を音声とマーク表示で案内することができます。他の音声と重なる場合は、案内しないことがあります。



●合流警告

合流地点にさしかかると、危険を促す警告案内を音声とマーク表示で案内することができます。
他の音声と重なる場合は、案内しないことがあります。



アドバイス

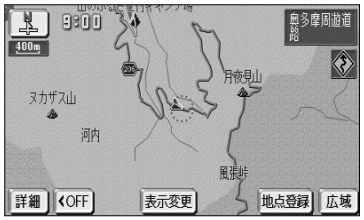
●合流地点の形状により以下のマークが表示されます。



●合流警告の案内は一般道路では行われません。

●カーブ警告

急なカーブにさしかかると、危険を促す警告案内を音声とマーク表示で案内することができます。
他の音声と重なる場合は、案内しないことがあります。



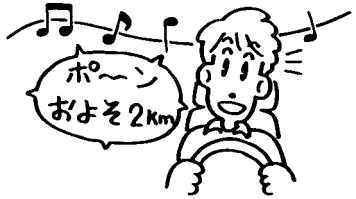
アドバイス

カーブの形状により以下のマークが表示されます。



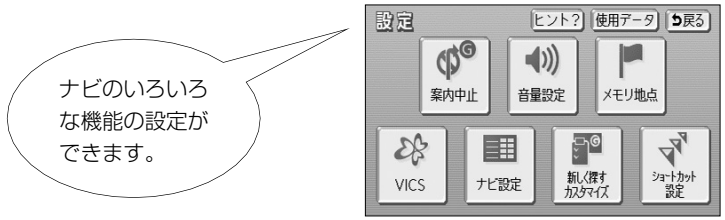
●他モード時の案内

ラジオやテレビ画面を表示し、その音声を聞いているときにもナビゲーションの音声案内を聞くことができます。



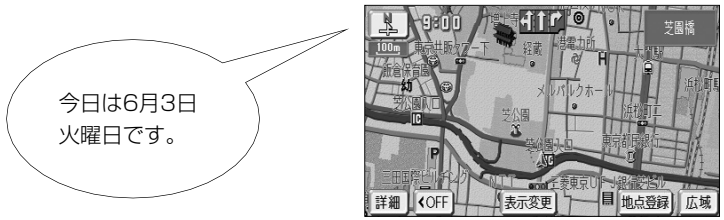
●操作説明音声

画面の説明や誤った操作を行ったときの説明音声を音声案内させることができます。



●ハートフル音声

その日初めてナビゲーションが立ち上がったときに「今日は6月3日火曜日です」、目的地に到着したときに「お疲れさまでした」などの気のきいた音声案内をさせることができます。



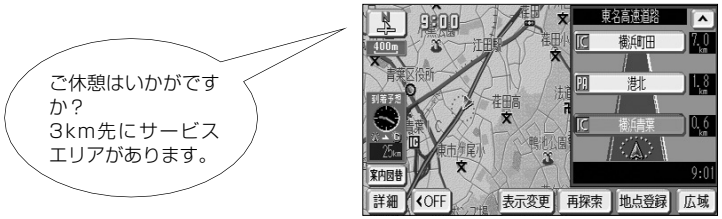
アドバイス

上記のハートフル音声は一般的なものであり、状況などにより異なった音声が出力されたり、出力されない場合があります。

ナビゲーション

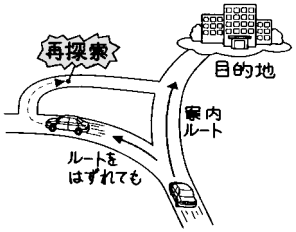
●居眠り防止案内

長時間のドライブ時などに音声案内を行い、注意を促します。



●自動再探索

案内ルートから自車が外れてしまった場合でも、自動で再探索を行い現在地から新しいルートを表示することができます。



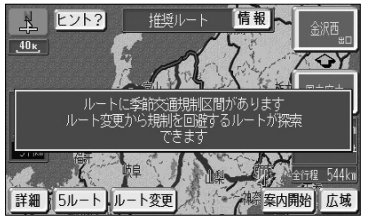
アドバイス

自動再探索は、公園の敷地など探索対象の道路がないところでは動作しません。探索対象の道を自車が走行していると判断されたときのみ自動再探索を開始します。

●季節規制メッセージ表示

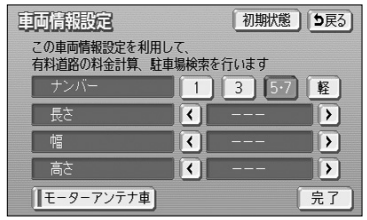
探索されたルートに季節規制区間（冬季通行止めなど）が含まれる場合、メッセージを表示することができます。規制区間を回避するルートを探索する方法については、P.2-29を参照してください。

季節規制メッセージ表示



●車両情報設定

入庫可能な駐車場を検索するときの条件、および有料道路の料金を計算するときの基準となる車両情報を設定します。**目的地が設定されているときは、車両情報を設定することはできません。**
その場合、一旦「目的地消去」（P.3-6参照）を行ってから設定してください。



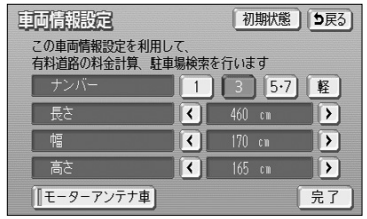
（1） 車両情報を設定するには、P.4-1の 1 の（2）の画面で 変更する にタッチします。

（2） 1 、 3 、 5・7 、 軽 にタッチして、お使いの車両のナンバーを設定します。

- 初期設定は、 5・7 に設定されています。

（3） ◀ 、 ▶ にタッチして、車両の長さ、幅、高さを設定します。

- 初期状態 にタッチすると、車両情報設定が初期状態に戻ります。



（4） お使いのお車がモーターアンテナ車の場合は、モーターアンテナ車 にタッチして、モーターアンテナ車の設定を「ON」にします。

- 初期設定は、「OFF」に設定されています。
- モーターアンテナ車設定が「ON」のときは、作動表示灯が点灯します。
- モーターアンテナ車 にタッチするごとにモーターアンテナ車設定の「ON」と「OFF」が切り替わります。

（5） 完了 にタッチします。

アドバイス

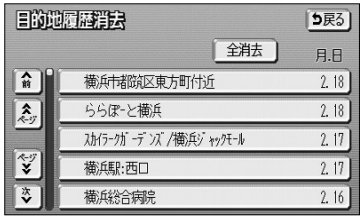
●車両情報の設定は、次の機能が行われるときの基準となります。
- 入庫可能な駐車場の検索（P.3-27参照）
- 均一区間の料金表示（P.2-13参照）
- 現在地画面の料金案内（P.4-11参照）
- ルート情報画面の料金表示（P.3-18参照）
- 全ルート表示画面の合計料金表示（P.2-32の 1 の画面、P.2-33の 2 の（4）の画面）

●モーターアンテナ車の設定が「ON」の場合、オーディオをOFFにするとアンテナが下がり、VICS情報が受信できなくなります。

●モーターアンテナ車の設定が「OFF」の場合、オーディオをOFFにしてもVICS受信のためにアンテナがのびたままになりますのでご注意ください。

●目的地履歴の消去

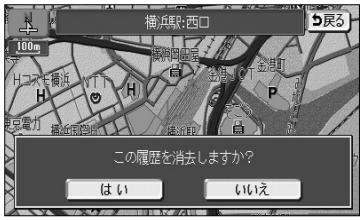
過去に設定した目的地の履歴（P.3-38参照）を消去することができます。



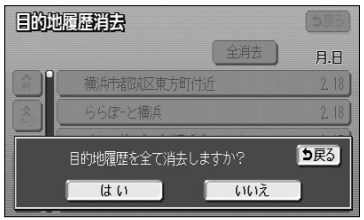
（1）目的地履歴を消去するには、P.4-1の **1** の（2）の画面で **消去する** にタッチします。

（2）消去したい目的地履歴の名称にタッチします。

- すべての目的地履歴を消去するときは **全消去** にタッチします。



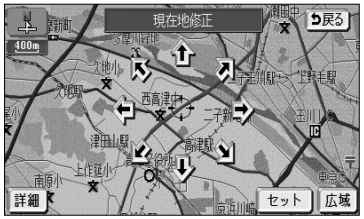
（3） **はい** にタッチすると目的地履歴が消去されます。
いいえ にタッチすると目的地履歴の消去を中止して、（2）の画面に戻ります。



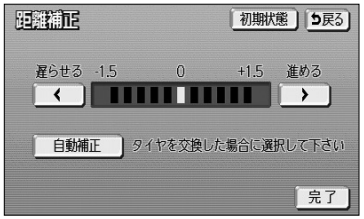
●ナビ補正

地図上の自車表示位置や方位と実際の自車位置がズレているときや、地図上の自車マークの進み方と実際の進み方がズレているときに、これらのズレを修正することができます。

現在地の修正（P.4-54参照）



距離の補正（P.4-55参照）



ナビメニュー「新しく探す」をカスタマイズするには

ナビメニューの「新しく探す」（P.2-8参照）に表示されている、地図を呼び出すスイッチを、3種類選んで表示させることができます。使用頻度の高いスイッチを設定しておくと、ナビメニューから簡単に検索方法を選べます。



（1） 設定画面（P.2-9参照）で
新しく探すカスタマイズ にタッチします。



（2） ナビメニューに表示させたいスイッチにタッチします。

- 表示させたいスイッチを3つ選んでください。
- 選択されたスイッチに再びタッチすると選択を解除することができます。
- 設定済みのときに **初期設定** にタッチすると選択されたスイッチが初期状態（「50音」「電話番号」「住所」が選択された状態）に戻ります。



（3） 設定がよければ **完了** にタッチします。

（4） **戻る** にタッチします。

- ナビメニューに選択したスイッチが表示されます。

（5） **その他** にタッチすると、地図を呼び出す全てのスイッチを表示した画面（新しく探す画面 P.2-30参照）を表示します。

- （2）、（3）で選択したスイッチ以外でも目的地の設定を行うことができます。

ショートカットスイッチを設定するには

複数の操作によって表示される画面をショートカットスイッチとして設定することができます。ショートカットスイッチに設定しておくと、地図上にスイッチが表示されワンタッチで表示したい画面を呼び出すことができます。



（1） 設定画面（P.2-9参照）で **ショートカット設定** にタッチします。



（2） ショートカットに設定したいスイッチにタッチします。ここでは **音量設定** にタッチします。

- 設定済みのときに **設定解除** にタッチするとショートカットの設定が解除されます。



- **音量設定** がショートカットに設定されました。



- 地図画面上にショートカットスイッチが表示されます。

ショートカットスイッチ

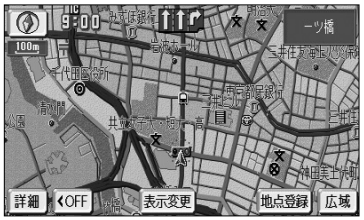
アドバイス

全ルート をショートカットに設定したときは、ルート案内中のときのみ動作します。

メモリ地点を登録・修正・消去するには

忘れたくない地点を地図帳にマークするように、最大106ヵ所までマーキングできる機能です。
メモリ地点を登録しておくと、登録地点周辺の地図を簡単に表示できます。
また、登録したメモリ地点は位置変更したり消去することができます。

1 現在地を登録する



（1） 現在地画面(P.2-13参照)で **地点登録** にタッチします。

- その時点での自車マークの位置がそのまま登録されます。
- この場合は地点記号が となります。

アドバイス

高速道路上のルートを案内中にメモリ地点を現在地に登録した場合は、地点記号が （方向付き登録記号）となります。

2 地図画面から登録する



（1） 地図スクロール、**詳細** または **広域** 操作によりメモリ地点を登録したい位置に を合わせ、スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で **地点登録** にタッチします。

- この場合は地点記号が となります。

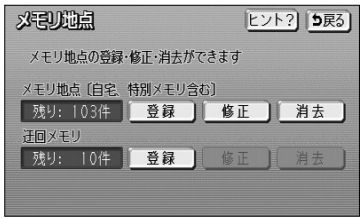
アドバイス

目的地セット をタッチしたあとの画面でもメモリ地点を登録することができます。

ナビゲーション

3 地図索引機能を使ってメモリ地点を登録する

（1） 設定画面（P.2-9参照）で メモリ地点 にタッチします。



（2） メモリ地点の 登録 にタッチします。



（3） 地図の呼び出し方を選択します。

- 50音 P.3-26
- 住所 P.3-35
- 施設 P.3-30
- 電話番号 P.3-32
- メモリ地点 P.3-37
- 周辺施設 P.3-40
- 郵便番号 P.3-34
- 履歴 P.3-38
- マップコード P.3-39

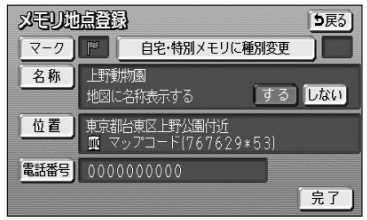
※それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。

- 先程の地図 にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。
- 現在地周辺 にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- 登録済みのよく行く場所にタッチすると、よく行く場所周辺の地図が表示されます。



（4） にタッチすると、地図が移動して の位置を変更することができます。

（5） スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で セット にタッチします。

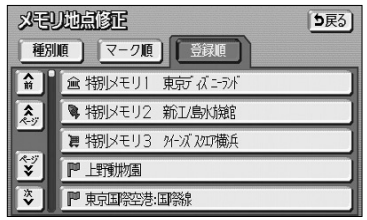


（6） 完了 にタッチします。

- 修正・入力をするときは、それぞれの項目にタッチします。
- マーク P.4-23
- 名称 P.4-26
- する ／ しない （地図上の名称表示） P.4-29
- 位置 P.4-25
- 電話番号 P.4-25

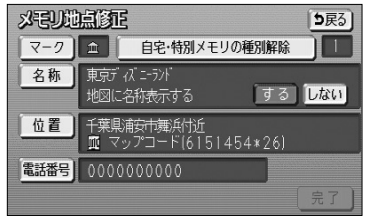
4 メモリ地点を修正するには

（1） メモリ地点が登録されているとき、3の（2）の画面でメモリ地点の 修正 にタッチします。



（2） メモリ地点の名称にタッチします。

- メモリ地点のリストは、3種類の並べ方をさせることができます。
  - 種別順 にタッチすると、自宅、よく行く場所、メモリ地点の順に並び替わります。
  - マーク順 にタッチすると記号の種類別に並び替わります。
  - 登録順 にタッチするとメモリ地点の登録順に並び替わります。



（3） 修正・入力する項目にタッチします。

- マーク P.4-23
- 名称 P.4-26
- する ／ しない （地図上の名称表示） P.4-29
- 位置 P.4-25
- 電話番号 P.4-25

ナビゲーション

5 地図画面からメモリ地点を修正するには





(1) 地図上に表示されているメモリ地点マークにタッチして 情報 にタッチします。

(2) 修正 にタッチすると、4の(3)を表示します。

- 目的地セット にタッチすると、目的地に設定することができます。
- すでに目的地が設定されている場合は、新規目的地 にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され新たな目的地として設定されます。
  P.2-31を参照してください。
- 追加目的地 にタッチすると、現在設定されている目的地に追加して設定されます。P.3-3を参照してください。
- 消去 にタッチすると、メモリ地点を消去することができます。

6 メモリ地点の記号を変更するには

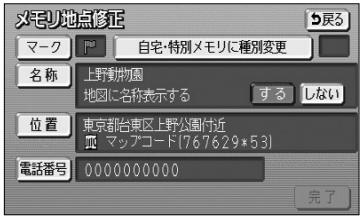
登録したメモリ地点の記号を、お好みの記号に変更することができます。



(1) メモリ地点が登録されているとき、P.4-21の3の(2)の画面でメモリ地点の 修正 にタッチします。

(2) メモリ地点の名称にタッチします。

- メモリ地点のリストは、3種類の並べ方をさせることができます。
  - 種別順 にタッチすると、自宅、よく行く場所、メモリ地点の順に並び替わります。
  - マーク順 にタッチすると記号の種類別に並び替わります。
  - 登録順 にタッチするとメモリ地点の登録順に並び替わります。



(3) マーク にタッチします。



(4) お好きな登録記号にタッチすると、メモリ地点の記号が変更されます。

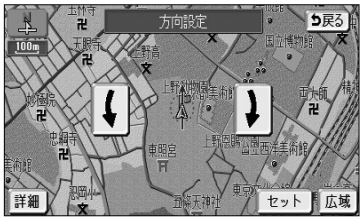
- マーク2 にタッチすると、別の記号の画面に切り替わり、お好きな記号を選択することができます。
- マーク2の マーク無し にタッチすると、記号の登録をしないでメモリ地点が登録されます。



(5) 音声付き にタッチして 方向付きメモリ にタッチすると、自車が指定した方向からメモリ地点に約500mまで接近したときのみ音が鳴るようにすることができます。



- 音確認 にタッチすると、音声付き登録記号の音を確認することができます。

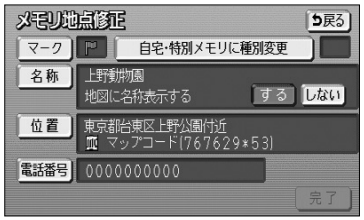


- または にタッチして を設定する方向に合せます。
- セット にタッチすると、 の位置にメモリ地点が の記号で登録されます。

ナビゲーション

7 メモリ地点の位置を修正するには

登録したメモリ地点の位置を変更することができます。



（1） P.4-22の**4**の（2）の画面で、メモリ地点の名称にタッチします。

（2） 位置 にタッチします。

アドバイス

メモリ地点を登録すると、登録した地点のマップコードがメモリ地点の位置に表示されます。

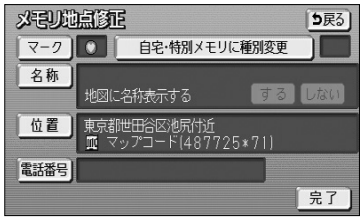


（3） ⇧にタッチすると、地図が移動して⊕の位置を変更することができます。

（4） スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で セット にタッチすると⊕の位置にメモリ地点が登録されます。

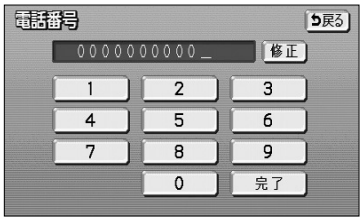
8 メモリ地点に電話番号を登録するには

登録したメモリ地点に電話番号を登録することができます。電話番号を登録すると、電話番号で地図を表示する（P.3-32参照）ことができます。



（1） P.4-22の**4**の（2）の画面で、メモリ地点の名称にタッチします。

（2） 電話番号 にタッチします。



（3） 数字を１番号ずつタッチして入力します。

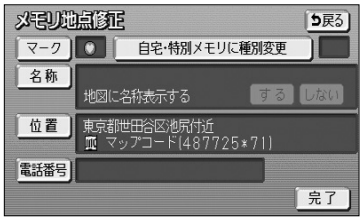
- 市外局番から入力します。
- 修正するときは 修正 にタッチすると１番号ずつ消去されます。

（4） 完了 にタッチします。

アドバイス

P.4-21の**3**の（3）で 50音 、 施設 、 電話番号 から表示した施設をメモリ地点に登録した場合は、表示した施設の電話番号がメモリ地点の電話番号として自動的に登録されます。

9 メモリ地点に名称を付けるには



（1） P.4-22の**4**の（2）の画面で、メモリ地点の名称にタッチします。

（2） 名称 にタッチします。



（3） 名称を１文字ずつタッチして入力します。

- 文字の入力方法はP.4-27～4-28を参照してください。

（4） 文字を入力したあと 完了 にタッチします。

アドバイス

- ●メモリ地点の名称は、最大12文字（半角24文字）まで文字を入力することができます。
- ●P.4-21の**3**の（3）で 50音 、 施設 、 電話番号 から表示した施設をメモリ地点に登録した場合は、表示した施設の名称がメモリ地点の名称として自動的に登録されます。

ナビゲーション

ひらがな、漢字を入力するとき



(1) かな にタッチして入力画面を切り替えます。

(2) 名称を１文字ずつタッチして入力します。

- 修正するときは 修正 にタッチすると１文字ずつ消去されます。
- 空白の文字を入れるには スペース にタッチします。
- 文字を入力したあと、 変換 にタッチすると文字を漢字変換することができます。漢字変換しないときは 無変換 にタッチします。



(3) 変換 にタッチすると、変換する漢字の候補がリスト表示されます。

(4) ◀ または ▶ にタッチすると、漢字変換する文字の範囲を変更することができます。現在変換されている文字で設定するには 全確定 にタッチします。

(5) 変換したい漢字にタッチします。

カタカナを入力するとき



(1) カナ （カタカナ）にタッチして入力画面を切り替えます。

(2) 名称を１文字ずつタッチして入力します。

- 半角 （または 全角 ）にタッチすると、入力文字を半角文字（または全角文字）に切り替えることができます。
- 修正するときは 修正 にタッチすると１文字ずつ消去されます。
- 空白の文字を入れるには スペース にタッチします。

英字、数字を入力するとき



(1) 英数字 （英字、数字）にタッチして入力画面を切り替えます。

(2) 名称を１文字ずつタッチして入力します。

- 小文字 （または 大文字 ）にタッチすると、入力文字を小文字（または大文字）に切り替えることができます。
- 半角 （または 全角 ）にタッチすると、入力文字を半角文字（または全角文字）に切り替えることができます。
- 修正するときは 修正 にタッチすると１文字ずつ消去されます。
- 空白の文字を入れるには スペース にタッチします。

数字、記号を入力するとき



(1) 数記号 （数字・記号）にタッチして入力画面を切り替えます。

(2) 名称を１文字ずつタッチして入力します。

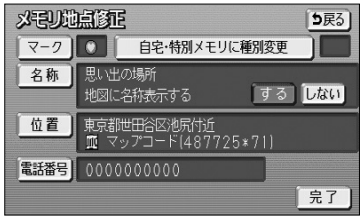
- 他のページを見たいときは、▼ または ▲ にタッチします。
- 半角 （または 全角 ）にタッチすると、入力文字を半角文字（または全角文字）に切り替えることができます。
- 修正するときは 修正 にタッチすると１文字ずつ消去されます。
- 空白の文字を入れるには スペース にタッチします。

ナビゲーション

10 メモリ地点の名称を地図上に表示するには

登録したメモリ地点の名称を地図画面上に表示することができます。

（1） P.4-22の**4**の（2）の画面で、メモリ地点の名称にタッチします。



（2）「地図に名称表示する」の **する** または **しない** にタッチします。

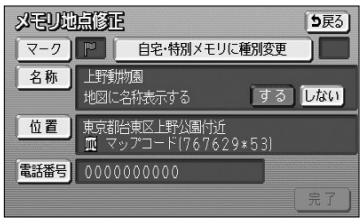
アドバイス

メモリ地点の名称は、800m および 800m より詳細な地図で表示することができます。

11 登録したメモリ地点を自宅やよく行く場所(特別メモリ)に変更するには

自宅に登録すると、ナビメニュー（P.2-8参照）からワンタッチで自宅までのルートを設定することができます。よく行く場所(特別メモリ)に登録すると、新しく探す画面（P.2-30参照）から目的地までのルートを設定することができます。





（1） メモリ地点が登録されているとき、P.4-21の**3**の（2）の画面で、**修正** にタッチします。

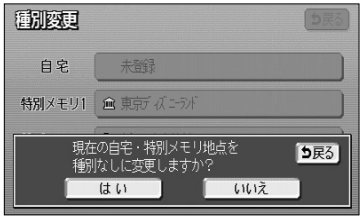
（2） 種別を変更したいメモリ地点の名称にタッチします。

- メモリ地点のリストは、3種類の並べ方をさせることができます。
  - **種別順** にタッチすると、自宅、よく行く場所（特別メモリ）、メモリ地点の順に並び替わります。
  - **マーク順** にタッチすると記号の種類別に並び替わります。
  - **登録順** にタッチするとメモリ地点の登録順に並び替わります。



（3） **自宅・特別メモリに種別変更** にタッチします。

（4） 自宅またはよく行く場所(特別メモリ)1～3のいずれかにタッチします。



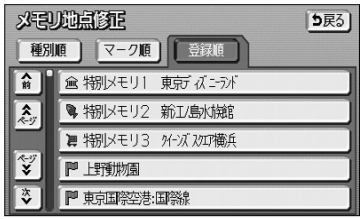
- すでに自宅またはよく行く場所(特別メモリ)が登録されているときはメッセージが表示されます。現在の登録地点を種別なしに変更して登録するときは **はい** にタッチします。現在の登録地点を種別なしに変更しないときは **いいえ** にタッチしてください。

アドバイス

自宅1ヵ所、よく行く場所(特別メモリ)3ヵ所はメモリ地点登録数106ヵ所に含まれます。すでに106ヵ所登録されているときはメモリ地点を消去してから登録してください。

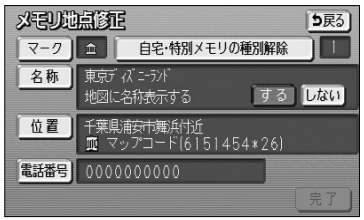
12 自宅やよく行く場所(特別メモリ)を解除するには

自宅やよく行く場所(特別メモリ)に登録した地点をメモリ地点に変更することができます。



(1) P.4-21の **3** の（2）の画面で、 **修正** にタッチします。

(2) 自宅・よく行く場所(特別メモリ)を解除したい地点の名称にタッチします。



(3) **自宅・特別メモリの種別解除** にタッチします。



(4) **はい** にタッチします。

- **いいえ** にタッチすると（3）の画面に戻ります。

13 メモリ地点を消去するには

登録したメモリ地点を消去することができます。

(1) メモリ地点が登録されているとき、P.4-21の **3** の（2）の画面でメモリ地点の **消去** にタッチします。

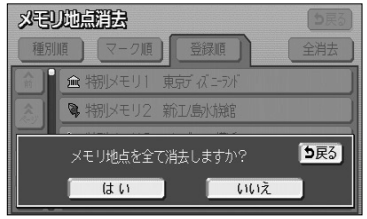


(2) 消去したいメモリ地点の名称にタッチします。

- メモリ地点のリストは、3種類の並べ方をさせることができます。
  - **種別順** にタッチすると、自宅、よく行く場所(特別メモリ)、メモリ地点の順に並び替わります。
  - **マーク順** にタッチすると記号の種類別に並び替わります。
  - **登録順** にタッチするとメモリ地点の登録順に並び替わります。
- 全てのメモリ地点を消去するには **全消去** にタッチします。



(3) **はい** にタッチするとメモリ地点が消去されます。
いいえ にタッチすると、メモリ地点の消去を中止して（2）の画面に戻ります。
（消去したものはもとに戻すことはできません。）



アドバイス

P.4-23の **5** の（2）の画面で **消去** にタッチしてもメモリ地点を消去することができます。

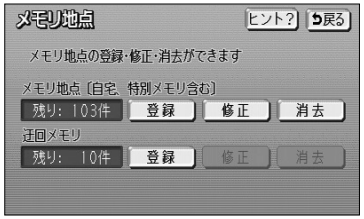
ナビゲーション

迂回メモリ地点を登録・修正・消去するには

目的地までのルートで、迂回したい地点およびエリアを登録することができます。
迂回メモリを登録しておくと、登録した地点またはエリアを回避するルートを探索することができます。また、登録した迂回メモリは位置修正したり消去することができます。

1 迂回メモリを登録するには

（1） 設定画面（P.2-9参照）で メモリ地点 にタッチします。



（2） 迂回メモリの 登録 にタッチします。



（3） 地図の呼び出し方を選択します。

- 50音 P.3-26
- 住所 P.3-35
- 施設 P.3-30
- 電話番号 P.3-32
- メモリ地点 P.3-37
- 周辺施設 P.3-40
- 郵便番号 P.3-34
- 履歴 P.3-38
- マップコード P.3-39

※それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。

- 先程の地図 にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。
- 現在地周辺 にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- 登録済みのよく行く場所にタッチすると、よく行く場所周辺の地図が表示されます。



（4） にタッチすると、地図が移動して の位置を変更することができます。

（5） スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で セット にタッチします。



（6） または にタッチして、迂回メモリのエリアを選択します。

- 最下段の を選択すると、（5）で セット にタッチした地点が迂回メモリとして登録されます。

アドバイス

詳細 または 広域 操作により地図縮尺を切り替えると、エリアを示す正方形枠の大きさが固定したまま地図が切り替わります。

（7） スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で セット にタッチします。

- 目的地が設定されている場合は、ルート探索を開始します。
- 登録した迂回メモリは、地図画面上に または （範囲）で表示されます。

4 設定編
迂回メモリ地点を登録・修正・消去するには

ナビゲーション

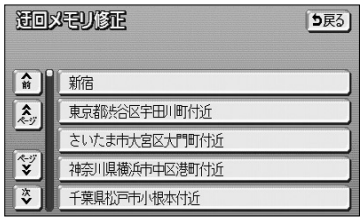
アドバイス

●迂回メモリは10ヵ所まで登録することができます。
●次のような場合は、迂回エリア内を通るルートが探索されることがあります。
・迂回エリア内に自車または目的地（通過道路も含む）が存在する場合。
・自車位置から目的地（通過道路も含む）までが一本道であるなどの理由により、迂回エリアを回避するルートが探索できない場合。
●迂回エリア内に存在する高速道路は、迂回する対象にはなりません。
高速道路を迂回するルートを探索するには、**1**の（6）で迂回メモリのエリアを ■ に設定してください。

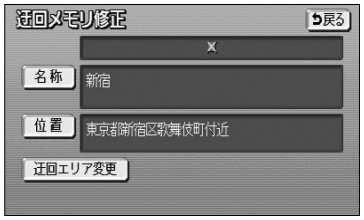
2 迂回メモリに名称を付けるには

登録した迂回メモリの名称を変更することができます。

（1） 迂回メモリが登録されているとき、P.4-33の**1**の（2）の画面で迂回メモリの 修正 にタッチします。



（2） 迂回メモリの名称にタッチします。



（3） 名称 にタッチします。



（4） 名称を１文字ずつタッチして入力します。

● 文字の入力方法はP.4-27～4-28を参照してください。

（5） 文字を入力したあと 完了 にタッチします。

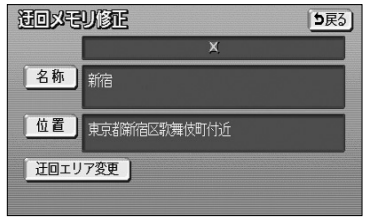
アドバイス

迂回メモリの名称は、最大12文字（半角24文字）まで文字を入力することができます。

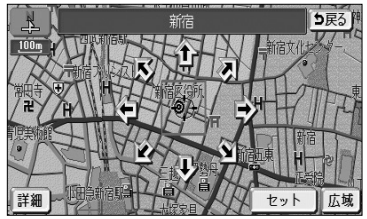
3 迂回メモリの位置を修正するには

登録した迂回メモリの位置を変更することができます。

（1） **2**の（2）の画面で、迂回メモリの名称にタッチします。



（2） 位置 にタッチします。



（3） ⇧ にタッチして、迂回メモリを登録する位置に地図を動かします。

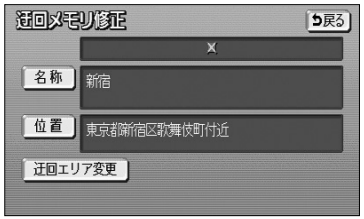
（4） スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で セット にタッチすると、⊕ の位置に迂回メモリが登録されます。

ナビゲーション

4 迂回メモリのエリアを変更するには

登録した迂回メモリのエリアを変更することができます。

（1） P.4-35の2の（2）の画面で、迂回メモリの名称にタッチします。



（2） 迂回エリア変更 にタッチします。



（3） ▲ または ▼ にタッチして迂回メモリのエリアを選択します。

- 現在登録されている迂回メモリは ■ または □（範囲）で表示されます。

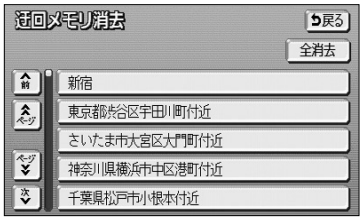
（4） セット にタッチします。

- 目的地が設定されている場合は、ルート探索を開始します。

5 迂回メモリを消去するには

登録した迂回メモリを消去することができます。

（1） 迂回メモリが登録されているとき、P.4-33の1の（2）の画面で迂回メモリの 消去 にタッチします。



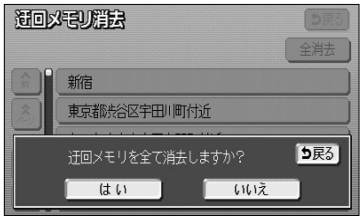
（2） 消去したい迂回メモリにタッチします。

- 全ての迂回メモリを消去するには 全消去 にタッチします。



（3） はい にタッチすると迂回メモリが消去されます。
いいえ にタッチすると、迂回メモリの消去を中止して（2）の画面に戻ります。
（消去したものはもとに戻すことはできません。）

- 目的地が設定されている場合は、ルート探索を開始します。



4 設定編
迷回メモリ地点を登録・修正・消去するには

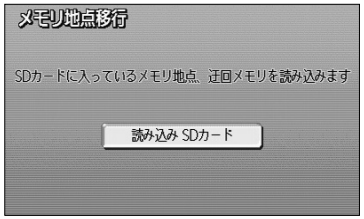
ナビゲーション

メモリ地点を読み込む

他のナビゲーションから保存したメモリ地点が書き込まれたSDメモリーカードの情報を本機に読み込むことができます。

注 意

動作中のメッセージが表示されている間は、エンジンまたはACCをOFFにしたりSDメモリーカードを取り出さないでください。データが破壊される場合があります。





(1) ディスプレイ部の差し込み口から地図SDメモリーカードを取り出し、他のナビゲーションから保存したメモリ地点が書き込まれたSDメモリーカードを差し込みます。(P.1-18参照)

(2) 読み込み SDカード にタッチします。

(3) データを保存する際に使用したパスワード (4桁の数字) を入力し、完了 にタッチします。

(4) はい にタッチします。

- メモリ地点・迂回メモリは本機に上書き保存されます。(以前本機に登録されていたメモリ地点・迂回メモリは削除されます。)
- 読み込んだデータにメモリ地点・迂回メモリがない場合は、「0件のメモリ地点」・「0件の迂回メモリ」として本機に上書きされます。
- メモリ地点件数の制限や保存した機種によって、移行できないメモリ地点・迂回メモリがある場合があります。

アドバイス

- 地図SDメモリーカードにメモリ地点のデータや迂回メモリのデータを書き込まないでください。地図SDメモリーカードにメモリ地点のデータを書き込んでも使用できません。
- 使用できるSDメモリーカードについては、P.1-20を参照してください。
- データ交換が可能なナビゲーションシステムは、2006年以降発売のトヨタ純正ナビゲーションシステムです。詳しくは、販売店にご確認ください。
- 本機にはメモリ地点・迂回メモリをSDメモリーカードに保存する機能はありません。
- Gメモリ地点は通常のメモリ地点として登録されます。URL情報などは引き継がれません。Gメモリ地点とは、G-BOOK対応ナビゲーションを使用して、G-BOOK.comコンテンツで保存した地点情報をナビゲーションのメモリ地点のように利用できるサービスです。
- 迂回メモリのエリアが3.2kmを超える場合、その迂回メモリを移行することはできません。
- メモリ地点を読み込むときは、メモリ地点を保存した際に使用したパスワードが必要になります。パスワードを忘れた場合は、販売店にお問い合わせください。
- パソコンなどでSDメモリーカードにデータを書き込むときは、SDメモリーカードにフォルダを作成しないで、メモリ地点のデータ(ファイル名：MPT.BIN)または迂回メモリのデータ(ファイル名：MAVD.BIN)を書き込みます。
- 本機に読み込み可能なメモリ地点数は、メモリ地点が最大106件、迂回メモリが最大10件です。

4 設定編
メモリ地点を読み込む

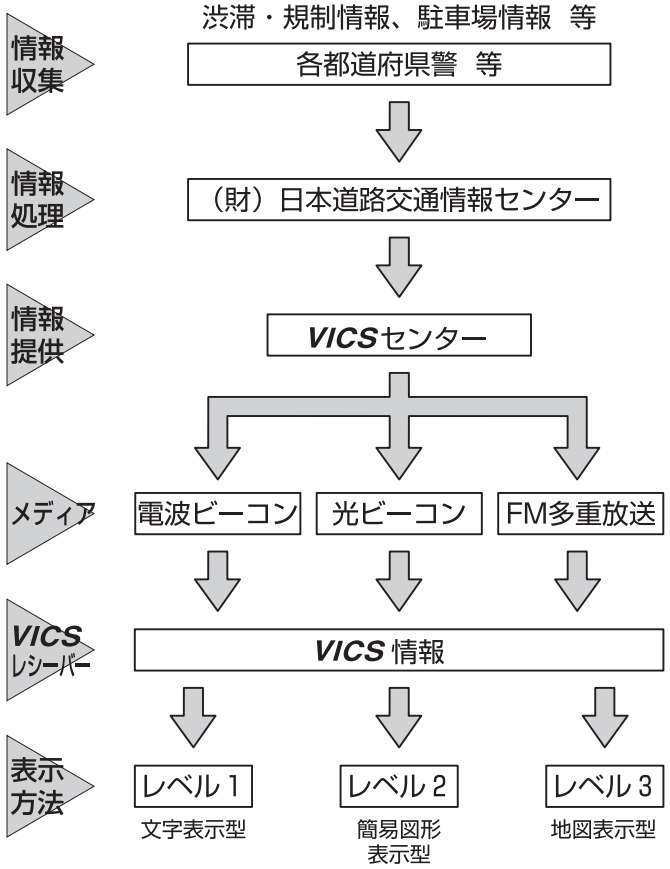
ナビゲーション

*VICS*を使うには

●*VICS*について

VICS (Vehicle Information and Communication System ：道路交通情報通信システム)は、渋滞や事故、工事、所要時間、駐車場の道路交通情報をリアルタイムに送信し、カーナビゲーションなどの車載機に表示するシステムです。また道路交通情報の提供を通して、安全性の向上、交通の円滑化による環境の保全などを促進することを目的としています。
本機に付与された VICS のロゴマークは、財団法人 道路交通情報通信システムセンター（***VICS*** センター）の登録商標です。

●*VICS*サービスのしくみ



VICS リンクデータベースの著作権は、財団法人 日本デジタル道路地図協会、財団法人 日本交通管理技術協会（TMT）が有しています。

4 設定編
VICSを使うには

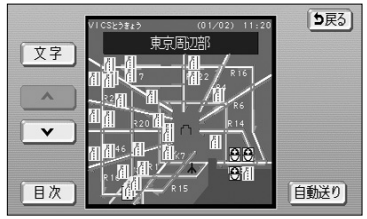
●*VICS*情報の表示

注 意

VICS 情報は、走行中も表示されますが注視しないでください。
ハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。



文字による***VICS*** 情報を表示します（レベル1）。



図形による***VICS*** 情報を表示します（レベル2）。



地図上に***VICS*** 情報を重ねて表示します（レベル3）。

アドバイス

- ●本機は、FM多重放送の ***VICS*** 情報を受信できます。FM多重放送は、放送局からの電波が届く広い範囲の車両に情報の提供を行います。
- ●次のような電波の弱い場所では、 ***VICS*** 情報を受信するのに時間がかかる、または受信できないことがあります。
  - ・トンネルの中　・密接するビルなどの間
  - ・高架道路の下　・サービスエリア外
- ●受信から30分以上経過した古い ***VICS*** 情報は自動的に消去されます。

ナビゲーション

●*VICS*の情報ついて

・提供される***VICS***情報はあくまでも参考としてください（提供される***VICS***情報は、最新ではないことがあります）。
・電波信号がうまく受信されないときは、一部の表示が乱れることがありますが、新しい信号が正しく受信されれば正しい表示に更新されます。
・***VICS***の表示内容は、***VICS***センターが提供していますので、本書の画面と実際の画面は異なることがあります。
・***VICS***情報が発信されている地域により、情報の内容は異なります。
・***VICS***による交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の地図上への表示は、毎年、追加・更新・削除されます。削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。より正確に情報を表示するためには、最新の地図データをご使用いただく必要があります。地図データに関しては、最寄りの販売店にご相談ください。

●*VICS*の運用時間

情報提供時間　・FM多重：24時間（但し、第1、第3月曜日の午前1時から5時までは、保守の為に放送を休止いたします。時間につきましては、あらかじめ***VICS***FM多重放送の「お知らせ」メニューでご案内いたします）

・ビーコン：24時間

※ 運用時間は予告なく変更されることがあります。

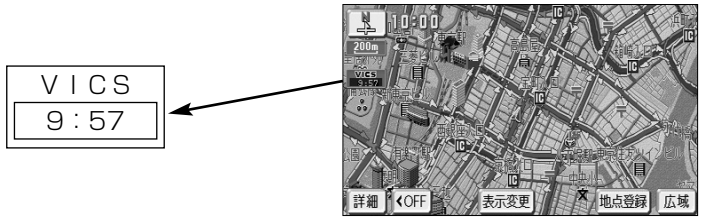
●*VICS*の問い合わせ先

・***VICS***の車載機の調子、機械、使い方、その他に関するもの
・***VICS***サービスエリアに関するもの
・その他、上記に類するもの
これらの内容のお問い合わせは、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

・***VICS***の概念、計画、または表示された情報内容に関することは***VICS***センターへお問い合わせください。（但し、地図表示型の表示内容は除く）

VICSセンター（サービス・サポート・センター）
電話受付 <受付時間 9：30～17：45（土曜、日曜、祝日を除く）>
電話番号　0570 - 00 - 8831
※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
※PHS、IP電話等からはご利用できません。
FAX番号　03 - 3592 - 5494

●*VICS*タイムスタンプ表示について



・***VICS***情報を表示するように設定してください。
（P.4-46の「***VICS***情報を地図に表示・消去するには」を参照してください）

・タイムスタンプは***VICS***情報を受信すると自動的に現在地画面・地図画面の左中央に情報提供時刻が表示されます。また、***VICS***情報が継続受信できないと約30分で自動的に消去され、表示が--：--になります。

・***VICS***情報が受信されていて、地図に表示する情報がないときも、表示が--：--になります。

・ルート上に渋滞情報が存在する場合、***VICS***の渋滞情報にしたがってタイムスタンプ内の時刻表示の背景色が切り替わります。手動による再探索が行われたあとのルート上に、***VICS***の渋滞情報が存在しなくなるとタイムスタンプ内の時刻表示の背景色は無色になります。

・タイムスタンプ内の時刻表示の背景色とスイッチ表示については以下のとおり。
赤色・・・ルート上に渋滞情報が存在することを表します。タイムスタンプはスイッチ表示となり、タッチすると渋滞情報を音声で案内します。
橙色・・・ルート上に混雑情報が存在することを表します。タイムスタンプはスイッチ表示になりません。タッチすると地図が移動します。
黄色・・・ルート上に規制情報が存在することを表します。タイムスタンプはスイッチ表示となり、タッチすると規制情報を音声で案内します。

・タイムスタンプの時刻表示は、***VICS***情報が提供された時刻を表しており、***VICS***情報を受信した時刻ではありません。

・本機をお買い上げ後、初めてご使用になる時や長時間バッテリーを外しておいた場合などは、「***VICS***情報を地図に表示・消去するには」（P.4-46）を確認して新しい***VICS***情報を再度受信するまでお待ちください。

ナビゲーション

●地図上に表示される*VICS*情報について

1 渋滞情報

渋滞度	表　示	内　容	表示縮尺
渋滞	赤色	交通の流れが非常に悪い状態	50m～800m
混雑	橙色	交通の流れがやや悪い状態	
渋滞なし	水色	交通の流れが良い状態	

※スケール表示が 800m の地図を表示しているときは、渋滞情報は全て「━」（矢印なし）で表示します。

2 事象・規制情報

①代表的な *VICS* マーク

マーク	規制内容	表示縮尺
	通行止め・閉鎖	50m～800m
	入口閉鎖	50m～800m
	事　故	50m～200m
	工　事	50m～200m

※上記以外の*VICS*マークの種類については、右表を参照してください。

②規制範囲

マーク	内　容	表示縮尺
黒色	通行止めの区間	50m～800m

3 駐車場・PA情報

渋滞度	表　示	内　容	表示縮尺
空車	P PA 青色	利用が可能な状態	50m～800m
満車	P PA 赤色	ほぼ満車の状態	
混雑	P PA 橙色	利用率が高い状態	
不明	P PA 黒色	駐車場情報がない状態	50m～400m
閉鎖	P PA	閉鎖されている状態	

参考：*VICS*マークの種類

マーク	内　容
	故障車
	路上障害
	凍結
	作業
	大型通行止め
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止
	対面交通
	車線規制
	徐行
	入り口制限
	オフランプ規制
	速度規制（10km/h）
	イベント（行事など）
	右折禁止
	左折禁止
	直進禁止
	火災
	雨
	雪
P	駐車場
PA	パーキングエリア
	注意

1 *VICS*情報を地図に表示・消去するには

表示している地図に渋滞情報や規制情報を表示・消去することができます。



（1） 地図を表示させているときに 表示変更 にタッチします。

（2） VICS にタッチします。



（3） *VICS*情報を表示させたい道路のタッチスイッチにタッチします。

- 一般道のみ にタッチすると、一般道路に関する*VICS*情報のみを表示します。
- 高速道のみ にタッチすると、高速道路に関する*VICS*情報のみを表示します。
- 全て にタッチすると、一般道路と高速道路に関する*VICS*情報を表示します。



- 初期設定では、 全て が強調表示されています。
- 渋滞情報、規制情報、駐車場情報のマークが表示されます。（P.4-45を参照してください）
- *VICS*情報が画面に表示されているときは、その*VICS*情報が提供された時間を示すタイムスタンプが表示されます。

アドバイス

*VICS*情報は 800m よりも広域な地図には表示されません。

ナビゲーション



(4) ***VICS*** 情報を消去する場合は 非表示 にタッチします。



● 「***VICS*** の情報を消去します」のメッセージが表示され渋滞情報、規制情報、駐車場情報のマークが消去されます。

2 *VICS* 情報の詳細情報を表示するには

地図上に表示されている ***VICS*** マークの詳細情報を確認することができます。



(1) ***VICS*** 情報が表示されている現在地画面(P.2-13参照)または地図画面(P.2-14参照)で、***VICS*** マークにタッチします。



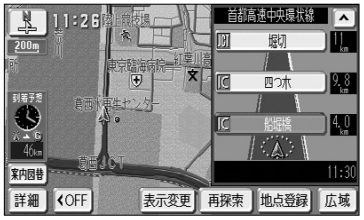
● 規制情報、駐車場マークの詳細情報が表示されます。

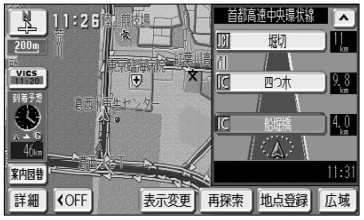
アドバイス

●詳細情報は一定時間後、自動的に消去されます。
●施設マークが表示されている場合、施設の詳細情報も表示されます。
●駐車場情報は一部のエリアでしか提供されていません。

3 高速略図画面に *VICS* 情報を表示するには

高速略図画面に渋滞情報や規制情報を表示することができます。



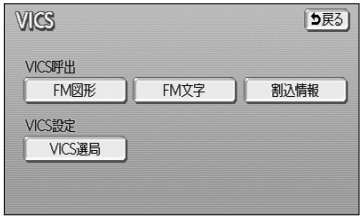


(1) 高速略図画面表示中(P.2-24参照)にP.4-46の **1** の(3)の画面で、***VICS*** 情報を表示させたい道路にタッチします。

● 高速略図画面には、どの道路にタッチしても高速道路の***VICS*** 情報が表示されます。

● 渋滞情報、規制情報マークが表示されます。(P.4-45を参照してください)

4 *VICS* 文字情報を表示するには



(1) 設定画面（P.2-9参照）で ＶＩＣＳ にタッチします。

(2) ＦＭ文字 にタッチして、文字情報メニュー画面を表示させます。

● 表示させたい内容の番号にタッチすると選択した番号の文字情報が表示されます。



(3) 文字情報を複数ページ受信したときは、▲ ・ ▼ にタッチすることでページを送ることができます。

● 自動送り にタッチすると一定時間表示後、自動的に次のページを表示します。中止するときは、停止 にタッチします。

● 目次 にタッチすると文字情報メニュー画面が表示されます。

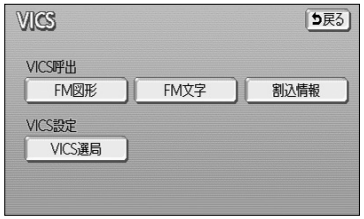


アドバイス

●走行中に自動送りを行うことはできません。
● 図形 にタッチすると図形情報メニュー画面が表示されます。

ナビゲーション

5 *VICS*図形情報を表示するには



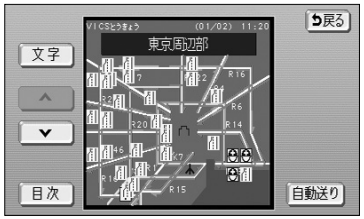
（1） 設定画面（P.2-9参照）で VICS にタッチします。

（2） FM図形 にタッチして、図形情報メニュー画面を表示させます。



● 表示させたい内容の番号にタッチすると選択した番号の図形情報が表示されます。

（3） 図形情報を複数ページ受信したときは、▲ ・ ▼ にタッチすることでページを送ることができます。



● 自動送り にタッチすると一定時間表示後、自動的に次のページを表示します。

● 目次 を押すと図形情報メニュー画面を表示します。

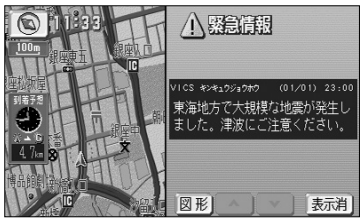
アドバイス

●走行中に自動送りを行うことはできません。
● 文字 にタッチすると文字情報メニュー画面が表示されます。

注 意

VICS 文字・図形情報は、走行中も表示されますが注視しないでください。
ハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

6 割込情報（緊急情報）受信したときには



（1） 割込情報を受信するとビープ音が鳴り、直ちに画面が表示されます。

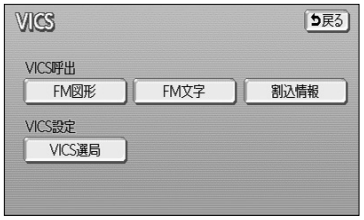
● 表示消 にタッチするとメッセージは消去されます。

● 文字 または 図形 にタッチすると、文字情報または図形情報に表示を切り替えます。

アドバイス

割込情報を複数ページ受信したときは、▲ ・ ▼ にタッチするとページを変えることができます。

7 割込情報（緊急情報）を再表示するには



（1） P.4-48の 4 の（2）の画面で 割込情報 にタッチします。

● 6 で受信した割込情報が再表示されます。

アドバイス

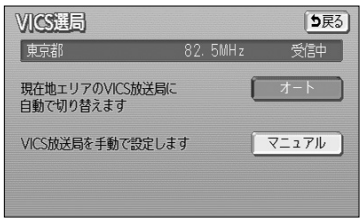
●割込情報が複数ページあるときは、▲ ・ ▼ にタッチするとページを変えることができます。
●再表示させた場合の割込情報画面には 表示消 スイッチは表示されません。

8 自動選局するには

現在地がある都道府県の放送局が受信され、現在地を移動させると自動的に放送局が切り替わります。



（1） P.4-48の 4 の（2）の画面で VICS選局 にタッチします。



（2） オート にタッチします。

● 初期設定は、オート（自動選局）に設定されています。

ナビゲーション

9 エリア選択で選局するには

選択した都道府県の放送局が受信されます。受信状態が変わると、選択した都道府県内で自動的に放送局が切り替わります。



(1) P.4-48の 4 の（2）の画面で ＶＩＣＳ選局 にタッチします。

(2) マニュアル にタッチします。



- 選局できる放送局エリアがリスト表示されます。

(3) 受信したい放送局のあるエリアにタッチします。

- ▲ ・ ▼ にタッチして希望する放送局エリアを選択します。

10 周波数を指定して選局するには

選択した周波数の放送局が受信されます。受信状態が変わっても放送局は切り替わりません。



(1) P.4-48の 4 の（2）の画面で ＶＩＣＳ選局 にタッチします。

(2) マニュアル にタッチします。



(3) ▼ TUNE ・ ▲ TUNE にタッチして希望する周波数を指定します。

11 地図に表示する *VICS* 情報を設定するには



(1) P.4-46の 1 の（3）の画面で 表示設定 にタッチします。

(2) それぞれの項目に対してタッチします。

- タッチすると作動表示灯が点灯し（黄色）、表示設定ONになります。
- 初期設定では、駐車場の表示設定のみOFFになっています。
- それぞれの情報については、P.4-45を参照してください。

(3) 完了 にタッチします。

●*VICS* 情報表示中の道路色について（*VICS* 対象道表示）

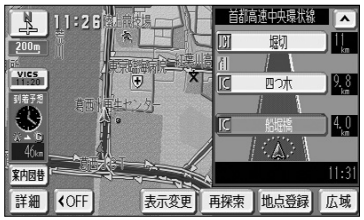
VICS レベル 3 情報表示中に、***VICS*** 表示対象道路と非対象道路を色分けして表示する（***VICS*** 対象道表示「ON」）か、***VICS*** 情報非表示時と同様に、道路の種類（国道、高速道路、主要地方道、一般都道府県道など）で色分けして表示する（***VICS*** 対象道表示「OFF」）かを設定できます。

アドバイス

- ***VICS*** 対象道表示「ON」時は、***VICS*** 情報表示時、地図上の高速道路は紫色、***VICS*** 情報提供対象道路は緑色、それ以外の道路は灰色で表示されています。
- ***VICS*** 対象道表示「OFF」時は、地図カスタマイズ（P.4-7参照）で設定した地図色によって、道路の種類で色分けして表示しない場合があります。

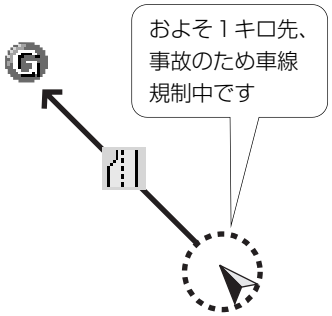
12 *VICS* 情報の音声案内をもう一度聞きたいときは

案内ルート上に渋滞や規制が発生したときに発声される ***VICS*** 情報の音声案内を再び聞くことができます。



（1） ***VICS*** 情報を表示しているときに、タイムスタンプ（P.4-44参照）にタッチします。

● ***VICS*** 情報の音声案内が発声されます。



アドバイス

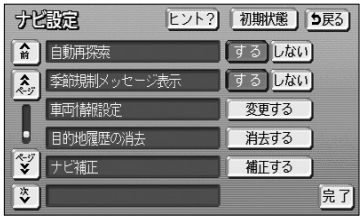
- 案内ルート上に渋滞・規制が発生したときに、発生した ***VICS*** 情報を自動で音声案内することができます（P.4-1参照）。
- ● ***VICS*** 情報の音声案内は、 ***VICS*** 情報が消去されているときは案内されません。
- 案内される情報は、自車前方およそ10ｋｍまでの情報です。
- ● ***VICS*** の表示設定（P.4-46）が高速道のみに設定されていても、一般道の情報も音声案内されます。（一般道のみに設定されているときも高速道の情報が音声案内されます）

補正機能

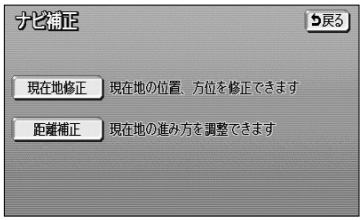
1 現在地を修正するには

地図上の自車表示位置や方位と実際の自車位置がズレているとき、このズレを修正することができます。

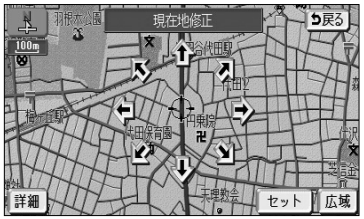
（1） 設定画面（P.2-9参照）で ナビ設定 にタッチします。



（2） ナビ補正の 補正する にタッチします。

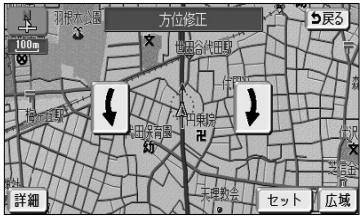


（3） 現在地修正 にタッチします。



（4） にタッチして マークを修正したい位置に移動させます。

● スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で セット にタッチします。



（5） ・ にタッチして自車マークの方向を修正します。

● にタッチすると反時計回りに、 にタッチすると時計回りに自車マークが回転します。

● スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で セット にタッチします。

アドバイス

GPS電波を受信すると修正された位置、方位とは関係なく、正しい位置および方位に修正されます。

2 タイヤを交換したときには

タイヤを交換した際などには自車位置の表示がズレる場合があります。また、地図上の自車位置と実際の現在地がズレているとき、このズレを自動補正し、精度よくお使いいただくことができます。



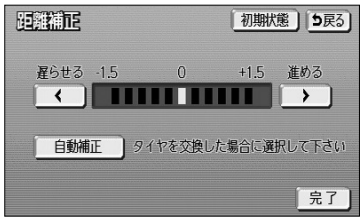
（1） 1 の（3）の画面で 距離補正 にタッチします。

（2） 自動補正 にタッチします。

● 自動補正のときは、タッチスイッチが強調表示されます。

3 自車マークの進み方と実際の進み方がズレているときには

走行中、地図上の自車マークの進み方と実際の進み方がズレているときにこのズレを手動で調節することができます。



（1） 1 の（3）の画面で 距離補正 にタッチします。

（2） 地図上の自車マークが実際の進み方よりも進みすぎのときは ◀ にタッチし、遅れすぎのときは ▶ にタッチして調節します。

（3） 完了 にタッチします。

● 初期状態 にタッチすると初期設定の状態に戻ります。

アドバイス

●GPS電波を良好に受信している場合には、常に最適化するように距離補正係数を自動的に修正していますので、距離補正係数の調節は不要です。人工衛星の保守・点検などの影響で、GPS電波の受信が良好でない場合などにお使いください。

●GPS電波を受信すると自動的に距離補正係数を修正します。

●2 で 自動補正 にタッチしたあとは、しばらくの間 ◀ ・ ▶ を操作することはできません。

地図SDメモリーカードについて

本機には地図SDメモリーカードが付属しています。地図SDメモリーカードには、起動時に必要なプログラムおよび地図データなどが格納されています。
通常は、地図SDメモリーカードをディスプレイ部に挿入した状態でご使用ください。（P.1-18参照）
また、地図SDメモリーカードの内部データを編集したり、誤って消去しないように注意してください。データを編集したり、誤って消去すると、ナビゲーションの機能が使用できなくなったり、本機が起動できなくなることがあります。
万一、付属の地図SDメモリーカードを破損・紛失した場合は、購入販売店にご相談ください。

アドバイス

●付属の地図SDメモリーカードの内部データを別のSDメモリーカードにコピーしても使用できませんので、紛失・破損には十分注意してください。

●データを誤って消去しないために、地図SDメモリーカードの誤消去防止レバーは「LOCK」の位置にしてご使用ください。

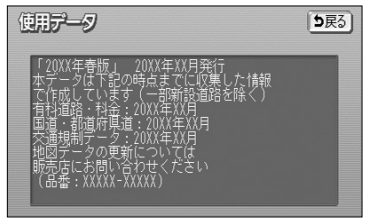
ご使用の地図SDメモリーカードの情報を確認することができます。

1 使用地図SDメモリーカードの情報を確認するには



（1） 設定画面（P.2-9参照）を表示します。

（2） 使用データ にタッチします。



● ご利用になられている地図SDメモリーカード情報（地図SDメモリーカードのバージョンなど）の画面が表示されます。

アドバイス

地図SDメモリーカードの作成時期・種類などによって表示内容が異なります。

情報画面について

情報画面に表示される操作の一覧を紹介します。



（1） ナビメニュー（P.2-8参照）で 情報 にタッチします。



（2） 操作したい機能のタッチスイッチにタッチします。

●情報画面から下記の操作を行うことができます。

項目（タッチスイッチ）	機　　能	ページ
デモ	本機の特徴と機能の操作方法を紹介	5-12
設定	画面切り替え時の動画表現の設定、画面の表示設定、 セキュリティ機能の設定	1-27 1-29
メンテナンス	消耗部品のメンテナンス案内時期設定・更新、販売店の設定	5-2
電話帳	電話帳の表示	5-13
カレンダー	カレンダーの表示	5-14
ETC※1	ETCの設定	6-1
バックガイドモニター※1	バックガイドモニターの設定	6-40

※1 機器が接続されていない場合は、項目が表示されません。

メンテナンスを使うには

車の消耗部品（エンジンオイル、タイヤなど）の交換時期や各種点検時期などのイベント時期を案内することができます。

1 メンテナンス時期を設定するには

情報画面（P.5-1参照）で メンテナンス にタッチするとメンテナンスメニュー画面が表示されます。



（1） メンテナンスメニュー画面で、設定する項目にタッチします。

-  （パーソナル項目未設定）にタッチすると、表示されている項目以外の項目を設定することができます。
-  （パーソナル項目未設定）以外にタッチしたときは、（3）の画面が表示されます。

●設定済の項目にタッチすると、設定内容を修正することができます。

（2）  （パーソナル項目未設定）にタッチすると、メンテナンス案内（P.5-5の 3 参照）が行われるときに表示される名称やマークの設定を行うことができます。

P.5-4の 2 を参照してください。



（3） お知らせ日 または お知らせ距離 にタッチします。

- 日付・距離の両方、または日付のみ・距離のみを設定します。

情報機能



(4) 日付および距離を1文字ずつタッチして入力します。

- 修正 にタッチすると、1つずつ消去されます。
- 年 ・ 月 ・ 日 にタッチすると入力した文字を確定します。

(5) 完了 にタッチします。



アドバイス

メンテナンス時期を設定しても、メンテナンス案内の自動通知設定を「する」にしないとメンテナンス案内は行われません（P.5-5の3 参照）。



(6) 入力が完了したら 設定完了 にタッチします。

- 複数のメンテナンス項目を設定するときは、P.5-2～P.5-3の1 の（1）～（6）を繰り返します。

2 パーソナル項目を設定するには

パーソナル項目（マーク）に、お好きな名称やマークを設定することができます。パーソナル項目を設定しておくと、メンテナンス案内が行われるときに設定した名称やマークが表示されます。



(1) P.5-2の1 の（1）の画面で （パーソナル項目）にタッチします。

(2) メンテナンス案内（P.5-5の3 参照）が行われるときに表示したいマークにタッチします。



(3) 名称を1文字ずつタッチして入力します。

- 文字の入力方法は、P.4-27～4-28を参照してください。

(4) 完了 にタッチします。



(5) お知らせ日、またはお知らせ距離をP.5-2～P.5-3の（3）～（5）にしたがって設定します。



(6) 入力が完了したら 設定完了 にタッチします。

アドバイス

- 修正 にタッチすると、名称を変更することができます。（3）、（4）の操作を行ってください。
- マーク にタッチすると、マークを変更することができます。（2）の操作を行ってください。

情報機能

3 メンテナンス案内を設定するには

案内の自動通知設定を「する」にすると、時期を設定した項目の案内が行われます。



- メンテナンスメニュー画面(P.5-2参照)で、**する** にタッチします。
- 案内の自動通知設定を解除する場合は、**しない** にタッチします。
- 初期設定は「する」に設定されています。

アドバイス

- すでに設定されている項目は「緑色」、案内時期を過ぎている項目は「オレンジ色」で表示されます。
- 車の使用状況などにより、設定した時期と実際の案内が行われる時期に誤差が生じることがあります。また、計測された走行距離と実際の走行距離に誤差が生じることがあります。

4 メンテナンス案内を表示するには

エンジンスイッチをONにし、ナビゲーションが立ち上がったあとに同時に4つまで表示されます。

メンテナンスお知らせ案内



- 5つ以上の項目の案内があるときは、**その他**（その他）が表示されます。

アドバイス

P.5-4の**2**の（3）で設定した名称は案内画面の中央部に表示されます。

- **次回表示しない** にタッチすると、次にナビゲーション画面が立ち上がるときに案内が表示されません。

5 メンテナンス設定を消去するには

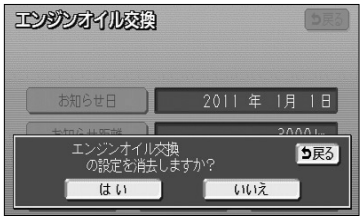


（1） メンテナンスメニュー画面(P.5-2参照)で、設定を消去する項目にタッチします。

- **設定全消去** にタッチすると、すべての設定を解除します。



（2） **設定消去** にタッチします。



（3） **はい** にタッチすると設定が消去されます。

- 消去を中止するときは **いいえ** にタッチします。

5 情報機能
メンテナンスを使うには

情報機能

6 メンテナンス設定を更新するには

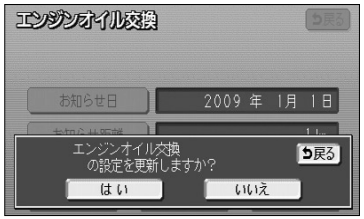


(1) メンテナンスメニュー画面(P.5-2参照)で、案内時期を過ぎている項目にタッチします。

● 案内時期を過ぎているすべての項目を更新するときは、 自動全更新 にタッチします。



(2) 自動更新 にタッチします。



(3) はい にタッチすると前回設定された日付けや距離が更新され、新しい日付・距離に変更されます。

● 更新を中止するときは いいえ にタッチします。

アドバイス

●新しい日付は、メンテナンスの時期を設定した日・現在の日・案内する予定だった日から自動的に計算され変更されます。(項目により、計算方法は異なります)

●案内時期を過ぎている項目がないときは、 自動全更新 は表示されません。

メンテナンスマーク一覧

ENGINE OIL	エンジンオイル交換	BRAKE PAD	ブレーキパッド交換
OIL FILTER	オイルフィルタ交換	V BELT	Vベルト交換
ROTATION	タイヤローテイション (タイヤ位置交換)	LLC	冷却水（LLC）交換
TIRE	タイヤ交換	BRAKE OIL	ブレーキフルード交換
AIR CLEANER	エアクリーナー交換	ATF	ATF（オートマチックトランスミッションフルード）交換

パーソナルマーク一覧



その他のマーク

その他	案内項目が5つ以上の場合

5 情報機能
メンテナンスを使うには

情報機能

7 利用する販売店を設定するには

メンテナンス機能でご利用される販売店を設定できます。



(1) メンテナンスメニュー画面(P.5-2参照)で 販売店設定 にタッチします。



(2) 地図の呼び出し方を選択します。

- 50音 P.3-26
- 住所 P.3-35
- 施設 P.3-30
- 電話番号 P.3-32
- メモリ地点 P.3-37
- 周辺施設 P.3-40
- 郵便番号 P.3-34
- 履歴 P.3-38
- マップコード P.3-39

※それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。

- 先程の地図 にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。
- 現在地周辺 にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- 登録済みのよく行く場所にタッチすると、よく行く場所周辺の地図が表示されます。



(3) にタッチすると、地図が移動して の位置を変更することができます。

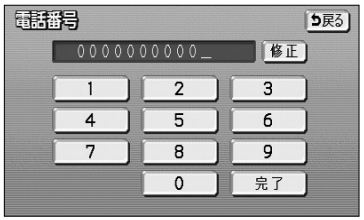
(4) スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で セット にタッチします。



(5) 販売店名を入力する場合は 販売店名 にタッチします。入力後、 完了 にタッチします。

- 文字の入力方法については、P.4-27～4-28を参照してください。

(6) 電話番号を入力する場合は、電話番号の横にある 電話番号 にタッチします。



(7) 数字を1番号ずつタッチして入力します。

- 市外局番から入力します。
- 修正するときは 修正 にタッチすると1番号ずつ消去されます。

(8) 完了 にタッチします。



(9) 販売店に行く にタッチすると、そのまま目的地を販売店に設定することができます。

- すでに目的地が設定されている場合は、新規目的地 にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され、新たな目的地として設定することができます。P.2-31を参照してください。
- 追加目的地 にタッチすると、現在設定されている目的地に追加して設定することができます。P.3-4を参照してください。

アドバイス

施設 から販売店の地図を呼び出し、地図を動かさずに設定すると、表示した施設の名称・電話番号が自動で入力されます。

5 情報機能
メンテナンスを使うには

8 利用する販売店を修正・消去するには



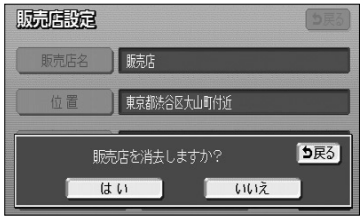
（1） 販売店設定後、メンテナンスメニュー画面(P.5-2参照)で 販売店設定 にタッチします。



（2） 修正したい項目の横にあるスイッチにタッチします。

- 販売店名を修正する場合は 販売店名 にタッチします。
  P.5-10の**7**の（5）の操作を行ってください。
- 販売店の位置を修正する場合は、 位置 にタッチします。P.5-9の**7**の（3）～（4）の操作を行ってください。
- 電話番号を修正する場合は、 電話番号 にタッチします。P.5-10の**7**の（7）～（8）の操作を行ってください。

（3） 販売店を消去するときは 販売店の消去 にタッチします。



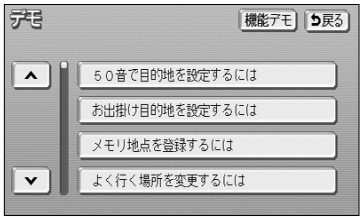
（4） はい にタッチすると販売店が消去されます。

- 消去を中止するときは いいえ にタッチします。

操作説明デモを行うには

本機の主な機能の概要説明や、各機能の操作方法を画面と音声でわかりやすくデモを行います。

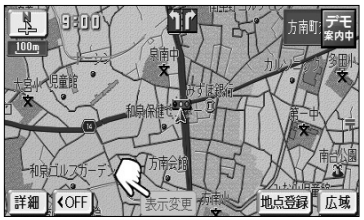
※本機能は年度更新の地図SDメモリーカードには対応していません。本体購入時に付属されていた地図SDメモリーカードをご使用ください。



（1） 情報画面（P.5-1参照）で デモ にタッチします。

（2） デモを行いたい項目（機能）にタッチします。

- 本機の主な機能の概要説明デモを行うには 機能デモ にタッチします。



（3） デモ開始の画面が表示され、デモを開始します。

- デモ中は画面上に デモ案内中 マークが表示されます。
- デモが終了すると、（2）のリスト画面を表示します。ただし、本機の主な機能の概要説明デモは、終了せずにデモを最初から繰り返します。



（4） デモを途中で終了させるには、 現在地 を押します。

- メニュー画面 でも、デモを終了します。

アドバイス

- デモは停車中のみご使用になれます。デモ中に走行を開始した場合は、デモを終了します。
- デモ中は、画面に表示されているスイッチにタッチすることはできません。

電話帳を見るには

ＪＡＦや道路交通情報センターなどの電話番号を表示させることができます。また、設定・登録した地点に電話番号が登録されていれば、メモリ地点、目的地の電話番号を表示することができます。



（1） 情報画面（P.5-1参照）で 電話帳 にタッチします。

（2） 見たい項目にタッチします。

- 目的地 にタッチすると目的地の名称と電話番号が表示されます。（複数の目的地が設定されているときは設定されている目的地がリスト表示されます。この場合、見たい目的地にタッチすると目的地の名称と電話番号が表示されます）
- メモリ地点 にタッチしたときは、登録済みのメモリ地点がリスト表示されます。この場合、見たいメモリ地点にタッチすると、メモリ地点の名称と電話番号が表示されます。



（3） 見たい施設の所在する都道府県にタッチします。



（4） 見たい施設名称にタッチすると、施設の名称と電話番号が表示されます。



アドバイス

- メモリ地点に登録された電話番号に“ー”（ハイフン）は表示されません。
- 目的地、メモリ地点の電話番号は、9桁以上の電話番号が存在する場合にのみ表示されます。

カレンダーを見るには

カレンダーを表示することができます。



（1） 情報画面（P.5-1参照）を表示します。

（2） カレンダー にタッチします。



- 現在の日付のカレンダー画面が表示されます。
- ▲月 ・ ▼月 または ▲年 ・ ▼年 にタッチすると、過去の年月、未来の年月を表示することができます。過去の年月、未来の年月を表示したときは 今月 にタッチして現在月を表示することができます。

オプション

ＥＴＣシステムの操作

1 ＥＴＣシステムの概要

ＥＴＣ（Electronic Toll Collection）システムは、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。
本機能は別売のナビ対応の **トヨタ純正** ＥＴＣユニットを接続した場合に表示・操作できます。詳しくはＥＴＣユニットの取扱書をご覧ください。

・ＥＴＣユニット ……ＥＴＣカードに格納されている料金精算に必要なデータを路側無線装置と通信するための機器です。
・ＥＴＣカード ……ＩＣチップを搭載した、ＥＴＣユニット用カードのことです。
ＥＴＣカードでは、このＩＣチップに料金精算に必要なデータが保持されています。
・車線表示板 ……料金所のＥＴＣ車線に必要に応じて設定されています。料金所の車線運行状況（ＥＴＣ車線・混在車線・一般車線の区別）が表示されます。
・発進制御装置（ゲート） …料金精算を確実にするために、料金所のＥＴＣ車線に必要に応じて設置されています。通過車両の発進を制御するもので、踏み切りの遮断機のようなものです。通信が正常に行われると開きます。
・路側表示器 ……料金所のＥＴＣ車線に設置されています。進入車両に対し、適切に通行したかどうかなどのメッセージが表示されます。
・路側無線装置 ……料金所のＥＴＣ車線に設置されています。料金精算のため、ＥＴＣユニットとの通信を行うためのアンテナです。

●情報画面（P.5-1参照）で、 ＥＴＣ にタッチすると、ＥＴＣメニュー画面になります。



①ＥＴＣカードメッセージ
現在のＥＴＣシステムの状態が表示されます。
「ＥＴＣカード未挿入」……ＥＴＣカードが挿入されていません。
「認証中」……ＥＴＣカードを読み込んでいます。
「ＥＴＣカード異常」……ＥＴＣカードを読み込むことができません。
「ＥＴＣカード認証完了」……ＥＴＣカードが挿入された状態です。
「システム異常」……ＥＴＣシステムに何らかの異常が発生しています。
（含む、ＥＴＣアンテナ外れ検知時）
「未セットアップ」……ＥＴＣがセットアップされていない状態。
「セットアップ完了」……ＥＴＣがセットアップ完了している状態。

アドバイス

登録情報表示 にタッチすると、ＥＴＣユニットに登録された情報が表示されます。

2 履歴表示



（1） ＥＴＣメニュー画面で、 履歴情報表示 にタッチします。

（2） 次に表示された画面で、 ▲前 ・ ▼次 にタッチして表示させる履歴を切り替えます。

● 履歴を切り替えたとき 最新 にタッチすると、最も新しい履歴に戻ります。

（3） 詳細 にタッチすると、利用区間が表示されます。

アドバイス

●表示させることができる履歴は、最大100件までです。
●ＥＴＣゲート付近で履歴を表示させると、路側無線装置との通信ができないことがあります。

3 登録情報表示



（1） ＥＴＣメニュー画面で、 登録情報表示 にタッチします。

● お客様の車のＥＴＣユニットに登録された情報が表示されます。また、エラー発生時は最後に発生した統一エラーコードも表示されます。

アドバイス

エラー発生時に表示される統一エラーコードの詳細については、ＥＴＣユニットの取扱書をご覧ください。

6 オプション
ＥＴＣシステムの操作

4 ＥＴＣの設定



ＥＴＣ 割込表示



ルート設定時カード未挿入警告



（1） ＥＴＣメニュー画面で、 設定 にタッチします。

（2） 次に表示された画面で、ＥＴＣの項目を設定します。

- ＥＴＣ 割込表示
  有料道路にあるＥＴＣ ゲートを通ったときや、エラーが発生したときに、割り込み情報が表示されます。
- ＥＴＣ音声案内
  ＥＴＣを利用するときに、音声が発声されます。
- ＡＣＣオン時警告表示
  エンジンスイッチをＬＯＣＫからＡＣＣの位置にしたとき、カードの差し忘れを画面に表示して警告します。
- ＡＣＣオン時警告音声案内
  エンジンスイッチをＬＯＣＫからＡＣＣの位置にしたとき、カードの差し忘れを音声で警告します。
- カード抜き忘れ警告
  エンジンスイッチをＡＣＣからＬＯＣＫの位置にしたとき、カードの抜き忘れを音声で警告します。
- ルート設定時カード未挿入警告
  有料道路を通るルートが探索されたときに、カードの差し忘れを画面と音声で警告します。

（3） 設定が終ったら 完了 にタッチします。

アドバイス

- ＥＴＣ割込表示は、表示させている画面により割り込み情報が表示されないことがあります。また、ＥＴＣゲートを通っても表示されないことがあります。
- 本機は料金表示の最小単位は１円ですが、音声案内の最小単位は10円となります（料金が257円の場合、250円と音声案内されますが実際に徴収される料金は257円です）。
- 接続されているＥＴＣユニットによっては、ＥＴＣカードの有効期限が以下のメッセージで案内されます。
  「ETCカードの有効期限は今月末です　カードをお確かめ下さい」
  「ETCカードの有効期限が切れています」
  この案内は、カードの有効期限を簡易的にお知らせするものです。ＥＴＣカードの有効期限は必ずカードを直接ご確認ください。
  案内はETCカードの設定に関係なく、ETCカードを挿入する、または挿入した状態でエンジンスイッチをACCまたはONにすると行われます。

バックガイドモニターの映像を見るには

バックガイドモニター装着車では、本機にバックガイドモニターの映像を表示させることができます。本機能は別売のバックガイドモニターを接続し、バックガイドモニター機能を設定した場合に表示されます。

※装着および機能の設定ができない車種もありますので、詳しくは販売店へご相談ください。

注 意

- バックガイドモニターは後退操作を補助するものです。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。詳しくは、P.6-34の**「画面に映る範囲」**をご覧ください。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人や障害物の見え方は、実際の位置や距離と異なります。詳しくは、P.6-36の**「画面と実際の路面との誤差」**をご覧ください。
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、画像が薄れることがあります。特に動いているものの画像が歪む、あるいは画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。

バックガイドモニターとは

バックガイドモニターは、後退操作（特に駐車時）を補助する装置です。車の後方の映像に後退操作の参考になるガイド線を合成して表示するとともに、さらに音声で案内します※。

※音声ガイドについては縦列ガイドモードのみ

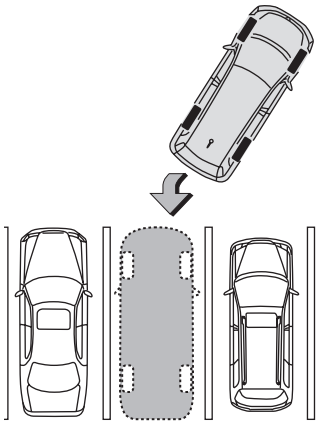


イラストは縦列ガイドモード時の状況です

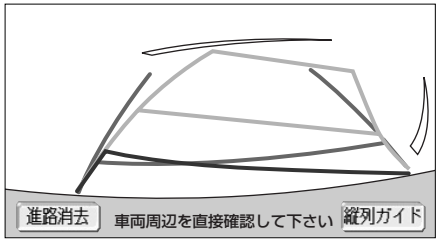
ガイド方法の選び方

1 並列駐車（車庫入れ）時に使用するときは

車庫入れなど並列駐車をするときは、進路表示モードか、駐車ガイド線表示モードを使用します。

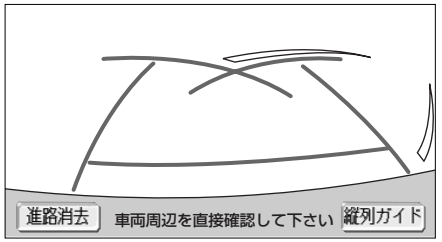


●進路表示モードで
並列駐車をする（P.6-9参照）



ハンドル操作に連動した予想進路などが表示されるモードです。

●駐車ガイド線表示モードで
並列駐車をする（P.6-13参照）

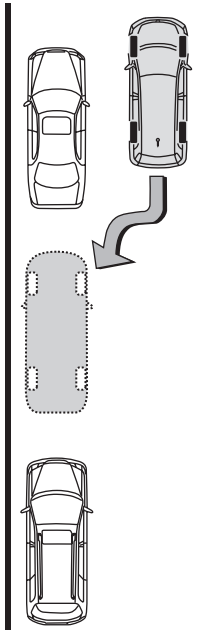


ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。

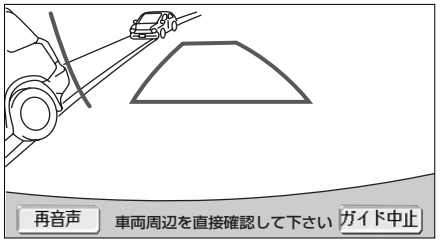
●車両感覚に慣れた方（進路表示モードを必要とせずに駐車できる方）はご使用ください。

2 縦列駐車時に使用するときは

縦列駐車をするときは、縦列ガイドモードか、駐車ガイド線表示モードを使用します。

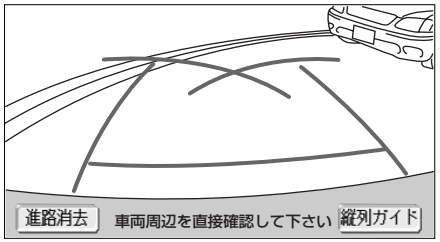


●縦列ガイドモードで
縦列駐車をする（P.6-16参照）



画面表示と音声案内により縦列駐車を補助するモードです。

●駐車ガイド線表示モードで
縦列駐車をする（P.6-29参照）

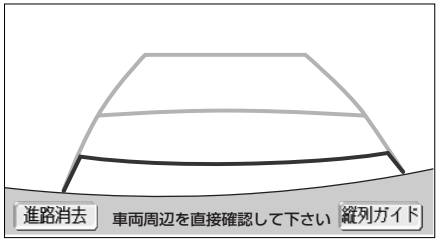


ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。

●縦列ガイドモードを必要とせずに駐車できる方や縦列ガイドモードが使用できないときなどにご使用ください。

ガイド画面の出し方

エンジンスイッチがONのとき、チェンジレバーをⓇにすると、バックガイドモニターの画面になります。



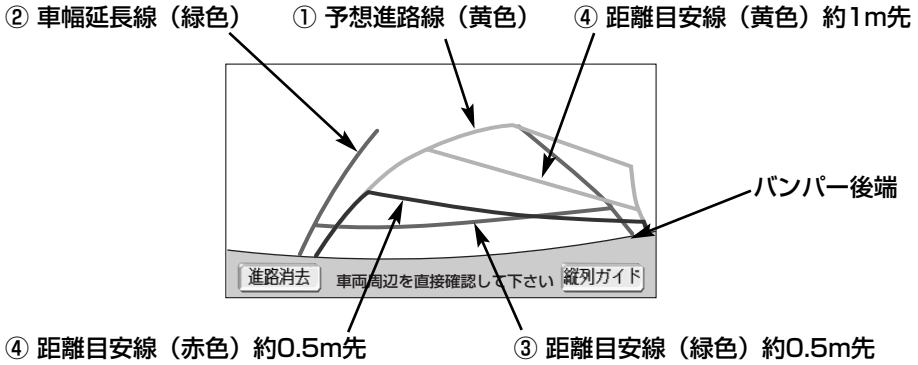
アドバイス

チェンジレバーをⓇにしていても、現在地 など各モードのスイッチを押すと、押したスイッチのモード画面に切り替わります。

オプション

並列駐車のしかた（進路表示モード）

1 画面の見方



① 予想進路線（黄色）

車が後退していく進路の目安を示します。

●ハンドル操作と連動します。

② 車幅延長線（緑色）

車幅の延長線で、車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。

●実際の車幅より広く表示しています。

●ハンドルがまっすぐ（直進状態）になっているときは、予想進路線と重なります。

③ 距離目安線（緑色）

車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。

●約0.5m先を示します。

④ 距離目安線（赤色／黄色）

車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。

●ハンドル操作と連動します。予想進路とともに動きます。

●それぞれの中心位置で、約0.5m先（赤色）・約1m先（黄色）を示します。

●ハンドルがまっすぐ（直進状態）になっていないときは誤差が生じます。
上の画面では、距離目安線が示す実際の距離（赤色：0.5m先、黄色：約1m先）より右側は近くの位置に、左側は遠くの位置に表示されます。

注 意

●必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

・乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

・ハンドルがまっすぐ（直進状態）で車幅延長線と予想進路線がずれているときは、できるだけ曲がり角・カーブなどが無く、渋滞の少ない道路を前進で約五分以上走行してください。それでも直らない場合は、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

・車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

アドバイス

画面に表示されている 進路消去 にタッチすると、予想進路線、車幅延長線が表示されなくなります。また、このとき距離目安線が固定（ハンドル操作と連動しなくなる）されます。もとに戻すときは、同じ画面に表示される 進路表示 にタッチします。

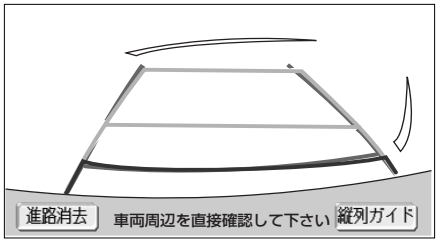
2 操作のしかた

以下に並列右駐車の場合のハンドル操作手順を説明します。並列左駐車の場合、ハンドル操作はすべて左右逆になります。

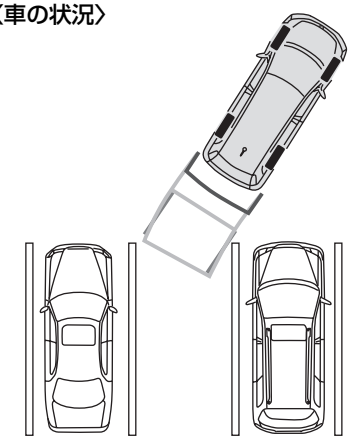
（1） チェンジレバーを Ⓡ にします。

●進路表示モードになっていない場合は、P.6-40の**「バックガイドモニターの設定」**を参照して進路表示モードにしてください。

〈画面〉



〈車の状況〉

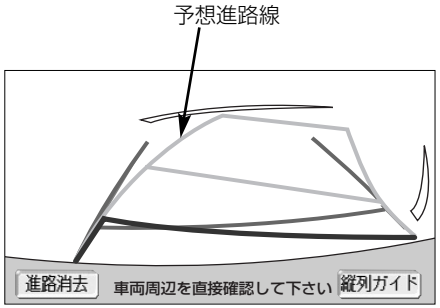


6 オプション
バックガイドモニターの映像を見るには

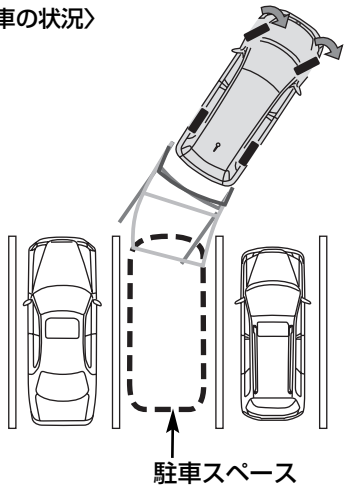
オプション

（2） 予想進路線が駐車スペースの中に入るようにハンドルを操作して、ゆっくり後退します。

〈画面〉

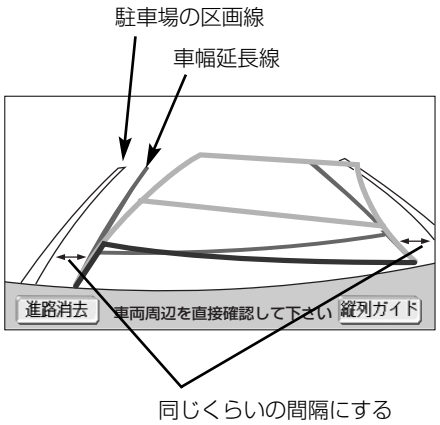


〈車の状況〉

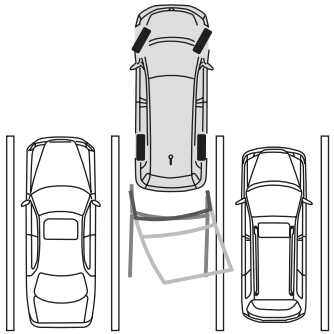


（3） 車の後部が駐車スペースの中に入ったら、車幅延長線と駐車スペース左右の区画線との間隔が車の近くの位置で同じくらいになるようにハンドルを操作します。

〈画面〉

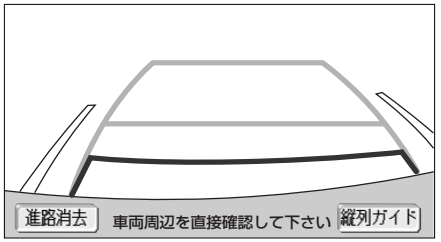


〈車の状況〉

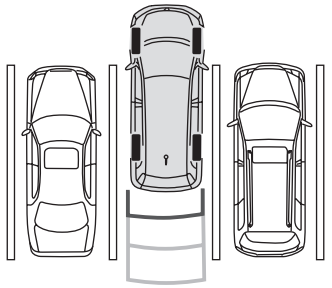


（4） 車幅延長線と駐車場の区画線が平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にして、車が駐車スペースに全部入るまで、ゆっくり後退します。

〈画面〉

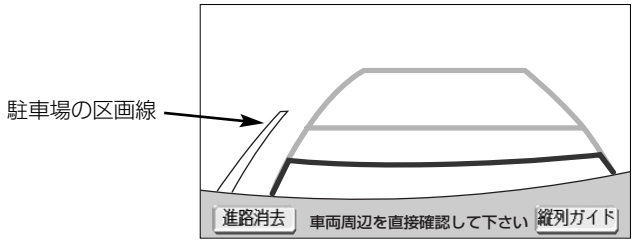


〈車の状況〉



アドバイス

- 駐車するときは、画面の映像と実際の状況は異なることがありますので、必ず直接確認してください。
- 距離目安線と駐車スペースの後端が画面では平行に見えても、実際には平行でないことがあります。
- 駐車場の区画線が片側しかないときは、車幅延長線と駐車スペースの左端（右端）が画面では平行に見えても（下図参照）、実際には平行でないことがあります。

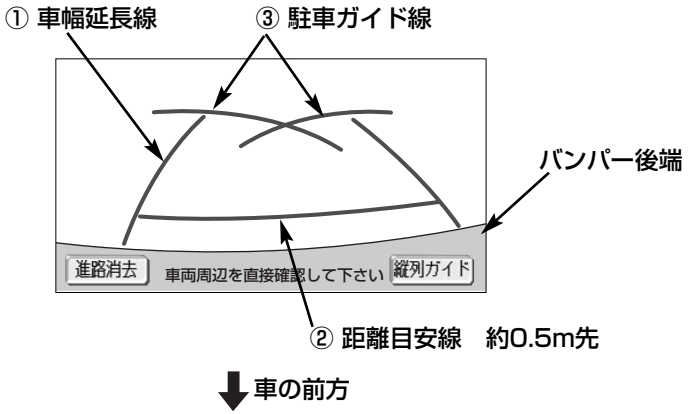


6 オプション
バックガイドモニターの映像を見るには

オプション

並列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード）

1 画面の見方



① 車幅延長線

車幅の延長線で、車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。

●実際の車幅より広く表示しています。

② 距離目安線

車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。

●0.5m先を示します。

③ 駐車ガイド線

ハンドルをいっぱいまで回して後退（もっとも小回り）したときの進路の目安を示します。

●駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

注 意

・乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。
必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
・車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

アドバイス

画面に表示されている 進路消去 にタッチすると、車幅延長線と駐車ガイド線が表示されなくなります。
もとに戻すときは、同じ画面に表示される 進路表示 にタッチします。

2 操作のしかた

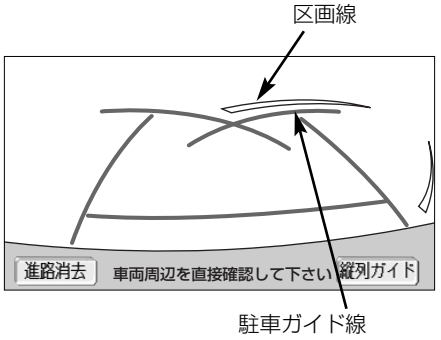
以下に並列右駐車の場合のハンドル操作手順を説明します。並列左駐車の場合、ハンドル操作はすべて左右逆になります。

（1） チェンジレバーをⓇにします。

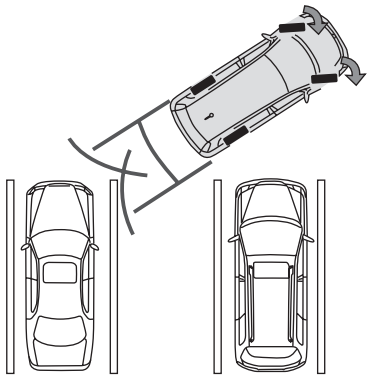
●駐車ガイド線表示モードになっていない場合は、P.6-40の**「バックガイドモニターの設定」**を参照して駐車ガイド線表示モードにしてください。

（2） 駐車ガイド線が駐車スペースの左端の区画線に合うまで後退したら止まります。

〈画面〉



〈車の状況〉



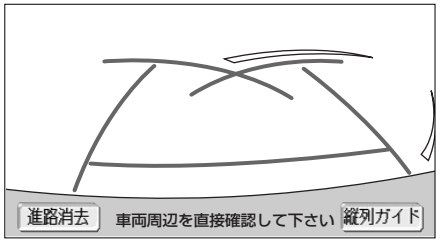
アドバイス

画面のように駐車ガイド線と区画線に合わせて後退すると、駐車スペースの幅が約2.2mの場合にほぼ中央に進入します。駐車スペースの幅に応じて止まる位置を調整してください。

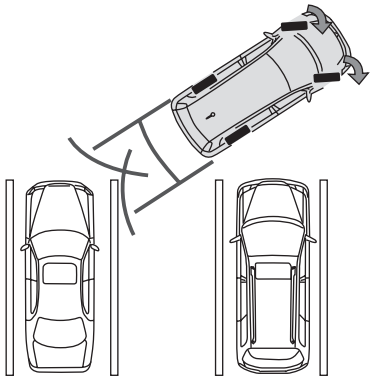
6 オプション
バックガイドモニターの映像を見るには

(3) ハンドルを右いっぱいにまわして、ゆっくり後退します。

〈画面〉

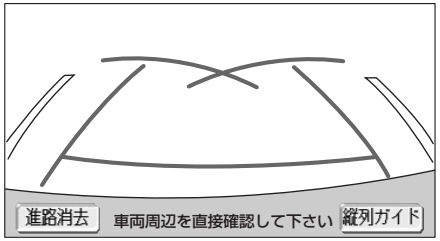


〈車の状況〉

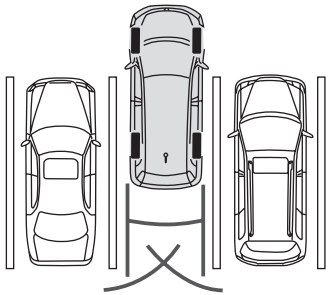


(4) 車が駐車スペースと平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にします。画面を参考に最適な位置まで後退し、駐車を終えます。

〈画面〉



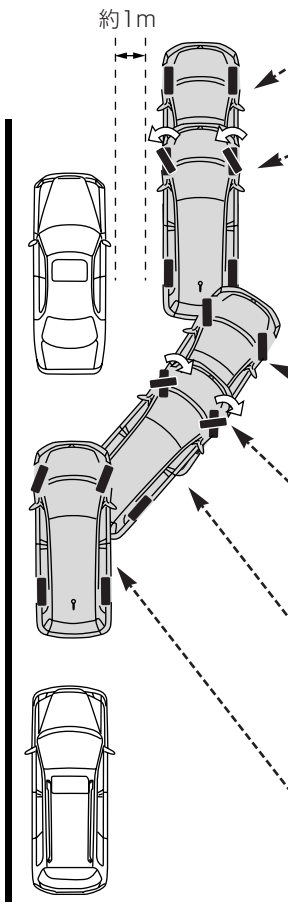
〈車の状況〉



縦列駐車のしかた（縦列ガイドモード）

1 車の動きと画面・音声案内の流れ

〈車の動き〉



〈操作内容〉

道路と平行で、駐車している車との間隔が約1mの位置で止まる。

緑の縦線が、隣に駐車している車の後端に合うまで後退したら止まる。（画面①※）

車を止めたままハンドルを操作し、緑の枠を駐車したい場所に合わせたら、ハンドルをそのままにして後退する。（画面②※）

緑の曲線が表示されて、緑の曲線が駐車したい位置の左端に合うまでハンドルをそのままにして後退する。（画面③※）

駐車したい位置の左端に合ったら止まり、ハンドルを逆方向にいっぱいまで操作する。（画面④※）

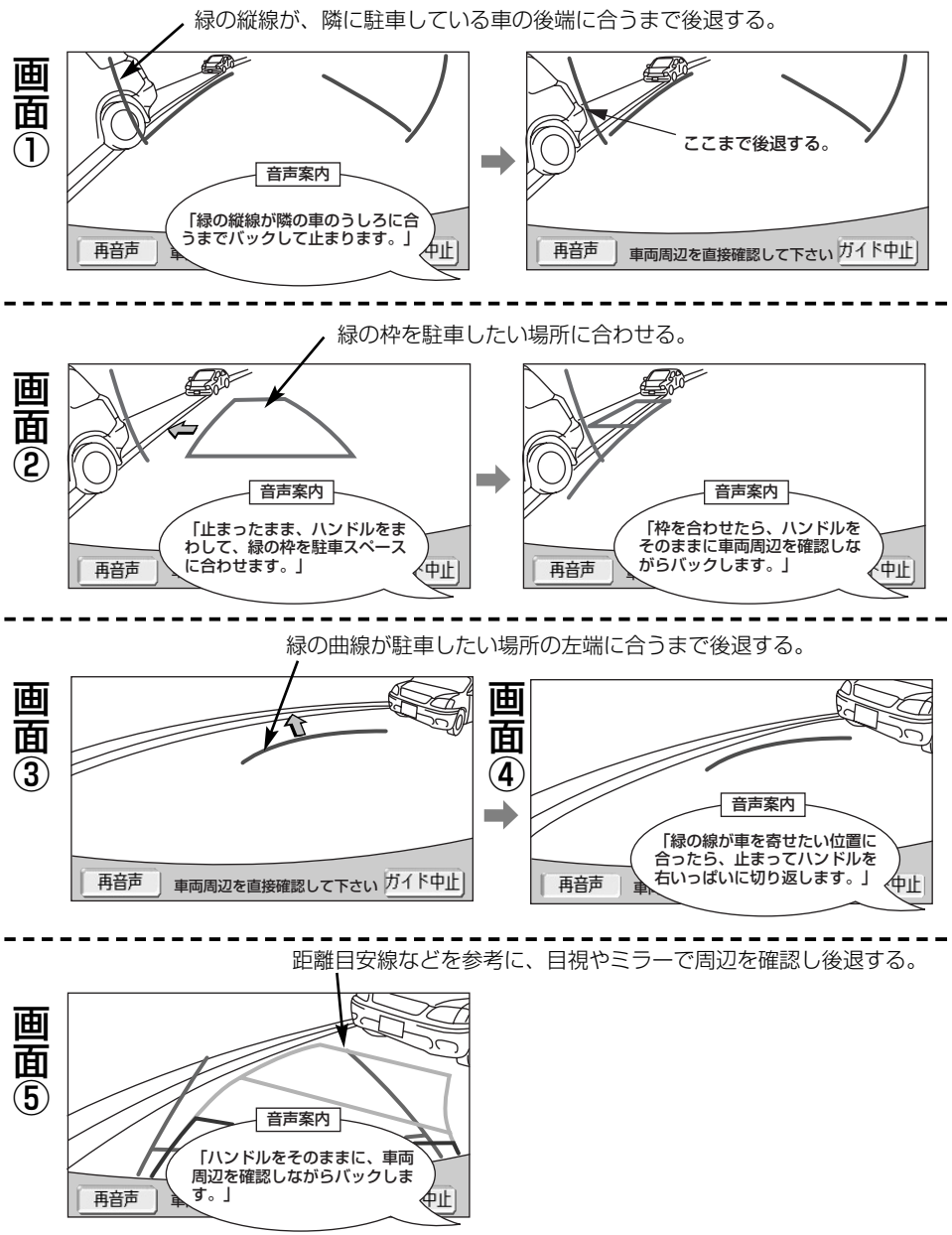
ハンドルをそのままにして距離目安線などを参考に、目視やミラーで周辺を確認し後退する。（画面⑤※）

車がほぼまっすぐになったら縦列ガイドモードが終了する。

※画面は、P.6-17に記載。

オプション

〈画面・音声案内の流れ〉



注 意

●カーブや坂道など平坦・まっすぐでない道路では、使用しないでください。
・ハンドル操作は必ず車を止めた状態で行ってください。

アドバイス

●ガイドを中止したいときは、 ガイド中止 にタッチすると、最初（チェンジレバーをⓇにしたとき）の画面に戻ります。
●音声案内をもう一度聞きたいときは 再音声 にタッチします。
●音声案内は運転席スピーカーより出力されます。

6 オプション
バックガイドモニターの映像を見るには

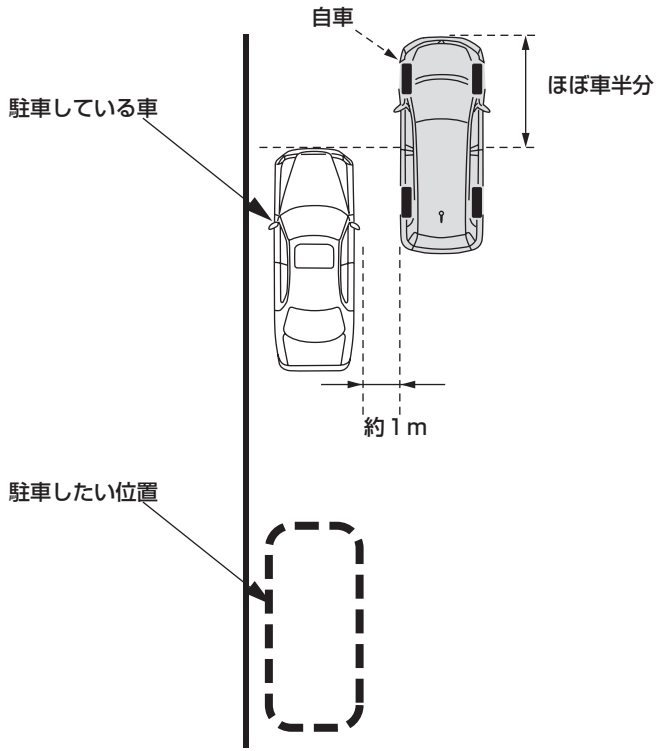
オプション

2 操作のしかた

以下の手順は、左側の駐車スペースに駐車するときの例を示しています。右側の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作などが全て左右逆になります。

（1） 道路（または路肩）と平行で、駐車している車との間隔が約1mの位置に止まり、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にします。

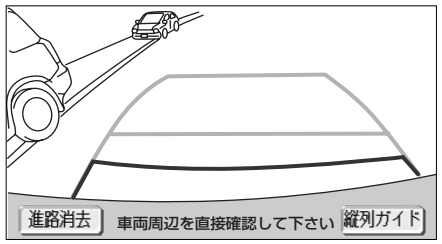
●前後の位置は、駐車している車より車半分ほど前の位置にします。



（2） チェンジレバーをⓇにします。

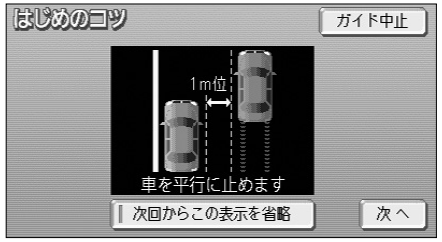
（3） 車の位置を確認し、画面の 縦列ガイド にタッチします。

● 画面で駐車している車のリアタイヤよりうしろの部分が映っていることを確認してください。映っていないときは車を正しい位置まで前進させ操作をやり直します。



（4） 表示された画面と同じ位置に、車が止まっていることを確認します。車の位置を確認したら、 次へ にタッチします。

● ガイド中止 にタッチすると、前の画面に戻ります。



アドバイス

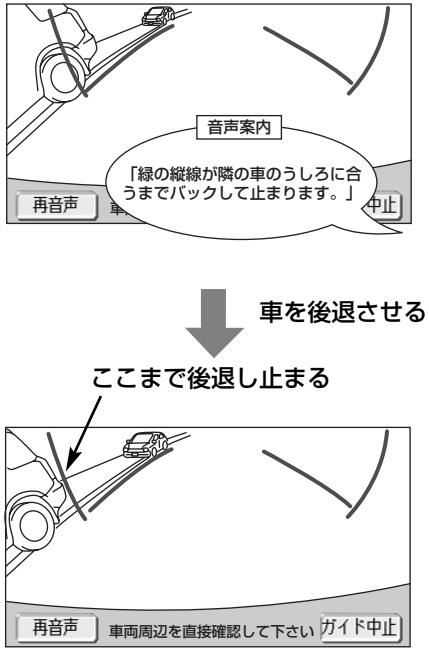
次回からこの表示を省略 にタッチすると、この画面は表示されなくなります。再び表示させたいときは、P.6-41の**「バックガイドモニターの設定」**を参照してください。

6 オプション
バックガイドモニターの映像を見るには

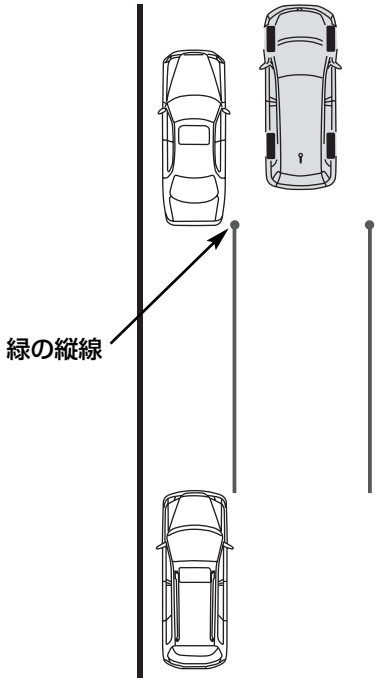
オプション

(5) 音声で案内されたら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしたまま緑の縦線が隣に駐車している車の後端に合う位置まで後退し、止まります。

〈画面〉



〈車の状況〉

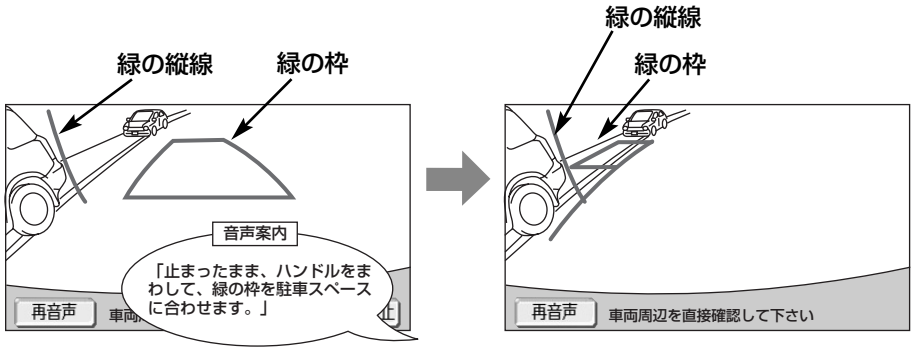


アドバイス

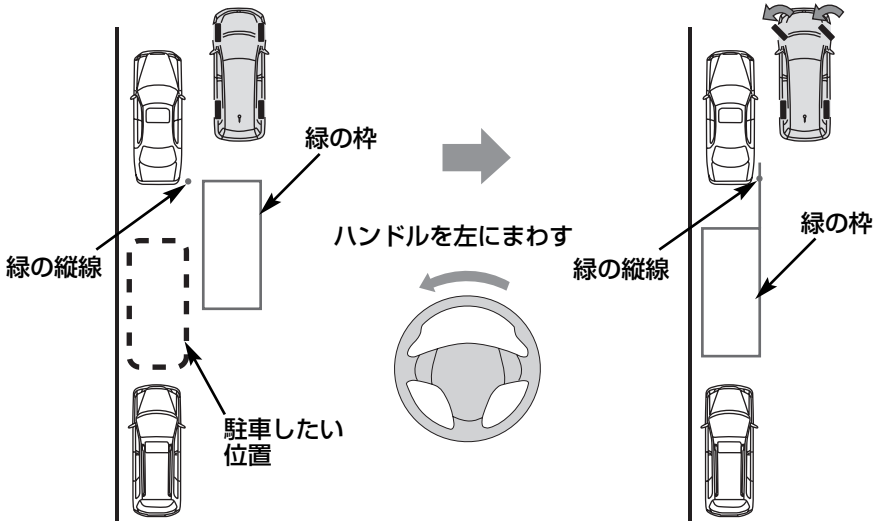
- ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしないで後退すると、次の音声案内まで進んでしまうことがあります。その場合は、最初に車を止めた位置まで前進させ、やり直してください。
- チェンジレバーをⓇ以外の位置にしていても、約10秒以内にⓇの位置に戻せば、この画面に戻ります。

(6) 音声で案内され、緑の枠が表示されます。止まったままハンドルを左にまわして、緑の枠を駐車したい位置に合わせます。

〈画面〉



〈車の状況〉



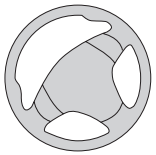
- 緑の枠の中に障害物が無いことを必ず確認してください。緑の枠の中に障害物がある場合は、縦列ガイドモードは使用することはできません。詳しくは、P.6-27を参照してください。
- 画面の中にメッセージが表示されることがあります。メッセージについてはP.6-28を参照してください。

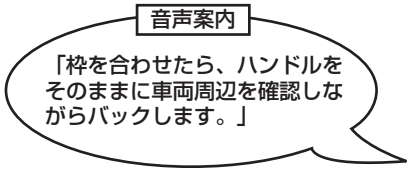
6 オプション
バックガイドモニターの映像を見るには

オプション

（7） 緑の枠を合わせ、音声で案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退します。

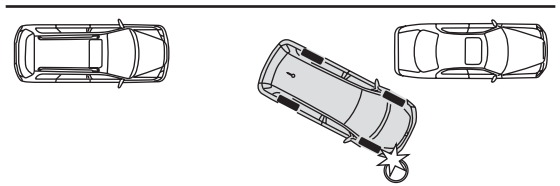
ハンドルはそのまま





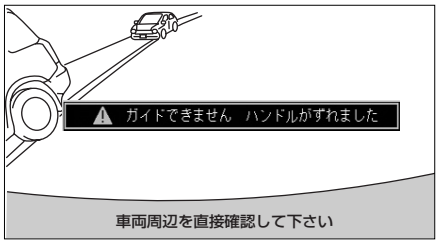
注 意

車の右前端を前方の障害物にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。



アドバイス

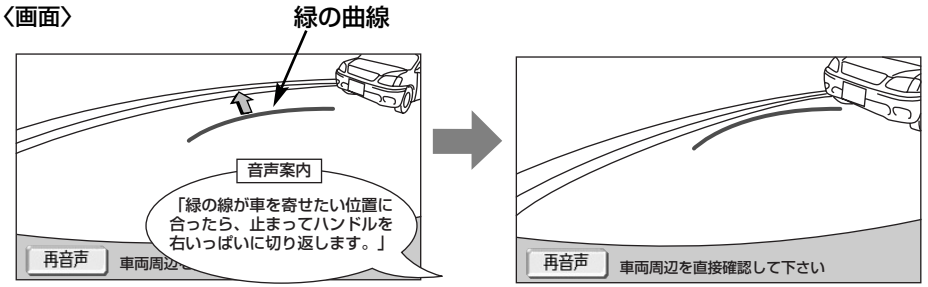
●後退中にハンドルを操作してしまうと、ガイドされなくなります。その場合は、チェンジレバーをⓇ以外にしてから、再度Ⓡにして最初からやり直してください。



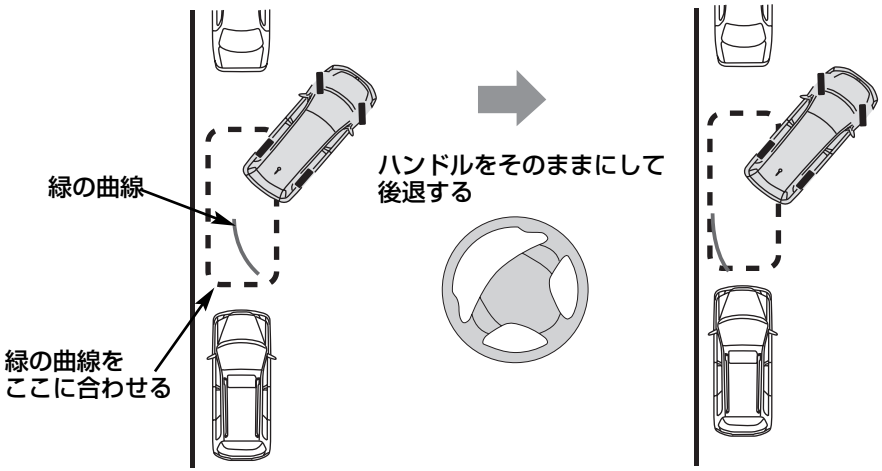
●ごく低速で後退すると、次の案内が行われないことがあります。
●後退を開始すると、ガイド線が表示されなくなります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

（8） 音声で案内され、緑の曲線が表示されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退します。
緑の曲線が、駐車したい位置の左端の地点に合ったら止まります。

〈画面〉



〈車の状況〉

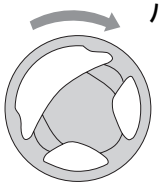


アドバイス

車の速度が速すぎると、案内が間に合わないことがあります。

6 オプション
バックガイドモニターの映像を見るには

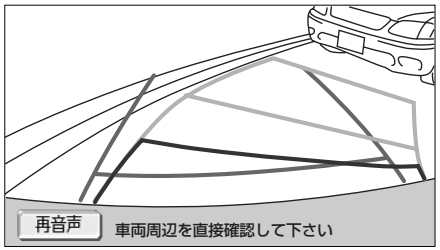
(9) 車を止めたまま、ハンドルを右いっぱいに回します。
●必ず車を止めた状態でハンドルを操作してください。



ハンドルを右いっぱいまでまわす

(10) 画面が切り替わって音声案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして、後退します。

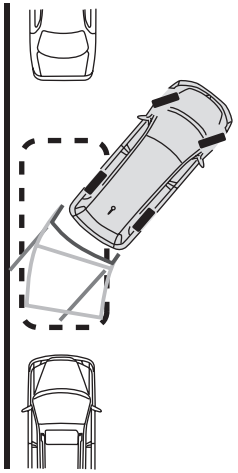
〈画面〉



音声案内

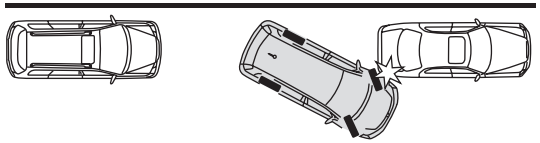
「ハンドルをそのままに、車両周辺を確認しながらバックします。」

〈車の状況〉



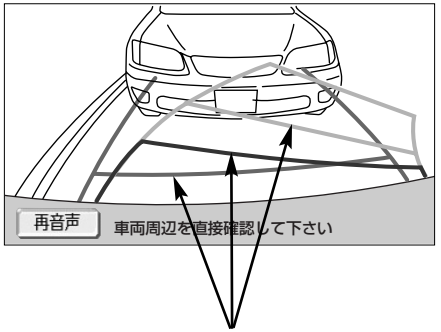
注 意

車の左前端を前方に駐車している車にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。



(11) 車が道路（または路肩）と平行になったらハンドルをまっすぐ（直進状態）に戻します。距離目安線を参考に、必ず目視やミラーで車の前後を確認し、ゆっくり後退して止まります。車がほぼまっすぐ（直進状態）になると、音声案内されて縦列ガイドモードが終了します。

〈画面〉

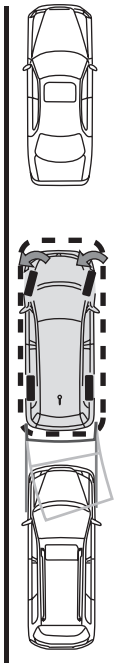


距離目安線

音声案内

「縦列ガイドを終了します。」

〈車の状況〉



オプション

6 オプション
バックガイドモニターの映像を見るには

オプション

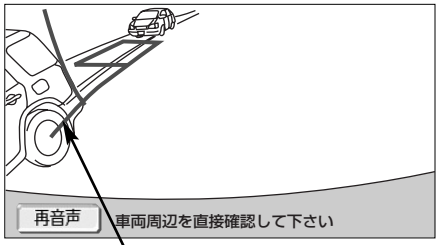
注 意

●手順P.6-22の（6）のときに緑の枠の中に障害物がないことを必ず確認してください。

・緑の枠の中に障害物がないことを必ず確認してください。緑の枠の中に障害物がある場合は、縦列ガイドモードは使用できません。

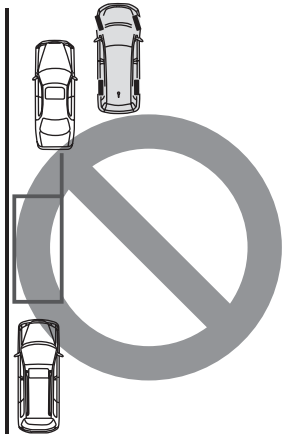
・緑の枠を駐車したい位置に合わせるときは、必ず手前に延びている緑の線が前方に駐車している車のタイヤにかからないようにしてください。緑の枠を駐車したい位置に合わせると前方に駐車している車にかかってしまう場合は、かからない範囲で合わせてください。

〈画面〉



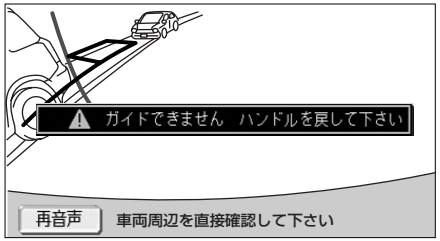
延長線がタイヤにかかっている

〈車の状況〉

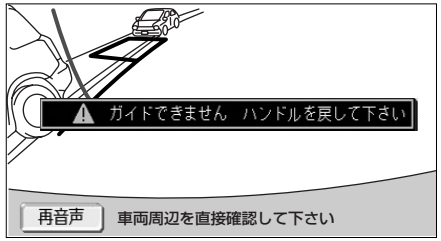


アドバイス

●手順P.6-22の（6）のときに枠が赤くなって、下のようなメッセージが表示された場合、ガイドすることができませんので、ハンドルを戻してください。



●枠が正しい駐車位置に合っている場合でも、下のようなメッセージが表示されることがあります。この場合、車が路肩からはなれすぎていることが考えられますので、隣に駐車している車との間隔（約1m）を確認してください。

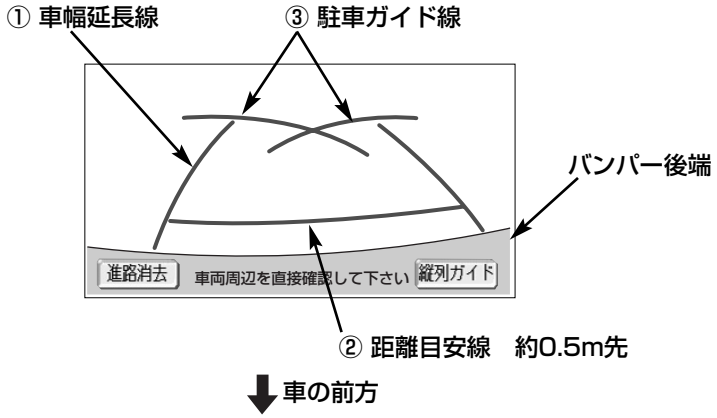


6
オプション
バックガイドモニターの映像を見るには

オプション

縦列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード）

1 画面の見方



① 車幅延長線

車幅の延長線で、車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。

●実際の車幅より広く表示しています。

② 距離目安線

車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。

●0.5m先を示します。

③ 駐車ガイド線

ハンドルをいっぱいまで回して後退（もっとも小回り）したときの進路の目安を示します。

●駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

注 意

・乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。
必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
・車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

アドバイス

画面に表示されている 進路消去 にタッチすると、車幅延長線と駐車ガイド線が表示されなくなります。
もとに戻すときは、同じ画面に表示される 進路表示 にタッチします。

2 操作のしかた

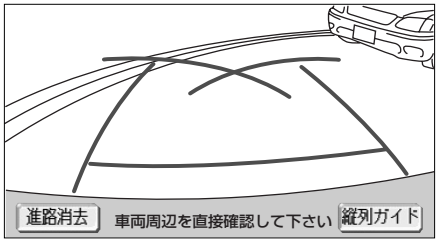
以下の手順は、左側の駐車スペースに駐車するときの例を示しています。右側の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作などがすべて左右逆になります。

（1） チェンジレバーをⓇにします。

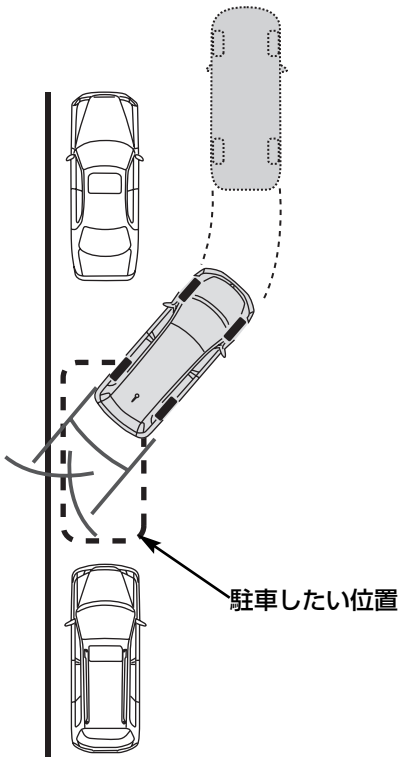
●駐車ガイド線表示モードになっていない場合は、P.6-40の**「バックガイドモニターの設定」**を参照して駐車ガイド線表示モードにしてください。

（2） 駐車ガイド線が駐車したい位置の左端に合うまで後退したら止まります。

〈画面〉



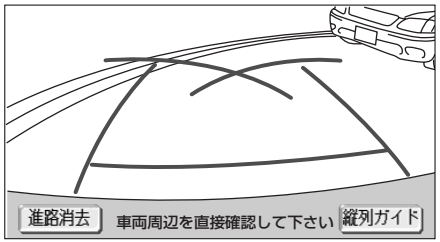
〈車の状況〉



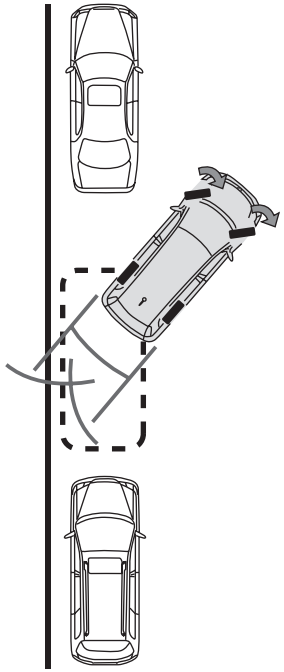
6 オプション
バックガイドモニターの映像を見るには

（3） ハンドルを右いっぱいに回して、ゆっくり後退します。

〈画面〉

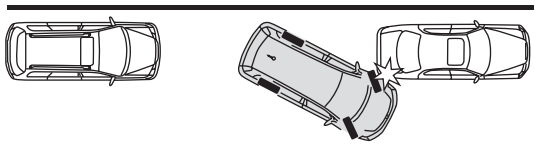


〈車の状況〉



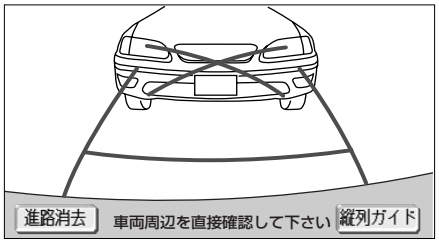
注 意

車の左前端を前方に駐車している車にぶつけないよう注意して、ゆっくり後退してください。

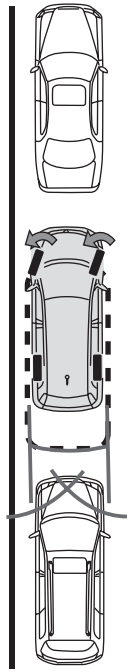


（4） 車が路肩と平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にします。
画面を参考に最適な位置まで後退し、駐車します。

〈画面〉



〈車の状況〉



オプション

6 オプション
バックガイドモニターの映像を見るには

オプション

バックガイドモニターについての注意点

1 運転時の注意

注 意

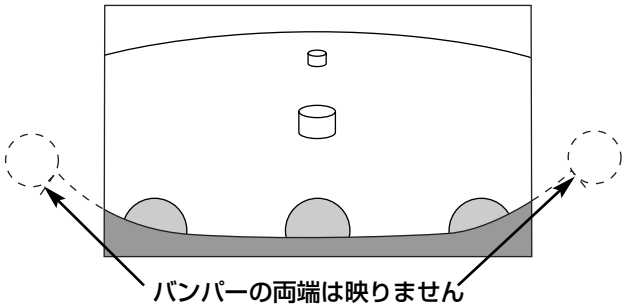
●ガイド線と車の挙動が異なる場合があります。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

・バックガイドモニターを過信しないでください。
一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
・画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。
画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。
・以下のような状況では、実際とは異なる場合があるので、必ず周囲の状況を目で確認してください。
凍結したり、滑りやすい路面、または雪道。
タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき。
バックドアが完全に閉まっていないとき。
坂道など平坦でない道路。
・バックガイドモニターの各モードの操作手順はあくまでも一例であり、駐車時の道路事情・路面や車の状況などにより、ハンドル操作のタイミング・操作量は異なります。以上のことを十分理解したうえで、バックガイドモニターをご使用ください。また、駐車するときは、必ず駐車スペースに車を駐車できるかを確認してから操作を行ってください。
・ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり認識しにくくなる場合があります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
・タイヤを交換するときは、お買い上げの販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

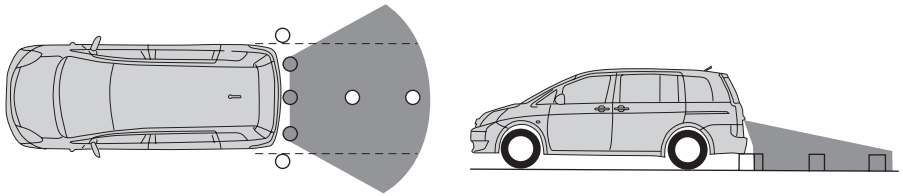
2 画面に映る範囲

バンパー後端から車の後方（下図の範囲）が映ります。

〈画面〉



〈映る範囲〉



アドバイス

●車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
●カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
●バックガイドモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
●次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
・暗いところ（夜間など）。
・レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
・カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）。
・カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
・太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
●バックガイドモニターの画質調整の方法は、テレビ画面の調整と同じです（P.1-25参照）。

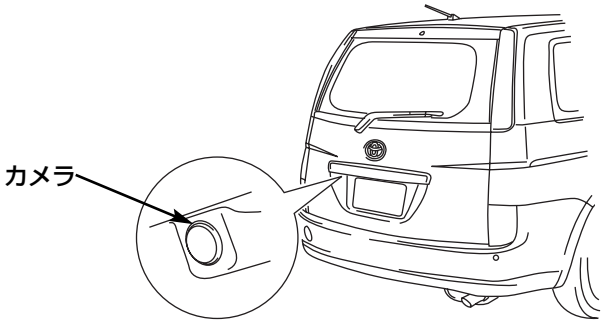
6 オプション
バックガイドモニターの映像を見るには

オプション

3 カメラ

番号灯の左側にあります。

※車種によって取付位置は異なります。



注 意

●バックガイドモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので以下のことにご注意ください。

・カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃をあたえないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。
・カメラ部は防水構造となっていますので、取り外し・分解・改造をしないでください。
・カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などで研いだりするとカバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
・カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
・寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化をあたえないでください。
・カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにお買い上げの販売店で点検を受けてください。
・高圧洗車機を使用する場合、カメラまたはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落するおそれがあります。

アドバイス

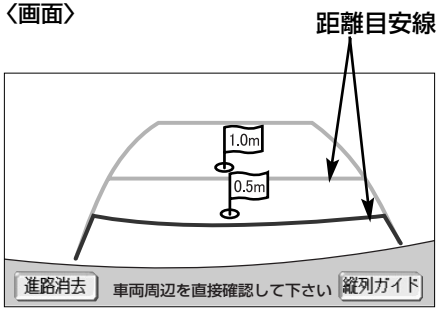
カメラのレンズが汚れていると、鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などの汚れが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

4 画面と実際の路面との誤差

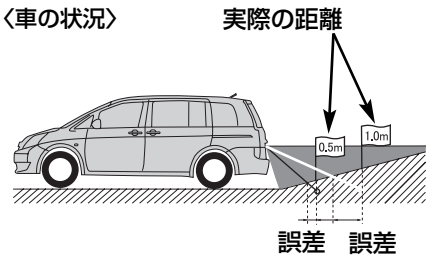
以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

●急な上り坂が後方にあるとき

〈画面〉



〈車の状況〉

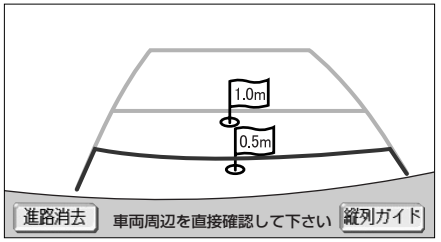


距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、上り坂が後方にあるときには、実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。例えば、上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。

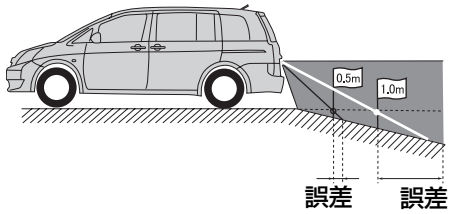
同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

●急な下り坂が後方にあるとき

〈画面〉



〈車の状況〉



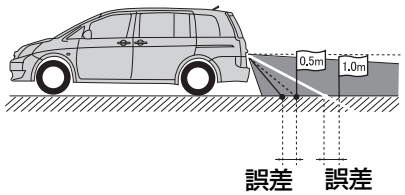
下り坂が後方にあるときには、実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。

実際のガイド線と実際の路面上の進路にも差が生じます。

6 オプション
バックガイドモニターの映像を見るには

オプション

●車が傾いているとき



乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。

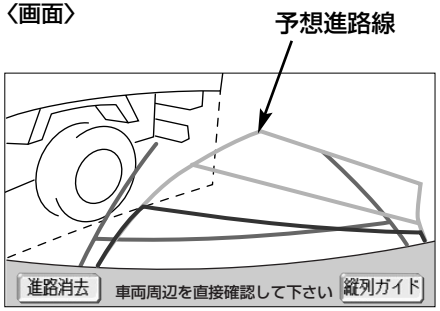
5 立体物が近くにあるとき

画面のガイドは平面物（道路など）を対象にしています。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、以下のことに注意して、ぶつからないようにしてください。

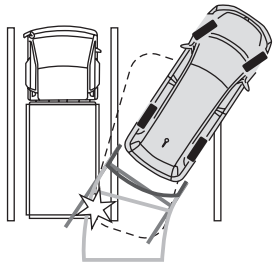
●予想進路線

予想進路は路面に対して表示されるため、立体物の位置を判断することはできません。

〈画面〉



〈車の状況〉

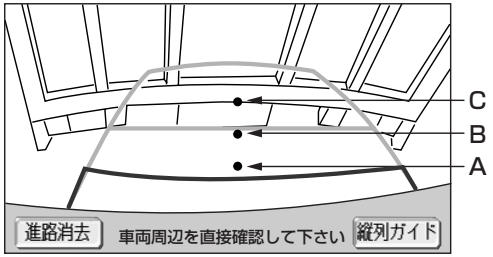


画面では、トラックの荷台が予想進路の外側にあり、ぶつからないように見えますが、実際には荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。このように予想進路線が障害物の近くを通るときは、後方や周囲の安全を直接確認してください。

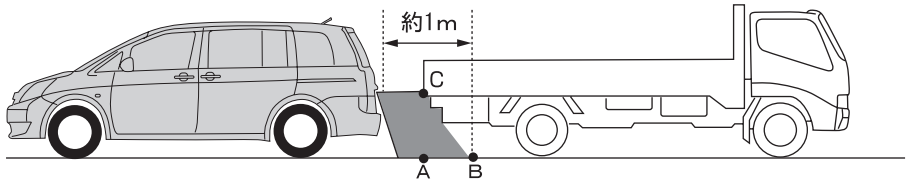
●距離目安線

距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。

〈画面〉



〈A,B,Cの位置〉



画面では、距離目安線により約1m先（Bの位置）にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはAの位置まで後退すると、ぶつかります。

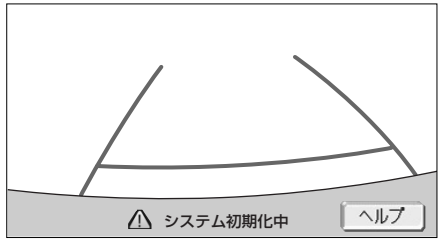
画面ではA、B、Cの順に近く見えますが、実際の距離はAとCは同じ距離で、BはA、Cより遠い距離にあります。

6 オプション
バックガイドモニターの映像を見るには

オプション

6 システム初期化中表示が出たときは

バッテリーの脱着・バッテリー能力が低下した場合などには、下図の画面が表示されます。
この場合、次のどちらかの操作が必要になります。



●車を止めた状態で、ハンドルを左いっぱいに回したあと、右いっぱいに回します。
（左右どちらが先でも可）
●できるだけ曲り角・カーブなどがなく、渋滞していない道路を前進で約5分間以上走行します。

通常の画面に戻れば、設定完了です。

システム初期化中画面が表示されたままのときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

アドバイス

システム初期化中画面で、ヘルプ にタッチすると、操作方法を表示させることができます。



画面に表示されている操作をし、通常の画面に戻れば、設定終了です。
システム初期化中、またはヘルプ画面が表示されたままのときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。
● 了解 にタッチすると、もとの画面に戻ります。

バックガイドモニターの設定

「縦列ガイド音量設定」・「はじめのコツ表示」・「駐車ガイド線表示」の設定ができます。



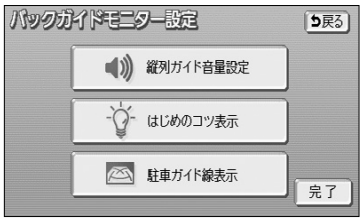
（1） ナビメニュー（P.2-8参照）で 情報 にタッチします。

● 情報画面（P.5-1参照）が表示されます。



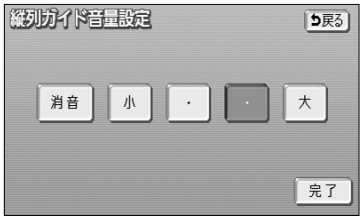
※装備により表示される項目は異なります。

（2） バックガイドモニター にタッチします。



（3） バックガイドモニター設定項目で、設定する項目にタッチします。

■縦列ガイド音量設定



● 縦列ガイド音量設定 にタッチすると音声案内を調整することができます。

● 消音 小 ・ ・ 大 のいずれかにタッチします。

● 消音 にタッチしたときは、音声案内されません。

6 オプション
バックガイドモニターの映像を見るには

■はじめのコツ表示



● はじめのコツ表示 にタッチすると縦列ガイドモードで表示される「はじめのコツ」を表示するか、表示しないかを選ぶことができます。

● 表示させたいときは、 する にタッチします。表示させたくないときは、 しない にタッチします。

■駐車ガイド線表示



● 駐車ガイド線表示 にタッチすると駐車ガイド線表示モードにするか、進路表示モードにするか、選ぶことができます。

● 駐車ガイド線表示モードにしたいときは、 する にタッチします。進路表示モードにしたいときは、 しない にタッチします。

(4) 設定がよければ、 完了 にタッチします。

● 他の画面に切り替えたいときは、(現在地)などの各モードスイッチを押します。

バックモニターの映像を見るには

別売のバックモニターを接続した場合、チェンジレバーを㊢にすると、本機のモニター画面に自動で後方のカメラ映像およびガイド線（車両の車幅や距離感覚を補う補助線）を映すことができます。

注 意

●バックモニターを過信しないでください。
●本機（リアカメラシステム）は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。
●リアカメラで映し出す範囲は限られていますので、モニター画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用し、後方および周辺の安全を充分確認してください。
●雨滴などがカメラに付着すると映りが悪くなるおそれがあります。
●以下のような状況では使用しないでください。
・凍結したり、すべりやすい路面、または雪道　・バックドアが完全に閉まっていないとき
・タイヤチェーン、応急タイヤを使用しているとき　・坂道など平坦でない道
●ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり確認しにくくなる場合があります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
●自車の状況（乗車人数・積載量）により、画面のガイド線の示す位置は変化します。必ず、後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
●カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれてバックモニターが正常に作動しなくなるおそれがあります。
●カメラ本体は、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき故障などの原因になります。
●カメラ本体をケーブルでぶらさげたり、ケーブルを引張ったりなどは、絶対に行わないでください。防滴性が低下したり、ケーブルの断線など、故障の原因になります。
●寒いときにお湯をかけるなど、カメラに急激な温度変化を与えないでください。故障の原因になることがあります。
●カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などによりバックモニターが正常に作動しなくなるおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
●高圧洗車機を使用する場合、カメラまたはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落するおそれがあります。

アドバイス

●太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
●50Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起こりますが故障ではありません。
●レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で、乾いた布などで強くこすとレンズカバーにキズが付くことがあります。
●湿度の高いとき（雨の日など）は、カメラが曇り、映像が見づらくなることがあります。
●本機の映像は鏡像となっています。鏡像とは映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。これに対し直接目で見るのと同じ画像を正像と呼びます。
●夜間または暗所ではリアカメラの映像が見えないまたは見にくいことがあります。
●リアカメラの映像は、車体の一部が映し出されるように調整してください。
●カメラの映像は、広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。

オプション

1 後方の映像を映すには

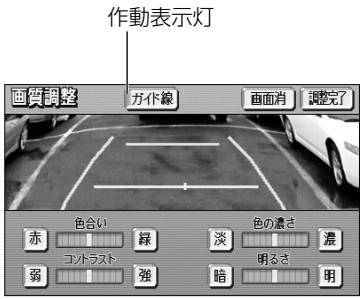


(1) チェンジレバーを🅡にします。

- バックモニターの映像が表示されます。
- チェンジレバーを🅡以外にすると通常画面に戻ります。

アドバイス

バックモニター映像上にガイド線が表示されない場合や、ガイド線の位置や方向などが適切に表示されない場合は、販売店にお問い合わせください。



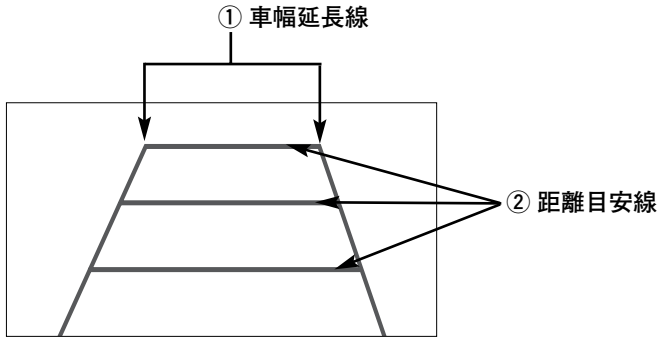
(2) ガイド線の表示・非表示の設定を行う場合は、バックモニターの映像を表示しているときに メニュー画面 をピッと音が鳴るまで押します。

- ガイド線 にタッチすると作動表示灯が点灯または消灯し、ガイド線が表示または非表示になります。
- 初期設定では、作動表示灯が点灯しガイド線表示ONになっています。

2 画面の見方について

■表示線の見方

チェンジレバーを🅡にすると、モニター画面がバックモニターの映像に切り替わり、車幅や距離感覚を補うバックガイド線が表示されます。



① 車幅延長線
車幅の延長線で、車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。

② 距離目安線
車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。
- ●ハンドル操作と連動しません。
- ●それぞれの中心位置で、約0.5m先（1本目）・約1m先（2本目）・約2m先（3本目）を示します。

アドバイス

- ●車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- ●カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- ●後方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- ●画面の明るさ・コントラストを調整することができます（P.1-25参照）。
- ●車両によりバックガイド線が左右にずれて表示されることがありますが、故障ではありません。

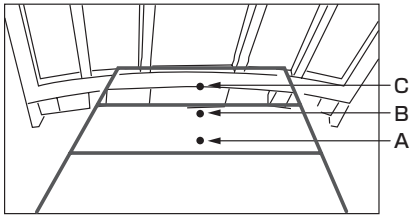
6 オプション
バックモニターの映像を見るには

オプション

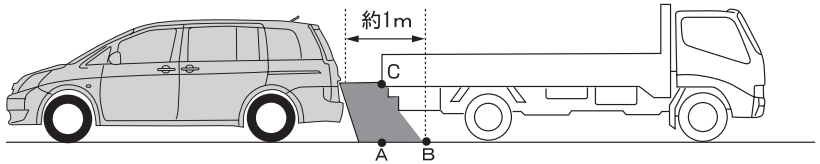
■距離目安線

距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。

〈画面〉



〈A,B,Cの位置〉



画面では、距離目安線により約1m先（Bの位置）にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはAの位置まで後退すると、ぶつかります。

画面ではA、B、Cの順に近く見えますが、実際の距離はAとCは同じ距離で、BはA、Cより遠い距離にあります。

アドバイス

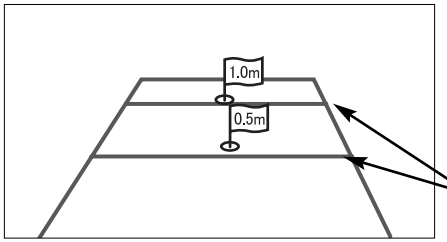
次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
- 暗いところ（夜間など）。
- レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
- カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）。
- カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
- 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。

3 画面と実際の路面との誤差

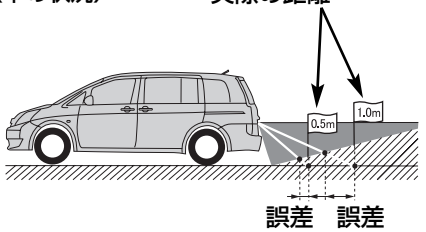
以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。（イラストは標準的なカメラ取付位置の場合を示します）

■急な上り坂が後方にあるとき

〈画面〉



〈車の状況〉

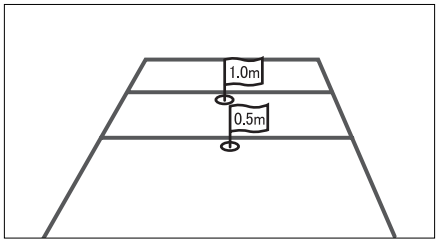


距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、上り坂が後方にあるときには、実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。例えば、上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。

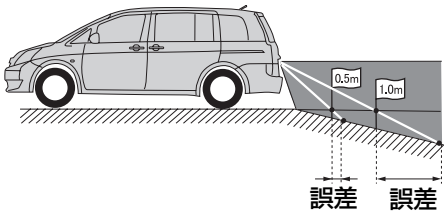
同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■急な下り坂が後方にあるとき

〈画面〉



〈車の状況〉



下り坂が後方にあるときには、実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。

同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

6 オプション
バックモニターの映像を見るには

オーディオ

電源の入れ方・音量調整のしかた

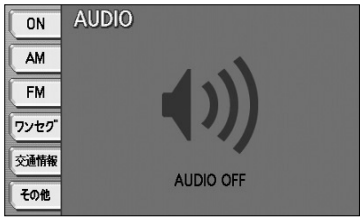
オーディオ機能のオン・オフや音量の調整ができます。

1 電源の入れ方

オーディオの電源のオン・オフを行うことができます。

（1） PWR を押します。

- オーディオ操作画面が表示されます。
- PWR を押し続けても、電源がオンになります。



（2） ON にタッチします。

- AM や FM 等のオーディオモードスイッチにタッチしても、電源がオンになります。



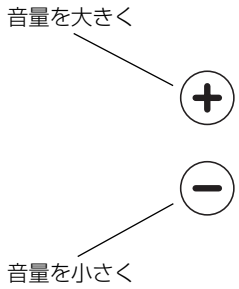
- 電源がオンになると、 ON が OFF に切り替わります。 OFF にタッチすると、電源がオフになります。
- PWR をもう一度押し続けても、電源はオフになります。

アドバイス

初めてオーディオOFFをしたときは、VICS受信に関するメッセージが表示されます。

2 音量調整のしかた

音量の調整を行うことができます。



（1） ＶＯＬボタンで音量を調整します。

- ＶＯＬ「＋」またはＶＯＬ「－」を押します。

アドバイス

- ＶＯＬボタンは短く押すと1ステップずつ音量が変わり、長く押すと手をはなすまで音量が変わり続けます。
- ボリュームが最大（最小）になると、それ以上の音量は変わりません。
- AUXのボリュームは、その他のオーディオのボリュームとは別に調整することができます（P.11-3参照）。

注 意

走行中の操作は安全運転に支障がないよう十分注意して行ってください。
また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。

アドバイス

オーディオを聞いているときに、車内または車の近くでデジタル携帯電話を使用した場合、オーディオのスピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがありますが故障ではありません。

電源の入れ方・音量調整のしかた
7 オーディオ

オーディオ

テレビ・オーディオの切り替え

1 テレビ・オーディオの切り替え方

以下の操作でオーディオモードを切り替えることができます。



※1 CD、MP3/WMAが該当します。挿入されたメディアによって表示が異なります。

（1） PWR を押します。

- オーディオ操作画面が表示されます。
- 画面左にオーディオシンプルメニューが表示されます。

（2） オーディオモードを選んでタッチします。

- AM AMラジオに切り替わります。
- FM FMラジオに切り替わります。
- ワンセグ ワンセグに切り替わります。
- DISC ディスク※1に切り替わります。
- AUX AUXに切り替わります。
- 交通情報 交通情報に切り替わります。

●オーディオシンプルメニューに選択したいオーディオモードがない場合



（1） その他 にタッチします。

- オーディオシンプルメニューに表示されていないオーディオモード全てを表示します。

（2） オーディオモードを選んでタッチします。

アドバイス

オーディオシンプルメニューは、4つのオーディオモードを自由に設定することができます。設定の方法については、次ページの「オーディオシンプルメニューをカスタマイズするには」を参照してください。

●オーディオシンプルメニューをカスタマイズするには

オーディオシンプルメニューには、よく使うオーディオスイッチを表示することができます。



（1） PWR を押します。

- オーディオ操作画面が表示されます。

（2） その他 にタッチします。

- オーディオメニュー画面が表示されます。



（3） スイッチカスタマイズ にタッチします。

- オーディオシンプルメニューカスタマイズ画面が表示されます。



（4） 既に設定されてるスイッチの中から、変更したい機能にタッチします。

- タッチした機能の設定が解除され、オーディオシンプルメニューからスイッチが消去されます。



（5） オーディオシンプルメニューに表示したい機能を選択します。

- 選択した機能は、タッチした順番に空白スイッチ位置の上から設定されます。

（6） 完了 にタッチします。

アドバイス

オーディオシンプルメニューには必ず4つの機能を設定する必要があります。このため、4つの機能を選択していない場合、 完了 が反転して操作できません。

テレビ・オーディオの切り替え
7 オーディオ

オーディオ

2 オーディオ操作画面について

●オーディオ操作画面を表示するには



（1） (ﾀｯﾁ/ｵｰﾃﾞｨｵ) を押します。

● 選択されているオーディオモードの操作画面を表示します。

●オーディオ操作画面の表示設定を行うには

オーディオ操作画面を表示させてから一定時間後に表示を解除して元の画面に戻るか、表示をそのまま継続するかの設定ができます。

詳細は、P.1-28の 2 「画面の表示設定をするには」を参照してください。

●各オーディオモードの操作画面

AM（P.9-1参照）



FM（P.9-1参照）



交通情報（P.9-4参照）



CD（P.10-1参照）



MP3/WMA（P.10-4参照）



ワンセグ（P.8-4参照）



AUX※1（P.11-2参照）



※1 接続する機器は、別途お買い求めください。

テレビ・オーディオの切り替え
7 オーディオ

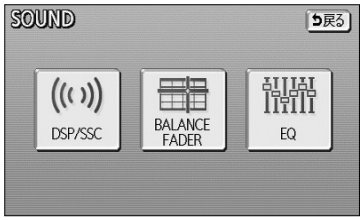
オーディオ

音の調整

音質や前後左右の音量の調整を行うことができます。

1 DSP/SSCの設定を行うには

DSP（音場）を設定することで再生する音楽に残音響を加え、クラブや映画館などの臨場感のある音場を擬似的に再現したり、SSCを設定することで低音・高音を強調しても波形を崩すことなく中音域とのバランスを保ち、音にメリハリを出すことができます。



（1）各モードの操作画面を表示させているときに SOUND にタッチします。

（2） DSP/SSC にタッチします。



（3）DSP（音場）またはSSCを選択すると下記の表のような音質効果を持たせることができます。

（4） 完了 にタッチします。

- DSP（音場）またはSSCの効果を無効にするには OFF にタッチします。
- Compression機能は小さな音のみ大きくします。走行中のノイズに埋もれてしまう映画のセリフや小さな音が明瞭に聞こえるようになり、迫力感が増します。

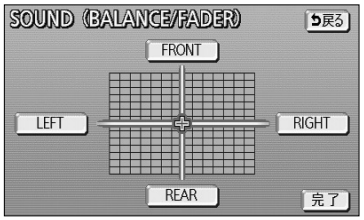
タッチスイッチ	機能
CLUB	ディスコ、クラブの音場を擬似的に再現します。
THEATER	映画館の音場を擬似的に再現します。
STADIUM	球場の音場を擬似的に再現します。
SSC 1	サウンドに少しだけ厚みを持たせます。
SSC 2	サウンドにほどよい厚みを持たせます。
SSC 3	サウンドに大幅な厚みを持たせます。

アドバイス

- DSP（音場）とSSCの設定を同時に行うことはできません。 1 の（3）の画面で SSC 1 をタッチしたあとに CLUB にタッチするとSSC1の設定を解除してCLUBに設定します。
- DSP（音場）とSSCの設定は、FM/AM/ワンセグ時と、それ以外のオーディオモード時とで、別々に設定できます。
- SSCが設定されているときは、EQ（P.7-9の 3 参照）の設定はフラットの状態となります。
- SSCの音質効果が大きい場合、お車のスピーカーによっては音が歪むことがあります。その時はSSC1またはSSC2に効果を下げてご使用ください。
- DSP（音場）が設定されている場合、再生する音楽によっては残音響が歪んで聞こえることがあります。その時はDSP（音場）の効果を無効にしてご使用ください。

2 前後音量／左右音量を調整するには

音量のバランスを調整することができます。



（1） SOUND設定画面（P.7-7の 1 の（2）参照）で、BALANCE/FADER にタッチします。

■ 前後音量を調整する

前側音量を強調する場合は FRONT 、後側音量を強調する場合は REAR にタッチします。

■ 左右音量を調整する

右側音量を強調する場合は RIGHT 、左側音量を強調する場合は LEFT にタッチします。

（2） 完了 にタッチします。

音の調整
7 オーディオ

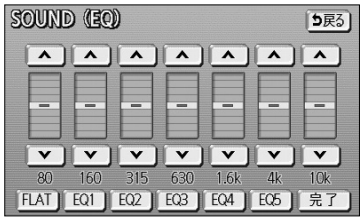
オーディオ

3 イコライザーの設定をするには

7帯域の出力をお好みで設定できます。

設定値は、EQ1 ～ EQ5 に保存し、必要に応じて呼び出せます。

●イコライザーを切り替えるには



（1） SOUND設定画面（P.7-7の 1 の（2）参照）で、EQ にタッチします。

（2） EQ1 ～ EQ5 を選びます。

（3） 完了 にタッチします。

● 選んだ設定に切り替わります。

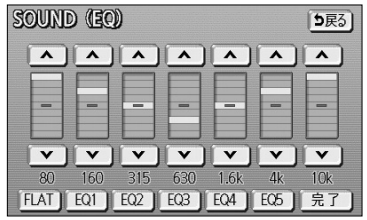
タッチスイッチ	機能
FLAT	全ての周波数が±0dBの、フラットな設定です。
EQ1	Rock： シャープでダイナミックなサウンドを再現します。
EQ2	Pops： 聴きやすくかつメリハリを持たせます。
EQ3	Bass_Boost： 低域を強調します。
EQ4	Treble_Boost： 高域を強調します。
EQ5	Vocal_Boost： 中域を強調します。

アドバイス

●イコライザーの設定値、オーディオモード、再生するディスクなどの組み合わせによっては、ノイズが発生する場合が有ります。そのときは、FLAT など、ノイズの発生しない設定に切り替えてください。

●SSC（P.7-7の 1 参照）設定されているときは、EQの画面は表示できません。

●イコライザーの設定値を変更するには



（1） P.7-9の 3 の（2）の画面で、▲ ・ ▼ をタッチして、各周波数の出力を設定します。

● EQ1 ～ EQ5 からお好みの番号を選び、ピッと音がなるまでタッチし続けると、設定内容が選んだ番号に上書き保存されます。
次回 EQ1 ～ EQ5 をタッチするだけで、設定内容を呼び出せます。

● 設定内容は、FLAT には保存できません。

● FLAT をピッと音がなるまでタッチし続けると、EQ1 ～ EQ5 の設定内容が初期設定に戻ります。

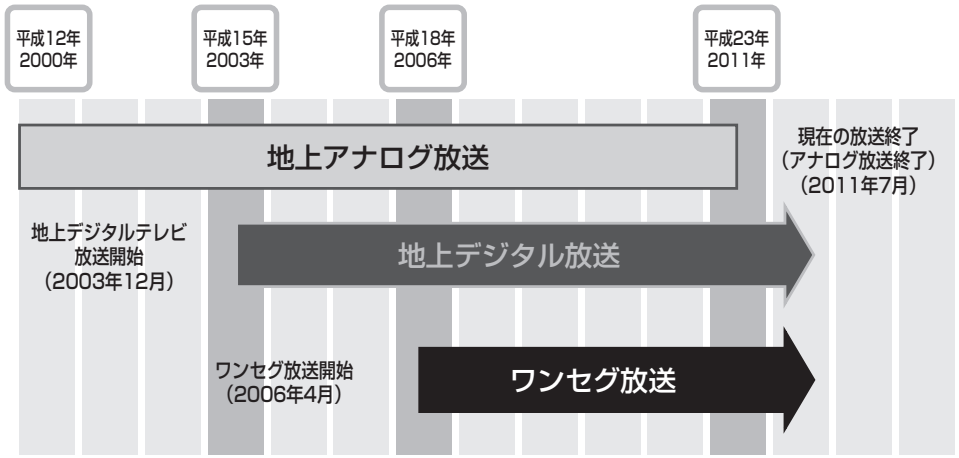
音の調整
7 オーディオ

オーディオ

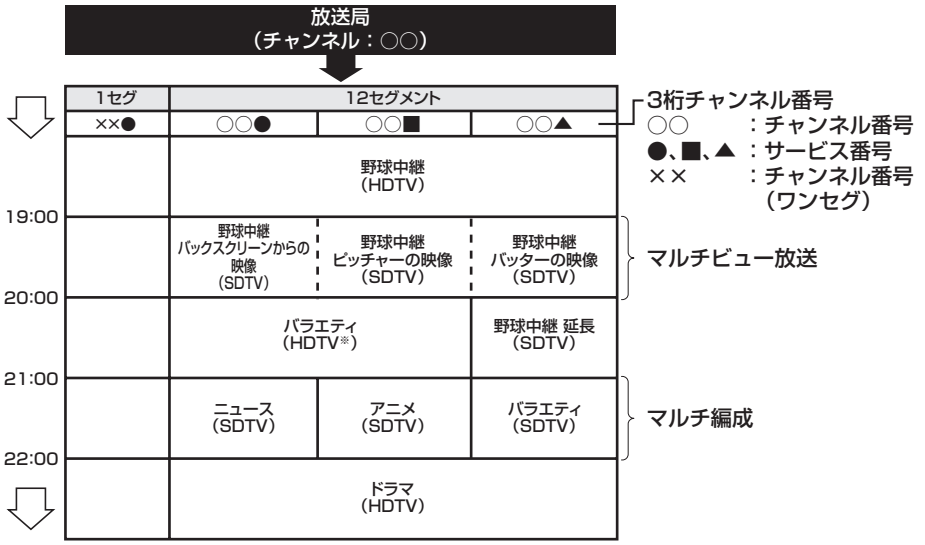
ワンセグをお使いになる前に

地上デジタル放送について

地上デジタルテレビ放送は関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始されました。今後も受信可能エリアは、順次拡大されます。
地上アナログ放送は、2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。



地上デジタル放送は、1つのチャンネルが13の「セグメント」という単位で分割されています。一般的に、地上デジタルテレビ放送は12セグメントを使用したハイビジョン映像（HDTV）や標準映像（SDTV）の放送を指します。標準映像は1つのチャンネルで複数の番組を同時に提供することができます（マルチ編成）。残りの1セグメントはワンセグ放送と呼ばれる携帯・移動体向けの放送に使用されます。



※標準映像の番組も同時に放送しているため、12セグメントを使用したハイビジョン映像より低画質となります。

アドバイス

●ワンセグは、テレビ放送事業者(放送局)などにより提供されるサービスです。

●本機では、この地上デジタル放送の携帯電話・移動体端末向けの1セグメント部分受信サービス「ワンセグ」を視聴することができます。

●本機では、12セグメントを使用した地上デジタルテレビ放送をご覧になることはできません。

注 意

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。

・AVC規格に準拠する動画(以下、AVC ビデオ)を記録する場合
・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
・ライセンスをうけた提供者から入手されたAVC ビデオを再生する場合

詳細については米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
http://www.mpegla.com

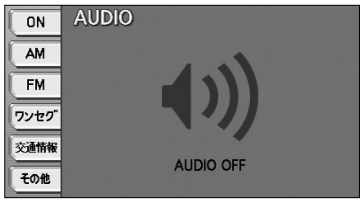
ワンセグをお使いになる前に
8 テレビ

オーディオ

ワンセグを見るには

1 チャンネルリストの設定

ワンセグを受信するには、まず現在の場所で受信できるワンセグの放送局を探します(チャンネルリストスキャン)。ご購入後、初めてワンセグに切り替えたときには、まずチャンネルリストスキャンを行ってください。チャンネルリストスキャンを行わないと、ワンセグは受信できません。
チャンネルリストスキャンによって探し出された放送局は、プリセットスイッチ(次ページの「ワンセグ操作画面」を参照)にチャンネルが記憶され、ワンセグが受信できるようになります。

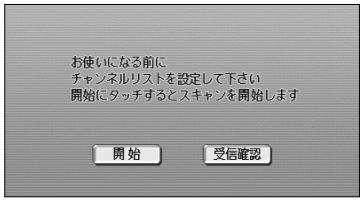


(1) PWR を押します。

- オーディオ操作画面が表示されます。

(2) ワンセグ にタッチします。

- オーディオシンプルメニューに ワンセグ を設定していない場合は、 その他 にタッチしてから ワンセグ にタッチします（P.7-3の 1 参照)。
- ご購入後、はじめてワンセグに切り替えた場合はチャンネルリストスキャンを促すメッセージが表示されます。



(3) 開始 にタッチします。

アドバイス

受信確認 は本機を販売店で車に取り付ける際、ワンセグ放送のアンテナ入力レベルを確認するために使用します。



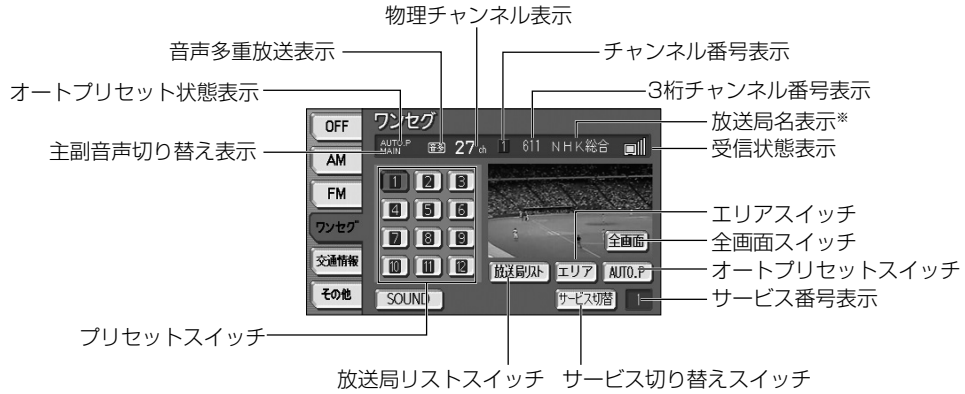
- 現在の場所で受信できるワンセグ放送局のスキャンが開始されます。
- 中止 にタッチすると、チャンネルリストスキャンを中止します。
- スキャンが正常に終了すると、ワンセグの映像が表示され、ワンセグが受信できるようになります。



アドバイス

引越しなどでご自宅周辺で受信できる放送局が変わったときは、P.8-13を参照して、再度チャンネルリストスキャンを行ってください。

●ワンセグ操作画面



※放送局名は自車の位置によって表示されないことがあります。

物理チャンネルとチャンネル番号について

地上デジタル放送では、従来のアナログ放送とは異なり、実際に送信されているチャンネル（物理チャンネル）と、放送局に割り当てられたチャンネル（チャンネル番号）とが異なります。
地上デジタル放送はUHF波で放送しており、実際のチャンネルは13ch～62chまでのチャンネルで（例えば、関東広域圏ではNHK総合は27chになります)、このチャンネルのことを「物理チャンネル」といいます。しかし、テレビなどのリモコンで、この番号（物理チャンネル）を使うのは不便なので、リモコンキーに対応する番号を地域ごとにあらかじめ割り当てています。
これを「チャンネル番号」といい、本機では 1 ～ 12 までのプリセットスイッチに割り当てています。

サービス番号について

地上デジタル放送は、1つのチャンネルで複数の番組(サービス)を同時に放送することができます。1つのチャンネルに複数の番組が放送されている場合に、それぞれの番組を区別するための番号が「サービス番号」です。

3桁チャンネル番号について

「3桁チャンネル番号」とは、各放送局に割り当てられた2桁のチャンネル番号と、1桁のサービス番号を組み合わせたチャンネルのことをいいます。

ワンセグを見るには
8 テレビ

オーディオ

アドバイス

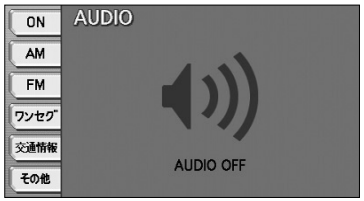
●ワンセグの3桁チャンネル番号は通常の地上デジタルテレビ放送と異なり、611～728に割り当てられています。

●受信状態表示について

本機は電波の状態をインジケータによって確認することができます。



2 ワンセグを見るには



(1) PWR を押します。

● オーディオ操作画面が表示されます。

(2) ワンセグ にタッチします。

● オーディオシンプルメニューに ワンセグ を設定していない場合は、 その他 にタッチしてから ワンセグ にタッチします。(P.7-3の 1 参照)。

● ワンセグ映像が表示されます。



● PWR を押すか、ワンセグ映像にタッチするとワンセグ操作画面が表示されます。

● ワンセグ操作画面で 全画面 または映像部分にタッチすると、ワンセグ操作画面が消去され、ワンセグ映像が表示されます。

アドバイス

●初めてお使いになる場合は、チャンネルリストの設定を行います。P.8-3をご覧ください。

●車が停車中で、車のパーキング・ブレーキがかけられているときにワンセグ映像をお楽しみいただけます。

●走行中は安全のため、ワンセグ映像が消え、音声だけになります。

●電波の受信状態が悪くなった場合、画面が静止して音が出なくなることがあります。

●本機は双方向通信には対応していません。

3 見たいチャンネルを選ぶには

次の4つの方法の操作によって、見たいチャンネルに切り替えることができます。

●手動で選ぶには



(1) ⏭ または ⏮ を押します。

● プリセットスイッチに登録されたチャンネルが順送り（右矢印）／逆送り（左矢印）で切り替わります。

●自動で選ぶには



(1) ⏭ または ⏮ をピッと音がするまで押し続けると、画面に表示されている物理チャンネルに一番近い放送局を探して受信します。途中で中止する場合はもう一度押します。

アドバイス

受信電波が弱いと、放送局を探しても受信することができない場合があります。

●プリセットスイッチから選ぶには



(1) ワンセグ操作画面（P.8-4参照）で、プリセットスイッチにタッチします。

● 選択したプリセットスイッチに登録されたチャンネルを受信します。

●放送局リスト画面から選ぶには



(1) ワンセグ操作画面（P.8-4参照）で 放送局リスト にタッチします。

● 放送局リスト画面が表示されます。

(2) 受信したいチャンネル（リスト）にタッチします。

● 選択したリストに登録されたチャンネルを受信します。

● 全画面 にタッチすると、ワンセグ映像が表示されます。

ワンセグを見るには
8 テレビ

オーディオ

4 複数サービスを切り替えるには

1つのチャンネルから複数の番組（サービス）を同時に受信している場合に、番組を切り替えることができます。



（1） ワンセグ操作画面（P.8-4参照）で サービス切替 にタッチします。

- タッチするごとに番組（サービス）が切り替わります。

アドバイス

- ●地上デジタル放送では1つのチャンネルが複数の番組（サービス）を同時に放送することができます。
- ●1つのチャンネルで、同じ番組を放送している場合があります。
- ●放送局内に番組が１つしかない場合は サービス切替 が反転して操作できません。

5 選局したチャンネルを記憶させるには

プリセットスイッチにチャンネルを記憶させるには、マニュアルプリセット（手動）とオートプリセット（自動）の2つのモードがあり、別々に記憶させることができます。



（1） ワンセグ操作画面（P.8-4参照）を表示します。

（2） マニュアルプリセットを行うには、まず"AREA.P"が画面（P.8-4の「ワンセグ操作画面」の「オートプリセット状態表示」）に表示されていないことを確認します。

- 表示されているときは、エリア にタッチすると、AREA.Pからマニュアルプリセットに切り替わります。

（3） チャンネルを選局します（P.8-6参照）。



（4） プリセットスイッチをピッと音が鳴るまでタッチし続けます。

- プリセットスイッチを押すと、チャンネルがワンタッチで選局できるようになります。
- 放送局リスト画面（P.8-6参照）でチャンネル（リスト）をピッと音が鳴るまでタッチし続けても、マニュアルプリセットを行うことができます。

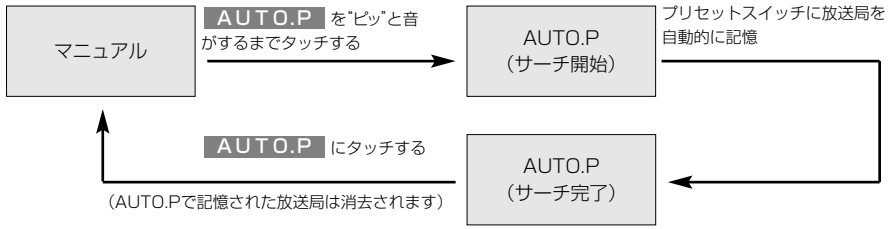


（5） オートプリセットを行う場合は、（1）の画面で AUTO.P をピッと音が鳴るまでタッチし続けます。

- 動作が終了するとプリセットスイッチにチャンネルが記憶されます。記憶した中で一番小さいチャンネルを受信します。（オートプリセット）。
- プリセットスイッチを押すと、チャンネルがワンタッチで選択できるようになります。

アドバイス

- ●受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。
- ●オートプリセットを行った時は画面に「AUTO.P」が表示されます。
- ●同じ放送局からの受信でも、選局スイッチで記憶したチャンネルとAUTO.Pスイッチで記憶したチャンネルは一致しないことがあります。
- ●AUTO.Pスイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶されるチャンネルが異なることがあります。
- ●受信感度の良いチャンネルを12局まで自動的に記憶します。
- ●受信できたチャンネルが12局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。
- ●AUTO.Pは一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶させたチャンネルは記憶されています。
  ふだんご覧になるチャンネルをマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶したチャンネルは呼び出すことができます。
  AUTO.P動作中または動作後に AUTO.P にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P動作前の状態に戻ります。（このときAUTO.Pで記憶したチャンネルは消去されます。）AUTO.Pからマニュアルへの切り替えは下記になります。



ワンセグを見るには
8 テレビ

6 エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局のチャンネルがわからないときに、その地域のチャンネルを表示・選局することができます。



（1） ワンセグ操作画面（P.8-4参照）で **エリア** にタッチします。



- その地域で放送されている放送局のチャンネルがプリセットスイッチに記憶されます。（エリアプリセットモード）
- プリセットスイッチにタッチすると、選択したチャンネルに切り替わります。
- もう一度 **エリア** にタッチすると、エリアプリセットモードを解除します。

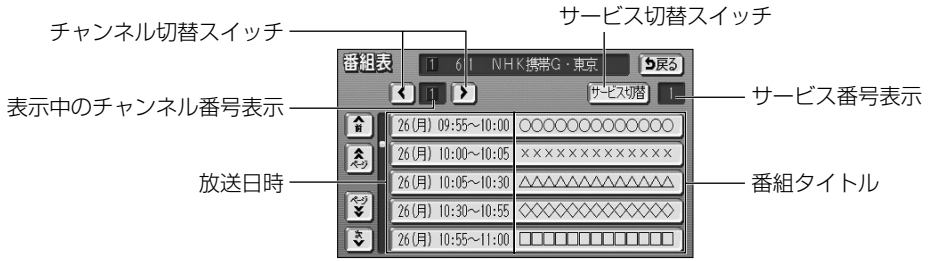
アドバイス

- 旅先などで放送局の物理チャンネルがわからないときなどに便利です。
- エリアスイッチで放送局表示させた場合は、「AREA.P」が表示されます。

番組表を見るには

番組表とは、放送局が提供する画面上で見ることができるテレビ番組表です。
画面上で簡単に、見たい番組を探すことができます。

●番組表画面



1 番組表を表示するには

（1） ワンセグ操作画面（P.8-4参照）で **放送局リスト** にタッチします。

- 放送局リスト画面が表示されます。



（2） **番組** にタッチします。



- 番組表が表示されます。

2 見たい番組を探すには



(1) 番組表で ▲ ・ ▼ または ⏫ ・ ⏬ にタッチすると、リストを切り替えることができます。

- 番組表の放送時間を進めるには ▼ (1項目ずつ)、または ⏬ (1ページずつ) にタッチします。
- 番組表の放送時間を戻すには ▲ (1項目ずつ)、または ⏫ (1ページずつ) にタッチします。

(2) 番組表でチャンネル切り替えスイッチ (◀ ・ ▶) にタッチすると、見たいチャンネルを切り替えることができます。

- ◀ ・ ▶ にタッチすると、プリセットスイッチ (P.8-4参照) に登録された順にチャンネルが順送り (▶)/逆送り (◀) で切り替わります。

アドバイス

- 番組表で表示されるのは最大で10番組です。
- 現在の時刻より前の時間や日付の番組表は見れません。
- 番組表を表示している放送局が複数の番組を放送している場合は、 サービス切替 にタッチすると同一放送局から放送されている異なる番組に切り替えることができます。

3 番組内容を見るには



(1) 番組表で番組タイトル (リスト) にタッチします。

- タッチした番組の詳細な内容を見ることができます。
- 番組の内容が表示しきれない場合は ▲ または ▼ にタッチするとリストを動かせます。

ワンセグの設定を行うには

設定画面から、音声 (複数音声、二重音声) や字幕の切り替え、チャンネルリストスキャンを行うことができます。

1 複数の音声を切り替えるには

複数音声放送の番組を受信したときの音声を切り替えることができます。



(1) ワンセグ操作画面 (P.8-4参照) で 放送局リスト にタッチします。

(2) 設定 にタッチします。

- 設定画面が表示されます。



(3) 音声の 第1音声 または 第2音声 から設定したい項目にタッチします。

- 複数音声放送でない場合は、設定のみ切り替わります。

(4) 完了 にタッチします。

2 二重音声を切り替えるには

二重音声放送の番組を受信したときの音声を、MAIN (主音声) ・SUB (副音声) ・MAIN/SUB (主音声+副音声) に切り替えることができます。



(1) 設定画面 (1 の(3)の画面) を表示します。

(2) 二重音声の MAIN ・ SUB ・ MAIN/SUB から設定したい項目にタッチします。

- 二重音声放送でない場合は、設定のみ切り替わります。

(3) 完了 にタッチします。

アドバイス

- 切り替えによって出力される音声は番組によって異なります (複数音声放送の第1音声には、主に日本語の音声が提供されています)。
- 二重音声放送の番組を受信しているときは、ワンセグ操作画面 (P.8-4参照) に 音多 のマークが表示されます。
- 放送局リスト画面 (P.8-6参照) の MAIN/SUB にタッチすることでも二重音声の設定を切り替えることができます。

オーディオ

3 字幕を切り替えるには

字幕データのある番組を受信したときの、字幕言語の種類と表示のON/OFFを切り替えることができます。



（1） 設定画面（P.8-12の 1 の(3)の画面）を表示します。

（2） 字幕の 第1言語 ・ 第2言語 ・ OFF から設定したい項目にタッチします。

- OFF に設定すると、字幕データのある番組でも字幕は表示されません。
- 字幕データがない番組の場合は、設定のみ切り替わります。

（3） 完了 にタッチします。

アドバイス

切り替えによって出力される字幕は番組によって異なります。
（第1言語には、主に日本語の字幕が提供されています）

4 チャンネルリストスキャンを行うには

ご自宅周辺で新しいワンセグの放送が始まったときや引越しなどにより、ご自宅周辺で受信できるワンセグの放送局が変わったときに受信できる放送局を自動的に探して、プリセットスイッチ（P.8-4参照）に登録することができます。



（1） 設定画面（P.8-12の 1 の(3)の画面）を表示します。

（2） スキャンする にタッチします。

- 現在の場所で受信できるワンセグの放送局のスキャンが開始されます。
- 中止 にタッチすると、チャンネルリストスキャンを中止します。

アドバイス

中止 にタッチすると、プリセットスイッチに登録されている放送局は、チャンネルリストスキャン動作前の状態に戻ります。



- スキャンが終了するとワンセグ映像が表示されます。
- 受信可能な放送局がプリセットスイッチ（P.8-4参照）に登録されます。

アドバイス

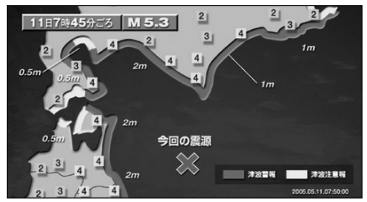
スキャンにより受信できる放送局が1つも見つからなかった場合は、周囲の状況（P.12-13参照）が受信しにくい場所でないことをご確認の上再度チャンネルリストスキャンを行ってください。それでも見つからない場合は、販売店にお問合せください。

緊急警報放送（EWS）を見るには

緊急警報放送（EWS）について

緊急警報放送（EWS:Emergency Warning System)とは、大規模災害など緊急なできごとが発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

1 緊急警報放送（EWS）受信時の本機の動作



（1） 視聴中の放送局で緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送の番組（サービス）に切り替わります。

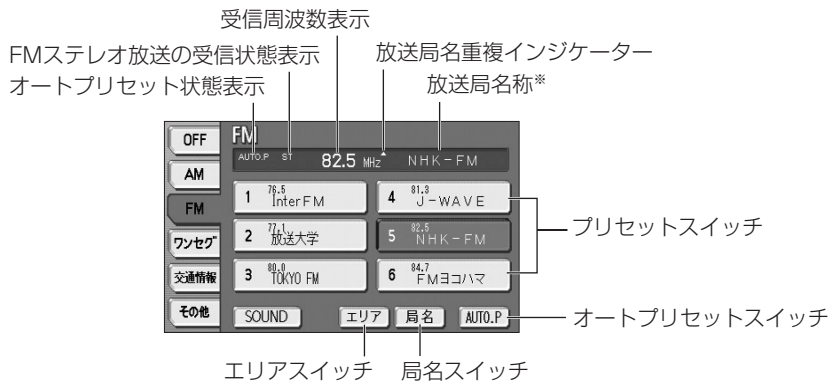
アドバイス

緊急警報放送が終了しても、切り替わった番組はそのままです。元の番組には戻りません。
再度、お好みの番組を選択してください。

オーディオ

ラジオを聞くには

AM放送またはFM放送を受信し、聞くことができます。



※放送局名称は自車の位置によって表示されないことがあります。

1 ラジオを聞くには





（1） PWR を押します。

- オーディオ操作画面が表示されます。

（2） FM / AM にタッチします。

- FM/AM放送の音声に切り替わり、ラジオ操作画面が表示されます。
- オーディオシンプルメニューに FM / AM を設定していない場合は、その他 にタッチしてから FM / AM にタッチします（P.7-3の 1 参照）。

アドバイス

FMステレオ放送を受信しているときは画面にSTが表示されます。

2 選局するには



（1） ⏭ または ⏮ を押すか、ラジオ操作画面でプリセットスイッチにタッチして選局します。

- ⏭ または ⏮ をピッと音がするまで押し続けると、現在、画面に表示されている周波数に一番近い放送局を探して受信します。途中で中止するときはもう一度押します。

アドバイス

- 受信電波が弱いと、放送局を探しても受信することができない場合があります。
- ラジオの受信は、アンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

3 選局した放送局を記憶させるには





（1） 放送局を選局後、ラジオ操作画面でプリセットスイッチをピッと音が鳴るまでタッチし続けます。
（マニュアルプリセット）

- プリセットスイッチにタッチすると周波数をワンタッチで選択できます。

（2） 自動的に記憶させる場合は、ピッと音が鳴るまで AUTO.P にタッチし続けます。

- 動作が終了するとプリセットスイッチに周波数が記憶されます。
（オートプリセット）
- プリセットスイッチにタッチすると周波数をワンタッチで選択できます。

アドバイス

AM操作画面から交通情報の周波数を設定することができます。詳細は「交通情報を聞くには」（P.9-4）を参照してください。

ラジオを聞くには
9 ラジオ 交通情報

アドバイス

- ●電波の強い放送局が6局、記憶されます。
- ●オートプリセット動作中または動作後に AUTO.P にタッチするとプリセットメモリーは、オートプリセット動作前の状態に戻ります。
- ●オートプリセットを行った時は画面に「AUTO.P」が表示されます。
- ●電波が弱く1局もプリセットされなかった場合、プリセット局はオートプリセット動作前の状態に戻ります。

4 エリアスイッチについて



（1） ラジオ操作画面で エリア にタッチします。

- ● その地域で放送されている放送局名と受信周波数が画面に表示されます。

（2） プリセットスイッチにタッチして選択します。

アドバイス

- ●旅先などで放送局の受信チャンネルがわからないときなどに便利です。
- ●放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、▲が表示されることがあります。▲が表示されたときは 局名 にタッチすると重複したもう1つの放送局に切り替えることができます。
- ●エリアスイッチで放送局表示させた場合は、「AREA.P」が表示されます。

交通情報を聞くには

交通情報を受信し、聞くことができます。





（1） を押します。

- ● オーディオ操作画面が表示されます。

（2） 交通情報 にタッチします。

- ● 交通情報の音声に切り替わり、交通情報画面が表示されます。
- ● オーディオシンプルメニューに 交通情報 を設定していない場合は、 その他 にタッチしてから 交通情報 にタッチします（P.7-3の 1 参照）。

（3） 交通情報の周波数をセットするにはAM操作画面で記憶させたい周波数を選局します。

- ● 選局する方法については、P.9-2を参照してください。

（4） 交通情報 をピッと音がするまでタッチし続けます。

アドバイス

初期設定では1620ｋＨｚにセットしてあります。

オーディオ

CDプレーヤーでCDを聞くには

CDを再生し、聞くことができます。CDの出し入れについてはP.1-14を参照してください。



※表示しているトラック名とディスク名は、CD-TEXT情報です。

1 CDを聞くには



●CDが挿入されていない場合

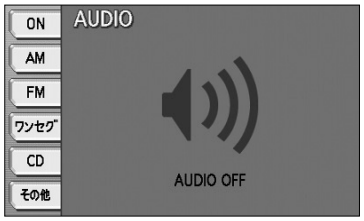
(1) ディスク差し込み口にCDを差し込むと自動的に電源が入り、再生を始めます。

●再生中に (オーディオ) を押すとCD操作画面が表示されます。

●CDが挿入されている場合

(1) (オーディオ) を押します。

●オーディオ操作画面が表示されます。



(2) CD にタッチします。

●CD操作画面が表示されます。

●オーディオシンプルメニューに CD を設定していない場合は、その他 にタッチしてから CD にタッチします。(P.7-3の 1 参照)

アドバイス

●本機では、CDエキストラの映像再生はできません。
●マルチセッションにより複数のセッションが存在するディスクでは、最初のセッションに記録されているデータのみ再生することができます。

アドバイス

●録音機種によってはディスクが再生されないことがあります。
●CD操作画面に表示される文字数は以下のとおりです。
ディスクタイトル・・・半角で最大24文字、全角文字で最大12文字まで、先頭から表示します。
トラックタイトル・・・半角で最大24文字、全角文字で最大12文字まで、先頭から表示します。
●録音（入力）機種によっては文字（記号）タイトルが表示されないことがあります。
●CD−TEXT情報のあるCDを再生中は、CD−TEXT情報を表示します。

2 曲を選ぶには



(1) (▶▶|) または (|◀◀) を押します。

- (▶▶|) を1回押すと、次の曲を再生します。
- (|◀◀) を1回押すと、曲の先頭に戻ります。
- (|◀◀) を続けて2回押すと、前の曲を再生します。

3 早送り・早戻しをするには



(1) (▶▶|) または (|◀◀) を押し続けます。

- (▶▶|) を押し続けると早送りできます。
- (|◀◀) を押し続けると早戻しできます。
- 手をはなすと、はなした位置から再生が開始されます。

CDプレーヤーでCDを聞くには
10 CD MP3/WMA

4 再生中のディスクの中から希望する曲を探すには



(1) 機能 にタッチします。

(2) SCAN にタッチします。

- SCAN の作動表示灯が点灯し、画面左上部に“SCAN”の文字が表示されます。
- 再生中の次の曲から、曲の始めの部分を約10秒間ずつ、次々に再生します。
- 解除するにはもう一度 SCAN にタッチします。解除されたところから再生を続けます。

5 同じ曲をリピート再生するには



(1) 機能 にタッチします。

(2) RPT にタッチします。

- RPT の作動表示灯が点灯し、画面左上部に“RPT”の文字が表示されます。
- 解除するにはもう一度 RPT にタッチします。

6 曲の順番をランダムに聞くには



(1) 機能 にタッチします。

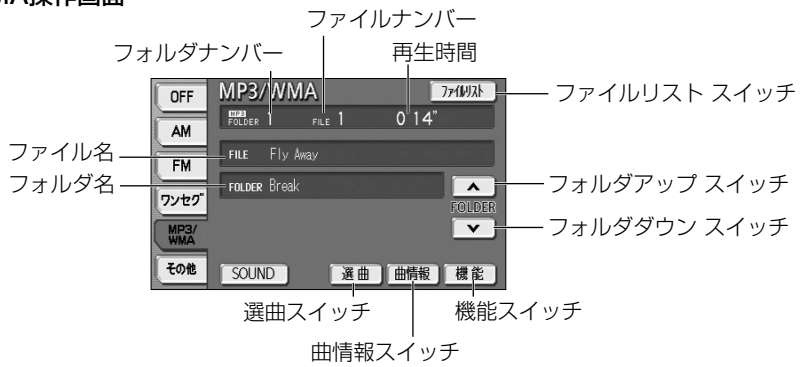
(2) RAND にタッチします。

- RAND の作動表示灯が点灯し、画面左上部に“RAND”の文字が表示されます。
- 解除するにはもう一度 RAND にタッチします。

MP3/WMAプレーヤーで音楽を聞くには

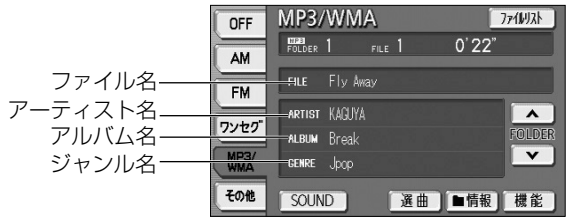
CD-ROM、CD-R/RWに記録されたMP3/WMAファイルを聞くことができます。

●MP3/WMA操作画面



●MP3楽曲情報画面
（WMA楽曲情報画面）

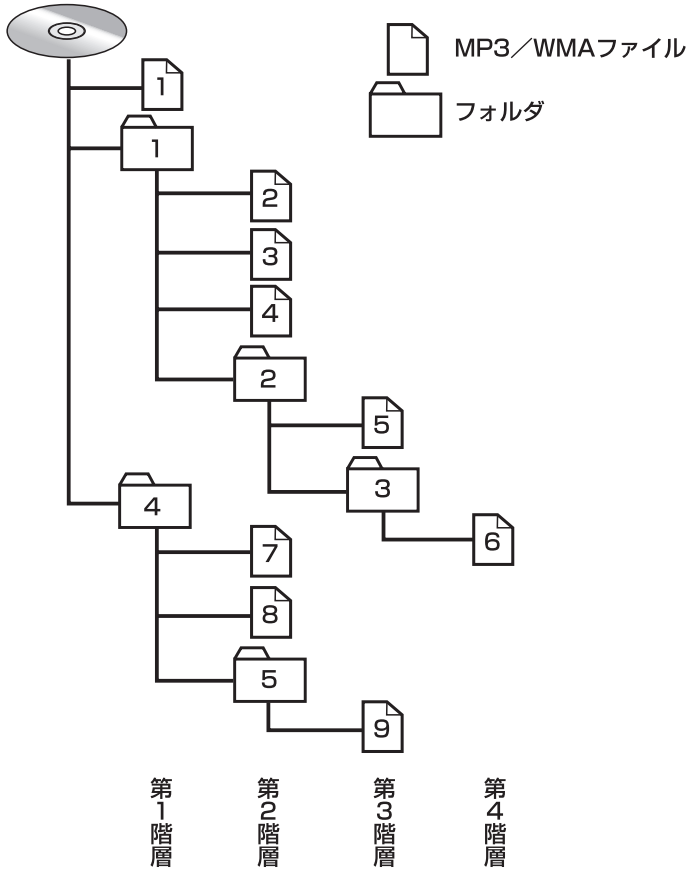
曲情報 ⇅ 情報



アドバイス

- ●MP3/WMA操作画面で 曲情報 にタッチすると、再生中の楽曲の情報が表示されます。
- ●MP3楽曲情報画面では、MP3ファイルのID3タグ情報（P.10-12参照）を表示します。
- ●WMA楽曲情報画面では、WMAファイルのWMAタグ情報（P.10-12参照）を表示します。
- ●MP3の楽曲情報を表示するのに、時間がかかる場合があります。
- ●画面に表示させることができるフォルダ名、ファイル名の文字数は、最大12文字（半角のみのときは24文字）までです。また、記録されている内容によっては、正しく表示されなかったり、表示自体されない場合があります。

●MP3/WMA対応ディスクの構造例



アドバイス

- ●フォルダに格納されずディスクに直接格納されているファイル1は、本機のMP3/WMAプレーヤーで再生する場合に“ROOT FOLDER”という架空のフォルダに格納されます。
- ●MP3／WMAファイルが直接格納されていないフォルダは、本機では表示されません。
- ●同じディスク（同一セッション）に音楽CD（CDDA）データとMP3/WMAデータが混在する場合、MP3/WMAデータは再生されません。
- ●同じディスクにオーディオファイル（WAVEデータ）とMP3／WMAデータが混在する場合には、MP3／WMAデータのみ再生することができます。
- ●マルチセッションにより複数のセッションが存在するディスクでは、すべてのセッションを再生できない場合があります。

1 MP3/WMAディスクを聞くには





●ディスクが挿入されていない場合

（1） ディスク差し込み口にディスクを差し込むと自動的に電源が入り、再生を始めます。

●再生中に PWR を押すとMP3/WMA操作画面が表示されます。

●ディスクが挿入されている場合

（1） PWR を押します。

●オーディオ操作画面が表示されます。

（2） MP3/WMA にタッチします。

●MP3/WMA操作画面が表示されます。

●オーディオシンプルメニューに MP3/WMA を設定していない場合は その他 にタッチしてから MP3/WMA にタッチします（P.7-3の 1 参照）。

アドバイス

- ●通常は1→2→3→4→5→6→7→8→9（「●MP3/WMA対応ディスクの構造例」を参照）の順に再生します。
- ●再生中のファイルのモードを、“MP3”または“WMA”で表示します。

2 聞きたいフォルダを選ぶには

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

●操作画面で選ぶには



（1） MP3/WMA操作画面（P.10-4参照）で ▲ または ▼ にタッチします。

● 選択したフォルダに格納されている最初のファイルから再生を開始します。

オーディオ

MP3／WMAプレーヤーで音楽を聞くには
10 CD MP3/WMA

オーディオ

●選曲フォルダリスト画面で選ぶには



（1） MP3/WMA操作画面（P.10-4参照）で 選曲 にタッチします。

（2）聞きたいフォルダ（リスト）にタッチします。

● 選択したフォルダに格納されている最初のファイルから再生を開始します。

3 聞きたいファイルを選ぶには

ディスクの中から聞きたいファイルを選ぶことができます。

●TUNE・TRACKボタンで選ぶには



（1） ⏭または⏮を押します。

● ⏭を1回押すと、次のファイルを再生します。

● ⏮を1回押すと、ファイルの先頭に戻ります。

● ⏮を続けて2回押すと、前のファイルを再生します。

●選曲ファイルリスト画面で選ぶには



（1） 2 の「●選局フォルダリスト画面で選ぶには」の(2)の画面で にタッチします。

●走行中はリストのスクロール操作はできません。



(2) ファイル（リスト）にタッチします。

● 選択したファイルの再生を開始します。

● トップ画面へ にタッチすると、MP3/WMA操作画面を表示します。

●ファイルリスト画面で選ぶには



（1） ファイルリスト にタッチします。

●走行中はリストのスクロール操作はできません。

(2) ファイル（リスト）にタッチします。

● 選択したファイルの再生を開始します。

4 早送り・早戻しをするには



（1） ⏭または⏮をピッと音が鳴るまで押し続けます。

● ⏭を押し続けると早送りできます。

● ⏮を押し続けると早戻しできます。

● 手をはなすと、はなした位置から再生が開始されます。

5 同じファイルをリピート再生するには



（1） MP3/WMA操作画面（P.10-4参照）で 機能 にタッチします。

(2) RPT にタッチします。

● RPT の作動表示灯が点灯し、画面右上部に“RPT”の文字が表示されます。

● 再生中のファイルを繰り返し再生します。

● 解除するにはもう一度 RPT にタッチします。

MP3／WMAプレーヤーで音楽を聞くには
10 CD MP3/WMA

オーディオ

6 同じフォルダをリピート再生するには



(1) MP3/WMA操作画面（P.10-4参照）で 機能 にタッチします。

(2) FOLDER RPT にタッチします（フォルダリピート）。

- FOLDER RPT の作動表示灯が点灯し、画面右上部に“FLD. RPT”の文字が表示されます。
- 現在再生中のファイルと同じフォルダにあるファイルを繰り返し再生します。
- 解除するにはもう一度 FOLDER RPT にタッチします。

7 再生中のフォルダの中からランダムに再生するには



(1) MP3/WMA操作画面（P.10-4参照）で 機能 にタッチします。

(2) RAND にタッチします。

- RAND の作動表示灯が点灯し、画面右上部に“RAND”の文字が表示されます。
- 再生中のフォルダの中からランダム（無作為）にファイルが選択され再生します。
- 解除するにはもう一度 RAND にタッチします。

8 全フォルダの中からランダムに再生するには



(1) MP3/WMA操作画面（P.10-4参照）で 機能 にタッチします。

(2) FOLDER RAND にタッチします（フォルダランダム）。

- FOLDER RAND の作動表示灯が点灯し、画面右上部に“FLD. RAND”の文字が表示されます。
- ディスク内の全フォルダの中からランダム（無作為）にファイルが選択され再生します。
- 解除するにはもう一度 FOLDER RAND にタッチします。

9 再生中のフォルダの中からファイルを探すには



(1) MP3/WMA操作画面（P.10-4参照）で 機能 にタッチします。

(2) SCAN タッチします。

- SCAN の作動表示灯が点灯し、画面右上部に“SCAN”の文字が表示されます。
- 再生中のファイルの次のファイルから、フォルダ内の全ファイルの始めの部分を、10秒間ずつ再生します。
- 解除するにはもう一度 SCAN にタッチします。解除されたところから再生を続けます。
- 全ファイルの再生が終わると自動的に解除されます。

10 全フォルダの中からフォルダを探すには



(1) MP3/WMA操作画面（P.10-4参照）で 機能 にタッチします。

(2) FOLDER SCAN にタッチします（フォルダスキャン）。

- FOLDER SCAN の作動表示灯が点灯し、画面右上部に“FLD. SCAN”の文字が表示されます。
- 再生中のフォルダの次のフォルダから、各フォルダ内の先頭にあるファイルの始めの部分を、10秒間ずつ再生します。
- 解除するにはもう一度 FOLDER SCAN にタッチします。 解除されたところから再生を続けます。
- 全フォルダの先頭にあるファイルの再生が終わると自動的に解除されます。

MP3／WMAプレーヤーで音楽を聞くには
10 CD MP3/WMA

オーディオ

●MP3/WMAについて

MP3（MPEG Audio Layer3）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。
WMA (Windows Media™Audio)はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3よりも小さいサイズに圧縮することができます。
使用できるMP3/WMAファイルの規格や記憶したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMAファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

再生可能なMP3ファイルの規格について

●対応規格
MP3(MPEG-1 Audio Layer3、MPEG-2 Audio Layer3 LSF)

●対応サンプリング周波数
MPEG-1 Audio Layer3 : 32、44.1、48 (kHz)
MPEG-2 Audio Layer3 LSF : 16、22.05、24 (kHz)

●対応ビットレート
MPEG-1 Audio Layer3 : 32、64、80、96、112、128、160、192、224、256、320 (kbps)
MPEG-2 Audio Layer3 LSF : 8、16、32、64、80、96、112、128、144、160 (kbps)
※VBRに対応しています。

●対応チャンネルモード : ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

再生可能なWMAファイルの規格について

●対応規格
WMA Ver. 7、8、9

●対応サンプリング周波数
32、44.1、48(kHz)

●対応ビットレート
Ver.7、8、9：CBR 48、64、80、96、128、160、192、256、320（kbps）
※VBRに対応しています。(Ver. 9の44.1、48(kHz)のみ)
※2ch再生のみ対応しています。

ID3タグ／WMAタグについて

MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。
本機では、ID3 Ver. 1.0、1.1、2.3、2.4のID3タグに対応しています。
※Riff SIFには対応しておりません。
WMAファイルには、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3タグと同様に曲のタイトル、オーサー名（アーティスト名）を保存することができます。

使用できるメディアについて

MP3/WMAの再生に使用できるメディアはCD-R、CD-RWおよびCD-ROMです。
なお、CD-R、CD-RW、CD-ROMは通常の音楽CD(CDDA)に使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RW、CD-ROMは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズをつけた場合、再生できないことや、音飛びすることがあります。
一部のCD-R、CD-RW、CD-ROMは長時間の車内環境において劣化するものがあります。
なお、CD-R、CD-RW、CD-ROMは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは下記のとおりです。

●ディスクフォーマット
CD-ROM Mode 1
CD-ROM XA Mode 2 Form 1

●ファイルフォーマット
ISO9660レベル1、2
Joliet
Romeo
※パケットライト方式には対応しておりません。

上記フォーマット以外で書き込まれたMP3/WMAファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。
規格ならびに制限事項は次のとおりです。

●最大ディレクトリ階層 : 8階層
●最大フォルダ名／ファイル名文字数 : 全角16文字。半角のみのときは32文字。
●最大フォルダ数 : 192（ルート含む）
●ディスク内最大ファイル数 : 255

MP3／WMAプレーヤーで音楽を聞くには
10 CD MP3/WMA

ファイル名について

MP3/WMAと認識し再生するファイルはMP3/WMAの拡張子“.mp3”/“.wma”がついたものだけです。
MP3/WMAファイルには、“.mp3”/“.wma”の拡張子をつけて保存してください。

マルチセッションについて

本機は、マルチセッションに対応しておりません。1枚のディスクに2つ以上のセッションが記録されている場合は、全てのセッションを再生できない場合があります。

MP3/WMAの再生について

MP3/WMAファイルが格納されているディスクを挿入すると、最初にディスク内の全てのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初のMP3/WMAファイルを再生します。ディスク内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

MP3/WMAの演奏時間表示について

MP3/WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。
※VBRで作成したファイルの早送り・早戻し動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。

MP3/WMAファイル、フォルダのリスト表示順番について

MP3/WMAファイルおよびフォルダのリストは次のような順番で表示します。

1. MP3/WMAファイルを格納しているフォルダにフォルダナンバーが順番に付与されます。この順番は同一階層にあるフォルダよりも下位階層にあるフォルダが優先となります。
2. 次にフォルダ内のファイルがファイル名順（0～9、A～Z等）に並べられます。
3. 同一階層内に、同じファイル名でMP3とWMAファイルが存在する場合はMP3を優先して表示します。

アドバイス

MP3/WMA以外のファイルに“.mp3”/“.wma”の拡張子をつけると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA以外のファイルに“.mp3”/“.wma”の拡張子をつけないでください。

●MP3/WMAファイルの作り方、楽しみ方について

MP3/WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

インターネット上のMP3/WMA音楽配信サイトから入手する場合について

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、視聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々なMP3/WMA音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り（料金支払いなど）、そこから指示どおりにダウンロードを行います。

音楽CDからMP3/WMAファイルに変換する場合について

パソコンと市販のMP3/WMAエンコーダ（変換）ソフトを用意します（インターネット上で無料配布されているエンコーダソフトもあります）。パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDを入れ、MP3/WMAエンコーダソフトの手順にしたがって音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3/WMA形式の音楽データファイルができます。

CD-R/CD-RWに書き込む場合について

MP3/WMAファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介して、ライティングソフトにてCD-R/RWに書き込みます。

- ISO9660レベル1、2またはJolietまたはRomeoというファイルフォーマットに設定してください。
- CD-RWを消去して使用する場合には、完全に消去したことを確認してからご使用ください。
- CD-R/RWは、書き込みの設定でセッションとCDの終了処理を行ってください。

※使用方法などはライティングソフトで異なりますので確認してください。

- ライブファイルシステム形式で記録されたディスクには対応しておりません（Microsoft Windows 7、Windows Vistaをご使用の際は設定をご確認ください）。

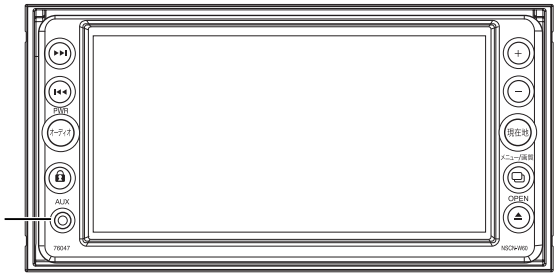
アドバイス

- ●安定した音質で再生するために、MP3の場合、128kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数、ステレオのチャンネルモードを推奨します。
- ●CD-R／CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。また、本機ではディスクアットワンス、トラックアットワンスで記録されたディスクをご使用ください。
- ●MP3/WMAは市場にフリーウェアなど、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ●ディスクにMP3/WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- ●Microsoft、Windows、Windows Mediaは米国マイクロソフトコーポレーションの米国、およびその他の国における登録商標および商標です。

オーディオ

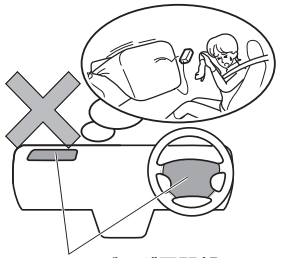
ポータブルオーディオ機器を接続して使う（AUX）

市販のポータブルオーディオを接続すると、本機でポータブルオーディオに収録された音楽を聞くことができます。
ポータブルオーディオを接続する場合は、市販の「ミニプラグコード」をご使用ください。
※本機でポータブルオーディオ機器をご使用になる場合は、そのポータブルオーディオ機器の取扱説明書をよくお読みになり、本機での使用に問題がないことをご確認のうえご使用ください。

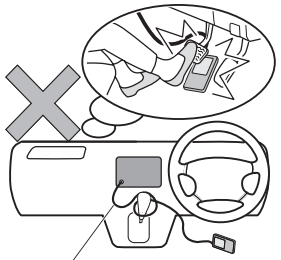


●ポータブルオーディオをお使いになる前に

警 告



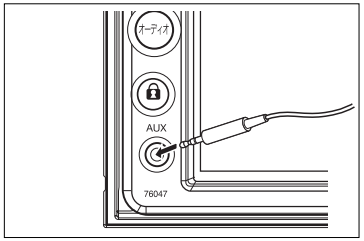
- 接続したポータブルオーディオやミニプラグコードを、SRSエアバッグの展開を妨げるような場所に設置しないでください。SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグが展開したときにポータブルオーディオが飛ばされるなどにより、死亡・重傷に至ることがあります。
  ※ SRSエアバッグ展開場所については、お車の取扱書をご覧ください。



- ポータブルオーディオやミニプラグコードを、運転の邪魔にならない場所に避ける、または邪魔にならない場所で仮固定するなどしてください。
  運転に支障をきたし、交通事故の原因になることがあります。

1 ポータブルオーディオを接続する（取りはずす）

- ポータブルオーディオの電源が切れていることを確認してください。
- オーディオのモードがAUX以外になっている、または本機の電源がOFFになっていることを確認してください。



（1） ミニプラグコードを接続します（取りはずします）。

アドバイス

- ●抵抗付きコードは使用できません。
- ●モニター開閉時、コードを挟み込まないように注意してください。
- ●今後発売される機器に関しては、動作の保証はいたしません。
- ●ステレオミニプラグコードを使用してください。ステレオミニプラグコード以外を使用すると、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。

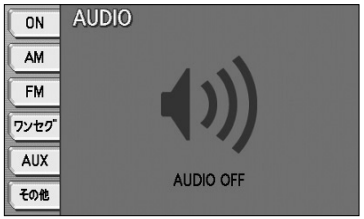
注 意

- ディスプレイが開いている、または傾いた状態（P.1-21参照）では、ミニプラグコードの抜き挿しはしないでください。
- ミニプラグコードに手を引っ掛けたりしないよう注意してください。
- 運転中はポータブルオーディオの接続・操作・取りはずしをしないでください。

2 ポータブルオーディオを聞く

ポータブルオーディオ側の操作は、ポータブルオーディオに添付されている取扱説明書をご覧ください。

（1） 接続したポータブルオーディオの電源を入れ、再生します。



（2） PWR を押します。

- オーディオ操作画面が表示されます。



（3） AUX にタッチします。

- AUX操作画面が表示されます。
- オーディオシンプルメニューに AUX を設定していない場合は、その他 にタッチしてから AUX にタッチします（P.7-3の 1 参照）。
- ポータブルオーディオの再生音がスピーカーから出力されます。

ポータブルオーディオ機器を接続して使う（AUX）
11 外部機器

3 ポータブルオーディオを終わる



（1） オーディオ操作画面（P.7-1参照）の OFF にタッチするか、PWR を押し続けるか、または他のオーディオモードに切り替えます。

- ON にタッチするか、PWR を押し続けるか、または AUX にタッチすると再生が再開されます。

アドバイス

- AUXモード中にミニプラグコードを抜き差しすると、雑音が発生しスピーカー破損の原因になる場合があります。必ず本機の電源をOFFにするか、他のモードに切り替えてから行ってください。
- AUXモード中にポータブルオーディオの電源を切り替えると、雑音が発生しスピーカ破損の原因になる場合があります。必ず本機の電源をOFFにするか、他のモードに切り替えてから行ってください。
- 接続された機器によって出力レベルが異なりますので、音量にご注意ください。
- 接続した機器の入力音量が大きい場合は、音が歪む場合があります。この場合は、接続した機器側で音量を調整してください。
- AUXモード中に音量を調整すると、AUXモード用の音量レベルとして記憶させることができます。
- 本機の電源がONの状態の時にミニプラグコード端子からコードを抜く、または本機の電源がOFFの状態の時にミニプラグコード端子からコードを抜いてそのまま本機の電源をONした場合も記憶した音量レベルは保持されます。
- 本機に接続したポータブルオーディオの音量を変更したときは、本機との接続を解除したあと、音量をもとに戻してください。
- ポータブルオーディオの電源は、ポータブルオーディオに付属されているバッテリーなどを使用してください。お車に装着されているシガライタソケットやアクセサリーソケットなどで充電しながら再生すると、雑音が出ることがあります。

ステアリングスイッチ

ステアリングスイッチ装着車は、手元にあるステアリング部スイッチでテレビ・オーディオなどの主要操作をすることができます。

※車両によりスイッチの仕様が違います。詳しくは販売店にご相談ください。

●各部の機能名称と概要

1 共通操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
（＋） ・ （－）	音量スイッチ	押すごとに1ステップずつ音量が変わります。また、押し続けると音量が連続して変わります。	「音量調整のしかた」 ･･･P.7-2
(MODE)	モード切り替えスイッチ	・電源がオフのとき、スイッチを押すと電源がオンになります。 ・オーディオモードが切り替わります。 FM→DISC(CD(MP3/WMA))→テレビ→AUX※→AM→FMに戻る ※ 機器接続時のみ切り替え可能 ・スイッチを“ピッ”と音がするまで押すと、電源がオフになります。	「テレビ・オーディオの切り替え方」 ･･･P.7-3

2 ラジオ・テレビの操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
（∧） ・ （∨）	選局スイッチ	・プリセットスイッチに記憶させた放送局を順に呼び出します。 ・スイッチを“ピッ”と音がするまで押すと、自動選局を開始します。	「選局するには」 テレビ･･･P.8-6 ラジオ･･･P.9-2

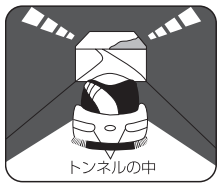
3 CD・MP3の操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
（∧） ・ （∨）	選曲スイッチ	次曲・前曲に切り替えます。	「曲を選ぶには」 CD･･･P.10-2 MP3／WMA･･･P.10-7

自車位置精度について

GPSを受信できない場所

GPS衛星からの電波は直進性が強いため、次のような場所では受信できないことがあります。





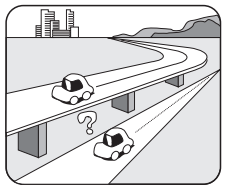




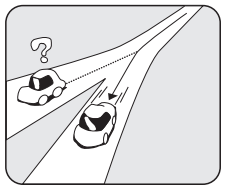
- ●ルーフキャリアなど使用時にはGPS衛星の電波がさえぎられて自車位置を測位できなくなることがあります。
- ●GPS衛星はアメリカの国防総省により管理されており、衛星自体が故意に位置精度を落とすことがあります。このようなときは、自車マークがズレることがあります。

本システムは、以下のような走行環境やGPS衛星の状態により自車マークが正しい位置を表示しないときがありますが、故障ではありません。また新設道路など地図データが実際の道路形状と異なっている道路を走行後、地図データ上の道路に戻ると自車マークがズレることがあります。

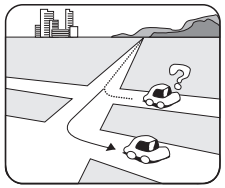
そのまましばらく走行すると、マップマッチングやGPS衛星からの情報を利用して現在位置を自動的に補正します。



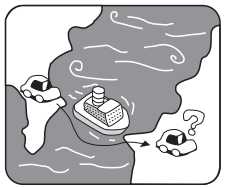
高速道路を走行しているのに、その側道に自車マークがのる場合があります。
また、その逆の場合もあります。



角度の小さなＹ字路を走行しているとき他方の道に自車マークがのる場合があります。

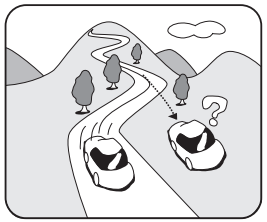


碁盤目状の道路を走行しているとき、隣の道路に自車マークがのる場合があります。

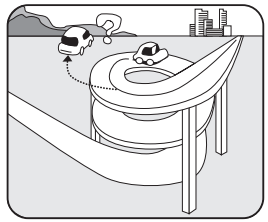


フェリー、車両運搬車などで移動したあと、GPSの受信ができない時、自車マークが移動前の位置になっている場合があります。

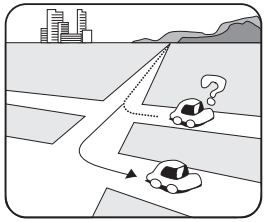
知っておいてください



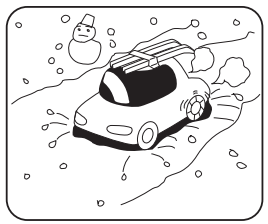
勾配の急な山岳などを走行しているとき、自車マークがズレる場合があります。



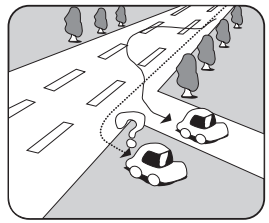
ら旋状の道路などを走行しているとき、自車マークがズレる場合があります。



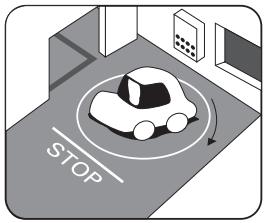
直線路を長い間走行したあとに、右左折した時、手前または先の道路に自車マークがのる場合があります。



雪道・砂利道などの滑りやすい道路を走行している時、自車マークがズレることがあります。
また、タイヤチェーンなどを装着して走行しているときも、自車マークがズレることがあります。



道幅の広い道路で蛇行運転すると、距離が合わなくなり、自車マークがズレることがあります。



地下駐車場や立体駐車場で、ら旋状の道路を走行したあとや回転したあと一般道にでると、自車マークがズレる場合があります。
イグニッションキーのACC OFFの状態で、ターンテーブルなどでの旋回をおこなうと自車マークの向きが異なることがあります。

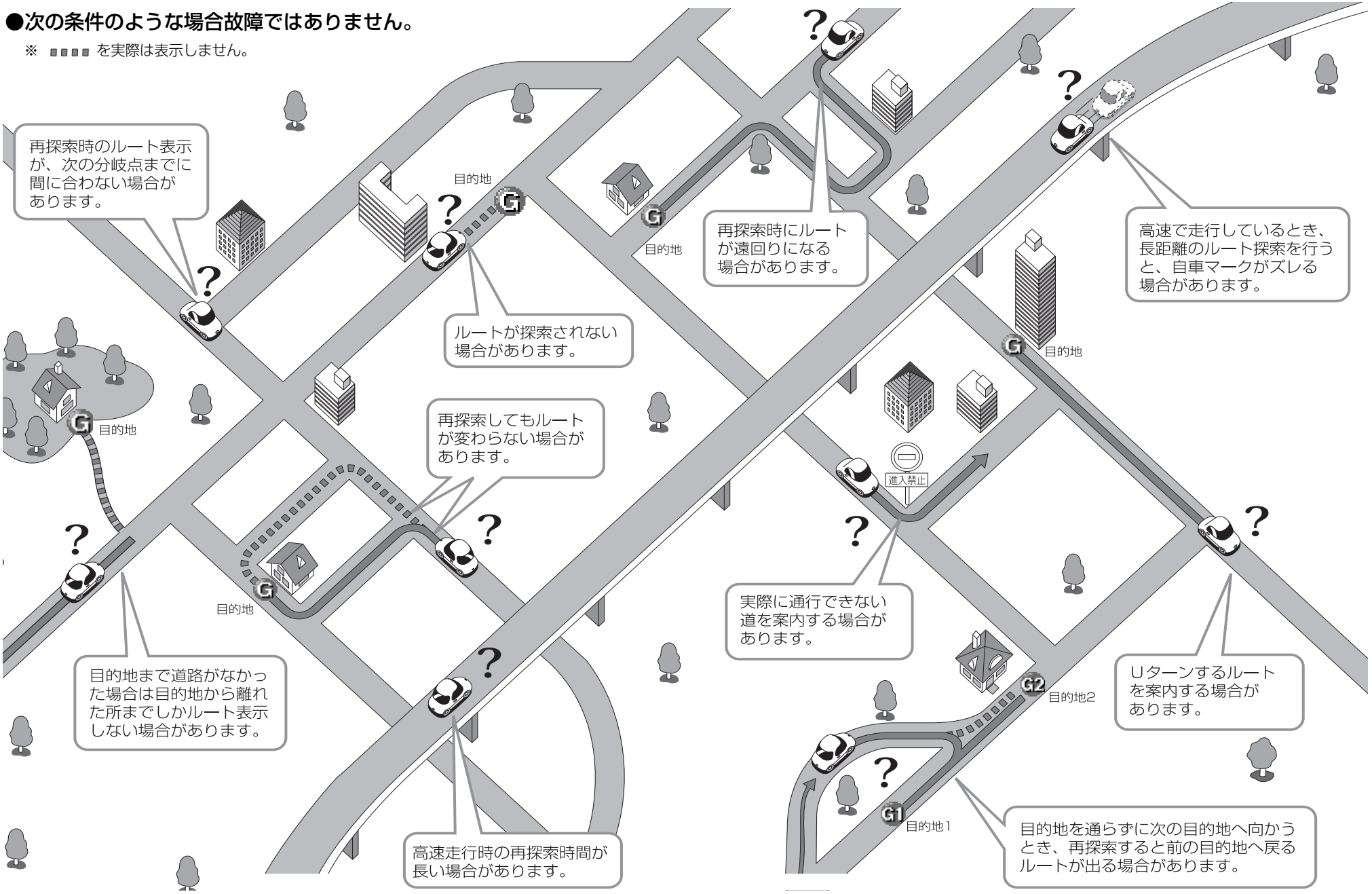
- ● タイヤを交換したとき、特に応急用タイヤ使用時に自車マークがズレることがあります。
- ● 実際の向きと自車マークの向きが異なった場合はGPS衛星による位置修正が行なわれると自動的に方位修正されます。
- ● 車庫入れ時の後退や、切り返しにより自車マークがズレることがあります。
- ● 坂道では、自車マークがズレることがあります。

知っておいてください

ルート探索について

●次の条件のような場合故障ではありません。

※ ■■■■ を実際は表示しません。

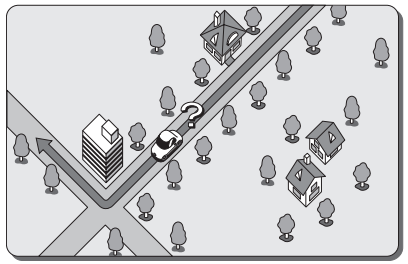


ルート探索について
12 知っておいてください

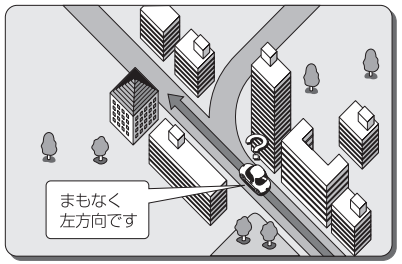
知っておいてください

ルート案内について

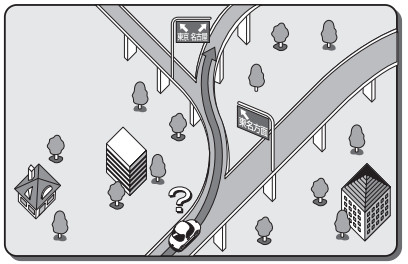
●次のような場合故障ではありません。



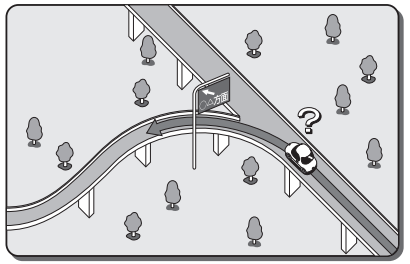
交差点で曲がるときに案内がされない場合があります。



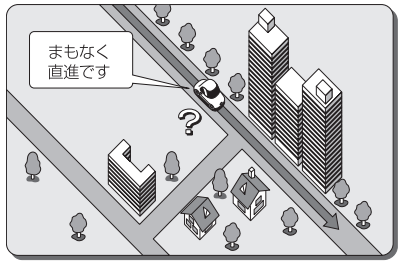
右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をすることがあります。



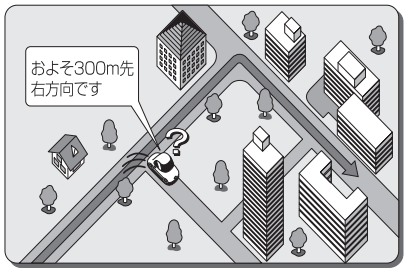
方面案内でいくつもの方面名を表示することがあります。



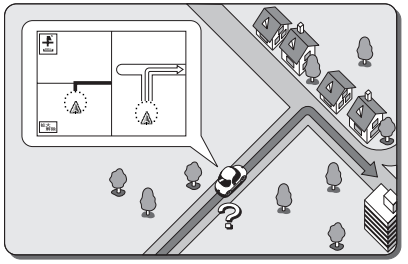
方面案内が表示されない高速道路・有料道路があります。



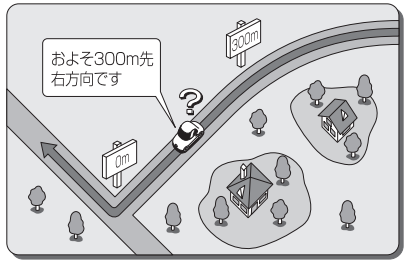
直線道路走行中に、直進案内がされる場合があります。



案内ルートを外れて手前の交差点などで曲がったときなど音声案内がされる場合があります。



交差点拡大図が実際の道路形状と合わないことがあります。



案内距離が多少ズレることがあります。

ルート案内について
12 知っておいてください

情報の保持について

お車の点検やバッテリーの交換などによりバッテリーとの接続が断たれた場合、本機に保存されている情報（設定）が一部消去（初期化）される場合があります。予めご了承ください。

情報が消去される項目	
本機（SDナビゲーション）のプログラム	
ナビゲーション	目的地履歴
	ナビ設定
	周辺施設の表示設定
	地図の表示設定
	VICS 情報の表示設定
	目的地・通過道路・乗降IC指定・案内ルート
	オンルートスクロール設定・走行軌跡表示
オーディオ	音の調整（サウンド設定）
	プリセット情報（ラジオ）
	（最後に選択していた）オーディオモード
	音量（ボリューム）
その他	画面の調整
	バックガイドモニター設定※1
	バックモニター距離目安線設定※1

※1：のせかえの確認メッセージで「いいえ」を選択した場合は保持されます。

こんなメッセージが表示されたとき

ナビゲーション部

メッセージ	メッセージが表示される場合	処置方法
SDカードが入っていません SDカードを入れて下さい	地図SDメモリーカードの差し込み口に地図SDメモリーカードが入っていない場合	地図SDメモリーカードを入れてください。
地図データが読めません SDカードが正しいかご確認下さい	地図SDメモリーカードの差し込み口に地図SDメモリーカード以外のSDメモリーカードが入っている場合、または、地図SDメモリーカードの内部データが壊れている場合	専用の地図SDメモリーカードに入れかえてください。それでも解消されないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
該当する電話番号が検索できません 確認して修正して下さい	電話番号入力で入力したデータが地図データに登録されておらず、地図表示ができない場合	入力した番号に間違いがないか、ご確認ください。番号を再入力・検索しても地図が表示できない場合は、他の方法で地図を表示させてください。
該当する郵便番号が収録されていません 確認して修正して下さい	郵便番号入力で入力したデータが地図データに登録されておらず、地図表示ができない場合	入力した番号に間違いがないか、ご確認ください。番号を再入力・検索しても地図が表示できない場合は、他の方法で地図を表示させてください。
ルートが探索できませんでした	案内できるルートがない場合	他に目的地を設定するか、あるいは地図を参考に走行してください。
新しいルートが探索できませんでした 前回のルートでご案内します	案内中のルート以外に適切なルートが見つからなかった場合	表示しているルートで走行していただくか、地図を参考にして走行してください。
メモリ地点が登録されていません メモリ地点を登録してからお使い下さい	メモリ地点が1ヵ所も登録されていないときに、メモリ地点から地図を表示しようとした場合	メモリ地点の登録を1ヵ所以上行ってからお使いください。

テレビ・オーディオ部

メッセージ	メッセージが表示される場合	処置方法
ディスクが入っていません	ディスクの差し込み口に音楽CD、MP3/WMAディスクが入っていない場合	音楽CD、MP3/WMAディスクを入れてください。
ディスクをお確かめ下さい	音楽CD、MP3/WMA ディスクが裏返しになっている場合	ディスクを正しく入れ直してください。
	ディスクが汚れているまたは傷がある場合	汚れているときはクリーニングしてください。傷があるときは傷のないものにしてください。
接続状態をお確かめ下さい	ミニプラグコードがしっかり接続されていない場合	ミニプラグコードをしっかり接続してください。
異常検知により再生を停止します	対応していないフォーマットのMP3/WMA ファイルまたはデータ破損等で再生が不可能なMP3/WMAファイルを使用している場合	再生可能なフォーマット(P.10-11参照)のMP3/WMAファイルを使用してください。
異常検知でDISC停止中です	何らかの原因でCDプレーヤーが動作しない場合	CDプレーヤーからディスクを取り出してください。
高温のためDISC停止中です	CDプレーヤーが高温になり、再生が不可能な場合	温度が下がるまでしばらくそのままお待ちください。

VICS部

メッセージ	メッセージが表示される場合	処置方法
ＶＩＣＳの文字（図形）情報を受信中です しばらくお待ち下さい	文字情報、図形情報のメニューを受信中の場合	メニューの受信が完了するまでお待ちください。
最新のVICS割込情報はありません	割り込み情報を再表示しようとしたときに受信した割り込み情報がない場合	割り込み情報受信後、30分以内にご利用ください。
VICSの文字(図形)情報を受信していません VICS選局で周波数をご確認下さい	FM多重放送を行っている放送局を選局してないか、または情報を受信していない場合	選局しなおしてVICSの情報を受信してください(P.4-50~4-51参照)。
モーターアンテナ車に設定されています オーディオOFF中はＶＩＣＳ情報を受信できません	オーディオOFFかつモーターアンテナ車設定がONの状態でＶＩＣＳ選局画面を表示した場合	ＶＩＣＳ情報を受信したい場合は、オーディオをONに設定してください（P.7-1参照）。

故障とお考えになる前に

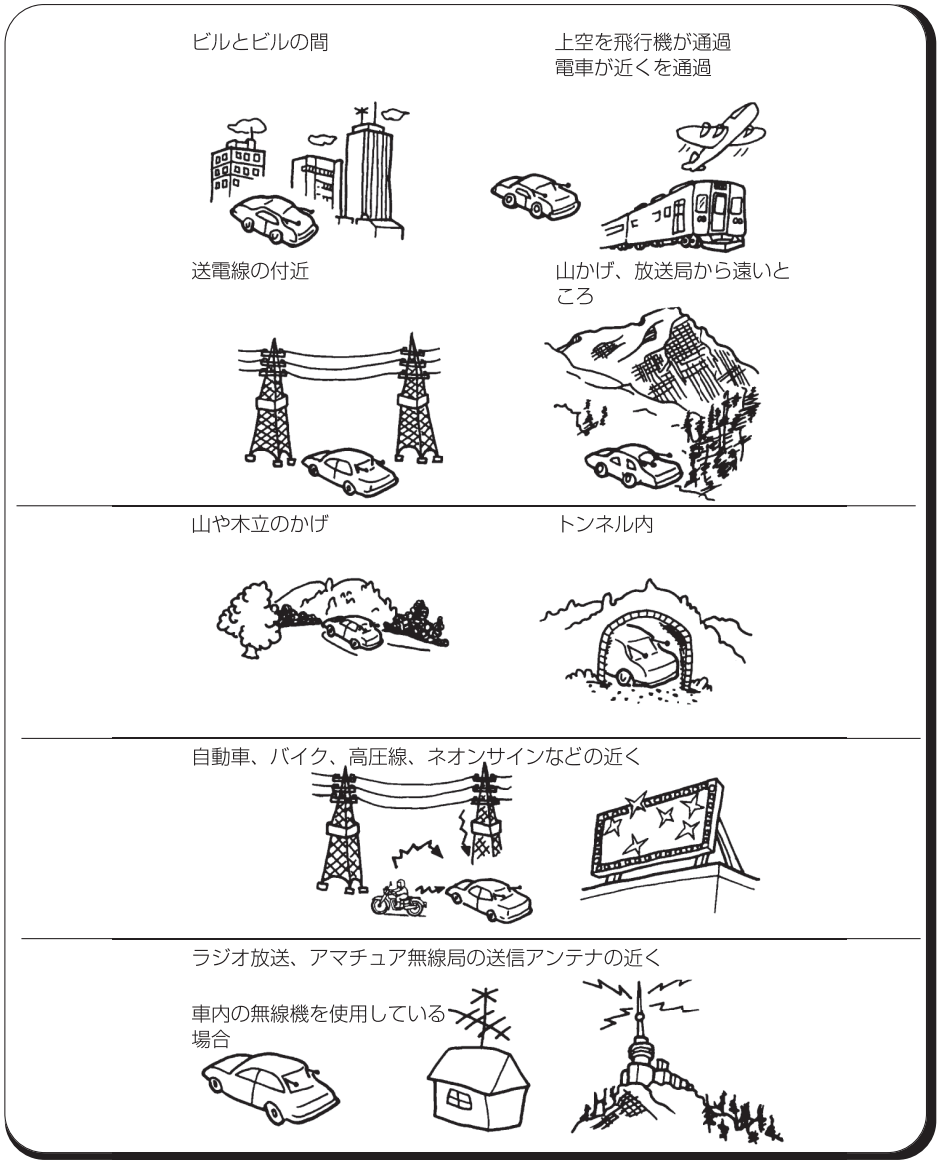
本機が正常に作動しなくなった時は、下表にしたがって確認していただき、それでも作動しない時は、お買い上げの販売店にご相談ください。
万一異常（ヒューズ溶断など）が起こりましたら、必ずお買い上げの販売店に修理依頼をしてください。ご自身でヒューズの取り換えや修理をされますと、思わぬことで故障の範囲を大きくすることがありますので特にご注意ください。

症 状	確 認 項 目
画面が次の何れかの状態になっている場合 ●真っ暗で全く光らない ●光っているが、画面が表示されない ●画像が乱れる ●画像の色がおかしい ●ライトを点灯しても夜画面にならない	画面消に設定されていませんか？ ⇒(現在地)、(メニュー画面)などを押してください。 画質の設定は適切ですか？ ⇒(メニュー画面)を押し続け、設定を確認してください(P.1-25参照)。 解消されないときは、エンジンスイッチをOFF→ACCまたはONにしてください。 それでも解消されないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
テレビの画面が表示されない場合	車の電源のスイッチは入っていますか？ ⇒エンジンスイッチをACCまたはONにしてください。 ヒューズは切れていませんか？ ⇒ヒューズの位置は、車の取扱書を参照してください。 パーキングブレーキはしっかりかかっていますか？ ⇒パーキングブレーキはしっかりかけてください。 車は完全に停止していますか？ ⇒車を完全に停止させてください。
ナビゲーションの画面が表示されない場合	専用の地図SDメモリーカードが正しく入っていますか？ ⇒地図SDメモリーカードを確認してください。
自車を移動させても地図がスクロールしない場合	現在地画面になっていますか？ ⇒「基本編」を参照して、現在地表示にすると地図がスクロールします。
自車マークが表示されない場合	現在地画面になっていますか？ ⇒「基本編」を参照して、現在地表示にすると自車マークが表示されます。
目的地が接近しても音声案内がない場合	案内中になっていますか？ ⇒応用編を参照して、案内中にしてください。 音量が消音になっていませんか？ ⇒応用編を参照して、聞きやすい音量に設定してください。
地図をタッチしてそのまま押し続けても、連続して地図がスクロールしない場合	走行中に地図をタッチしていませんか？ ⇒走行中は安全のため、連続操作はできません。停車してお使いください。
地図をタッチしても、地図がスクロールしない場合	地図をタッチした時に、地図データの読み込みが発生すると、地図データの読み込みが完了するまでの間、しばらくスクロールが停止します。故障ではありませんので、地図をタッチしたまま、しばらくお待ちください。

症状	確認項目
地図をタッチして、地図スクロール中に途中で地図が止まる場合	スクロール中に地図データの読み込みが発生すると、地図データの読み込みが完了するまでの間、しばらくスクロールが停止します。 故障ではありませんので、そのままご使用ください。
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある場合	故障でありませんので安心してご使用ください。 ⇒液晶特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。
エンジンスイッチをONにした後しばらく画面にムラがある、または画面が暗い場合	寒冷時、液晶のバックライトの特性上、光ムラが発生することもあります。エンジンスイッチをONにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。
画面がみにくい場合	画面の明るさ、コントラスト調整は適正ですか？ ⇒P.1-25を参照して明るさ、コントラストを調整してください。 ディスプレイの角度調整は適正ですか？ ⇒P.1-21を参照して画面の向きを見やすい位置にしてください。
音声は出るが、映像は出ない（停車中）場合	パーキングブレーキを引いていますか？ ⇒パーキングブレーキを引いてください。
ディスクを入れることができない場合	車の電源スイッチは入っていますか？ ⇒車のキーを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
音飛びをしてしまう場合	結露していませんか？ ⇒換気してからご使用ください。 ディスクがひどく汚れていませんか？ ⇒ディスクをクリーニングして入れてください。
ディスクを取り出せない場合	お買い上げの販売店にお問い合わせください。
片側のスピーカーしか音が出ない場合	音量の調節は正しいですか？ ⇒左右音量調節をして確認してください。
音質調整をしても音質が変化しない場合	調整した音質が放送、ディスクに含まれていますか？ ⇒放送、ディスクを変更して確認してください。
ポータブルオーディオの再生音がスピーカーから出力されない場合	ポータブルオーディオの電源は入っていますか？ ⇒ポータブルオーディオの電源を入れてください。 ポータブルオーディオは再生されていますか？ ⇒ポータブルオーディオを再生してください。 抵抗付きミニプラグコードを使用していませんか？ ⇒抵抗無しミニプラグコードをご使用ください。

症 状	確 認 項 目
SDメモリーカードがSDスロットに差し込めない場合	SDメモリーカードの差し込み方向は正しいですか？ ⇒SDメモリーカードの差し込み方向を確認して正しい方向で差し込んでください。 SDスロット内に異物が混入していませんか？ ⇒SDスロット内に異物が混入していないか確認してください。
SDメモリーカードがSDスロットから取り出せない場合	SDメモリーカードを押さずに取り出そうとしていませんか？ ⇒SDメモリーカードを押して取り出してください。
ディスプレイが閉まらない場合	ディスクが奥まで差し込まれていますか？ ⇒ディスクが奥まで差し込まれているか確認してください。（P.1-14参照） SDメモリーカードが奥まで差し込まれていますか？ ⇒SDメモリーカードは「カチッ」と音がするまで差し込んでください。（P.1-18参照）

地上デジタル放送の電波について
つぎのような場所では、映像が静止したり音声が途切れる場合があります。



地図データベースについて

いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部、または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

この地図の作成に当たっては、国土地理院発行の2.5万分の１地形図および5万分の１地勢図を使用しました。

この地図の作成に当たっては、国土情報整備事業の一環として国土地理院において作成された、国土数値情報を使用しました。

この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。

©財団法人　日本デジタル道路地図協会
©株式会社 ゼンリン ＆ 株式会社 トヨタマップマスター ＆ 株式会社 昭文社

交通規制データの出展について
この地図に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、株式会社　トヨタマップマスターが作成したものを使用しています。

道路交通規制の優先について
このデータが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示などにしたがってください。

交通事故多発地点マークについて
地図SDメモリーカードに収録されている事故多発地点データは、警察庁および国土交通省のデータをもとに作成しています。

ボトルネック踏み切りデータについて
地図SDメモリーカードに収録されているボトルネック踏み切りデータは、国土交通省のデータを参考に作成しています。

©株式会社　トヨタマップマスター

アンテナのお手入れについて

- フィルムアンテナ及びケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性のものでふかないでください。表面処理を傷める原因になります。
- 掃除をするときは、タオルや柔らかい布などで軽く押さえるようにして拭いてください。爪などでこするとアンテナパターン線がはがれる原因となります。
- アンテナ部からコードを取り外すことはできません。無理にはがすと動作できなくなり、再使用もできません。
- コードのコネクタ部に力をかけないでください。
- カーウィンドフィルムの上からフィルムアンテナを貼った場合、フィルムアンテナをはがす際にカーウィンドフィルムを傷めることがありますのでご注意ください。

商標について

- 車載機に含まれるMicrosoft Windows Automotive Operating Systemの著作権は米国Microsoft Corporationに帰属します。MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

- SDHCロゴはSD-3C,LLCの商標です。

アフターサービスについて

1. 保証

1）トヨタの販売店、またはトヨタ指定サービス工場でトヨタ車にお取付けして製造上の不具合が発生した場合、下記に示す期間と条件に従ってこれを無償修理いたします。無償修理は部品の交換あるいは補修により行います。また取り外した不具合部品はトヨタの所有となります。

2）無償修理を受けられる期間は、商品をトヨタ車にお取付けした日をご使用開始日として起算し3か年間とします。ただし、その期間内でも走行距離が60，000kmまでとします。無償修理をお受けになる場合はトヨタの販売店、またはトヨタ指定サービス工場へ自動車に取付けた状態でお持ちください。

3）保証期間内でも下記に起因する不具合は無償修理いたしません。
①トヨタの販売店、またはトヨタ指定サービス工場以外でのお取付け、修理およびトヨタが認めていない改造など。
②取扱書に示す取扱方法と異なる使用および不適切な保管などおよび、地震、台風、水害などの天災並びに事故、火災。

4）次に示すものの費用は負担いたしません。
①消耗部品および油脂類など。（ベルト、ヒューズ各種電球など）
②商品を使用できなかった事による不便さおよび損失など。

5）無償修理の継承として期間が残っているものは無償修理をいたしますが点検および取り外し、取付け費用は有料となります。

6）この無償修理は日本国内で使用されている場合のみに適用いたします。

7）無償修理期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

8）商品の上蓋または底蓋に貼ってあるシール（モデルNo.シリアルNo.明記）の剥がれたものについては無償修理いたしません。

2. 補修用性能部品の最低保有期間

このSDナビゲーションの補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。

アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

仕様

●ディスプレイ

液晶パネル	：7 V型低反射タッチパネル
画面寸法	：156.2 mm×176.6 mm×82.4 mm（幅×対角×高さ）
ドット数	：33万6960 ドット（縦 234 ×横 480 × 3）
有効画素数	：99.99 %
表示方式	：透過型カラーフィルタ方式
駆動方式	：TFT（薄膜トランジスター）アクティブマトリクス方式
タッチパネル	：抵抗膜式タッチパネル

●ラジオ・チューナー部

受信周波数範囲	：AM 522 kHz～1629 kHz FM 76.0 MHz～90.0 MHz
実用感度	：AM 25 dB（μV） FM 8 dB（μV）
信号対雑音比	：AM 42 dB（30 kHzL.P.F.使用） FM 55 dB（30 kHzL.P.F.使用）

●デジタルテレビチューナー部

受信可能放送	：ワンセグ放送
受信周波数	：470 ～ 770 MHz（UHF13～62チャンネル）
入力信号レベル	：−75 dBm～−20 dBm
入力インピーダンス	：75 Ω

●CD部

信号雑音比	：70 dB（IHF-A使用）
全高調波歪率	：0.08 %（IHF-A使用、1 kHz）
周波数特性	：20 Hz～20 kHz（−3 dB）

●共通部

外形寸法	：205.5 mm×104 mm×163.6 mm（幅×高さ×奥行き）
質量	：2290 g
供給電源電圧	：DC 12 V（試験電圧14.4 V）㊀アース
消費電流	：4 A以下（電源電圧13.2 V、FMモード定格出力時）
動作温度	：−20 ℃～+ 55 ℃
最大出力	：43 W× 4 ch
定格出力	：18 W× 4 ch（10 %T.H.D）
適合スピーカーインピーダンス	：4 Ω

製品の仕様および外観などの変更により、本書の内容が本機と一致しない場合がありますのでご了承ください。

用語さくいん

【あ行】
新しく探すカスタマイズ ……4-18
案内再開 …… 3-24
案内中止 …… 3-24
イコライザー…… 7-9
一般優先 …… 2-33
居眠り防止案内 …… 4-15
迂回メモリ …… 4-33
オーディオ操作画面…… 7-5
音量設定 …… 3-25
オンルートスクロール …… 3-20

【か行】
カーブ警告 ……4-13
拡大表示 ……2-23
画質調整 ……1-24
画面設定 …… 1-27
カレンダー …… 5-14
簡単初期設定ガイド ……2-1
季節規制メッセージ …… 4-15
季節規制回避 …… 2-29
距離補正 …… 4-55
距離優先 …… 2-33
緊急警報放送（EWS）…… 8-14
県境案内 …… 4-13
現在地画面 …… 2-13
交差点拡大図 …… 2-36、4-4
高速時の自動音量切替 …… 2-2、3-25
高速分岐模式図 …… 2-38、4-4
高速略図 …… 2-24
交通事故多発地点マーク …… 4-10
交通情報…… 9-4
合流警告 …… 4-13

【さ行】
再探索 …… 3-15
シーズンレジャーランドマーク…… 4-9
自車マーク …… 2-13、4-7
施設ランドマーク …… 3-45
自宅に帰る ……2-31
自宅の登録 …… 2-2、4-30
自動再探索 …… 4-15
自動補正 …… 4-55
使用データ …… 4-56
車両情報設定 …… 2-6、4-16
周辺迂回 …… 3-15
周辺施設 ……3-40、4-3
乗降ＩＣ …… 2-32、3-13
ショートカット設定 …… 4-19
推奨 …… 2-33
スケール表示 …… 2-13、2-15
ステアリングスイッチ …… 11-4
セキュリティ …… 1-29
全ルート …… 2-32、2-35
走行軌跡 …… 3-23

【た行】
タッチスイッチ …… 1-13、2-13
他モード時の案内 …… 4-14
地図カスタマイズ …… 1-7、4-7
地図スクロール時の地名表示 … 2-14、4-10
通過道路…… 3-8
提携駐車場 …… 3-27
デモ …… 3-19、5-12
テレビ…… 8-1
電話帳 …… 5-13
到着予想時刻 …… 2-32、2-34、4-3
特別メモリ地点 …… 4-30
時計表示 ……2-13、 4-11
都市高マップ …… 2-40

【な行】
ナビ設定 ……4-1
ナビ補正 …… 4-17
ナビメニュー ……2-8
ノースアップ …… 2-18

【は行】
ハートフル音声 …… 4-14
バックガイドモニター…… 6-4
バックモニター …… 6-42

販売店…… 5-9
番組表 …… 8-10
ビジュアルシティマップ表示…… 4-7
昼画表示 …… 1-24、4-7
ヒント …… 1-30、2-12
踏切警告 …… 4-13
フロントワイド …… 4-5、4-6
別ルート …… 2-33
ヘディングアップ …… 2-18
方位マーク …… 2-13、2-18
方面名称 …… 2-38
【ま行】
マップコード …… 3-39
右画面 …… 2-22
メモリ地点 …… 3-37、4-20
メモリ地点読み込み …… 4-39
メンテナンス…… 5-2
目的地 …… 2-28、3-1
目的地消去…… 3-6
目的地設定画面 …… 2-30
目的地履歴 …… 3-38、4-17
【や行】
有料優先 …… 2-33
よく行く場所 ……2-3、 2-31、4-30
夜画表示 …… 1-24、4-7
【ら行】
ラジオ…… 9-1
履歴…… 6-2
立体交差点拡大図 …… 2-37
立体ランドマーク表示…… 4-9
料金案内 …… 2-37、4-11
料金所レーン案内……2-38、4-12
ルート案内…… 2-26、3-24、12-5
ルート情報画面 …… 3-18
ルート探索 …… 2-28、12-3
レーンリスト …… 2-37、4-2
【わ】
ワイド画面 …… 1-26
割込情報 …… 4-49
ワンセグ放送…… 8-1
【アルファベット/数字】
AM …… 9-1
AUTO.P…… 8-7、9-2
AUX ……11-1
CDプレーヤー …… 10-1
DSP/SSC …… 7-7
ETC …… 2-38、6-1
FM …… 9-1
FM図形 …… 4-49
FM文字 …… 4-48
GPSマーク…… 2-13
MP3/WMAプレーヤー……10-4
SDメモリーカード…… 1-18、1-20
SOUND…… 7-7
TILT…… 1-21
VICS …… 4-41
VICSタイムスタンプ…… 2-13、4-44
2画面 …… 2-21
2Dツイン …… 2-21
3D交差点拡大図 …… 4-5
3D高速分岐案内 …… 2-38
3Dツイン …… 2-19、2-21
5ルート …… 2-32

凡例

表示①	表示②	内　容
（紫色）	（紫色）	高速・都市高・有料道路
（赤色）	（赤色）	国道
（緑色）	（緑色）	主要地方道
（橙色）	（橙色）	一般都道府県道
（灰色）	（灰色）	その他の道路（巾5.5 m以上）
（灰色）	（灰色）	その他の道路（巾3.0 m以上）
		JR
		鉄道
（水色）	（水色）	水域
		都道府県界・市区町村界
（緑色）	（緑色）	緑地
（灰色）	（灰色）	駅舎・敷地
		官公庁
		都道府県庁
		市役所・東京23区区役所
		町村・東京以外区役所
		警察署
		消防署
		郵便局
（紫色）		スマートインターチェンジ
（緑色）		インターチェンジ
		サービスエリア
		パーキングエリア
		信号機
		駐車場
		駅
		フェリーターミナル
		港湾
		空港・飛行場
		学校
		道の駅
		幼稚園

表示①	表示②	内　容
		病院・医院
		電力会社・発電所
		電話局
		銀行・信用金庫・農協
		デパートなど
		ホテル・旅館など
		ビル
		工場
		灯台
		神社
		寺院
		教会
		霊園・墓地
		城跡
		名所・観光地など
		ゴルフ場
		スキー場
		海水浴場
		アイススケート場
		マリーナ・ヨットハーバー
		陸上競技場・体育館
		キャンプ場
		公園
		温泉
		山
		その他の施設
		トヨタ販売店・トヨタ共販店
		ネッツ店
		ダイハツ販売店
		トヨタL&F
（橙色）	（橙色）	ボトルネック踏切
（黄色）	（黄色）	踏切
		交通事故多発地点

●表示されるマークの位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して１つのマークで表示することがあります。
●表示①はビジュアルシティマップ（P.4-7参照）で表示され、表示②は通常地図で表示されるマークです。

メモ

シリアルNoラベル貼り付け欄

この欄にシリアルNoラベルを貼付のうえ、大切に保管してください。

NSCN-W60取付け記録簿

取付け販売店名および取付け店名	
取付け日	
取付け時走行キロ	
備考 （修理メモ・保証継承情報等）	

保証期間を判定する記録簿です。必ず記載し大切に保管してください。